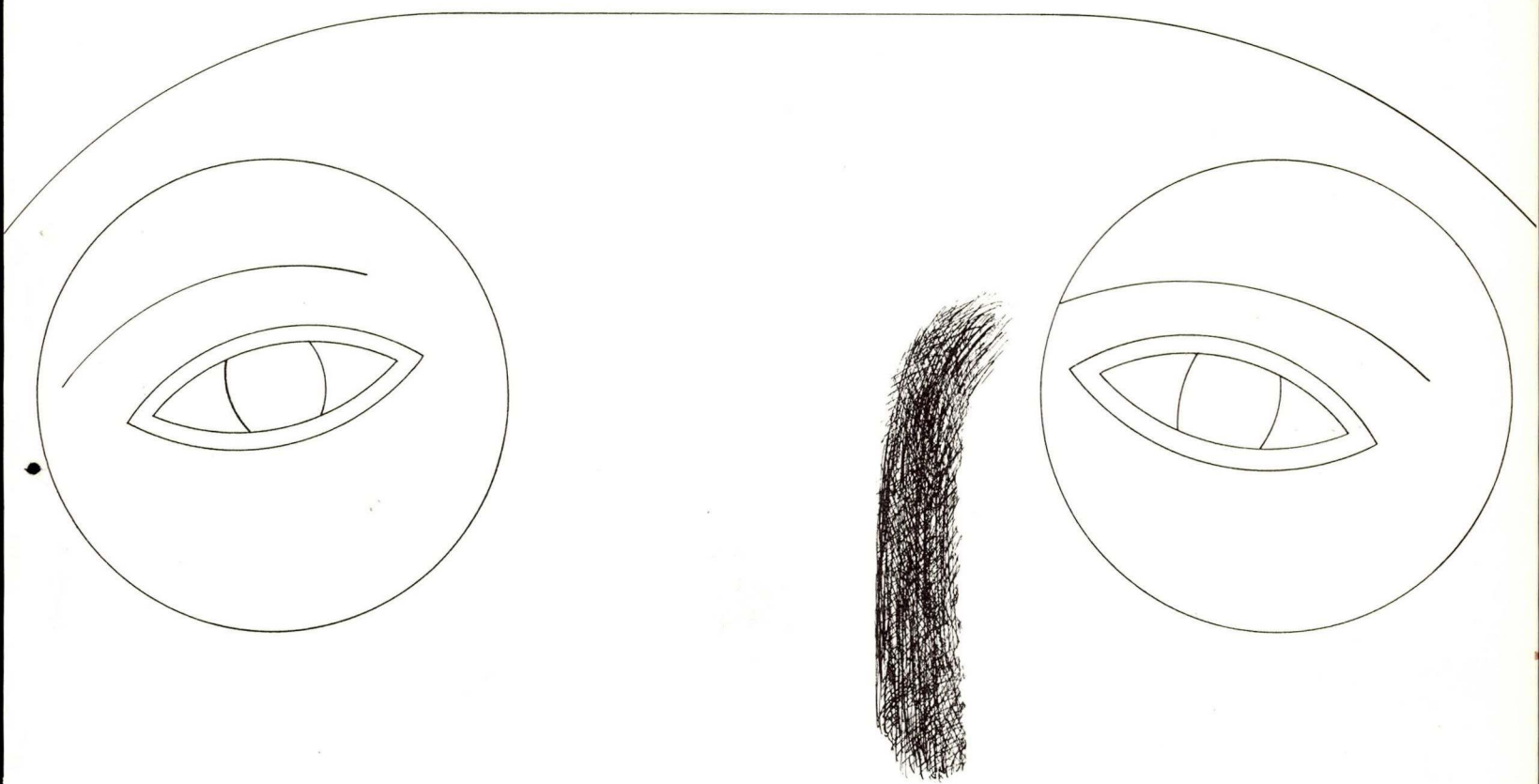
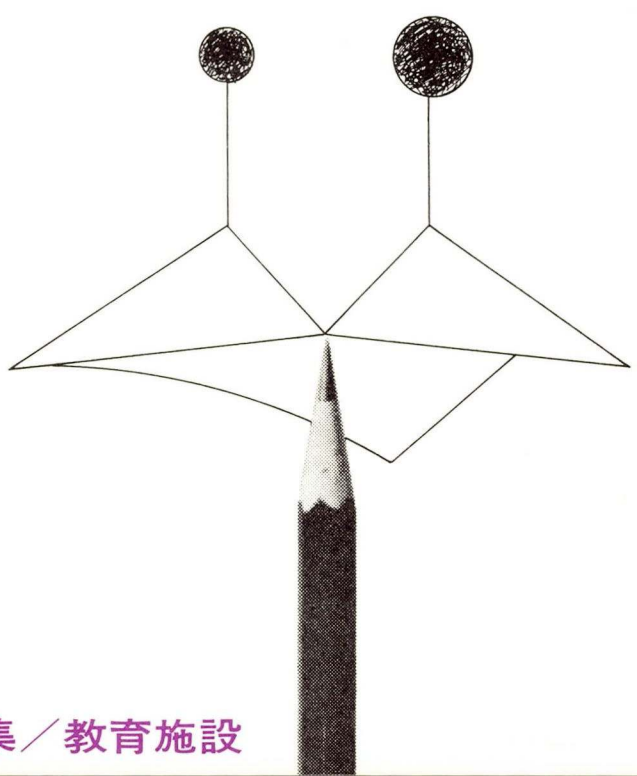
# 建築と社会

社団法人 日本建築協会
昭和43年5月25日発行第49輯第5号
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

5 VOL.49

ARCHITECTURE AND SOCIETY 1968





特集／教育施設

"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



# 同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。 360種以上の標準設計を用意しています。

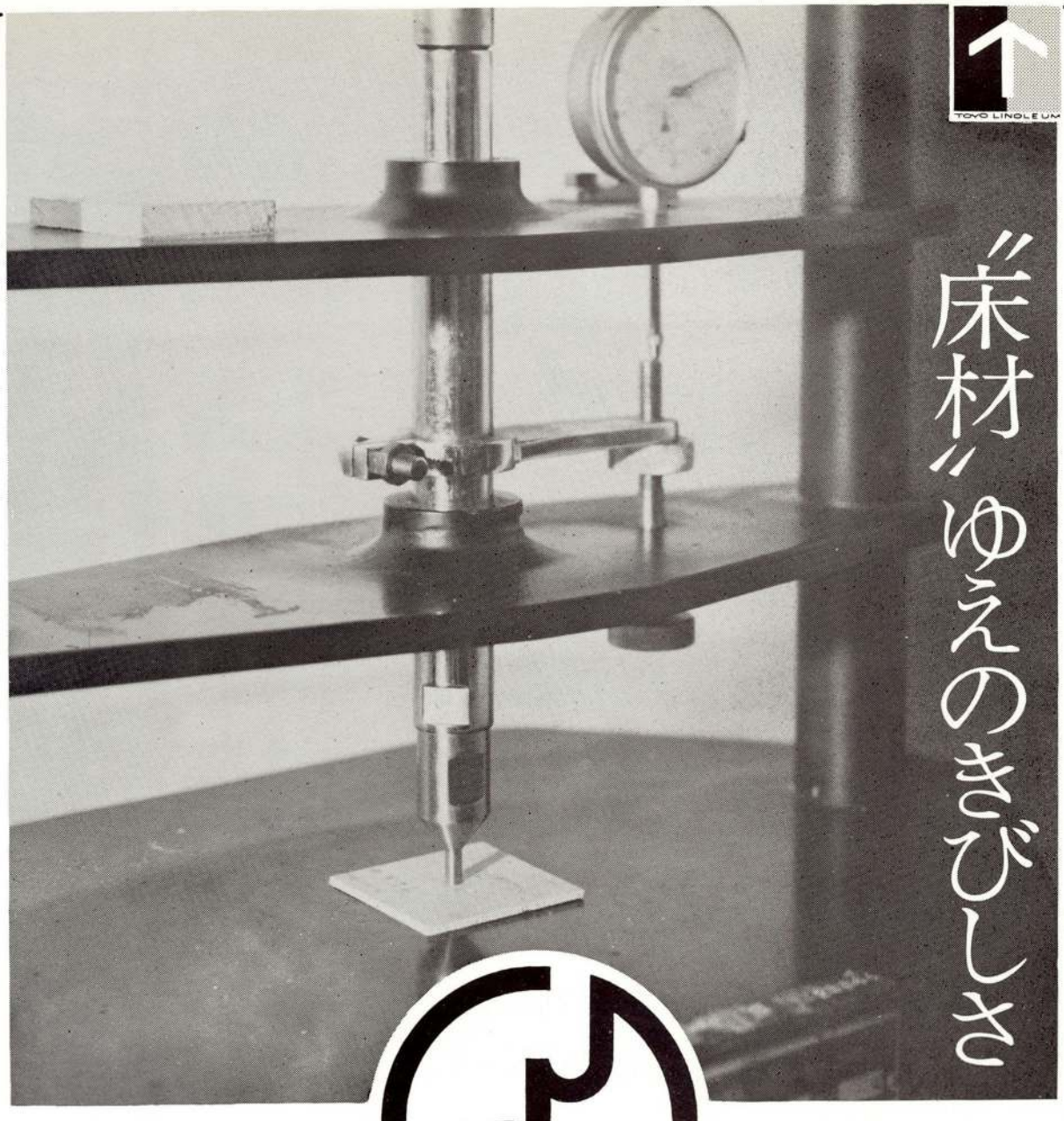
住友のプレハブ骨組

# スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

大阪 ― 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ― 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)0111
営業所 ― 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌



# 〝床材〟ゆえのきびしさ

## 伊丹・厚木両工場がそろってJISマークを獲得

床材の業界では初めて！　しかし、私たちはこのことに満足していません。JISマークの獲得は、お客さまに私たちの床材を安心して使っていただくための保証のひとつ。私たちの目的は、あくまでもお客さまからクレームがでてこない製品をつくる――このことに尽きます。

## JIS審査をはるかにしのぐ私たちの、きびしい品質管理

単に外観・厚み・サイズだけでなく、直角度・凹み・そり・ヒビ割れ・過熱減量にいたるまで、きびしく目を光らせ、お客さまに満足していただける製品しかつくりません。このきびしい品質管理も各業種の中でもとくにクレームがつきやすい〝床材〟だからです。

## この〝きびしさ〟の中から生まれた床材の最高傑作・マチコタイル

よい材料をすぐれた技術で加工し、いっそう品質を高めた床タイル＝マチコV・マチコS。耐摩耗性歩行性・耐薬品性にすぐれています。しかも、色は明るいシックなものをはじめ、豊富。すばらしいインテリアデザインを、みごとに演出する、傑作です。

■床材のハイファッション

**マチコV** ビニールアスベストタイル

**マチコS** シリッドビニールタイル

東洋リノリユーム株式会社
本社　大阪市南区順慶町通り4丁目（三和ビル）
札幌・仙台・東京・長野・名古屋・広島・高松・福岡




〈営業品目〉

カーテン　ウォール
アルミサッシ・ドア
ステンレスサッシ・ドア
スチールサッシ・ドア
住宅用アルミサッシ〝エリート〟
アルミレディーメード　サッシ・ドア

サッシの綜合メーカー

dsk ダイケンサッシ株式会社

本社・工場　堺市松屋町1－6　TEL 堺(38)大代表 1141
鳳　工　場　堺市平岡町48　TEL 堺(7)代表 5541
営　業　所　大阪・東京・名古屋・金沢・福岡・長野

# 常温で使えるアスファルト

# フリントコート




屋根防水工事に
世界各地で40年間の実績があり、その安全性には定評があります。

床工事に
セメント、砂、砕石と混合した独得の床で、一例をあげると各地日本専売公社の倉庫の床に採用されております。

(株)シエル石油大阪発売所
大阪 (303)7131
東京 (562)4646
福岡 (77)1961

SHELL
シエル石油

シエル石油アスファルト部　東京都千代田区丸の内2～3　TEL(212)4371大代表

# 〈新発売〉三星プラスタイル"M"

## 日本の感覚"M"タイル——気品と風格のあふれる床



風格あるビルづくりに——いままでにない、〝気品のある床材〟みなさまには初お目見えの色と模様です。いつまでもアキのこないのが特長です。風格あるビルづくりにぜひ欠かせません。

優れた品質と性能で——ますます高級化する最近のインテリア・デザインが求めていた床材。プラスチック床材でいちばん経験の深い田島応用化工。その優れた技術と経験でついに登場させました。

●色と模様は12種類—豪華な見本帖を用意しております。ハガキにてお申し込みください。

三星プラスタイルPの

**田島応用化工株式会社**

東京／千代田区岩本町3—11　TEL 866—6101(代)　大阪／西区京町堀1—74　TEL 441—5951(代)

# 東·西アス協組 統一年限仕様確立

# 強力ギルソイド アスタイト防水

■東アス・西アス両協組の連合を契機として全国統一の年限仕様としました。
■防水工事には最も信頼できるアスファルト防水として定評ある本協組仕様をご採用下さい。
■実績を誇る良心的な全国５０社の組合員が、ご用命をお待ちしています。

## 年限仕様(抜すい)

### 1　砂利撒屋上防水

| 仕様番号 | 勾配 | 下地材 | 耐用年限 | 押え方法 | 重量 kg/m² | 単価 円/m² | 建物の例 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GC-210 | 1/100 ～ 1/12 | コンクリート | 12 | 砂利撒(屋上支給) | 95 | 920 | 鉄筋住宅 事務所 工場等 |
| GC-215 | 1/100 ～ 1/12 | | 15 | | 100 | 1,210 | 共同住宅 事務所 倉庫工場等 |

### 2　露出屋根防水

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SC-210 | 1/25 以上 | コンクリート | 10 | 砂付シルバライト吹付又は彩色砂付 | 11 | 910 | 体育館 鉄筋住宅等 |
| SC-215 | 1/25 以上(面積中小) | | 15 | | 14 | 1,130 | 共同住宅 学校等 工場 |
| SC-215A | 1/25 以上(面積大) | | 15 | | 14 | 1,420 | 重要度の高い発電所 食糧倉庫等 |
| SG-12 | 1/25 以上 | | 12 | アスファルトシングル | 15 | | 共同住宅 体育館 倉庫工場等 |
| AC-210 | 1/25 以上 | | 10 | アルミン | 9 | 1,060 | 鉄筋住宅 工場 体育館等 |

### 3　歩行用屋上防水

| 仕様番号 | 勾配 | 下地材 | 耐用年限 | 押え方法 | 重量 kg/m² | 単価 円/m² | 建物の例 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PC-210 | 1/100 ～ 1/12 | コンクリート | 12 | 豆砂利コンクリート 90mm厚 | 249 | 730 | 店舗付住宅 車庫 娯楽場等 |
| PC-215 | 1/100 ～ 1/12 | | 15 | 1：3：6コンクリート 90mm厚 | 249 | 1,010 | 学校・ホテル 公民館 事務所等 |
| PC-220 | 1/100 ～ 1/12 | | 20 | クリンカータイル | 164 | 1,250 | 事務所 営業倉庫銀行 図書館等 |
| PC-225 | 1/100 ～ 1/12 | | 25 | シンダーコンクリート80mm厚 クリンカータイル | 274 | 1,420 | 発電所・学校 百貨店・病院等 |

### 4　室内地下防水

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ID-201 | | コンクリート | | | | 980 | 便所 厨房 浴室 |
| BH-201 | | | | | | 1,050 | 地下室床 |
| BV-201 | | | | | | 1,610 | 地下室壁 |

(注) 歩行用屋上防水の単価は防水層のみ

## 責任施工組合員名簿

(東アス協組員)

| 地区 | 組合員名 | 電話 |
|---|---|---|
| 北海道 | (株)浜建 | 札幌(26)5676 |
| | 平産業株式会社 | 札幌(25)7181 |
| | (株)札幌建材社 | 札幌(73)代表1131 |
| | (株)亀田建材社 | 小樽(3)代表2181 |
| 東北 | (株)山形建材 | 山形(2)代表8161 |
| | 有馬アスファルト商会 | 仙台(23)2663 |
| | (株)互幸商会 | 仙台(25)代表7671 |
| 中部 | 八木商事株式会社 | 新潟(22)3218 |
| | 北川瀝青工業(株)新潟営業所 | 新潟(45)3526 |
| | 羽多野産業株式会社 | 松本(3)8001 |
| | 坂田工業株式会社 | 長野(3)2459 |
| | 桜井建材産業株式会社 | 静岡(54)6211 |
| | 協同建材株式会社 | 浜松(54)5461 |
| | 松本工業株式会社 | 吉原(2)3030 |
| 関東 | 井上瀝青工業株式会社 | 東京(541)代表1974・0964 |
| | 桑原建材株式会社 | 東京(368)6973 |
| | (株)小島工務店東京営業所 | 東京(821)1050 |
| | 高山工業株式会社 | 東京(251)0161～5 |
| | 中村瀝青工業株式会社 | 東京(892)代表0131～6 |
| | (株)三柏商会 | 東京(251)8867・7517 |
| | (株)山忠 | 水戸(2)代表9151 |
| | 日本ガンツ工業(株)千葉営業所 | 千葉(82)2430 |
| | 田島応用化工株式会社 | 東京(866)代表6101 |

(西アス協組員)

| 地区 | 組合員名 | 電話 |
|---|---|---|
| 近畿 | (株)久保商店 | 大阪(364)代表0207 |
| | (株)木下謹三商店 | 大阪(443)代表0115 |
| | (株)井上浄夫商店 | 大阪(441)8531～5 |
| | (株)大和商会 | 大阪(631)6221～4 |
| | 内外工業株式会社 | 大阪(641)3434～6 |
| | 旭化建工業株式会社 | 大阪(371)6555～7 |
| | 日本瀝青工業(株)大阪支店 | 大阪(309)4701 |
| | 高山工業(株)大阪営業所 | 大阪(364)9015 |
| | 石井建材有限会社 | 神戸(51)5353 |
| | (株)中出商会 | 神戸(51)4501 |
| | (株)タテバヤシ商会 | 京都(811)0871～2 |
| | 田島応用化工(株)大阪営業所 | 大阪(441)代表5951 |
| 東海 | 岡田建材株式会社 | 名古屋(571)7461～4 |
| | (株)名建商会 | 名古屋(261)3671～3 |
| | 高橋建材店 | 名古屋(231)3295・3431 |
| | 日東物産株式会社 | 名古屋(261)2501代表 |
| | 太田建材株式会社 | 四日市(45)0531 |
| 北陸 | 北川瀝青工業株式会社 | 金沢(41)1131～5 |
| | 北川瀝青工業(株)富山出張所 | 富山(21)2218(41)0391 |
| | 北川瀝青工業(株)福井出張所 | 福井(23)8847 |
| | (株)小島工務店 | 高岡(23)2463 |
| 中国・四国 | 青盛建材株式会社 | 広島(21)2281～7 |
| | 青盛建材(株)岡山営業所 | 岡山(23)8285～7 |
| | (有)小野基商店 | 岡山(25)4868 |
| | (株)浜原豊商店 | 尾道(22)2760・7812 |
| | (株)浜原豊商店防府営業所 | 防府(2)3611～2 |
| | 古市断熱工業株式会社 | 高松(61)5034 |
| | 正和商事株式会社 | 松山(21)8161～5 |
| 九州 | 青盛建材(株)福岡営業所 | 福岡(28)5566～8 |
| | 高稲工業株式会社 | 長崎(4)1726・1098 |
| | 高稲工業(株)北九州営業所 | 小倉(53)6337～9 |
| | 高稲工業(株)熊本出張所 | 熊本(52)1029・9464 |
| | 高稲工業(株)大分出張所 | 大分(2)3877 |
| | 石素産業株式会社 | 福岡(53)5761～2 |

建設省東計65号認可 **東日本アスファルト事業協同組合**
建設省阪建22号認可 **西日本アスファルト事業協同組合**


東　京・千代田区岩本町３の11の13田島応用内　ＴＥＬ代表(866)6101
大　阪・大阪市西区京町堀１の７４　ＴＥＬ代表(441)5951
札　幌・ＴＥＬ(22)６０３８　福　岡・ＴＥＬ(28)２８０７
仙　台・ＴＥＬ(22)６４１３　広　島・ＴＥＬ(21)２２８１
名古屋・ＴＥＬ(571)６３６１　岡　山・ＴＥＬ(24)２６９２

# ここにも生きている
# ビニロイド防水



屋根と室内にビニロイド防水を施工した霞ヶ関ビル

どんな地域でも　どんな構造の建物をつくっても完全な防水ができたら――それを実用化してすでに 250万 $m^2$ の施工実績を示しているのが **〈ビニロイド2号〉** です

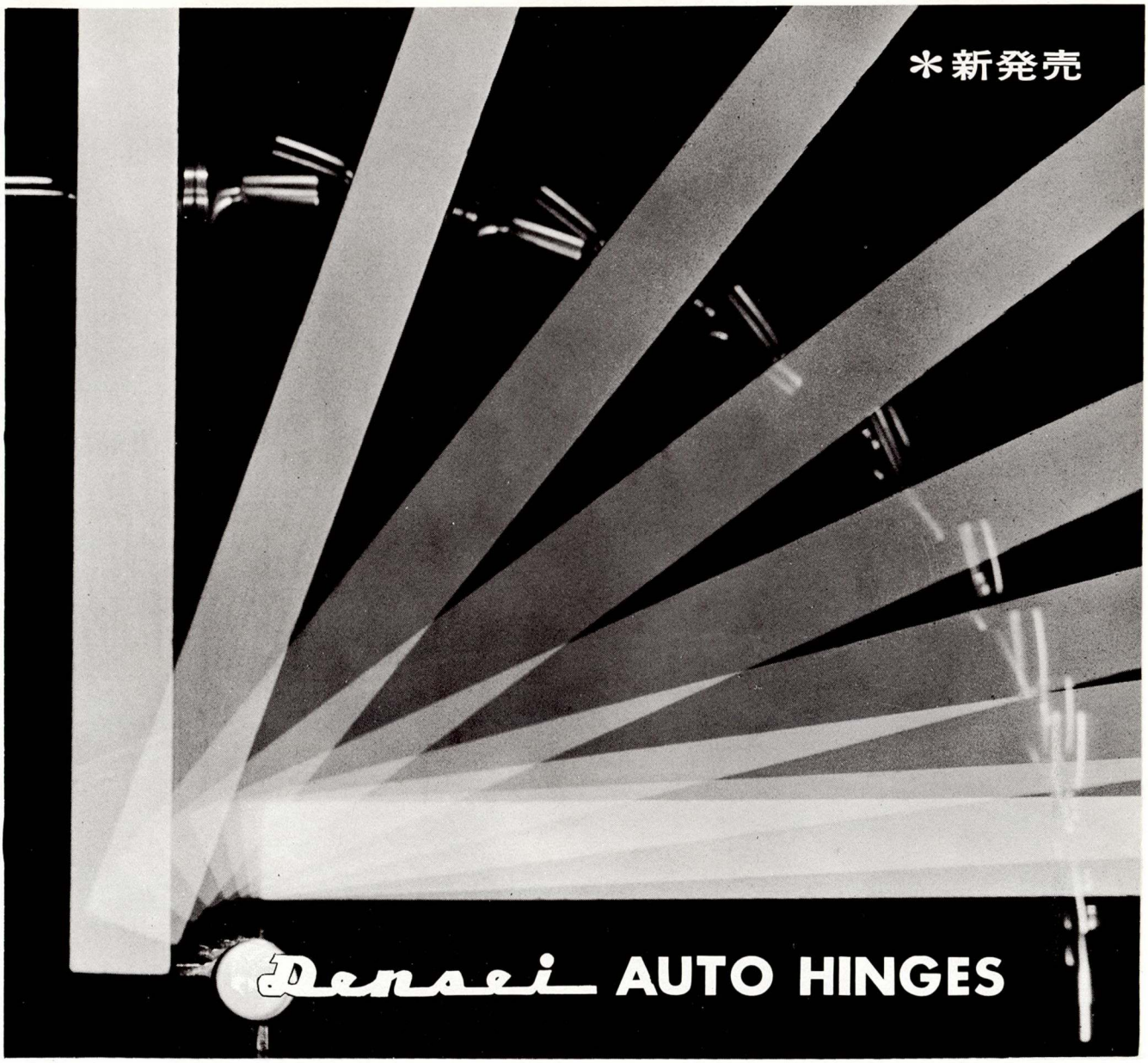
防水下地にキレツができても破れず　寒冷地の冬にも丈夫で　どんな場所に使っても腐りません　それは弊社が合成繊維による不織布の独特な方法で加工した　技術の成果です　霞ヶ関ビルにも **ビニロイド2号** による防水工事をご採用いただきました

**営業品目**

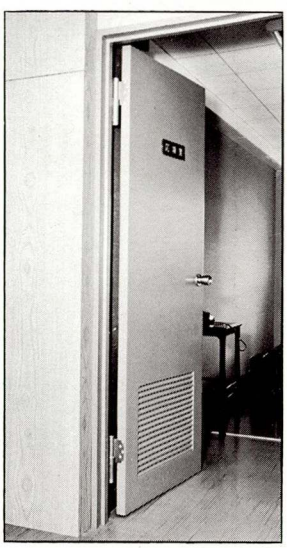
●ビニロイド防水工事　●アスファルト防水工事
●三星ソフトンタイル貼工事　●保温・保冷工事
●三星プラスオール　●三星コーキン販売・工事
●シポレックス工事


**三星産業株式会社**

東京都千代田区岩本町3－11－13
TEL〈866〉0271～6・6121～9
出張所／札幌〈72〉6031　仙台〈21〉5366－7　名古屋〈941〉3751
〈971〉4574　大阪〈443〉9721－3　福岡〈76〉2076〈75〉0298




# デンセイ オートヒンジ《丁番型》



## ■特　長

1. 丁番がドアークローザーを兼ねていますので、外観は目立たず、そのシンプルなデザインは扉に良くマッチします。
2. 画期的なダブルスプリング切換機構(クラッチ)により、充分な閉扉力を具えております。
3. 内蔵されたストップ装置により、扉は85°～90°の間でストップします。
4. 閉扉速度のコントロールは円滑で、速度調整はどなたにも簡単にできます。
5. ドアーチェックを使用することが困難な特殊な扉にも使用できます。
6. 機構的に摩擦面が少く無理がありませんので、耐久力に優れ、20万回以上に及ぶ耐久テストでもこれが実証されています。

発売元　日恵機材株式会社
東京都千代田区丸ノ内2～2（丸ビル459区）
電話　東京(201)３３３３(211)０００５
大阪出張所　大阪市東区高麗橋５～16(今井ビル)
電話　大阪(231)４６０８
製造元　日本電氣精器株式會社

お部屋のポイントは
床材から……
明るい配色…落ちついたムード
色種類……34色

マルエスの
ビニエス
タイル

合成ゴム系(ネオプレンゴム)
異形建物に最適
最終仕上材はハイパロン
色彩……21色

気候較差の著しい
所に最適
防水工事をプレハ
ブ化　新材料
(合成ゴム系コンパ
ウンドにて加工)

マルエス
日新

NS
塗膜防水工法

メルタン
ルーフィング

●カタログ
お入用の方は御一報下さい

マルエス ルーフィング製造元
**日新工業株式会社**

**大阪支店** / 大阪市西区新町北通１―18　ＴＥＬ(531) ５２８１～３
**本　　社** / 東京都足立区千住東町９３　ＴＥＬ(882) ２４２４～34
**出 張 所** / 名古屋（741）６２５７～８・広島（21）１０１９・６０６１
福　岡（74）３４６１～３・札幌（51）６８８５・５６５

完全責任施工 | 年限保証

BK

# 日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法(特許出願中)
■メルタン防水工法

■全国に配置された組合員の強力な連繋と技術で完全な施工工事をお引受けいたします。

| 地区別 | 会社名 | 代表者 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 日本スレート株式会社 | 滝山米太郎 | 札幌市三条通4－1 | (22)3458・4426(23)8016 |
| | 日新建工株式会社札幌出張所 | 大木　久俊 | 〃　南大通り西13丁目 | (22)5015 |
| 東北地区 | 日新建工株式会社仙台出張所 | 滝沢　慶則 | 仙台市二日町1－2 | (25)5431代 |
| 関東地区 | 伊藤建材株式会社 | 伊藤　豊吉 | 東京都台東区西浅草2－15－9 | (842)1431代 |
| | 北条瀝青工業株式会社 | 北条　弘太 | 〃　中央区湊町3－7 | (551)2676・4382 |
| | 有限会社金岡興業 | 金岡辰次郎 | 〃　新宿区柏木5－1172 | (363)4341代 |
| | 瀝青建材株式会社 | 山中喜代治 | 〃　千代田区神田佐久間河岸51号 | (866)2892・7687 |
| | 日新建工株式会社 | 山下　直衛 | 〃　荒川区南千住6－48－19 | (803)2411 |
| | 日本綜合防水株式会社 | 山崎　慎二 | 〃　千代田区神田猿楽町1－9 | (292)2661代 |
| | マサル瀝青工業株式会社 | 西田　勝治 | 〃　台東区北上野2－21－10 | (842)6311代 |
| | 藤井工業株式会社 | 藤井　喜昌 | 〃　文京区千石4－37－4 | (941)0271・2582 |
| | 富士工材株式会社 | 小島　英夫 | 〃　江東区深川住吉町1－14 | (634)0161代 |
| | 鶴田工業株式会社 | 鶴田　武 | 〃　千代田区富士見町1－6－13 | (263)4861代 |
| | 木下工業株式会社 | 木下　一 | 〃　墨田区江東橋4－11東亜ビル | (634)0821代 |
| | 野口工材株式会社 | 坂田　正博 | 〃　渋谷区広尾1－14－3 | (441)3751 (444)0405 |
| | 大和工業株式会社 | 楡井　喜重 | 〃　荒川区南千住5－5－10 | (802)4751代 |
| | 協立工業株式会社 | 関谷　克巳 | 〃　大田区南蒲田1－14－2 | (731)0358 (738)3401 |
| | 株式会社奈良屋商店 | 市橋　祐造 | 水戸市泉町1－6－26 | (3)0171～6 |
| | 石田建材工業株式会社 | 石田　想吉 | 高崎市八島町117 | (2)3301～2 |
| | 同和建業株式会社 | 徳永　昭二 | 新潟市流作場宮浦1－1711 | (45)2251代 |
| 北陸地区 | 島屋建設株式会社 | 島　勝人 | 金沢市此花町5－7 | (21) 0085 (31)6420 |
| | 有限会社折橋政次郎商店 | 折橋彌一郎 | 富山県高岡市二番丁 | (2)0999 |
| | 有限会社小島工業所 | 小島　一公 | 〃　〃　志貴野町25 | (3)0391 |
| | 大和工業株式会社富山営業所 | 島田　真一 | 富山市堀川小泉町776 | (31)4385 |
| 東海地区 | 株式会社三井工業所 | 三井　辰雄 | 静岡市大和町1－20 | (85)9151～3 |
| | 協和建材工業株式会社 | 渡辺　亘 | 清水市渋川520 | (2)2221代 |
| | 中央建材工業株式会社 | 木下　作二 | 名古屋市中区南久屋町3－12 | (251)3541 |
| | 日本建材鋼業株式会社 | 伊藤　隆造 | 〃　西区南押切町5－12 | (571)5541～4 |
| | 宮崎建材店 | 宮崎　勇 | 〃　中区伊勢山町100 | (331)1531代 |
| | 東京建材工業株式会社 | 伊藤　鎮善 | 〃　中村区稲上町1－41 | (461)9363 (481)5621 |
| 近畿地区 | 日新工材株式会社 | 井場　績 | 大阪市西区新町北通1－17 | (541)3785～6 |
| | マルエス工業株式会社 | 山崎　達夫 | 〃　福島区上福島南1－152 | (458)4841～3 |
| | 清水興業株式会社 | 清水　実 | 〃　北区鶴野町34 | (372)0251～3 |
| | マサル瀝青工業株式会社大阪営業所 | 勝見　勲 | 尼崎市水堂加茂64 | (429)7355 |
| | 中村瀝青工業株式会社 | 中村秋太郎 | 神戸市生田区北長狭通6丁目神繊共栄ビル | (34)5884・5658 |
| | 棚田建材有限会社 | 棚田　英吉 | 〃　葺合区上筒井通8－221 | (22)9182代 |
| | フタバ興業株式会社 | 友長　保男 | 大阪市福島区上福島北4－49 | (458)7431～3 |
| | 石橋建材株式会社 | 石橋　節雄 | 福井市宝永9－13 | (3)0775 |
| 中国地区 | 豊永建材株式会社 | 木村　豊 | 広島市若草町1065 | (61)6371～4 |
| | 大和工業株式会社広島出張所 | 神垣　信一 | 〃　庚午南町1－2－28 | (71)4687 |
| | 株式会社三洋技建 | 谷岡　馨 | 広島県大竹市立戸4－1－47 | (2)5155～7 |
| | 東中国防水工業有限会社 | 馬場　久 | 岡山市磨屋町7－18 | (23)1181代 |
| 四国地区 | 株式会社山本商会 | 山本　進 | 松山市三番町7－8－1山本ビル | (31)6261～3 |
| | 大三工業株式会社 | 飯間　浅吉 | 高松市本町2－17 | (51)6811～5 |
| | 高知瀝青株式会社 | 横井　良一 | 高知市塩屋崎町2－20 | (5)9258～9 |
| | 徳島大三工業株式会社 | 柴田　秋男 | 徳島市矢三町東野181－1 | (4)4161 |
| | マルマス河野商店 | | 今治市寺町56 | (2)5000～2 |
| 九州地区 | 日新興業株式会社 | 河野　考義 | 延岡市本小路74 | 4305・4306 |
| | 株式会社工材社 | 竹村　藤一 | 北九州市門司区大里東通10丁目 | (38)1468～9 |
| | 株式会社大二商会 | 戸高　藤雄 | 宮崎市知和川原365 | (2)5001 |
| | 株式会社北原建材商会 | 北原　正 | 鹿児島市草牟田町3980 | (3)9395 |
| | 安藤工事株式会社 | 川勝　正之 | 福岡市大博町8－5 | (28)5207～9 |
| | 日建工材株式会社 | 進藤　博一 | 〃　大手門2－8－6 | (75)7752 |

■建設省東計第240号認可

## 日本アスファルト防水工業協同組合

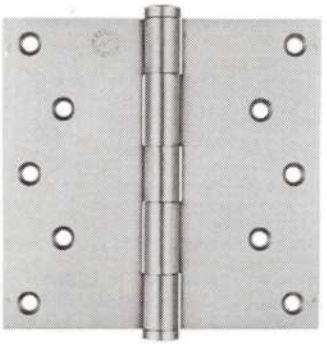
東京都足立区千住東町93　日新工業株式会社内　電話（882）2424(代)
関東支部　東京都足立区千住東町93　日新工業株式会社内　電話（882）2424(代)
関西支部　大阪市西区新町北通1－18日新工業株式会社大阪支店内　電話(531)5281～3
九州支部　福岡市大手門1－6　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）3461

# Art の製品には……

●ドアーを大切にしハウスキーパーの役目をはたす

# アート ST-84（18－8ステンレス） ドアーヒンジ

RAシステム



●仕上はサテン仕上です
●ＲＡシステム(90°抜け芯装置付）です
●高精度を誇り、耐蝕性・耐熱性にすぐれ錆びたり変色したりする事はありません
●18－8ステンレス、木ネジ付きです

| 寸法(㎜) 全長 | 寸法(㎜) 横巾 | 板厚 (㎜) | 木ネジ穴の数 | 木ネジの太さ及び長さ φ ㎜ | 梱包数量 (枚) |
|---|---|---|---|---|---|
| 89 | 89 | 2.5 | 6 | 4.1×25 | 100 |
| 102 | 102 | 2.8 | 8 | 4.1×25 | 100 |
| 127 | 102 | 3.0 | 10 | 4.5×32 | 60 |
| 127 | 127 | 3.0 | 10 | 4.5×32 | 60 |

包装・２枚木ネジ付紙函入

●丁番の取付けが簡単、作業能率の向上！

## 木ネジの革命 スパイラー



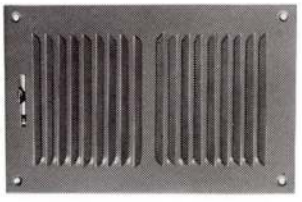
●錐でガイド(下穴)を設ける必要がない。
●全ネジ式ですから密着が良く振動のために抜けてくるようなことはない。
●釘状の部分で木部へ安定した嵌合が出来るのでドライバーの**横滑り**がなく製品を傷めずに固定出来る。
●**表面硬化**をしてあるためにネジ山の破損が少なく**反復作用**によく耐えます。
※〝アート〟のヒンジの中級品以上（ＤＲ-844. ＮＲ-64. ＳＴ-84. ＳＴ-ＳＬ-84-1）には**スパイラー**が附属されています。

●最新型ウォールレジスターセット

## EWレジスター ●米国ＦＨＡ規格品

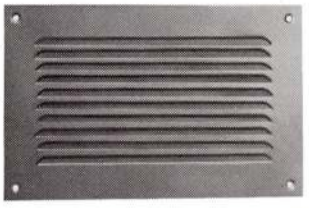
●自然換気により室内の空気はいつも爽やか。
●室内冷暖房の保温調節が容易。
●シャッター120°迄自在調節止め付。
●錆の発生、変色がなく湿度の高い所、バスルーム等にも安心して使用出来る。
●スッキリとしたデザイン中間色の落ちついた色調。
●風雨の晒す場所でも雨の吹込む心配がない。
●ソフトシートにて取付けの際のガタつきがなく、完全密着取付け施工が出来る。

レジスター No.55－R



| 取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦 | 横 | 表面板寸法(㎜) 縦 | 横 |
|---|---|---|---|
| 150（6″） | 260（10″） | 195 | 295 |
| 150（6″） | 310（12″） | 195 | 345 |
| 150（6″） | 360（14″） | 195 | 395 |

グリル No.55－G 防虫網付



| 取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦 | 横 | 表面板寸法(㎜) 縦 | 横 |
|---|---|---|---|
| 150（6″） | 260（10″） | 195 | 295 |
| 150（6″） | 310（12″） | 195 | 345 |
| 150（6″） | 360（14″） | 195 | 395 |

※鉄筋住宅のお部屋の換気、冷暖房装置の通風口には理想的な吸入、排気のレジスター、グリルをセットして使用ください。


Art ●JIS規格表示許可工場 住宅公団・建設省指定メーカー
永和工業株式会社

本　社　大阪市生野区巽矢柄町１２８　TEL 大阪(751)1271～5
工　場　東大阪市布市町５０　TEL 枚岡(81)５５６６
東　京　東京都中央区日本橋本町4－4　TEL 東京(663)６７４８
営業所　（クラウンビル内）



熊本県庁舎　外装セラスキン施工

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

# セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

# セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

# セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

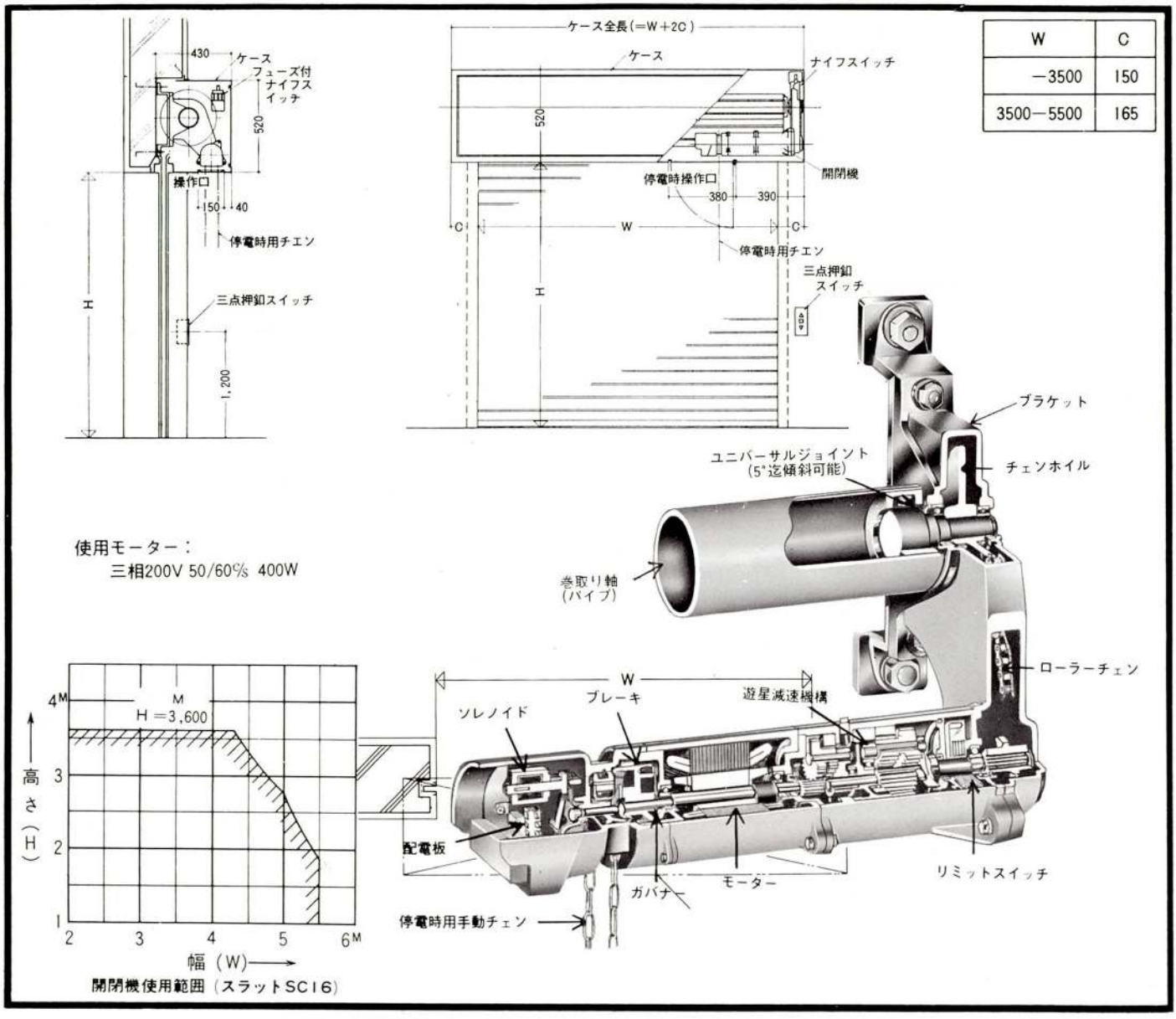
**特　徴**

- ●色　彩　高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
- ●防 水 性　通気性、防水皮膜を形成します。
- ●耐薬品性　弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
- ●耐 寒 性　－20℃に４時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
- ●下　地　コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc.
  鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。


**山本窯業化工株式会社**

本社・工場／大阪府摂津市別府３６５　TEL大阪(381)9131～5
東京出張所／東京都港区西新橋２－２１－６　TEL東京(431)7106～7
瀬戸工場／愛知県瀬戸市大字山口字南山１３８

# 日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!




| W | C |
|---|---|
| −3500 | 150 |
| 3500−5500 | 165 |

開閉機使用範囲(スラットSC16)

# L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　実用新案　巻取り軸との連結機構
ガバナー機構　およびL型機構
手動機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

## ●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。


株式会社 日本シャッター製作所

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(代)(301) 3656
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361) 7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

## ◀定時評議員会決議お知らせ

昭和43年3月28日開催の定時評議員会におきまして，下記のとおりそれぞれ承認決議されましたので，会告申し上げます。（通常総会と重複分を除く）

**1. 議長，副議長の選任**

評議員の互選により下記のとおり決定いたしました。

議長　谷口尚武氏（KK大林組常務取締役）
副議長　星広文氏（平和建設KK常務取締役）

**2. 役員の選任**

会長，副会長2名，理事13名，補選理事2名がそれぞれ下記のとおり選任されました。

| 新任（○印重任） | 留任（○印補選） |
|---|---|
| 会長 | |
| ○東畑謙三氏（KK東畑建築事務所長） | |
| 副会長 | |
| ○塚本猛次氏（日建設計工務KK社長） | 銭高輝之氏（KK銭高組社長） |
| ○鷲尾健三氏（大阪大学工学部教授） | |
| 理事（技術） | |
| ○岡橋作太郎氏（日建設計工務KK副社長） | ○石崎滉雄氏（京都大学防災研教授） |
| ○佐野正一氏（KK安井建築設計事務所長） | 中原茂氏（安宅エンヂニヤリングKK建築部長） |
| ○後藤典夫氏（大阪府建築部長） | 橋本忠保氏（日本住宅公団大阪支所工事監督部長） |
| 足立孝氏（大阪大学工学部教授） | 堀内三郎氏（京都大学工学部教授） |
| 越田正勝氏（大阪市建築局建築部長） | 政岡基次氏（政岡土地KK社長） |
| 理事（総合） | |
| ○浅沼猪之吉氏（KK浅沼組社長） | 大林芳郎氏（KK大林組社長） |
| ○鴻池藤一氏（KK鴻池組社長） | 白井周二氏（清水建設KK大阪支店長） |
| ○松村雄吉氏（KK松村組社長） | 竹中錬一氏（KK竹中工務店社長） |
| | ○松森英雄氏（大阪建設業協会常務理事） |
| 理事（電気） | |
| 浅海正雄氏（浅海電気KK社長） | 佐藤太氏（近畿電気工事KK相談役） |
| 西村庄市氏（工藤電気KK社長） | |
| 理事（管工） | |
| 須賀栄一氏（須賀工業KK常務取締役） | 尾亀清四郎氏（KK三晃商会会長） |
| | 南長吉氏（斉久工業KK大阪支店長） |
| 理事（建材） | |
| ○田中政二氏（大島応用化学工業KK社長） | 横田喜一郎氏（KK工英社社長） |
| 野田武雄氏（三機工業KK大阪支店支店長代理） | |
| 理事（京都支部） | |
| | 芳山保蔵氏 |
| 理事（兵庫支部） | |
| | 中川文雄氏（置塩建築事務所設計部長） |
| 監事 | |
| 高橋慶夫氏（KK大阪建築事務所長） | 五十嵐芳雄氏（KK大林組副社長） |
| 常務理事 | |
| | 福中定三郎氏（日本建築協会事務局長） |

**3. 細則の一部改正**

第10条，第14条，第15条がそれぞれ下記のとおり改正されました。

改正　（太字改正部分）

第10条　会費は次のとおりとし，これを年3回以内に分納することができる。

1. 正会員定款第9条第1号による者（個人会員）年額 金2,400円
   但し遠隔の地でかつ支部のない地方の正会員　年額 金1,800円
   定款第9条第2号による者（団体会員）**1口につき**
   年額 金4,000円
2. 準会員　年額金12,000円
   事業年度の中途で入会または転格した者の会費は月割計算とする。会員に特別の事情が生じたときは，理事会の議決によってその期間中の会費の減免，またはその他の措置をすることができる。

第14条　理事は互選によって次の如く分ち，会務を分掌する。

総務　（13名）事業並びに会務一般
会計　（5名）会計
編集　（10名）雑誌その他の編集，出版

第15条　本会の事務を処理するため事務局を置く。

事務局に局長1名を置き，常務理事を以てこれに充て，事務局を統轄せしめる。事務局には**課長**及び職員若干名を置く，その任免並びに事務局長以下の給与は理事会でこれを定める。

改正理由

1. 第10条は団体会費について疑問がおこりやすいので年額の上に「1口につき」を加え疑問をなくしたいため。
2. 第14条は主記，主計の名称は一般には見られないので，これを「総務」「会計」に改称したいため。
3. 第15条は書記長制度は各種団体（政党，労組関係は別）には見られないのでこれを削り，対外的の関係もあり課長制度を設けたいため。

**4. 昭和43年度収支予算の承認**

別記参照　〔以上〕

## ◀工事請負契約約款説明会開催

共催　近畿6府県建設業協会，日本建築家協会関西支部
近畿建築士会協議会，日本建築学会近畿支部
日本建築材料協会，大阪建築設計協会
日本建築協会

**趣旨**

大正12年に日本建築学会，日本建築協会，日本建築家協会ならびに全国建設業協会の4会が民間工事対象の協定約款を公表し，その普及を計ってきたが，先年官庁工事請負契約約款の改訂をみて，それに呼応して本請負契約約款も数次の改訂を行ない，さらに現状にかんがみ正しい運用に資するため，懇切な解説書を作成し近く上梓をみるに至りました。これを機会に設計監理者ならびに工事請負業者を主な対象として，公正な工事請負契約の樹立をはかるため，下記により説明会を開催することになりました。

**1. 期日，会場，定員**

期日　昭和43年6月14日（金）午後1時半～4時
会場　関電ホール（大阪市北区中之島3の4）
定員　500名

**1. 講師**

「工事請負契約約款」連合委員会幹事
建設工業経営研究会専務理事　益田重華氏

**1. 会費**（テキスト代を含む）

共催団体会費　700円　左記以外の方　1,000円

**1. 申込方法**

6月5日までに会費を添えてお申込みください。受付と同時に領収書及び聴講券をお渡しします。
定員に達すれば期限前でも締切ることがあります。

**1. 申込場所**

大阪建設業協会，日本建築家協会関西支部，大阪府建築士会，日本建築材料協会，日本建築学会近畿支部，大阪建築設計協会
日本建築協会

なお，上記説明会は下記都市においても開催されます。

| 開催地 | 会期 | 会場 | 定員 | 聴講申込場所 |
|---|---|---|---|---|
| 東京 | 6月11日(火)<br>午後2時<br>～5時 | 社会事業会館<br>久保講堂<br>東京都千代田区3年町1 | 名<br>1,000 | 日本建築学会関東支部<br>東京都中央区銀座西3－1 |
| 名古屋 | 6月13日(木)<br>午後1時<br>～4時半 | 愛知県農林会館<br>名古屋市中区錦3-3-8 | 500 | 日本建築学会東海支部<br>名古屋市中区武平町1－12<br>東海建築文化センター内 |
| 福岡 | 6月17日(月)<br>午後1時<br>～4時 | 電気ホール<br>福岡市渡辺通1 | 1,000 | 福岡県建設業協会<br>福岡市天神1－3－13 |

## ◀ 日本建築協会昭和43年度収支予算 ——去る3月28日開催の定時評議員会において承認されました。——

### 一 般 勘 定

収 入 の 部

| 科目 | 費目 | 金額 |
|---|---|---|
| 会費収入 | 正会員 | 9,840,000円 |
| | 団体会員 | 6,400,000 |
| | 地方会員 | 540,000 |
| | 准会員 | 420,000 |
| | 計 | 17,200,000 |
| 事業収入 | 雑誌収入 | 15,884,000 |
| | 講演講習会収入 | 2,085,000 |
| | 集会収入 | 1,825,000 |
| | 契約々款売上収入 | 1,000,000 |
| | 図書出版収入 | 13,561,000 |
| | データシート収入 | 12,600,000 |
| | 会員名簿収入 | 4,750,000 |
| | 住宅相談所収入 | 3,700,000 |
| | 雑 | 1,035,000 |
| | 計 | 56,440,000 |
| 雑収入 | 雑収入 | 30,000 |
| | 計 | 30,000 |
| 合計 | | 73,670,000 |

支 出 の 部

| 科目 | 費目 | 金額 |
|---|---|---|
| 事業費 | 雑誌費 | 17,430,000円 |
| | 講演講習会費 | 1,770,000 |
| | 集会費 | 2,070,000 |
| | 図書出版費 | 11,250,000 |
| | データーシート出版費 | 12,480,000 |
| | 会員名簿発行費 | 4,450,000 |
| | 調査費 | 200,000 |
| | 住宅相談所費 | 3,500,000 |
| | 雑 | 1,500,000 |
| | 計 | 54,650,000 |
| 会議費 | 総会評議員会費 | 200,000 |
| | 理事会費 | 80,000 |
| | 部会費 | 50,000 |
| | 常設委員会費 | 420,000円 |
| | 特別委員会費 | 50,000 |
| | 計 | 800,000 |
| 支部費 | 支部交付金 | 488,000 |
| | 支部補助金 | 100,000 |
| | 計 | 588,000 |
| 事務費 | 電話料 | 360,000 |
| | 通信費 | 12,000 |
| | 旅費交通費 | 480,000 |
| | 集金費 | 910,000 |
| | 印刷物費 | 240,000 |
| | 文房具費 | 120,000 |
| | 雑費 | 240,000 |
| | 計 | 2,362,000 |
| 給与 | 給料 | 7,672,000 |
| | 超勤手当 | 300,000 |
| | 賞与 | 2,488,000 |
| | 計 | 10,460,000 |
| 厚生費 | 健康保険料 | 300,000 |
| | 厚生年金保険料 | 180,000 |
| | 失業保険料 | 84,000 |
| | 労災保険料 | 25,000 |
| | 職員福利費 | 240,000 |
| | 計 | 829,000 |
| 賦課金 | 賦課金 | 35,000 |
| | 計 | 35,000 |
| 会館勘定繰入金 | 会館勘定繰入金 | 1,700,000 |
| | 計 | 1,700,000 |
| 退職金引当金 | 退職金引当金 | 800,000 |
| | 計 | 800,000 |
| 償却金 | 什器償却金 | 31,000 |
| | 計 | 31,000 |
| 予備費 | 予備費 | 1,415,000 |
| | 計 | 1,415,000 |
| 合計 | | 73,670,000 |

### 会 館 特 別 勘 定

| 科目 | 費目 | 金額 |
|---|---|---|
| **収入の部** | | |
| 繰入金 | 第2繰入金 | 1,700,000円 |
| 貸室料 | 貸室料 | 1,440,000 |
| 雑収入 | 雑収入 | 20,000 |
| 合計 | | 3,160,000 |
| **支出の部** | | |
| 支払利息 | 借入金利子 | 265,000 |
| 経費 | 電気料 | 135,000 |
| | 瓦斯料 | 156,000 |
| | 水道料 | 12,000 |
| | 借地料 | 725,000 |
| | 火災保険料 | 16,000 |
| | 公課 | 180,000 |
| | 什器購入費 | 150,000 |
| | 修理費 | 200,000 |
| | 給与 | 330,000 |
| | 雑費 | 240,000 |
| | 計 | 2,144,000 |
| 償却金 | 建物償却金 | 587,000 |
| | 什器償却金 | 90,000 |
| | 計 | 677,000 |
| 合計 | | 3,086,000 |
| 差引剰余金 | | 74,000 |

## ◀ 近畿建築会館建設資金借入金の一部償還当選お知らせ

先年会館設置に際し，建設資金として借用いたしましたものに就て，これが一部償還の抽せんを3月28日の定時評議員会前同席上において執り行ないましたところ，下記のとおり償還が決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。尚償還金のお支払は6月1日より行ないます。

記

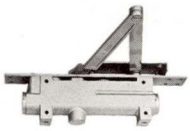
| | |
|---|---|
| 日本クロス工業KK殿 | 20,000円 |
| ペンギン艶出KK殿 | 150,000円 |
| 梅本石油KK殿 | 30,000円 |
| 三友工業KK大阪営業所殿 | 50,000円 |
| KK小坂井組殿 | 20,000円 |
| 近畿電気工事KK殿 | 100,000円 |
| KK汎建製作所殿 | 30,000円 |
| KK西田工務店殿 | 20,000円 |
| KK河野組殿 | 10,000円 |
| 朝日瀝青KK大阪支店殿 | 50,000円 |
| 松尾橋梁KK殿 | 20,000円 |
| 計 | 500,000円 |

## ◀鉄骨構造設計講習会

日本建築協会東海支部では，標記講習会を来る5月11日，東海建築文化センターにおいて開催する。また5月23日には，松山市でも開催予定。

NEW★STAR

# NEW★STAR



ドアチェック 60シリーズ



ドアチェック 70シリーズ



ドアチェック 80シリーズ



フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピポットヒンジ
ドアハンドル

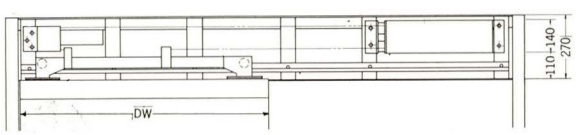


## 品質・性能ともに定評ある

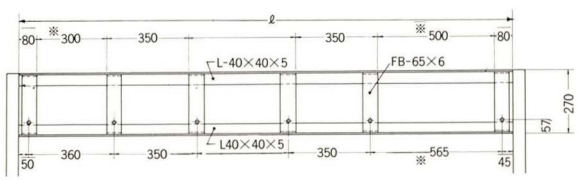
●スイング式・スライド式

# ニュースタードアオペレータ

片引き戸内観図



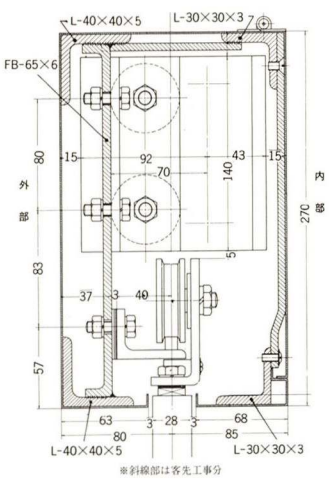

エンジン及ドア関係要領




レール取付板例図

※印寸法は守って下さい。
※印寸法NSL-4の場合は$\frac{535}{600}$に変更されます。

上枠断面懸吊要領




※斜線部は客先工事分

■ニュースタースライド式ドアオペレーターの特徴

●油圧の長所と電気式の利点とを組合せた新製品です。●油圧装置がついているために閉る速度が「ゆるく」「なめらか」です。●バルブの調整で閉る速度が自由に変えられます。●閉る手前で一旦止って、その后ゆるく閉ります。●停電の場合、すぐに手で軽く開閉が出来ます。●価格が安く、別途工事がほとんどない。●取付工事、保守が非常に簡単です。

生産高日本一


日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(06)(758)1251(代)
東京支店 東京都千代田区神田小川町2—12(信愛ビル) 電話(03)(293)4831～5
札幌出張所 札幌市月寒中央通り月寒314—1 電話(0122)(86)8255～6
仙台出張所 仙台市北6番丁18-7 電話(0222)(34)6049
名古屋出張所 名古屋市北区浪打町2—80—2 電話(052)(981)7531～3
広島出張所 広島県安佐郡佐東町緑井205 電話(08287)(7)1611
福岡出張所 福岡市天神4丁目4番24 電話(092)(74)2372・3312






《中西ビル》 外装 セルコートA 吹付

# 壁材の《光和建材》が 化学製品のトップメーカー **ダイセル**との 技術提携のもとに 研究開発した 天然砕石吹付材料

# セルコートA

### 現場での調合がいりません。

**セルコートA**は、天然砕石と特殊な合成樹脂(バインダー)を配合した「外装用吹付仕上材料」です。調合ずみの材料ですから、施工現場での調合作業がまったく必要なく、すぐに作業にかかれます。

### 各種の材料に適用できます。

**セルコートA**に配合した特殊な合成樹脂は、非常にすぐれた付着力をもっていますから、コンクリート、モルタル、石膏プラスター、ドロマイトプラスター、スレート、木材、合板、耐火ボードなど、各種の材質に塗装できます。

### 施工時間が短縮でき、経済的です。

従来、外装仕上げとしては、〝かき落とし〟や〝洗い出し〟などの施工方法がありますが、これらの方法は仕上げに長時間かかる欠点がありました。**セルコートA**は調合材料なので、現場ですぐに使用でき、そのうえ吹付け塗装ですから、施工時間が短かくてすみます。さらに、付着性のよい材料の吹付けですから、〝かき落とし〟や〝洗い出し〟にくらべて、材料が少量ですみます。

### 仕上りの美しさも研究成果の一つです

**セルコートA**を施工した仕上りは、天然石材、タイルなどを使用した壁面にくらべて、まさるとも劣らない、立体感のある効果が得られ、各方面で大好評をいただいています。

### 商品の容量と塗り面積は…

- **容量**…1缶18ℓ　石油缶入り
- **塗り面積**…1缶で10m²(約3坪)の吹付けができます。塗り面積は、配合された砕石により多少の差はありますが、2回吹付けで3.3m²(約1坪)に約10kgいります。

＊お問合わせ・ご用命をお待ちしています


**大阪　光和建材株式会社**

大阪市西成区玉出新町通4の15　(659)5101～5103


《光和建材》がおすすめする…
**新しい吹付・左官工事材料**

| | |
|---|---|
| 砕石コテ塗用樹脂…… | セルコートK |
| 樹　脂　壁…… | セルウォール |
| 防水工事用樹脂…… | セルタイト |
| モルタル打ちつぎ用樹脂… | プラスタイト |
| 樹脂吹付塗装材…… | プラスコート |

《ダイセル》との技術提携品

# 法令コーナー

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております。

## ◇ 火災による死傷事故の防止に関する通達について

### まえがき

最近，建築物の火災のさいに，多くの死傷事故が生じています。この死傷事故防止のために，建築基準法の防火，避難関係の規定の強力な施行と，法の運用に当って具体的に留意しなければならない点について，下記のような通達が出ました。

この通達の示す内容は，建築物の計画，設計，施工に際して，極めて主要な事項でありますので，ここに全文を掲載します。

### 通達 1

建設省住指発第53号　昭和43年3月8日

各特定行政庁宛　　建設省住宅局長

### 耐火建築物等における火災による死傷事故の防止について

標記については，かねがねその未然の防止を図るべく努力をわずらわせているところであるが，不特定多数の者，あるいは老幼弱者，病人等の使用，宿泊または居住の用途に供される建築物，ならびに高層部分または地下部分に居室を有する建築物および地下街については，最近の事例にかんがみ下記により消防用の施設，消防活動等の要素をも総合的に勘案して建築基準法の強力，かつ，適切な施行の確保を図られたい。さらに消防担当部局との密接な連繋を保持されるよう配慮されたい。

なお，下記のうち法令の改正により明確に規制すべき部分については，目下所要の改正をするよう検討中であるので申し添える。

記

一，建築基準法における防火および避難関係の規定の適用にあたっては，安全，かつ，円滑な避難の確保について第一義的に配慮し強力な施行を図るとともに，これと並行して建築物の利用者の特性による避難の実態に即した適切な行政指導に努めること。

二，最近の耐火建築物等における火災事例により煙による避難行動を阻害することがないよう避難経路となる廊下，階段等の機能の保持とその適切な配置に努めるとともに特に排煙を考慮した構造とすること。

また，建築物の各層ごとの水平区画の完備を図ること。

三，廊下，階段等の避難経路，防火区画，防火上主要な間仕切壁等の構造，室内に面する部分の仕上等については，適正な施工の確保を図るとともに極力，不燃化するようにすること。

四，使用開始後に不適法に改変されることのないよう適法な維持管理の徹底を図らしめること。

### 通達 2

建設省住指発第54号　昭和43年3月8日

各特定行政庁建築主務部長宛

建設省住宅局建築指導課長

### 耐火建築物等における火災による死傷事故の防止について

標記については，別途昭和43年3月8日付建設省住指発第53号により住宅局長から貴特定行政庁あて通達したところであるが，建築基準法（以下「法」という）および同法施行令（以下「令」という）の運用に関し，具体的に留意すべき事項は下記のとおりであるので，施行に遺憾のないようご配慮願いたい。

記

一，防火区画（令第112号）

防火区画の設置に関しては火災の拡大を抑止することのほか，煙の拡大または充満の防止の観点から有効な機能を保持させること。

また，従来防火区画の設置が形式に流れ，広範囲にシャッター形式の防火戸が設置されているが，避難上の利便，防煙機能等から必ずしも十分とはいえない場合もあり，個々の実態に即し，適宜，開き戸または引き戸形式による防火戸を設置させること。

令第112条 第12項 および第13項の規定については，配管，ダクト等の貫通部分およびその他の仕口部分の空隙が残存している事例もあるので，特に見えがくれ部分について空隙を完全に充てんする等十分な施工を行なわせること。

二，界壁，間仕切壁および隔壁（令第114条）

これらの界壁等には空隙を生じさせないよう十分な施工を行なわせること。

特に見えがくれ部分の施工については，防火区画における場合と同じく格別に留意させること。

三，直通階段（令第120条）

本条は避難上容易に利用できる階段の設置を図ることを目的に歩行距離を規定しているものであり，複雑な形状の廊下を経由するもの，廊下，ホール等以外の用途に供する部分を経由するもの等で，円滑な利用上支障のあるものは，本条の趣旨に沿わないものとして扱うこと。

また，直通階段の構造については，昇降にあたり避難の方向が明確に判断できるものとさせること。

四，二以上の直通階段の設置義務（令第121条）

本条はいわゆる二方向避難を確保することを目的としており，二以上の直通階段を一箇所に集中して設けるなど利用の実態上一のものの機能しか持たないとされるものは，本条の趣旨に沿わないものとして扱うこと。

五，避難階段および特別避難階段（令第122条および第123条）

本条においては，火災時にこれらの階段の内部が火災および煙から保護された空間を構成し，安全な避難行動を確保すべきことを目的として，これらの構造を規定しているものであるが，著しく広範囲にシャッター形式の防火戸を使用したものについては，火災時の閉鎖が確保し難く，また閉鎖後は以後の出入の便および防煙機能の何れについても適当でないほどの実状に照らして本条の趣旨に沿わないものとして扱うこと。

また，これらの階段の配置および構造を適正にすることにより，建築物各層の水平区画が有効に構成されるよう十分留意すること。

六，内装制限

法別表第一（い）欄（ニ）項に掲げる旅館等の用途に供する建築物のうち，耐火建築物であるものについては，法第35条の2および令第129条の規定に基ずく内装の制限が課されていないが，当面，これらの建築物についても，令第129条第1項に規定する内装とさせるよう指導を強化すること。

七，維持管理

廊下階段等の有効巾員の確保，防火戸の作動等，避難上の要件若しくは機能が有効に保持されていない事例もあるので，使用開始後の適正な維持管理の確保を図るため，法第12条第3項の規定を積極的に活用するほか，随時の現地指導を強化するものとし，これには適当な民間団体等の協力を求める等の措置も適宜講じること。

追記（省略）

### あとがき

この二つの通達は従来ややともすれば形式的に流れていた防火，避難関係の規定の適用について，法令の趣旨に基ずいて積極的な法令の運用を行わなければならないことを指示したものです。

ここで明らかにされた避難経路の整備，有効な防火区画等の完備，排煙機能の重視等はもちろんですが，さらに，標題の目的達成のためには，建築物の平面計画や形態についても防火，避難の観点からみなおして考える必要もあるのではないでしょうか。

ところで，この通達に基ずいて各特定行政庁では早急に行政指導が行なわれますが，具体的な問題については各建築行政担当課にお問い合わせください。

なお，通達の個々の内容については，追って詳しい説明をする予定でおります。

（大阪市建築局建築部審査課　**平塚哲朗**）

---

「都市再開発法案について」の続き(4)および法令相談」は紙面の都合上，次号に廻します。



# 日進式ボード下地天井
# 日進式遮音パーティション

軽量・強度・耐火・耐震・遮音・合理的施工法

天井・間仕切・アルミニウムのことなら 何でも ご相談下さい


## 株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町60　電話大　阪 (364)4131
福岡市住吉松月町293　電話福　岡 ( 29 )0459
東京都太田区南馬込4－1－18　電話東　京 (772)7856
名古屋市中村区志摩町4の7　電話名古屋 (551)3013

# 読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には規定の稿料を差上げます。

## □ 日本建築協会に技能部門の創設を望む □

「日本建築協会の発展とあり方について」の座談会記事を読んで驚いてしまった。当協会の発展のあり方は，技術，建設，電気，管工，建材の５つの部門に絞っていく方針との感じを受けたからである。政府でさえ，労務者の不足，建築技能者の不足対策として，職業訓練所を増設したり，高等学校に技能科を設けんとしたり，また技能者の社会的向上や認識を喚起するために，褒賞制度を設けたり，さらに技能院設置の意向さえあるのに，当協会には，建築界の指導・開発を目的にしている筈なのに，その片鱗さえみせておらないしまつである。昔から日本建築学会は勿論，当協会も建築技能者の開発，研究対策は全く手を触れてはおらない。現に建築事業に従事する人数からは，技能者は大部分を占めていることも事実である。技能者大工とか左官その他となるが，技能者の協会は技能者自身でやるべきものであることは，当然かも知れない。しかし，他の協力援助なしに技能の研究，開発，後継者の養成，その他の対策が果して完全に遂行できるであろうか。

それだから，側面からそれなどを援助し開発に助力してやることは，勿論，政府の事業かも知れないが，建築業界の特別な配慮を期待しても悪くはないことと信ずる。

当協会の会員の中に建築技能者がおらないからと言うなれば，新しい企画に，技能部門を入れて特別に開発され，技能者の会員獲得に努力されたい。同時に，建築技能者部門を建築業界の有力メンバーとして諸般の企画，研究，調査に参画させて，併せて，当協会の将来の発展を希望したいと思う。繰返し，技能部門の設置を希望する。（大阪市浪速区元町1の762　**鈴木忠五郎**）

## □ 日本の大阪を世界の大阪に □

先年私がヨーロッパ旅行の際，ローマで『ジャパン』といいますと『トウキョウ』と問返します。『ノー，オオサカ』といっても，ケゲンな顔をしている。日本に大阪ありということを全々知らないのです。同行のM氏が再三渡欧しているので，この話をしましたら，『大阪なんぞみんな知らへん』とのことに，これではいかんと思いました。戦前支那の上海や天津へ，商に行きますと，大阪市の地名の名刺を通じるだけで『タイパンチー』と歓迎してくれました。何だかオオサカといってもらうより『タイパンチー』と渦を入るような発音で，いわれる方が嬉しいように思いました。

それほど大阪商人は支那で羽振りがキイたのです。そんな経験もありましたので，私はウヌボレというか，過信というか，まったく意外でした。しかし振返ってみますと，英国ロンドン，フランス，パリ，スペイン，マドリッドと，私自身，常に外国の首都だけしか，頭に置いていない。日本といえば東京だけで，大阪を知らない外国人の多いことも，当然だと思いました。

ところで，こんど大阪で万国博が開催されることになりました。これは大阪に降って涌いた幸運だと思います。万国博こそ，日本の大阪を一躍，世界の産業都市大阪に飛躍さす絶好の機会だと思います。何としても成功さしたい，日本の栄誉とともに，日本に産業都市大阪ありと，名を成さしめたいのです。大阪の貿易関係の方々に，こんな話をしても通じないかも知れん『現に大阪の○○社と貿易しているではないか』と思われましょうが，私の話も真実です。

世界の津々浦々まで日本の大阪を，この偉大な大阪を，日本のために，大阪のために知り渡らしたいのです。万国博の成功を祈りて。

（安田レール株式会社会長　**安田誠一**）

## □ 建築労働者の斗い □

われわれ京建労は，全建総連傘下の組合の一つとして組織されてから，建築職人や労働者のくらしと健康を守る運動を熱心につづけてきました。とくに日雇健康保険を守るたたかいは，数次におよぶ制度廃止の危機を切りぬける中で激しさをまし，昨年，健康保険の抜本改悪構想が発表されるにおよんで，全国各地の仲間とともに，京都でも組織をあげて決起，大小の集会や議会請願や中央への代表派遣が年末をひかえながらも連日のように行なわれました。

厚生大臣の首のすげかえがあったりして，日雇健康保険だけは政府も手をつけることはできませんでした。仕事を守る斗いでも，建設業法の改悪に反対し，これが零細をおしつぶし大手建設業者の下に系列化しようとする「合理化」政策の建設産業版であることは，資本金や技術者（資格要件をみたす）必置などのきびしい規制の一例を見ただけでハッキリしているところから，「改悪粉砕」「父ちゃんの仕事を守れ」と，家族ぐるみの運動をやってきました。この斗いの特徴は，京都府もゆりうごかして，知事以下各部長全員も問題の本質を理解し「登録業者か否かよりも，まず信用できる技術や仕事をしているかという点で判断すべきだ」との発言となってあらわれ，府議会も一致して政府への意見書を採択することになった点です。

このほか税金斗争や技術向上の活動も教訓になる点はありますが，紙面の都合で省きます。

しかし，今また都市計画法，再開発法ならびに建築基準法の改悪が，私たちだけでなく都市勤労市民全体にかかわりのある大問題として，すでに建築労働者は斗いにたちあがり，その波紋は速やかにひろがっています。

都市問題を独占資本の都合のいいように解決する法律＝田中角栄氏の発言（42/12/31「読売」）にあらわれている『土地は公共のもの，土地の高度利用と無償とりあげ，これを保証する法改正』なるものは，最近ますます反動性をムキ出しにしている佐藤自民党内閣の本質をあらためて証明するものとして，みんな憤激しています。

（全京都建築労働組合・京都市右京区西院下花田町21-3　**Y**）

## □明治建築土木史年表・関西篇（その16）（明治11年８月15日～20日） □

明治

11年８月15日　東京築地で耶蘇教礼拝堂開場式。「其堂の高さは十五丈も有べく周堂には数百の紅燈に西洋飾を添」，とある。午后一般見物人に公開された。

〃　〃　〃　川村純義海軍卿。全国海針線を一週する事とし伊藤祐亨海軍少輔が，海軍卿事務代理を勤めることになった。

〃　〃　16日　長崎近況記事あり。「居留地にある洋人の家は百戸に満たず。其内身代限りにて明家に成しも見へたり。」「市街は隣村へ家続きにて人家凡三万一千戸。」湯屋は男女混浴だが立小便は警察がやかましいともある。

〃　〃　〃　静岡県大井川原で内国通運会社荷宰領人田中証三郎を傷つけ荷物の中の多額の金を強奪した遠州榛原郡大柳新田の三浦茂右衛門。終身懲役と賦金（罰金）一万五千九百円余の刑を受ける。

〃　〃　17日　鹿児島地方に私立学校建設中で，工事も略々落成とある。これは西南戦争後，子弟教育の為に，政府派の故大久保利通を始め，寺島宗則。黒田清隆。野津道貫。高島鞆之助等が醵金を送って建てさせたものという。

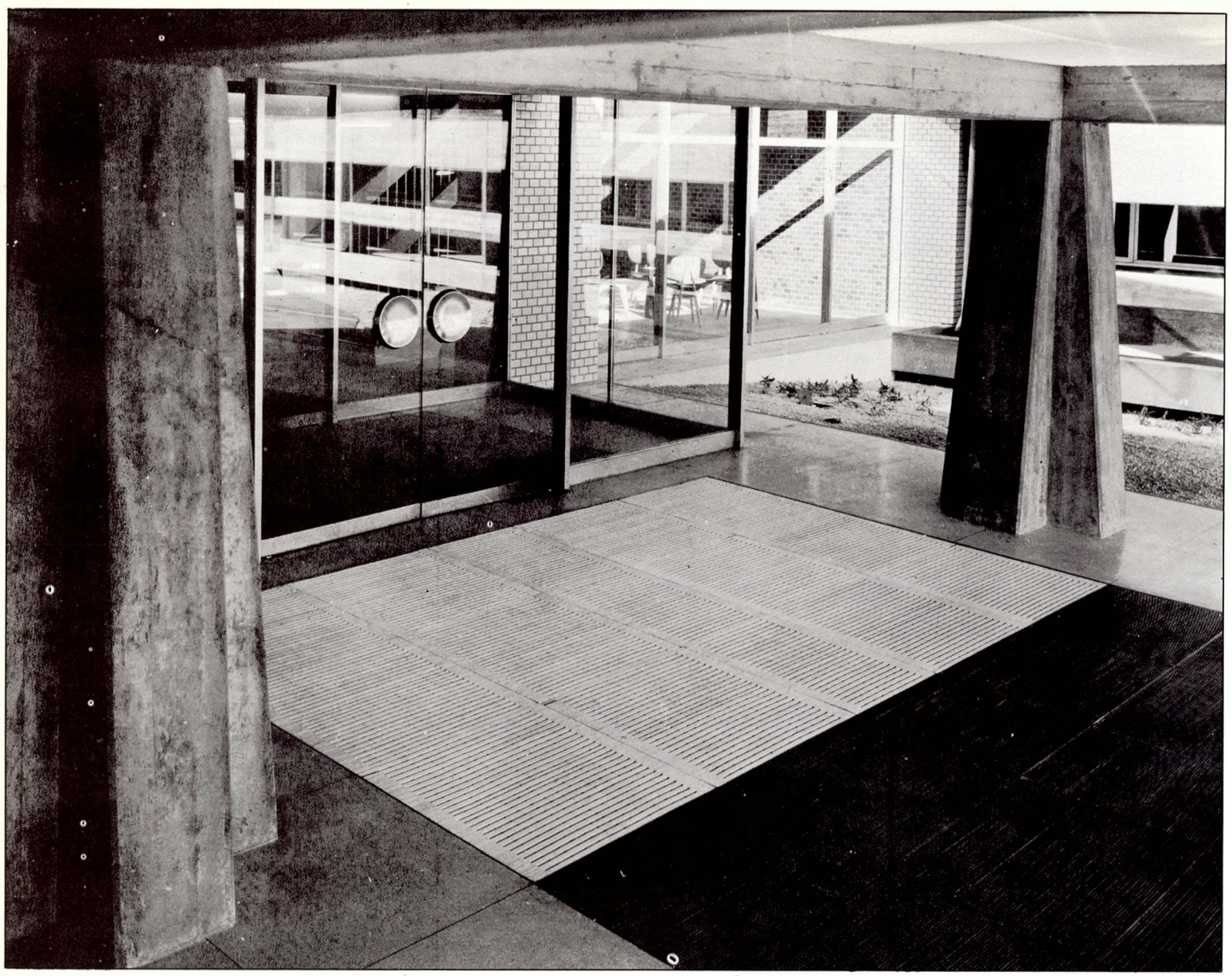
〃　〃　18日　大審院判事平川光伸。大阪裁判所長を命ぜらる。

〃　〃　〃　大蔵省国債局五等属平田辰他７名。社寺遁減禄調査の為，全国各地方へ派遣される。

〃　〃　〃　越後生れの人力車夫川崎虎吉は，福沢諭吉塾で学問を学ぶかたわら，日本橋数寄屋町の巻菱潭に書道を習っていると，各紙で評判になる。

〃　〃　20日　栗原稚松編輯「大日本輿地全図」（地図）版権免許。銅版摺り。定価１円。月末発兌（発売）

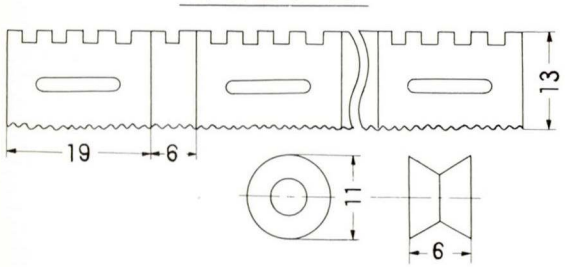
（東京都北区神谷２－22－13　**須藤欣二**）



各種玄関マット設計製作　ミヅシマ

# ストレートラインアット
（ビニール）

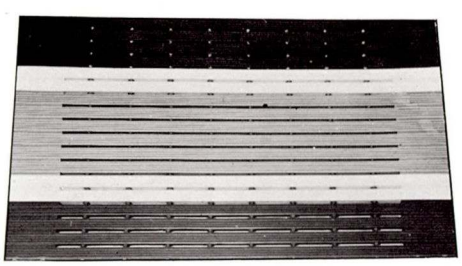
断面詳細図




ハイセンスを
しこう！

グッドデザインを
選ぼう

●PAT.NO.748401




おそうじ百貨
**ミヅシマ工業株式会社**

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　ＴＥＬ（531）3514・8246・9347
本社工場／京都市南区久世築山町 380の２　ＴＥＬ（92）６３６１～３

〈営業所〉
東　京／ＴＥＬ（666）4714（668）4873
名古屋／ＴＥＬ（731）5138・5396
京　都／ＴＥＬ（22）5363・0214
大　阪／ＴＥＬ（531）3514・8246
福　岡／ＴＥＬ（29）２７０６


ミヅシマ

# 建築と社会

# ニュース

ニュース原稿をお送りください。

## ■ 一級建築士試験制度の改正について

今度昭和43年3月13日付け建設省令第8号をもって，建築士法施行規則の一部が改正され，一級建築士試験の試験方法が本年実施される一級建築士試験から改められることになりました。

今回の改正は，最近の建築技術の著しい進歩発展に伴ない，さしあたり一級建築士に建築技術の平均的な総合能力を期待する必要があるとして行なわれたものです。改正に当っては建設省の付属機関である中央建築士審査会および建築審議会において慎重な審議が行なわれ，この問題について，昭和42年12月13日に建築審議会から建設大臣に答申が行なわれました。

改正はこの建築審議会の答申に基づいて行なわれておりますが，その内容のうち主な点は次のとおりです。

**1. 試験は学科と設計製図について行なわれます。**

一級建築士試験は，従来，建築設計製図，建築計画，建築構造，建築施工，建築法規の5科目について行なわれていましたが，これが学科と設計製図の2本建で行なわれることになります。

**2. 設計製図の試験は学科の試験の合格者に限り行なわれます。**

新しい制度では，最初に学科の試験が行なわれ，この試験に合格した人が設計製図の試験を受けることになります。したがって，学科の試験に不合格となった人は設計製図の試験は受けられません。すなわち，学科の試験が第一次試験，設計製図の試験が第二次試験という形になり，第一次試験の合格者だけが第二次試験を受けるということになります。設計製図の試験は学科の試験の2～3カ月後に行なわれることになるものと思われます。

**3. 学科の試験は，科目制をとらず一つのものとして行なわれます。**

学科の試験は，建築計画，環境工学，建築設備（設備機器の概要を含む），構造力学，建築一般構造，建築材料，建築施工，建築積算，建築法規等に関する必要な知識について行なわれることになっています。

ここにあげられた建築計画，環境工学等は学科の試験の内容を示したものであり，従来の試験科目ではありません。したがって，従前のように科目別の試験，合否判定は行なわれず，学科全体としての試験，合否判定が行なわれることになります。

**4. 学科の試験に合格した人には，次回の試験でその免除が行なわれます。**

学科の試験には合格したが設計製図の試験に不合格であった人については，次の1回の一級建築士試験に限り本人の申請により学科の試験は免除されます。

**5. 昭和42年以前に行なわれた一級建築士試験で合格点を得た科目を有し，昭和43年以後に行なわれる一級建築士試験で当該科目の免除を受けられる人には，尚4回従前の制度による一級建築士試験が行なわれます。**

昭和43年から一級建築士試験は新しい制度によって行なわれますが，昭和42年以前に行なわれた一級建築士試験で一部の科目に合格点を得た人で，昭和43年以後の一級建築士試験でその科目の試験の免除を受けられる人に対しては，昭和43年以降に従前の制度による一級建築士試験（以下，「旧試験」といいます）が4回行なわれます。

旧試験は試験の科目，科目別の合否判定，合格科目の免除などすべて従前と同様の方法で行なわれます。

**6. 旧試験を受験できるのは次にあげる人たちです。**

第1回旧試験では昭和39年以降に行なわれた旧試験で合格点を得た科目のある人
第2回旧試験では昭和40年　〃
第3回　〃　昭和41年　〃
第4回　〃　昭和42年　〃

なお，旧試験を受験できる人は，旧試験の代りに新制度の試験を受けることもできます。

**7. 本年以降に行なわれる旧試験で合格点を得た科目の試験の免除はその後に行なわれる旧試験においてのみ行なわれます。**

最終回の旧試験は実質的に合格か不合格のいずれかになります。

## ■ 建築基準法改正案の＜許可制＞に対する反対声明

建設省は2月12日＜建築基準法改正案要綱＞を発表，関係各省との折衝を進める一方，法制局において成文化を急ぎ，今国会に提案する意向と伝えられています。この建設省案は昨年12月＜建築審議会＞が行なった答申を全面的に採り入れたものと謳っていますが，次の点に関しては答申を全く無視し，その内容を故意に歪曲拡大解釈することによって，官僚統制の強化と権力の集中を図ったものであると断ぜざるを得ません。すなわち，現行基準法における＜確認制度＞を廃止して新たに＜許可制度＞を設け，＜建築主事＞を廃して＜地方公共団体の長＞に許可権を与えるというのがそれです。

たしかに＜建築審議会＞の答申は，＜建築執行体制の整備の基本方針＞として，建築行政の責任の所在を明確にすることなど5項目，違反是正についても5項目の改善事項を採り上げていますが，建築主事の廃止や確認制度から許可制度への変更などについては，一言半句もふれていないばかりか，それらを示唆するような字句は何処にも見当たらないのです。とすれば，これらの問題点を要綱に盛り込んだのは建設省の独断であり，その背後に政府の強い要請や指示があったことは，容易に推測することができます。特に＜許可制＞については，考えれば考えるほど，疑惑と危惧が増大するのをどうすることもできません。もともと＜許可＞とは，原則的に禁止されているものを，特に許す場合に使われる用語であり，戦前の＜市街地建築物法＞においてさえ，これに該当するものが＜認可＞であったことは，改めて説明するまでもありません。しかも，これについて建設省案は，なぜ＜確認＞を＜許可＞に変更しなければならないのか，その具体的理由や法的根拠を明示していないばかりか，口頭で説明を求められても，納得できる回答を持たず，言を左右にしているのが実情です。

確認・認可・許可という三つの言葉は一種の相似性をもち，同義同類語であるかのように受取られがちですが，法的には大きな相違があり執行運営の面では，さらに著しい開きが出てくることに注意する必要があります。

また建設省案によれば，美観地区などにおける建築制限の範囲を＜法定＞することになっていますが，これと＜許可制＞を結びつけたものが何を意味するか，自ら明白であるといえましょう。すなわち，権力の不当な仲介や政治的圧力によって，合法的建築が否認され，修正される可能性がきわめて強いということです。しかもそこには恣意的な権力の行使，濫用，そして利権をめぐる汚職の続発などが予想されます。これらは，明らかに国民の正当な権利を侵害するものであり，政治の姿を歪めるものであるといっても過言ではないでしょう。

わたくしたちは，決して幻影におびえたり，思想的偏見によって大げさな騒ぎをしているのではありません。建設省が揚げた＜建築基準法改正案要綱＞というアドバルーンを冷静に分析し判断した結果，災いの芽は早くつみ取らねばならぬと考えるに至ったのです。いま此処に，事の重大性を改めて訴え，建設省案に対する諸賢の十分な考察と慎重な配慮を願い，いまや危殆に瀕しつつある民主主義的建築行政を擁護するため断乎として斗う勇気と決断を期待して止まない次第です。また建築関係各団体が，時機を失することなく，建設省案に対して，強硬かつ明確な反対の意志表示を行ない，適切有効な措置を講じるよう要望いたします。

1968年3月11日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 足立　光章 | 雨宮　亮平 | 石堂　威 | 伊藤ていじ |
| 大谷　幸夫 | 奥平　耕造 | 神谷　宏治 | 川島　甲士 |
| 河原　一郎 | 菊竹　清訓 | 鬼頭　梓 | 木村　一夫 |
| 木村　俊彦 | 窪田　経男 | 神代雄一郎 | 小林　邦雄 |
| 篠山　邦雄 | 荘司　孝衛 | 杉本　裕 | 進来　廣 |
| 平良　敬一 | 高橋林之丈 | 立松　久昌 | 田辺　博司 |
| 長島　正充 | 西原　清之 | 橋本　邦雄 | 原田　敬 |
| 藤井正一郎 | 槻　文彦 | 宮内　嘉久 | 村松貞次郎 |
| 八巻　朗 | 山本　学治 | 横山　公男 | 吉川　健 |
| 吉田　秀雄 | 脇田　裕史 | | |

事務局：建築ジャーナリズム研究所
TEL 408—7848　401—9950
東京都港区六本木6—1—8　第二葵マンション302

## ■ 建築学会・欧州（メキシコ）建築視察団募集

日本建築学会では標記視察団（本年10月7日～10月27日）を募集している。申込5月31日まで。詳細は学会へ（電話 03—535—6511，または近畿支部 06—443—0538）

## ■ 日本建築綜合試験所紹介（その2）次号へ

前号に引き続き紹介する予定でしたが，紙面の都合上，次号へ廻します。

# すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

# シポレックス



ガデリウス商会・神戸

設計　(株)大阪建築事務所
施工　清水建設株式会社
使用場所　外壁

**軽　　量**（比重 0.5コンクリート¼の重量）

**断　　熱**（コンクリートの10倍の断熱性）

**耐　　火**（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

**シポレックス販売株式会社**

本　　社　東京都千代田区岩本町2ノ1ノ16(森川ビル)
電話　東　京（861）代　表　7　2　4　1
大阪支店　大阪市西区京町堀通1ノ125(東洋ビル)
電話　大　阪（443）代　表　7　7　4　1
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通3ノ2(大商ビル)
電話　名古屋（581）代　表　7　4　2　1

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



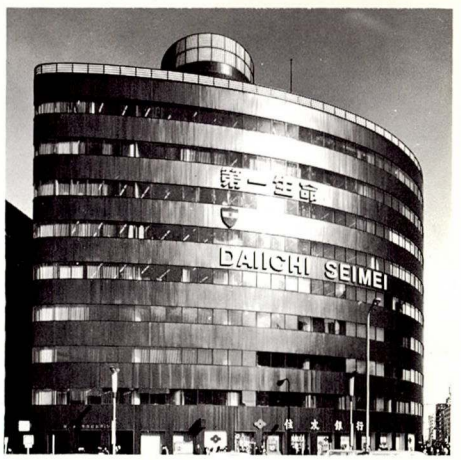
## 316．富士銀行　祐天寺

設計・施工：株式会社　竹中工務店
a．東京都目黒区上目黒５丁目2358
b．475.9m²
c．1,342.6m²
d．RC，F３，P１
e．昭和42年５月～昭和42年11月



## 317．明治生命奈良支社

設計・施工：株式会社　竹中工務店
a．奈良市高天町４８～５
b．758.4m²
c．1,594.3m²
d．RC,B１，５F,P３
e．昭和41年７月～昭和42年10月




## 318．梅新第一生命ビル

設計･施工：株式会社　竹中工務店
a．大阪市北区曽根崎上２丁目41
b．727.4m²
c．8,812.2m²
d．SRC，B３，F９，P４
e．昭和40年９月～昭和42年12月



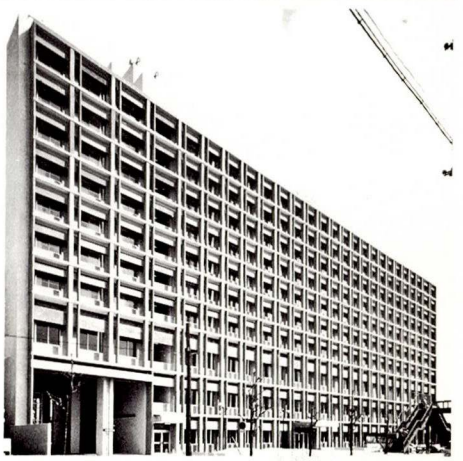
## 319．三井物産ビルディング

設計・施工：株式会社　竹中工務店
a．大阪市北区中之島２丁目25番地
b．1,583.180m²
c．34,929.00m²
d．SRC，B５，F13，P４
e．昭和38年２月～昭和42年11月



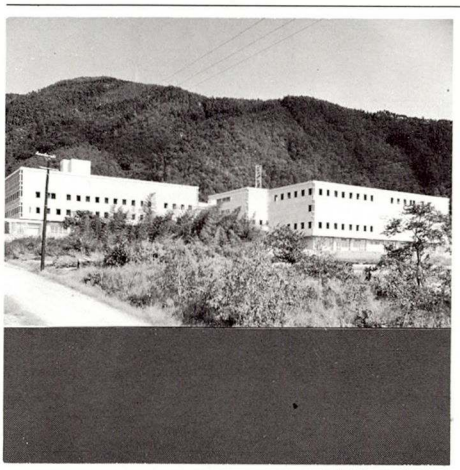
## 320．東谷町市街地住宅建築工事

設計：三座建築事務所
施工：株式会社浅沼組
a．大阪市南区東谷町９の１８
b．1,120.92m²
c．9,926.86m²
e．昭和41年３月～昭和42年８月
d．SRC，B１，10F



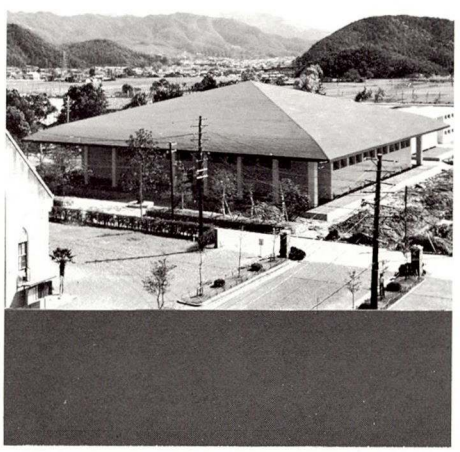
## 321．京都九条市街地住宅建築工事

設計：日本住宅公団大阪支所
施工：株式会社浅沼組
a．京都市南区西九条南田町１～19
b．1,525.50m²
c．15,255.08m²
d．SRC，B１，10F
e．昭和40年12月 ～昭和42年４月



## 322．橘女子学園女子大学新築工事

設計：まおたに建築事務所
施工：株式会社浅沼組
a．東京都東山区山科
大宅岩屋山向町34
b．3,398.25m²
c．7,923.00m²
d．RC，４F,他６棟
e．昭和41年６月～昭和42年３月



## 323．学校法人同志社高等学校体育館新築工事

設計：日建設計工務
施工：株式会社浅沼組
a．京都市左京区岩倉大鷺町
b．3,338.42m²
c．3,536.00m²
d．RC，２F
e．昭和40年11月～昭和41年８月




## 324．京都冠婚葬祭互助センター玉姫殿新築工事

設計：松田設計事務所
施工：株式会社浅沼組
a．京都市中京区西大路通り
丹町下ル
b．574.22m²
c．3,137.785m²
d．RC，B１，５F
e．昭和42年６月～昭和43年１月

# 強力換気で…

## 高層アパート・マンション

# お住まいを快適に！

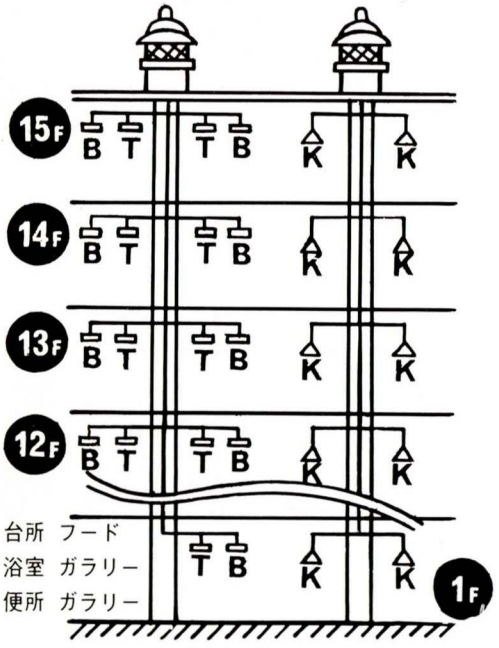



**部屋全体に呼吸を与えて快適な生活ゾーンを**……ナショナル・イルグ屋上換気扇は強力な換気でお部屋から不快指数を追放します。
お風呂場やお台所など、あらゆるお部屋が清潔で快適です。

**ナショナル・イルグ**
**独得の翼形ターボ羽根**
エアーホイル(翼形)ターボファン！スムーズに空気を切り、乱流による騒音もなく、しかも静圧は５０ミリ(水柱)まで使用可能。

**軽い！サビない！長寿命！**
耐食アルミ製で、取りつけも簡単。サビどめの塗装もいりません。

●その他、厨房室等のダクト換気には特に最適です。




# ナショナル・イルグ
# 屋上換気扇
〈ルーフベンター〉

ルーフベンターについてのご相談は、この看板のお店でどうぞ





カタログ進呈
**松下電器　産業株式会社**
**松下精工株式会社　送風機事業部**
大阪市城東区今福北 1の18　ＴＥＬ大阪 (939) 1161
**東京事務所**
東京都港区芝 4の8　ＴＥＬ 東京 (453) 3111
**西部営業課**
広島市竹屋町 7番15号　ＴＥＬ 広島 (41) 5111


ナショナル
松下電器

● ほかに、各種工場の全体換気にＱ形羽根の威力を発揮する。全体換気用プロペラ形屋上換気扇も、豊富にとり揃えてあります。



# クラスメート

## 36 〔旧神戸商工・昭和3年卒〕

座列左から（敬称略）

大沢　一郎（KK大林組本店九州駐在工務監督）
遠藤　二郎（洞海産業KK社長）
安田　敏政（栗田建築設計事務所）
岩下　久哉（鹿島建設KK大阪支店次長・技師長）
大林　　武（中国建設工業KK取締役）

立列左から

越智　隆晴（KK高橋建築事務所取締役）
柴原　　薫（山口県立萩工業高校）
遠藤　久美（林原KK取締役）
植地　　修（清水建設KK工事監督）
中川　文雄（KK置塩建築事務所取締役）
曽我　貫一（曽我工務店長）
和田　盛郎（KK六甲商会社長）

神戸須磨・寿楼ロビーにて

神戸高工・神戸大学工学部の建築の同窓は木南会という名の同窓会を組織している。その第4回生たるわれわれの例会が、このたびは神戸で行なわれた。約半数の12名が参加したが、このうち、おヂイチャンになっている者10人であった。

**大沢**　クラスメートの卒業設計は今でもハッキリ覚えている強力な記憶力の持主。ゴルフに長じ、俳画は枯淡の境に達す。陽気で人好きのする男。

**遠藤＝**　三菱化成八幡工場の技師長を経て、産業・商事関係4社の社長を兼ねている。傍ら北九州市の教育委員長の要職にも就いている人望の高いご仁。

**安田**　外矛内剛型で緻密な頭の持の持主。一層の躍進を画策中。

**岩下**　旧海軍技師、建設省中国四国地建の営繕部長を経て鹿島に入社。神大工学部で施工法の講義を担当。発註者側・受註者側両面の体験を通しての建設合理化の推進が期待される。

**大林**　兵庫・岡山と廻わり、三重の建築課長を経て現職に就きジックリと腰を据えて活躍している。

**柴原**　テニスをやり過ぎたせいか、40年前、病気で10年の命とおどかされ〝田舎教師〟に逃避行。戦時中、海軍施設本部で健康をとりもどし今や堂々たる教育家タイプ。県教育界始って以来の最高給をとって、またもや硬球に熱中している。

**遠藤ク**　台湾総督府からの引揚組。健康優良児をそのまま大きくしたような風貌の好紳士。目下、生産管理に精進している様子。

**植地**　清水建設の満州帰還組で、施工のベテラン。40年呑んで酒の味がやっと解って来たという。大人の相あり。

**中川**　卒業以来、現在の事務所に勤続。神戸を誰よりも愛している一人。ホビーは絵画・版画など。1963年ヨーロッパ・南北アメリカを飛び廻って丹念にスケッチに収めて来た情熱の人。

**曽我**　戦時中、川西航空の営繕部長で増産にご奉公。戦後は心機一転、自ら建設業を経営、その誠実さが買われている。ウイスキーが好き。

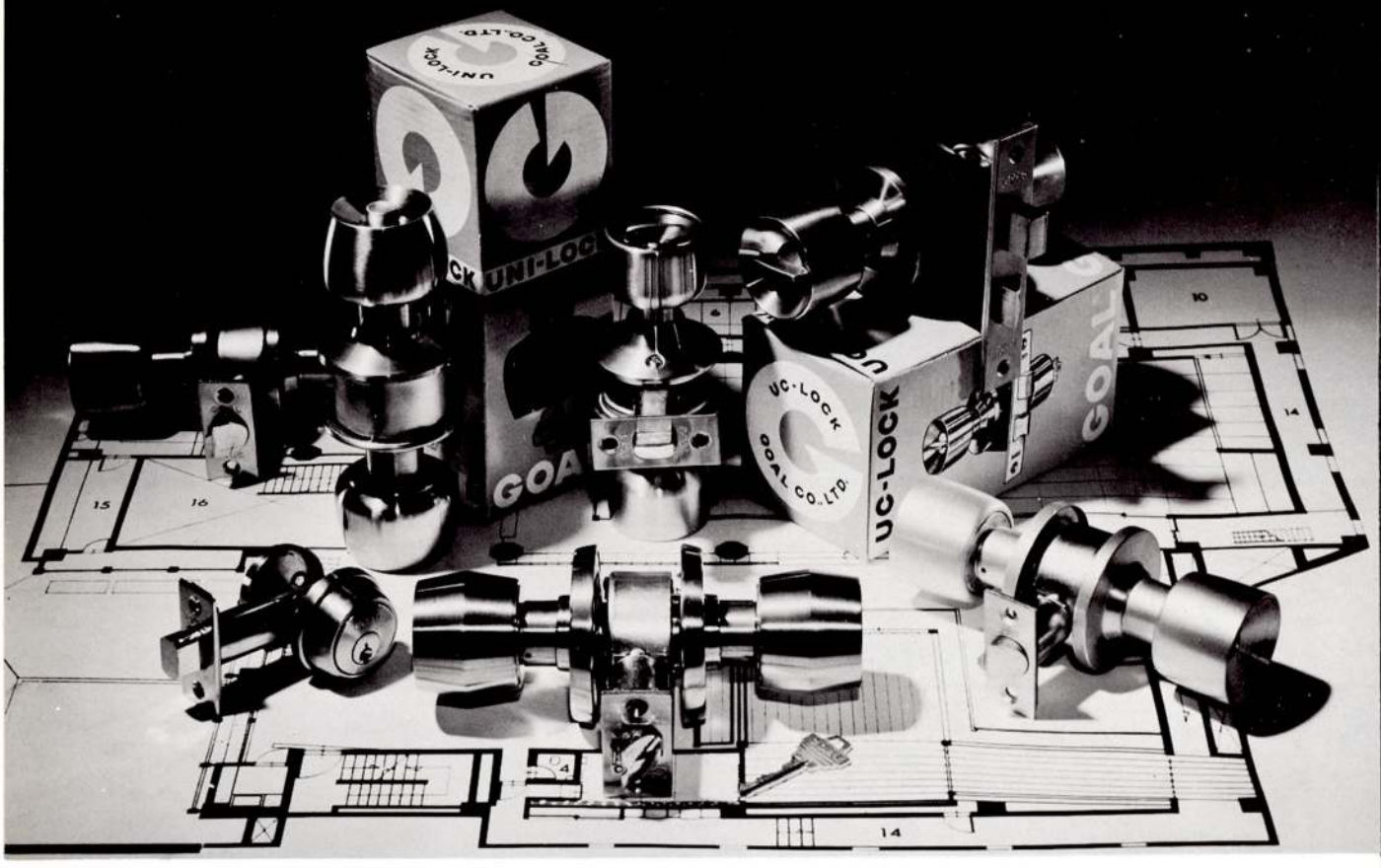
**和田**　青写真業で基盤をつくり、今やマイクロフィルム・電子リコピー・電算機など事務の近代化の花形機器を取扱って、これら業界で関西地区の各会長となり、片や加古川市議会で建設常任委員長等の要職を歴任している超努級の活動家。

**越智**　戦前は県の営繕、戦中は住宅営団本部でプレハブ住宅の方向づけ、戦後は建築行政等を担当。旅が好きで北海道から台湾の南の果てまで概ね詳しい。1964年にヨーロッパ、67年にカナダ・アメリカに渡り、建築と社会の構造を視察。　（越智記）

# GOAL®

"信頼"のシンボル

## 豊富な品種も自慢のひとつです




**精密さ・堅牢さ・美しさ**
**三拍子揃ったユニロックは**
**信頼のできる錠(ロック)です**

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く
評価されているからです

建設省・日本住宅公団・日本電信電話公社
各府県市庁・有名建築設計事務所ご指定

ゴール ドアーロック



ユニロック　最高級の錠 UHシリーズ

**株式会社ゴール**

本社・工場／大阪市東淀川区三津屋北通り四―三〇☎(三〇二)一七七一
佐賀工場／佐賀県神埼郡三田川町☎(神埼)三一七七
米子工場／米子市夜見町米子鉄工センター内☎(二)九四七六
東京支店／東京都港区海岸3―17―2☎(四五二)六三四一
営業所／札幌・仙台・静岡・金沢・名古屋・広島・高松・福岡

# 建築の眼

上田光雄
大阪市立大学教授・工博

富家宏泰
富家建築事務所長

山口吾郎
不二建設株式会社　取締役社長

西村庄市
工藤電気株式会社　取締役社長

正月号より6月号まで上記の4人の執筆者で担当してもらいます。

## わびとさびと四畳半

千宗易は堺の富商、納屋衆の出で、幼少より茶の湯を好む。後年信長に、次いで秀吉に仕え、利久の居士号を許され、遂に斯界の天下一となったのが63才頃で、レパートリーは広間の十二段台子の豪華さから一畳大目の草庵のわび茶に到る。衣食住に事を欠かない永年の満ち足りた生活を経たからこそ、わびの味もさびの生活態度も心から味わえるというもの。今の世にても、暖衣飽食し、あるいは酒食に明け暮れた後のお茶漬の味は又となくおいしいのは同じ。だが始めからお茶漬で育ったものは、日常が侘しさとさびしさの連続であれば、今更これを勿体ながることもない。豪壮な邸宅にお住いのお方が、四畳半の間借り生活も亦楽し、とおっしゃっても、四畳半でしか住む処もない人々は如何なものであろうか。騰貴する物価と税と住宅難に締めつけられ身の置き処に窮する庶民は、侘びとさびを骨身にしみて感じているから、それから抜け出すべく儚い想いにかられて今日もあくせく働く。わびとさびが恋しくなるような身分になりたい。（U）

## 住宅ローンの切罪

住宅ローンの設定によって、マイホーム造りが非常に手軽にできるようになった。銀行や信用金庫の窓口は、金融公庫や公団とは比べものにならない程親切だから、七面倒臭い手続や恩着せがましい国や公共団体の枠の中で金を貸りるより、手っ取り早く住宅ローンを利用する人々が急激に増加した。ローンだとかアドオン方式だとか、一見スマートな名前につられて、本当は非常に高い金利を払っているのだけれど、しかし、ともかく夢のマイホームがいとも手軽に入手できるようになったのは事実である。20坪の土地附、2階建50 $m^2$ の建売住宅が100万円以下の手つけ金ですぐ入居できるのだから、ローンの利用者がふえるのは当然である。しかし郊外の山林、農地は無残にブルドーザーによって削り取られ、土地はますます細分化されていく。このままでは郊外の新興住宅地のスラム化は必至である。住宅ローンの功罪を考えるべき時である。（T）

## 色　即　是　空

般若心経の奥義を究めんと、写経に一切を忘れて専念する人の多い世の中である。摩訶般若波羅蜜多心経の真価は、騒然たる世の中に光明と悟りをもたらすものと信じている人々の真剣な態度の現われである。その内意も解せず、誦ずる人写す人も多いことであろう。しかしそれだけでもよい、その正しい姿勢だけでもよい、それがこの世の中を美くしくする要因ならば。尊き自在菩薩は深妙なる智恵のきわまりに到達すべく、ひたむきの行を修せられたる時、世界の五蘊即ち有形無形の物心一切の万象あり、しかしてこれら悉く因と縁との和合に依り、移り変りつつあるもので、これが大宇宙の真実の理法であると達観されたと記されている。宇宙の真相には、六根眼耳鼻舌身意の肉体六機関の如きものは無で色即ち形あるもの声香味触法の六境も常に変化し、一定不変とはいえず、従って無に等しいと説かれている。仏智に帰依すれば、自由自在に理想郷に到着できるのであって、恐怖だの誤解だの夢想が無くなり、人格は完成され、仏の境地に入ることができると説かれている。心に如来を伏し拝み、〝生仏一如〟の統一精神で唱えましょう。摩訶般若波羅蜜多心経を。（Y）

## 空調とすまい

桜の花が散って葉桜が濃くなると、はや夏の仕度に忙しい。暖房は既に仕事場はもちろん、各家庭にまで普及しているが、冷房は未だぜいたくと考えられていたところ、昨年はかなりのお宅まで進出、パッケージまたはウインド型クーラーが6月には売切れて、われわれ専門業者が百貨店に買いに行く醜態を演じた。コンピューターを使い、沢山の人達が色々のデーターを集め、市場調査をして需要数を割出すがいつも当らない。人はぜいたくになりやすいもので、一度クーラーを取付けて故障をおこすと、まるで病気にでもなったようにやかましく責められる。しかしこれは確に人間生活が進歩し、高度化したのだからついて行かねばならぬ。空調が生活の必需品となると、今までの住宅建築の大きな条件だった風通しと陽当りのよい家というのが少し変ってきた。こんどの万博では、たぶんすまいがモントリオールの時より科学的合理主義が強くなり、変ったかちさで表現されるような気がする。これからは空調を考えの外にしては設計できぬところまできているように思う。

（N）



ABS樹脂塗料(仏国特許・日本など７国特許申請中)

# ミリオンNo.1000

関西ペイント株式會社

建築と社会

Vol.49 No.5 1968 目次

5

教育施設特集

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山田崇雄

会　告　定時評議員会決議・工事請負契約約款説明会・43年度収支予算 …… 13
法令コーナー　火災による死傷事故の防止に関する通達 …… 17
読者の頁　技能部門の創設を望む・日本の大阪を世界の大阪に・建築労働者の斗い・…… 19
建築土木史年表（関西篇その16）
建築と社会ニュース　一級建築士試験制度の改正・基準法<許可制>に対する反対声明 …… 21
スケッチブック　最近竣工の新建築9点（№316～324）…… 23
クラスメート　36. 神戸高工　昭和3年卒
（岩下久哉・大林武・中川文雄・越智隆晴ほか）…… 25
建築の眼　担当：上田光雄・富家宏泰・山口吾郎・西村庄市…… 27
海外写真　メキシコ国立美術館（中庭にある柱と落水）……写真と文：恒成一訓… 31
作品作風　大阪商工会議所ビル……設計監理　日建設計工務株式会社… 32
施　工　建築共同企業体（大林組
銭高組・竹中工務店）

教育施設特集

[1]高等教育の部　大学と都市……水谷　顕介… 40
大学の移転統合に伴なう諸問題——大阪大学の場合——…足立　孝… 44
私学の教育と施設計画における問題
——追手門学院大学の場合——……天野　利武… 47
研究学園都市と大学……土肥博至・若林時郎・土田旭… 50
大学生活（寮・学生会館・部室について）……吉川　忠常… 55

[2]初・中等教育の部　教育計画から建築計画へ
——小・中・高等学校施設の計画原理の追究——
鍛治拓美・小柴徹也・相川三郎… 57
ユースサービス施設への展望……多胡　進・坂田勝広… 63
壁のない学校……渡部　和… 69

[3]教育と施設随想　観想の場……大倉　三郎… 72
大学教育について……上野伊三郎… 72
融通のきく計画を……浅野　清… 73
体験的大学施設論……伊藤　治彦… 73
都市と工業高等学校……益尾　辰雄… 74
高校教育の多様化……乾　亮三… 74
ニュータウンの小学校のこと……富安　秀雄… 75
義務教育施設は公共施設である……大久保昌一… 75

技術の頁 68.　構造施工部門：経済的なプレストレストコンクリート建築　松井　克俊… 76
建設業界史話14　大久保石見守（佐渡金銀山奉行）その2……宮村　次郎… 79
月報　日本建築協会月間の動き（昭和43年3月分）…… 81

編集人　松井昭光
印刷　昭和43年5月20日
発行　昭和43年5月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部 300円・送料共

# KENTIKU TO SHAKAI

No. 5 Vol. 49, May 1968

## (Architecture and Society)

*A Journal of "The Architectural Association of Japan"*

Cover design: T. Yamada

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price* ¥300

# CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture ..... 17
Column for Readers ..... 19
News for Architecture and Society ..... 21
Column of New Buildings ..... 23
Class-mates ..... 25
Essayes ("Kentiku no Me") ..... 27 — by *Mituo Ueda, Hiroyasu Tomiie, Goro Yamaguchi & Syoichi Nishimura*
Photograph : Column and Falling Water in Courtyard of Mexico Museum ..... 31 — photo: *Kazunori Tunenari*

*WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED*

Building of Osaka Chamber of Commerce & Industry ..... 32 — Design: Nikken Sekkei Komu Co., Ltd. Construction: Joint Venture (Obayashi-Gumi, Zenitaka-Gumi & Takenaka Comuten)

*SPECIAL FEATURES IN EDUCATIONAL FACILITIES*

**1 Problems in Higher Educational Facilities**

University and City ..... 40 — by *Eisuke Mizutaui*
Problems Attended with The Removal and Combination of Facilities of Osaka University ..... 44 — by *Takashi Adachi*
Problems in Education and Facilities-Planning of Privale University (in Case of Ottemon University) ..... 47 — by *Toshitake Amano*
Research & Education-Institutional City and University ..... 50 — by *Hiroshi Dohi, Tokio Wakabayashi & Asahi Tsutida*
Life of Students in Dormitories, Student Houses & Club Rooms ..... 55 — by *Tadatune Yoshikawa*

**2 Problems in Primary, Secondary Educational Facilities**

From the Educational Planning to the Facilities Planning —Reserch of Planning-Principles of Primary & Secondary Schools— ..... 57 — by *Takumi Kaji, Tetsuya Koshiba & Saburo Aikawa*
Scope to the Facilities of Youth Sirvice ..... 63 — by *Susumu Tago, Katsuhiro Sakata*
Schools without wall ..... 69 — by *Kazu Watanabe*

**3 Impressions about the Education and Its Facilities** ..... 72 — by *S.Okura, I.Ueno, K.Asano, H.Ito, T.Masuo, K.Inui, H.Tomiyasu & M.Okubo.*

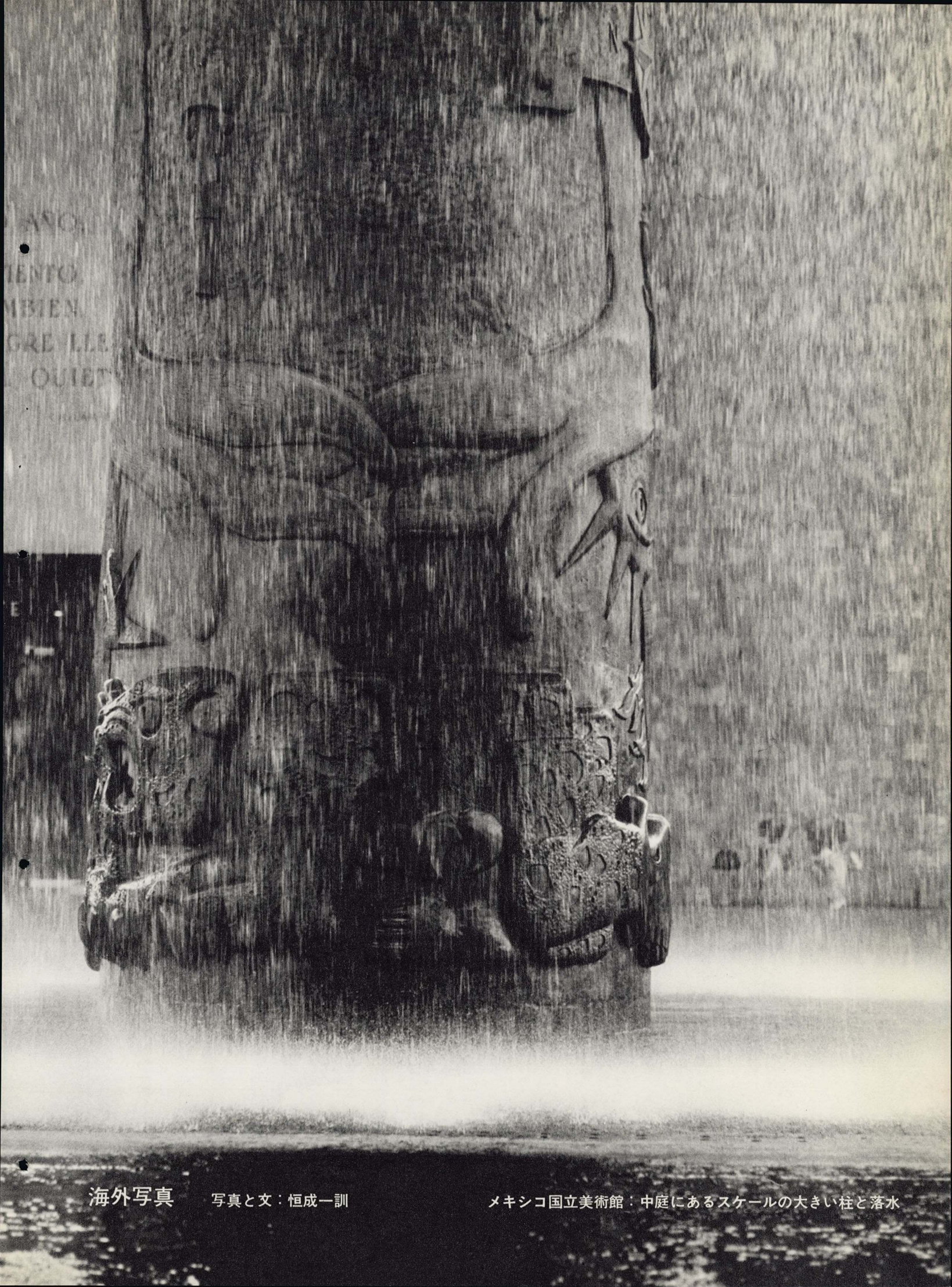
*COLUMN OF ENGINEERING*

68. Economical Structures Used Prestrest Concrete ..... 76 — by *Katsutoshi Matsui*

*HISTORICAL STORY OF THE CONSTRUCTION FIELD*

14. Okubo Iwaminokami (Sado Gold & Silver Mine Magestrate) —2— ..... 79 — by *Jiro Miyamura*

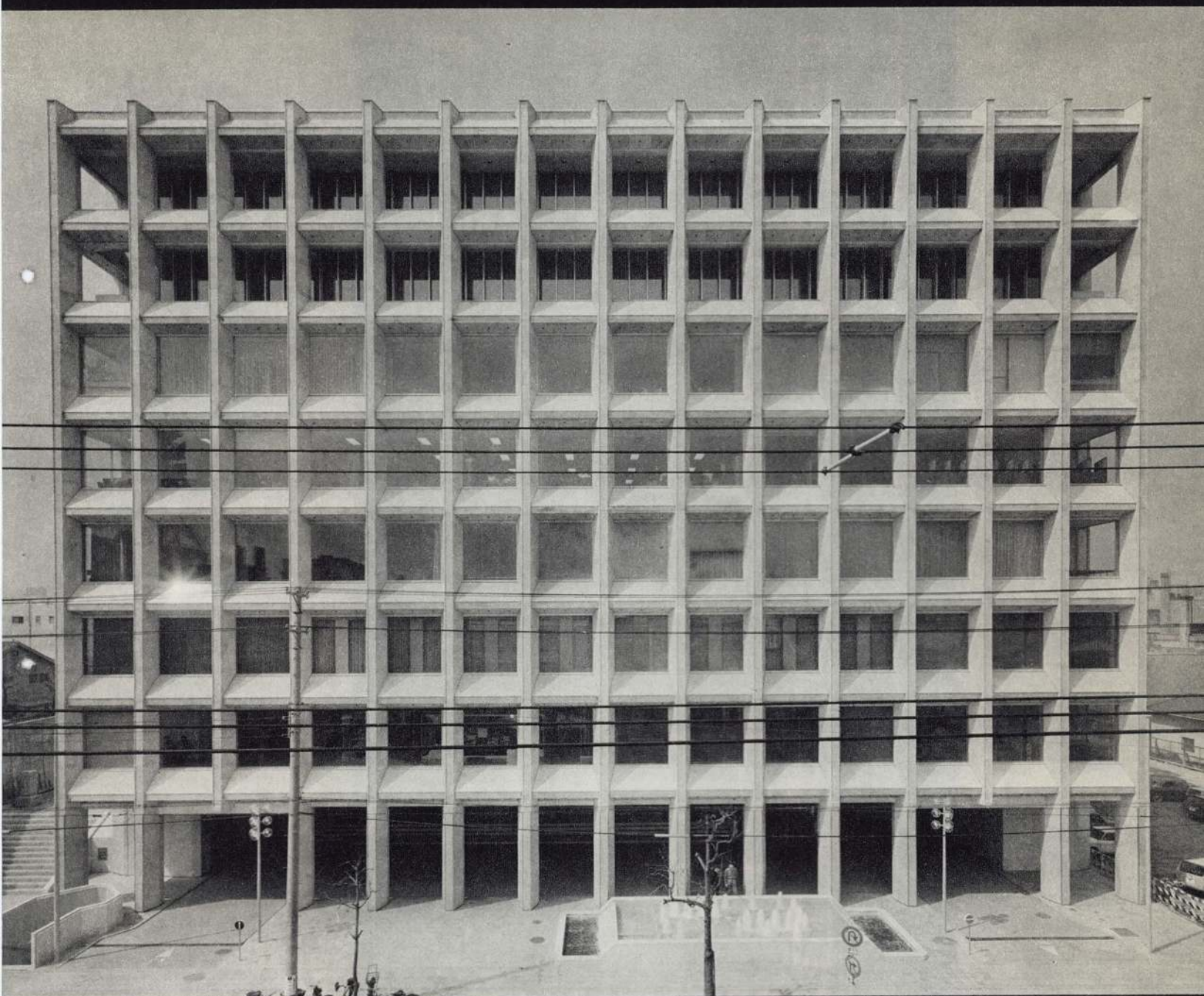
*BULLETIN* ..... 13, 81



海外写真　写真と文：恒成一訓

メキシコ国立美術館：中庭にあるスケールの大きい柱と落水



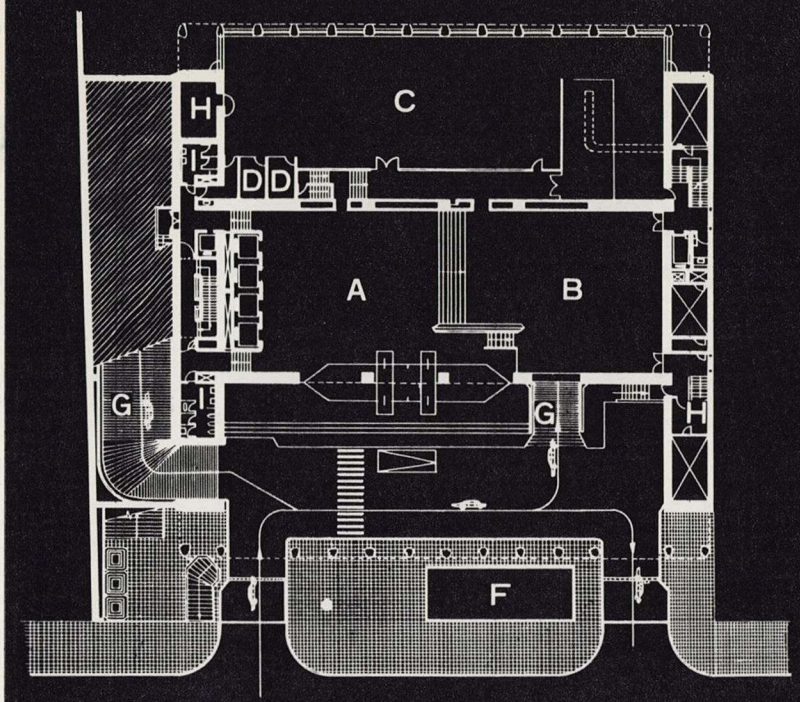


正面全景

# 大阪商工会議所ビル

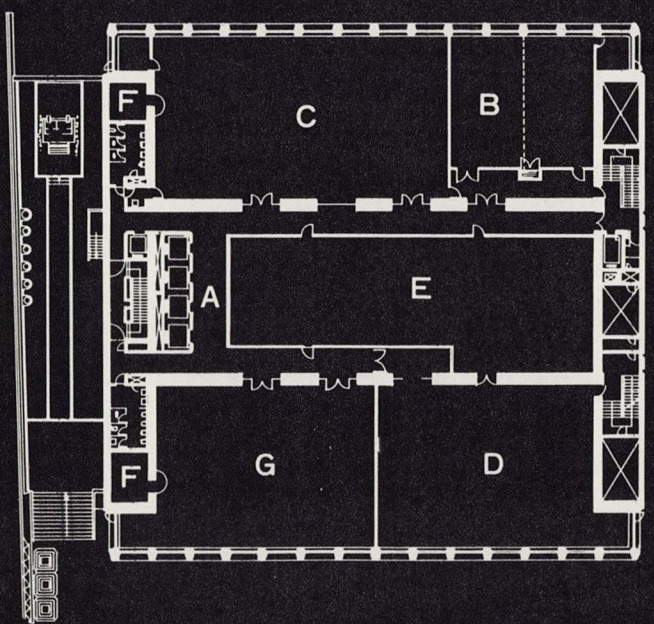
設計監理　日建設計工務株式会社
計画部長　薬袋　公明
計画担当　後藤　直信
構造担当　青柳　司
設備担当　(空調)牧英二
(電気)大林芳夫
インテリヤ担当
永田俊夫
監理担当　(建築) 柳ヶ瀬教介
(設備) 牧野　茂

施　工
建築工事－建築共同企業体
株式会社　大林組
株式会社　銭高組
株式会社　竹中工務店
電気設備工事－電気設備共同企業体
住友電気工業株式会社
近畿工業株式会社
近畿電気工事株式会社
空気調和設備工事－空気調和設備共同企業体
大阪電気暖房株式会社
須賀工業株式会社
日本熱学工業株式会社
給排水衛生設備工事－給排水衛生設備工事企業体
株式会社　西原衛生工業所
株式会社　三晃商会
山田工業株式会社
昇降機設備工事－株式会社　日立製作所
三菱電気株式会社
電話設備工事　日本電気株式会社



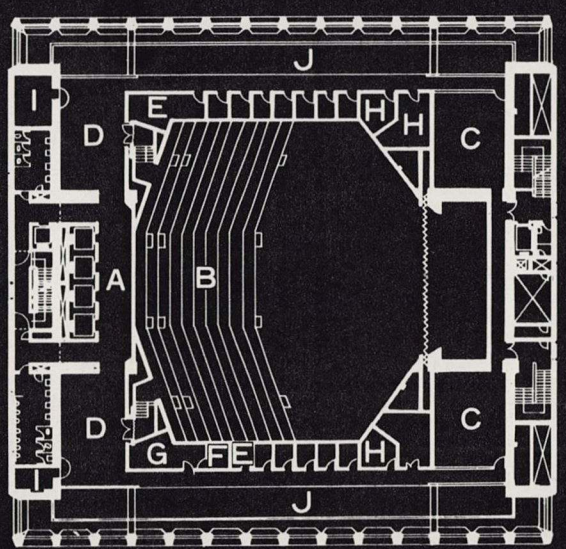

**1階平面図**

A．ロビー
B．商品展示場
C．事務室
D．相談室
F．噴水
G．スロープ
H．倉庫
I．手洗




**2階平面図**

A．エレベーターホール
B．会議室
C．事務室
D．図書館事務室
E．図書館書庫
F．倉庫
G．貸事務室




**8階平面図**

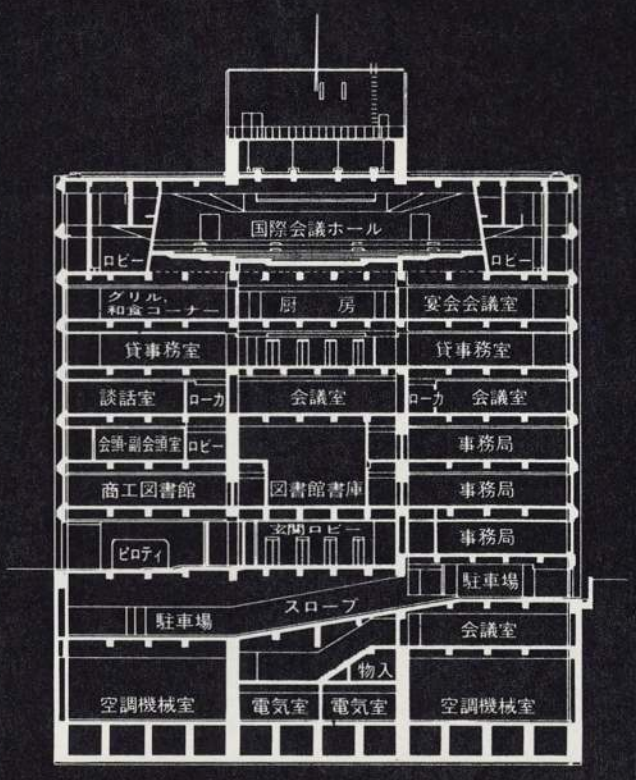
A．エレベーターホール
B．大会議室
C．控室
D．ロビー
E．ブース
F．放送室
G．放送機室
H．予備室
I．倉庫
J．吹抜

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪市東区内本町橋詰町58 |
| 工期 | 1966年7月－1968年2月 |
| 敷地面積 | 2,380m²（720坪） |
| 建築面積 | 1,984m²（600坪） |
| 延床面積 | 19,524m²（5,906坪） |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 地下2階・地上8階・塔屋2階 |
| 高さ | 1階床高 0.20m |
| | 軒高 31.00m |
| | 最高部高 39.40m |
| | 基礎底 15.10m |
| 駐車場 | G1階、地下1階 |
| | 駐車台数 50台 |
| 外部仕上 | 屋上－モザイクタイル貼 |
| | 柱、梁型－大理石貼 |
| | 外壁－無機質外装吹付タイル |
| | 窓－アルミサッシ |
| 内部仕上 | ロビー－床 ゴムタイル |
| | 展示場－壁 大理石 |
| | 天井 ビニール被覆鉄板 |
| | 事務室－床 ビニールタイル |
| | 壁 ビニールレザー |
| | 天井 吸音石綿板 |
| | 会議室－床 カーペット |
| | 壁 ビニールレザー |
| | 天井 ビニールレザー |
| | 大会議室－床 カーペット |
| | 壁 アルキャストパネル |
| | 天井 ビニール被覆鉄板 |

| | |
|---|---|
| 電気設備 | 受電電圧－AG60% 22,000V |
| | 受電容量－2,000KVA |
| | 発電機－350KVA |
| | 蓄電池－DC 100W 300AH |
| | その他 |
| 空気調和設備 | |
| | 冷熱源－煙管式ボイラー |
| | ターボ冷凍機 |
| | 空気調和方式－二重ダクト方式 |
| | 自動制御方式－自動集中制御方式 |
| 衛生設備 | 給排水衛生設備 |
| | 給湯設備・消火設備・厨房設備 |
| 昇降機設備 | 乗用昇降機 |
| | 定員15名 150m/分 4台 |
| | 人貨用昇降機 |
| | 定員9名（600kg）60m/分 1台 |
| | 定員14名（1000kg）60m/分 1台 |
| 電話設備 | クロースバ自動交換装置 |
| | 容量－内線容量 600回線 |
| | 実装容量 400回線 |




ピロティ




## 大阪商工会議所ビルの設計者のことば

会議所の機能は、一般商工業者より選ばれた議員に代表される会議所運営機構と、商工業者への窓口業務・情報提供・集会研修等に大別される。したがって動線も二つの流れとしてとらえることができる。特定日（会議）に同時に集まる多数の車と、駐車スペースの問題、および毎日の地下鉄、バス等による多数の人の集まり、通常、公共的な車の出入り等をそれぞれ満足させることが必要になる。

会議所という性格から、自動車によるアプローチは、一般ビルの場合と、かなり違ったニュアンスを持っており、大量乗降という時間帯を生み、その処理として、松屋町筋より入口に達し、ピロティを通り抜けるコースとG1階、B1階駐車場に至り、循環して入口に達するサークル（共に一方通行）により、出入りの混乱を避けるようにした。歩行者は主として、松屋町南側（地下鉄、バス）よりの流れが多く、入口附近の混雑を和らげるため、外壁面を街道より後退させ、前面の歩道を拡げた。これは南側の稲荷神社の参道（巾約7m）と、北に計画予定の経済センターの壁面を統一すると、かなりの公共的な広場が確保できる。利用頻度の多い地下講習会場への出入は時間帯のずれも考慮に入れて、歩道より直接地階に通ずる階段によって導入するように考えた。

施設としては、事務室以外に国際会議場をはじめとして大小の会議室、および商工図書館、展示場などを含み、その公共性からみて一般の事務所建築とは異なった性格を持っている。

計画上特に考慮をはらった点。

1. 平面は、構造コアと生活コアとを切り離し、融通性のある広い空間を確保したこと。
2. 出入口面（ピロティ）は、同時駐車7台が可能な広さとし、多数の車に対する考慮と、広い歩道と一体となり開放された空間とすること。
3. 国際会議場は、多目的に利用されるように考えたこと。
4. 図書館の書庫（30万冊収容）を中央部に収め、構造上の諸問題を解決したこと。

外装は、ベアリングウォールの表面に、白系大理石を用い、その独特の肌合いと、白の陰影、窓ピロティとの対比を強めるように考えた。

特に外観については、接続して計画される経済センターも同じデザインにて統一され、総合的な公共施設としての表現をとることが望ましいと思われる。



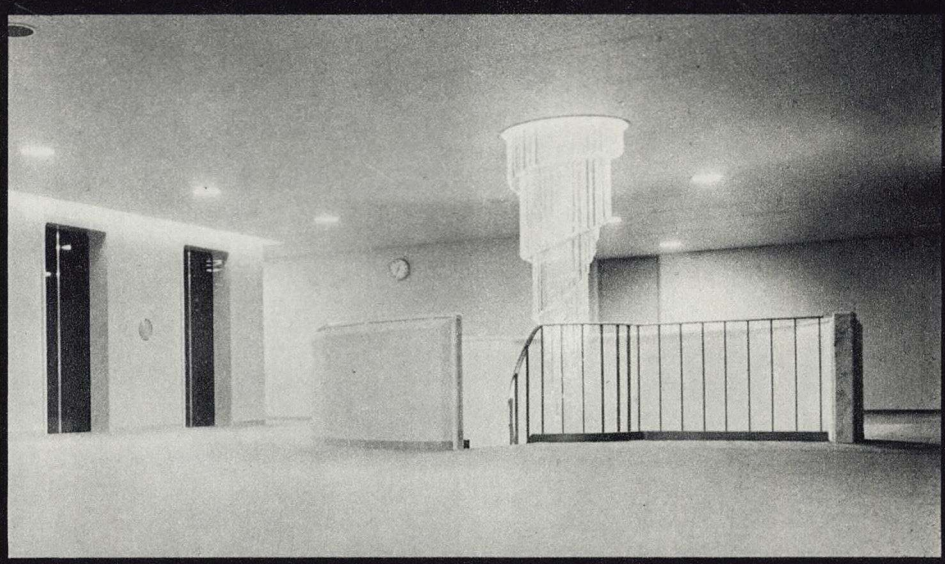
玄関ロビー

談話室

## 施工工程管理について

この大阪商工会議所ビル新築工事をようやく終えて、やれやれといった安堵と共に、尚こうあって欲しいと思うことをひとつだけのべて、関係者のご協調をえたいと思います。それは工程管理の認識についてです。建築の施工生産管理は、一応型として、品質と、生産に必要な工期と、さらにこれに対する価格という三要素が、本当に有効適切であってこそ、現場主任として、技術的な施工向上への努力もしがいあるものとなるでしょう。

工事の着手当初から、すべての細部設計が確定された上での品質と工期と、そして価格であることが、もっとも望ましいことですが、せめても施工業者はもちろん、設計者も、施主もこの施工生産管理における定められた工期内の全体の工程管理に添った細部設計決定がなされるならば、建築現場における複雑な生産現状は少しは緩和されるでしょう。ここで建築に関係する人々が相互に協調と信頼をもって、これが品質精度の向上と、経済性の合理化のために、工期の有効適切な運用が、この施工管理の中に十分に認識されることを望みます。（七海 実）



4階ロビー



国際会議ホール

# 教育施設特集


## 1 高等教育の部

大学と都市／水谷顕介

大学の移転に伴なう諸問題(大阪大学の場合)／足立孝

私学の教育と施設計画における問題(追手門学院大学の場合)／天野利武

研究学園都市と大学／土肥博至・若林時郎・土田旭

大学生活(寮・学生会館・部室について)／吉川忠常

## 2 初・中等教育の部

教育計画から建築計画へ—小・中・高等学校施設の計画原理の追究—

／鍛治拓美・小柴徹也・相川三郎

ユースサービス施設への展望／多胡進・坂田勝広

壁のない学校／渡部和

## 3 教育と施設随想

大倉三郎・上野伊三郎・浅野清・伊藤治彦

益尾辰雄・乾亮三・富安秀雄・大久保昌一


人々がつぎの世代を育てようとしたときから始まった教育の歴史は古く，そのひろがりは歴史上かってなかったひろさをもつようになった。教育を受ける年数も下に上にと伸びつつある。

本号は，この膨大な教育に関係する施設を都市とともにまとめようというのであるから，身のほど知らずとみられよう。

2つないし3つに分かれるテーマが提出された。例えば，

1. 現代都市は「情報」によって規定されるという人がある。人々の思考能力・理性・豊かな感覚といったもので勝負がきまるわけであろう。大学・研究機関などが核になろう。具体的には，大学移転の動きとともに，他方で大学と都市活動のむすびつきから，都市の中軸にあるべきだという意見もある。都市社会や大学の発展にとって，大学の性格によってどちらも妥当な答となりうる。いずれにしても都市との関係で大学自身の計画は変るし，大学自身も転機に立たされていることは承知のところである。

2. 後期中等教育の多様化は園芸高校・食品産業高校といった専門分化のよりはっきりしたものまでつくりつつある。高度な職業人を創るのだという人もあるし，手取り早い労働力の確保とみなす人もある。

3. 計画的につくりやすいはずの小学校等が地区人口の変動などから教室数の過不足などをおこしたりする。住みやすい住宅地づくりの中で施設の不備が表われる。カリキュラムの検討・義務教育年令の早期化・低学年校高学年校のシステム等々と問題は多い。

4. 家庭と学校だけで青少年の成長のすべてを考えることができないという見解は強い。現代社会においては，継続教育とレジャーにおける創造的・自発的・全的生活の場の計画的確保が重要といわれる。

厚かましいと思われようが，住宅とともに都市空間の構造に基本的な影響を与えている教育施設を限られた枠内で総覧してみなければなるまい。矛盾の明確化と新たな提言がいただければと思ったのである。

(多胡編集幹事記)


教育施設特集担当幹事：鍛治拓美（特別），伊藤治彦（特別）
多胡進，河野元昭，脇山広三

# 大学と都市

水谷穎介

## 日本の大学と日本の都市

1）日本の大学の変貌は，日本の都市の発展と切り離して考えることはできない。大学の大都市の集中化・マンモス化は，大都市への異常なまでの人口集中と技術集中，情報集中の結果と平行したものだろうし，そのキャンパス立地の移動性も，市街地形態の変化・変質に大いに左右されている。最近の地方都市での大学設立のブームも，新産都市などの地域開発政策・都市対策と関連がある。永井道雄氏は，「日本の近代的な大学の生いたちは，ヨーロッパとはまったく異なる。その淵源は，1684年，徳川幕府が江戸の神田に設けた天文方であった。それ以来，日本では高野山大学のような型は例外であり，大学はつねに都市に建設されている。大学とは過去にそむき，未来を志向するものだ。時代の変化に敏感に対応し，できれば未来をさししめすものだ。17世紀以来の，学校と都市との深い結びつきが，日本の近代的大学の一つの重要な性格を暗示している。(「日本の大学」)」と指摘している。そして，日本の大学の特有な知的潮流を形づくった歴史的背景のなかで，日本の近代的な大学の生いたちが，日本の模倣文化の性格を理解する一つの鍵だという考え方のものに，「アフリカの大学，インドの大学，革命以前の中国の大学は，英語やフランス語に依存する外国文化拡張の機関にすぎなかった。これを真の"後進国型"とよぶとすれば，日本の大学の後進性は，その前身である徳川時代の研究機関をふくめてこれとは異なり，模倣を中心とした特殊日本型であると考えるべきであろう。(1)それでは，翻訳に発する日本型模倣の性格とは何か。その主要な役割は外国文化の吸収であった。けれども翻訳文化には自国文化の再生という興味深いもう一つの側面がある。(2)しかし，模倣のなかにあった創造性の小さな芽も，その後の日本の発展のなかで，のびのびと成長する機会に恵まれはしなかった。むしろ明治以降の日本の学校では，創造性が極少化され，模倣文化ともよぶべき体形が形づくられた」と。

この模倣と創造のプロセスの思考は，日本の都市発展・市街地計画の歴史を検討するうえでも，ほぼそのまま適用できる。日本の近代都市も，江戸以前の従来からの城下町・門前町・農村集落などの伝統とは全く切り離れたところからスタートとした。道路の形態こそ，格子状の組み方は世界共通のものとして一致しているようだが，その街区に配置される都市機能のくみたて・都市空間の構成は，当初は西欧輸入の模倣ものであった。だが，その模倣の過程にあっても，京都のように，古いものと，新しいものを見事に融合させて常に新しい独創性のある文化を生み出しながら発展してきた都市もある。自然と人工，そして独特の街らしさをもった日本の都市環境である。ところが，その後の急激な日本の発展と近代的目標はこういった創造性の可能性を消し去ろうという意向が強い。例えば，自然との対話，街らしい多様な機能の充実をむしろ合理的でないものとして分解させて，清潔さを売物の大ベッドタウンをつくりあげる。長い間かかってやっと賑かになってきた街なみをぶっこわして，街を再び田舎に引き戻す超高層ビルと冷たい広場にあこがれる。さらに，京都の創造性を凍結して，はかない観光広場に仕立てあげたり，広野の真っただなかに，1時間の超高速で送り迎えされるニューシティのヴィジョンが画かれる。そこには，誰と誰が知的能力を交換し合うのかわからないが，巨大な情報センターと研究所1大学を建設しようという。自動車が，たまたま合理的だと唱えられる通勤新幹線に置き換えられたにすぎない Suburbia である。

2）こういった疑問の多い未来を志向する都市との深い結びつきは，日本の大学の未来に重要な間違いをひきおこしているのではないだろうか。都市と大学を切り離して考えることのできないという事実の現在の状況の評価はこうだ。すなわち，都市本来の役割と姿を間違った未来像にひきづられて，大学はその施設を拡大し，施設を分散する。大学本来の創造性を見失なったビックサイエンス計画を敏感に追いかけて，都市づくりが進められる。お互いに相手の間違いを正すことのない深い結びつきが，日本の大学と日本の都市の性格を暗示している……と。日本の大学と日本の都市の間には，お互いの本来の姿を求めあう対話がない。都市に大学を集中建設し，日本の都市文化と先進能力を開発させ，地方都市に高等学校を分散設置して地方文化を育ててきた明治近代の方策を，もう一度評価検討してみる必要もあるのではないだろうか。そこでは，お互いの理想像が理解されていたようにみえる。

## 大学の都市化

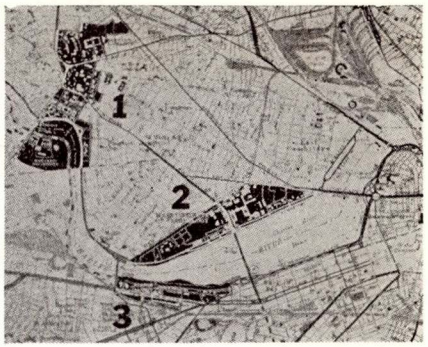
3）ボストン・ケンブリッジには，ＭＩＴ，ハーバード，ボストンなどの大学がある。そして，いまそれぞれの大学は新しいスカイラインをチャールズ河畔に見せている。ＭＩＴは，地球科学のための新しいセンターや材料工学のための研究所，テクノロジイスクエアーと称する再開発計画などを建設してきたし，ハーバードも地質学研究所・技術研究所・教育学大学院，

ヴィジュアルアートのためのカーペンターセンター・既婚者宿舎などを点々とキャンパスに配置している。ボストン大学も法律学部・教育学部の新しい高層校舎・図書館の建設を完了している。ＭＩＴもハーバードもその規模と内容がどんどん拡大している。ケンブリッジの街は，やがて，全て２つの大学に買い取られてしまうのではないかという話である。大学の施設は，キャンパスの塀の中だけにこもってはいない。以前はアパートメントだった周囲のレンガ造りの町の家へも，大学の施設が進入している。バスユニットのあるリビングルームやベッドルームが，研究室に変質している。有名なＭＩＴとハーバードの JOINT CENTER FOR URBAN STUDIES も，下階は八百屋さんが店を出している民家の２階だったりする。こういった大学の頭脳の活用をめざして，民間の研究施設が集積する。民間研究施設につながるかたちで，民間の生産施設が郊外に配置される。大学は研究施設ばかりではない。ハーバードスクエアーは知的な雰囲気をもった大学門前町である。世界のグッドデザインを扱う店，本屋，大学の教授たちの主宰する建築設計事務所が並んでいる。アングラ劇場やヒッピーアートの流行，スチューデント・パワーの力をニューヨークのワシントン広場や，バークレーなどの他の各地の大学町と争う広場である。

ボストンは，以前は，綿を中心とした港をもつ商工業都市だった。それが，いま，大学をセンターとする新しい頭脳の街，電子工業の先端をいく技術開発都市になろうとしているのである。R&D (Research and Development) と都市の結合である。大学が地域の経済発展を約束し，こういった知的産業機能施設の集積が，"City of Ideas" を目標とするボストン都心部の再開発計画の中核となろうとしている。

４）「10学部，56学科，503講座，それに226部門に及ぶ14の研究所を付置している。学部付属の研究，実験，実習施設は28。学生数15,000人，うち学部学生 11,600人，大学院生 3,700，教官は3,700，各種の職員5,700併せて9,500人。予算は209億円，これは人口70万～80万の都市すなわち福岡，札幌に匹敵する予算規模である。施設は東京の本郷を中心に，演習林，農場その他を含めて北海道から奄美大島に至る24都道府県に散在し，土地の総計 300 平方キロメートル，これは東京都23特別区合計の面積の約半分に当り，建物は約73万平方メートル，建設中の霞ケ関ビルの約５倍に担当する。ここであらゆる分野の教育，研究活動が昼夜を分たず続けられている様は，年間消費量についての次の数字がよくこれを物語っている。電気は 3,876 万キロワット，ガスが385万立方メートル，水道 270 万立方メートル。具体例で比較すると電気はオータニ，パレス級のホテルの約２倍，水は村山貯水池容積の５分の１，東京ガスの豊州工場についでその消費量は第２位である。電話施設としては 3,900回線。３つの付属病院の外来患者は１日3,000人，年間約100万人の診断を行なっている。3,700人の教官のうち年間約500人は，研究，調査学会出席などの目的で世界中にちらばり，かつ飛びまわっている。ご自慢の 3,200 トンの海洋研究船は今おそらく広い太平洋のいずこかで活動している。海外から訪ねる学者も多く，常時 500 人の留学生が日本人とともに勉学している（天城勲「変貌する日本の大学」)」。

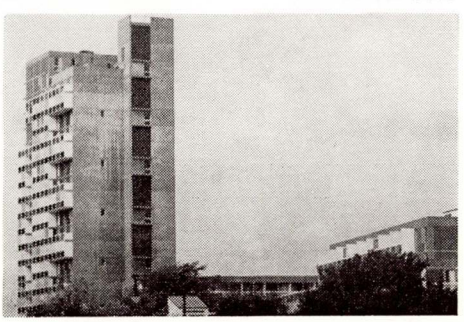

ボストン大学



ボストン地図（Forumより）

クラーク・カーは，こういった大学のマンモス化を，「マルティバーシティ (Multiversity)」と概念づけている。「かつて大学は，牧師のいる一小村のように考えられていた。在来の総合大学 (University) は，村から町に昇格した。それは少数の知識の治めている一産業都市の観があった。それが，さらにマルティバーシティとなると，それは無限に多様なものを包蔵している大都会となった。ある者はその中で道を失ない，ある者は指導者にのし上る。多くはその細分化された文化部門のひとつに身を寄せている。そこには，村のときのような社会的連帯感は薄いが，同時に，狭い村に閉じ込められていたときのような閉鎖性はない。産業都市の場合のような目的の自覚はないが，より多くのすぐれた方式をもっている。大都市では創造的な人物も，流れ者も，無名の存在として，ひそんでいる……（茅誠司訳「大学の効用」)」。そして，彼はさらにこのマルティバーシティの未来を，「頭脳の町」の将来に位置づけ，「こうした大学の集団は，また，その集団の周辺に，科学の助けを必要とする産業や政府関係企業を集める結果となった。大都会の吸収力に対抗すべく，いまや，新しい知能都市（イデオポリス）が生まれたのである。もはや，孤山独り地に君臨するなどということはあり得ない。星座は孤独の星一つよりも，はるかに大きく，かつ明るく大空を照らすのである（前書)」。と予測している。ただ，

ハーバード大学



ＭＩＴ



東京大学をはじめ日本の大学は，マンモス化の様想は似ていても，ここでいわれているマルティバーシティの流動性とは根本的に異なった点がある。日本の大学は塀をもって町から閉ざされ，町とは一体になり得ない。大学の発展は大学のキャンパスの中でやりくりが行なわれ，そのキャンパスが一ぱいになってしまったら，今度は，町から離れて逃げ出していく。大学が街にあふれ出し，その中へ浸透していくということはない。

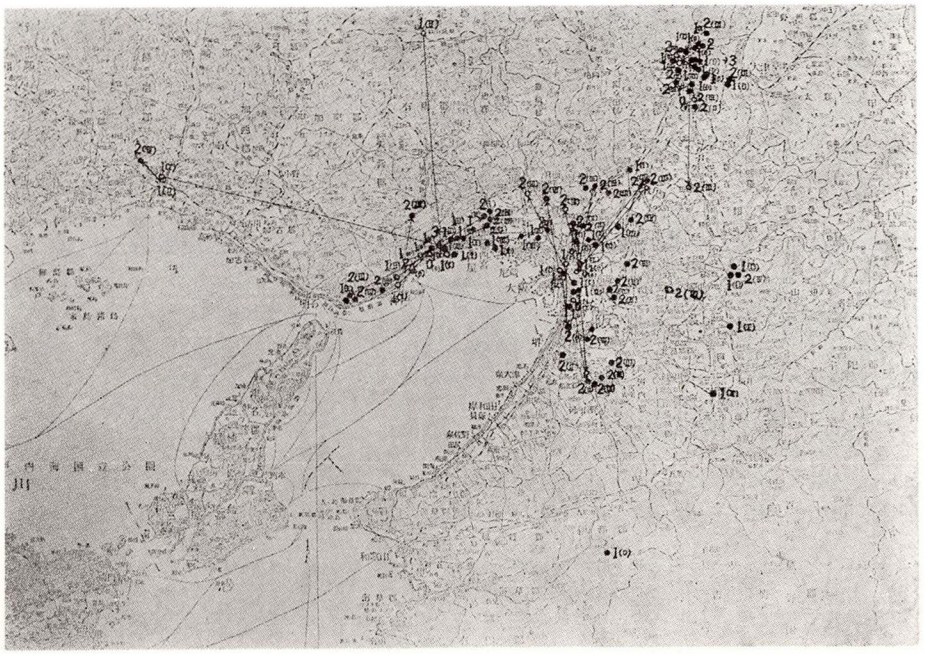
## 都市の大学化

5）こういった大学の都市化がもたらす将来像に反作用して，都市の大学化が思考されてくる。アメリカ科学文芸アカデミーの西歴2000年委員会のいう「大学都市（University city（スチーブル・R・グラバード「明日の大学都市」）」という考え方もその一つである。そのくみたては，現在の都市「会社都市（Company town）」と対比すれば明らかになる。現在使われている意味での大学都市ではない。「会社都市」は，その中心は，数多くのオフィスビルが集積したビジネスセンターである。業務受理機能・商取引機能を中心とした都市，物的生産・流通施設の存在がそこに働くための労働者を吸引し，住宅地を従属させながらでき上がってきた工業社会時代の既成都市のくみたてとは，基本的に異なるものである。都市の中心は，人間の知恵の交換の広場としての大学である。脱工業化社会，情報社会での都市の基本的財産は，都市の人間そのものの知的技術から生み出される結晶と，その応用の結果に都市の人間がいかに魅力をもつかという知的興味のあり方，ということになるだろう。その知的交流の広場こそ，都市の情報センターであり，技術センターだということになる。現在の大学人口の圧倒的多数は，在学生，学位取得希望者，就職希望者である。将来の「大学都市」には，あらゆる年令層にわたる成人から，短期間もしくは長期間，たびたび集まってくる。そうなると，産業にとって魅力のある存在は大学となる。あらゆる産業は，大学の周辺へ集中してくる。先程のボストン・ケンブリッジの例は，その兆候である。技術者，科学者との交流につれて，産業自身のある部門は，大学と類似の様相を呈してくる。知識の獲得，伝達，応用という機能（ジェームズ・A・パーキンス「大学の未来像」）が使命だとする大学と産業自身の社会的役割が重なってくる。

6）日本の都市の将来の方向を，こういった都市の大学化の方向で思考していくことの必要性は，日本の将来の国際社会での役割を検討すればいうまでもないことだが，現在急速に進行しつつある市街地の開発・再開発の目標を見失なわないためにも強く要求される。遠未来の問題だけでなく，現未来の課題でもある。資源を持たない高密度教育国日本の将来の役割をどこに求めていくか，という話題も，現未来の課題である。大学のマンモス化による大学施設の必然的な郊外移転のスプロール，同じ郊外にそれらの知的環境とは何のつながりもなく，造成されていく大ベッドタウン，都市の邪魔物扱いされて追い払われ，ほり出されていくものの集団疎開地である研究学園都市事業，「会社都市」のイメージを追いつづけ，電子計算機と受信装置のみの情報センターが入居するその跡地利用のビル建設，といった具合のヴィジョンをもつ長期構想も充満している。

7）そこで「ボスワシ（ワシントンからボストンに至るアメリカ人口のほぼ4分の1（約8,000万人弱）」,「シピッツ（五大湖の周辺に位置し，西はシカゴから東はピッツバークまで，北はカナダまで拡がる地域，アメリカ人口の8分の1，4,000万人）」,「サンサン（太平洋メガロポリスでサンフランシスコからサンディエゴにまで至りアメリカ総人口の6分の1，2,000万人）」と同時に典型的に存在するといわれる東京大阪地帯（ハーマン・カーン，アンソニー・J・ウイナー「33年後の世界＝1つの予測」）の西の焦点，瀬戸内海―水のメガロポリスと東海道―

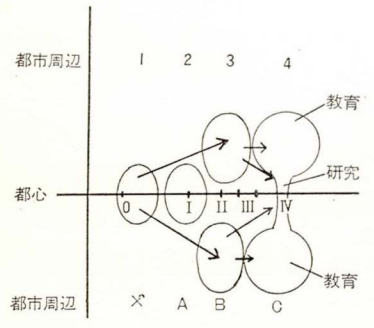
大阪湾ベイエリア：都市と大学①現況



<発展>
0 大学の前身が都市にあらわれた段階
1 大学が都市のなかで発展した段階
2 大学が都市とともに成長した段階
3 大学が都市の核を象徴する段階

<時代>
0 明治時代～1912
I 戦前 ～1940
II 戦後 ～1955
III 現代・未来

<位置>
× 都市
A 都心
B 都心→都市周辺
C 都市周辺＝都心



陸のメガロポリスの交点である阪神の都市と大学の将来像を検討してみなければならない。大学自身の時代的な発展過程と市街地のなかでの立地を組み合せ，その機能的発展段階の将来を位置づけてみようというわけである。大学自身の発展段階を準備段階と3つの発展過程の計4つに整理している。すなわち，準備段階は0，大学の前者が都市にあらわれた段階，発展1は大学が都市のなかで発生した段階，2は，大学が都市とともに生長した段階，3は，大学が都市の核を象徴する段階，である。それに，時代と位置を組合わせたダイヤグラムを基礎においた。

大阪湾を中心とするベイエリアを，その地域的位置づけ，開発―新市街地・再開発―既成市街地という計画手法を考慮して5つのグループにまとめる。①大阪湾臨海既成市街地を中心とした阪神再開発ゾーン，②北摂・北神の新市街地開発が主役となる北阪神開発ゾーン，③泉北・泉南・紀之川沿岸の未開発地帯を含む南阪神開発ゾーン，④京都・奈良をつなぐ歴史性豊かな文化再開発ゾーン，⑤空港建設を機会に積極的に計画していく必要のある淡路の技術を中心とした新しい文化開発ゾーン，である。京都の都市と大学の過去は，まさに「頭脳の町」にふさわしいものだった。知的産業を志向する産業側と大学の対話と交換のスペースにもっとふさわしい環境が，古い京都と新しい京都を南北につなごうという軸状都市構想そのものだろう。京都都心から都市周辺への施設立地の変動と機能づけを，この軸状都心を中心に計画していくべきだろう。淡路の都市づくりと施設づくりは，全くこれからのものである。空港を中心としたエアポート・コミュニィティ（Air Port Community）の新しいヴィジョンづくり，その機能編成のためのプロデュースが作戦の中心となる。空港は世界につながる情報の窓口である。阪神・大阪の大学は，戦前から戦後にかけて，既成市街地の周辺へ移動していった。現在，その位置は，丁度この阪神再開発ゾーンと北阪神および阪神再開発ゾーンと南阪神開発ゾーンの接線上に並んでいる。そこで，この2つのゾーンをつなぐジョイントが，この大学施設帯になるわけである。例えば，神戸の六甲山麓の既成市街地再開発ゾーンと，六甲背山の北神・北摂の住宅地開発をつなぐものは，六甲山トンネルを通して結ばれる神戸大学六甲台施設群と北神長尾に建設を企画されている神戸大学総合運動場・セミナーハウス群である。また，西宮の再開発ゾーンと開発ゾーンをつなぐジョイントは，岡田山・仁川の現在の関西学院大学•神戸女学院大学群と，西宮北部塩瀬•山口に計画構想されている教育・文化軸である。大阪の住吉，堺の歴史ある旧市街地と，泉北ニュータウン・富田林周辺などの新市街地・松原に予定されている流通市街地とをつなぐジョイントは，大和川をこえた大阪市大と大阪府大の結合にぶら下る帝塚山大学•桃山学院大学•大阪芸術大学のラインだろう。こういった教育を中心とした機能軸につながるかたちで，既成市街地中心には，研究機能・情報機能を主役とした研究所施設の軸を配置していきたい。神戸では，ポートアイランドの先端に港湾•海運・造船の技術•経営を総合化させ，さらに海洋開発にまで展開しうる研究所をシンボルとして配置しようとしている。

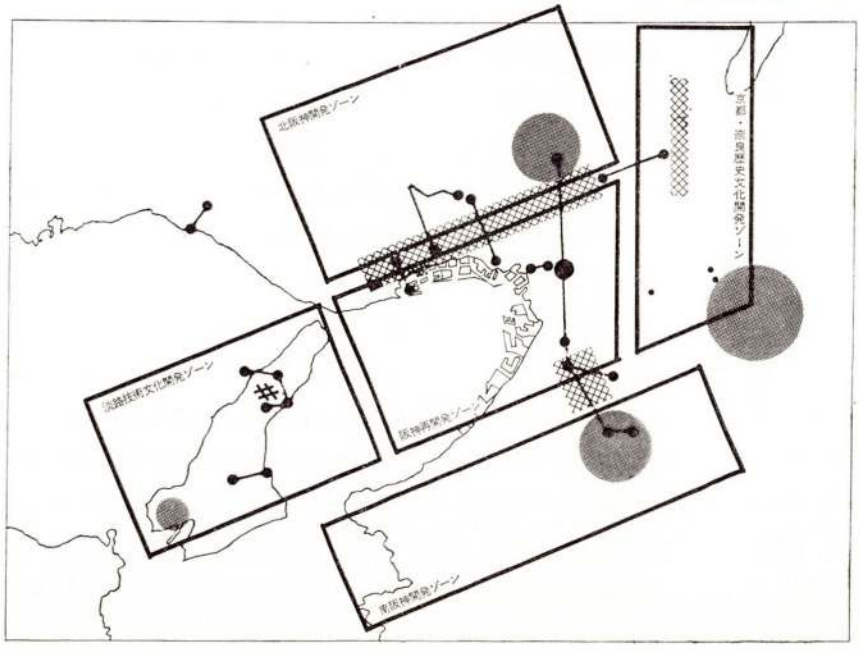
芦屋では，大阪湾西部埋立地芦屋沖の埋立住宅地の先端に，近代美術館を中心としたブレーンセンターのデッキを画いている。西宮ではこれも大阪湾西部埋立地の新しい港湾施設建設を契機として，生活環境の為のスペースデザインを軸とした技術開発を方向づけて，市内の既存の工業地帯をより研究，開発型に高度化させようという考え方の可能性を検討している。大阪の福島では西の港湾を中心とした物的流通センターと流通加工機能，東の取引機能，業務受理機能に，それぞれサービスする為の研究所•コンサルタント業務施設をシンボルづけて，かつての下町のよさを再構成したかたちで再開発の計画をまとめてみた。

大阪の中之島が，こういった未来の大阪を約束するシンボルになる必要があることはいうまでもない。ジョイントから都市周辺の方へは，野外セミナーハウスカラスターを点々と配置してつなげる。能勢，金剛山，南淡，奈良大和高原などである。

水のメガロポリスと陸のメガロポリスの接点という条件を十二分にいかした国外・国内の物的流通・高度流通加工という従来からの機能の一層の高度化と同時に，国際空港を中心とする新しい人的交流が，大阪湾ベイエリアの世界への結びつきをより一層活動的にさせる。

世界へ送るにたる価値のある技術の情報を生み出すためにも，世界の知識が魅力をもって集合してきてくれるためにも「頭脳の町」の都市設計は重要である。

大阪湾ベイエリア：都市と大学②計画構想スケッチ




（みずたにえいすけ：大阪市立大学都市計画研究室）

# 大学の移転統合に伴なう諸問題—大阪大学の場合—

足　立　　孝

## § 大学は一様でない

ここ数年，国立大学だけでも，移転統合を完了したものや建設途中のものを数えると，名古屋大学をはじめとして10指に近く，希望を表明しているものをいれると相当の数になる。

新制大学発足以来の懸案問題であったタコ足の解消，高度成長に伴なう学生増募，学科，講座の増設による現敷地の狭隘化が，その一般的原因であるが，大都市にある大学の場合，公害による研究の支障も無視できない。

移転の実現については，首都圏や近畿圏整備法で大都市の工場，学校の新設制限を打ち出した頃から政府が，過密化対策の一つとして大学疎開を推進する姿勢を高めた点に負うところが大きい。しかし，大学といってもその置かれている状況や内部事情は種々様々であって，移転統合に対する態度は必ずしも一様ではない。

関東では筑波研究学園都市がクローズアップされて以来，何かと話題になってはいるが，在京の大学側の反応は複雑である。

東大・大河内総長は「大学移転は建物を建てればそれでよいというものではない。大学には何万の学生，何千の教師，事務職員がいる。……大学を抱えることによって都市の環境もいいものになるのではないでしょうか，そういう伝統や環境を，日本の都市の為政者はつぎつぎに壊わしている。……これは逆ではないですか，むしろほかへ行ってもらいたいものは，大学以外に山ほどある。」（土地住宅総合研究，1964・9）と述べている。これは当時の大蔵大臣田中角栄の勇み足的発言にそれとなく反論したものである。

次に，東京教育大学・大島教授は「東京からかなり離れた地方に移転すべきかどうか，その賛成・反対のまったく相反する意見は学問の性質，研究条件からでてくるのであるから，この限りでは妥協のしようのない，また相手を否定できない対立となるわけである。……しかも，これを長引かせたり，混乱させたりする原因となるものの一つに，どのような施設や設備が整えられるか明瞭でなく，大蔵省によって実現できない場合を，日本の大学はしばしば経験している。」（朝日新聞，1965・11・24）と述べている。

このお二人の発言から，"都市における大学の役割"，"歴史のある大世帯の大学のむつかしさ，とくに意見統一の困難さ"，"国家予算に対する不信"の三つの問題が一応指摘されるが，これから大阪大学の場合を述べる間にご判断ねがいたい。

大阪大学の場合，移転統合は戦後の歴代総長の懸案問題であった。終戦まもなく，大阪城を中心とする第4師団跡に統合する案もあったが，当時の社会の疲弊状態からみて，その成功を疑う人が多く，学内だけで流れてしまった。その後も迂余曲折があったが昭和29年6月，衆議院大学審議会第9特別委員会が，中之島をメディカルセンターとして関連学部を集め，残りの学部を北摂石橋の元浪速高校の敷地，ならびにその周辺に統合する二ブロック案の整備方針を提示した。それによって，一部の部局の反対があって中途半端な形ではあったが，石橋統合が進められていた。しかし資金の不足で充分な土地を確保しえず，モタついている間にその石橋すら，大学用地の周辺に住宅がせまり，その上伊丹空港が近いため航空法の高さ制限を受けて，横にも上にも延びられない状況ですぐ行き詰ることがみえていた。

工学部は都島区東野田にあるが，その敷地の狭さから成長発展が阻害されるおそれが全に感じられ出していた。すでに石橋には入る余地がなく，土地さがしをはじめたものの具体的な形にはならなかった。研究に支障を来たしていた微研，堺で不便をかこっていた産研も移転統合を希望していたし，どうしても新しい構想で再出発する必要があった。当時の岡田工学部長（現総長）は国際会議からの帰途，新しい構想樹立のために欧米のめぼしい大学を視察，前3回の外遊時と比較して，急激に建て込んで余地の少くなっている現状に強く印象づけられ，どうしても大阪大学の場合1,650,000㎡は必要だと痛感されていた。たまたま吹田市長が大学誘致の意向があることが判り，千里丘陵に視線が集中することになった。

吹田市としては工場と違って大学だと固定資産税がはいらない。事実そのような反対もあったと聞くが，市長は大学がくることによって環境がよくなること，特に少年に与える無形の影響を重視していたようである。余談になるが，工場誘致で公害を招来している都市に比べて，目先の財政負担の面では苦しいが，ニュータウン・大学・万国博を受入れて開発を促進している吹田市の行き方は，偶然があったにしても，衛星都市としての一つの賢明なあり方といってよいだろう。

昭和38年1月の部局長会議で，吹田の土地が正式にとりあげられたが，大勢は否定とまではゆかなかったが，冷淡な空気であった。石橋に集結して一応安定感を持つ部局が多かったせいもあるが，今までの実績から見て資金的に無理だと感じる人が多かった。絶対不可能だと断言する人もあった。推進を主張したのは工学部長，微研所長，特に説明のために出席していた私の数名に過ぎなかったが，赤堀総長は有力な候補地として考慮しようという結論にされた。直ちに総長，工学部長，微研所長は本省や大阪府，財界などの要路を歴訪し，精力的な局面打開の働きかけを続けられた。

詳細は省略するが，要するに，大阪大学の場合，敷地に余裕がなく，現状がみじめであったこと，そのため移転統合がいわば既定方針になっていたこと，移転先の吹田は大阪に近接し，筑波に比して多くの点でめぐまれた処であったからであるが，特に記して置きたい点は，保守的，現状肯定的になりがちな長老級の人々の中に洞察力と実行力に富む人々がおられたことである。赤堀前総長，岡田現総長，村田前吹田市長，このお三人の出会いがなければ今回の移転はできなかったといえる。歴史は人がつくるということ，努力によって不可能が可能になるということを今さらながら感じる。

## § 大学には金がない

従来，国立学校新設の際，用地は，最近の例では，高等工業専門学校のように地元の寄附によるか，東北大や神戸大のように国・県・市有地が対象になる場合がほとんどであった。ところが吹田の場合，すべて民有地であり数百人の地主を相手にしなければならなかったし，資金も莫大なものになる。地元の吹田市が開発協会を設立し全面的に協力してくれた結果，実現のはこびになったものの，大学だけでは到底不可能事である。

一番の問題はやはり資金であった。土地は高くなる一方であり，一日も早く買収しなければならない。その上，土地取得確実の線が出なければ，大学内部はもちろん，本省との打ち合わせにも影響するところが大きい。地主との話し合いに功算があっても，手付金を打たなければ確実にならない。大阪大学の場合，現有建物，敷地は相当な財源になる。それをもとに市中銀行とたびたび交渉したが，高度成長の裏目の出たきびしい金詰りの情勢にあって難航をきわめた。大蔵省が予算化すると約束しない限り融資できないという銀行側の堅い壁は容易にくずれなかった。大蔵省としても来年の予算を確約できないのは当然であり，鶏が先か卵が先かの膠着状態がしばらく続いた。「移転は大丈夫か」と本当に心配してくれる人や皮肉る人など人様々であったが，ニヤニヤしながらも，内心は討入前の大石内蔵助みたいなものであった。

中央への働きかけが漸く功を奏し農林中金からの融資の途が開け，用地買収が急速に進展し，昭和39年の年末ギリギリには待望の用地取得費20億円も40年度国家予算に計上されることが決定してやっと軌道に乗り出した。

この取得費は財政投融資による国立学校特別会計の借入金によるもので，大学の現有財産の処分によって返済することになる。本省は昭和40年度に国立学校特別会計法施行令の一部改正をして，今まで融資対象が大学附属病院に限定されていたのを，移転が人口の過度集中対策に資すると認められた場合融資しうる途を開き，次いで移転計画の閣議了承をとりつけ，政府の交替があっても事業が継続できるようにバックアップをしてくれた。おかげで，現在まで予算は一応順調についている。

用地取得の途中で万国博の会場位置が千里丘陵に決定し，予定していた大学用地の大部分が会場用地に含まれることになり，大阪府の希望を容れて会場用地の北部に大学用地を変更することになった。漸く北部地区で地域確定のメドがつき，開発協会から大学へ引渡しが行われたのは昭和40年末であった。予定面積660,000㎡の内，約15,500㎡が未買収で残された。未買収地の大口は阪急や大阪府所有のものであり，残り23,000㎡は個人所有で大学が直接交渉することになった。僅かづつ解決しつつあるが，万国博用地の買収値の影響があって，予算の増額がないと予定面積の減少も覚悟せざるをえない。

交渉中の大学用地を万国博用地として大阪府に譲ると決定してから学内では，その跡地の一部を譲ってもらい新しい構想を実現したいという希望が強くでてきた。その希望は要路に伝えてあり，会場計画にも配慮されている。万国博跡地利用の決定はまだ先になる見通しであるが，大阪大学では現在進行中のものを第一期移転とし，跡地利用の第二期移転を次の重要課題としている。

## § とぶ鳥跡をにごさず

閣議了解事項には昭和46年度末までに借入金を返済することになっている。跡地処分が早ければ早いだけ利子が少くてすむ。巨額なだけに，現在の経済情勢では，売却先としては一般の会社は無理であって，公団・公社が相手である。幸い順調に進んで，現在吹田に移転した部局は処分がすんでいる。ただ，中之島地区は大阪での中枢部であり，大阪大学が府・市・財界の協力によって設立され発展してきているだけに，今までに話がないことはないが，その処理には慎重を期している。しかし，財源である以上，いづれは処分しなければならない。下手にビル化すれば過密化対策にならない。大阪市の中之島再開発構想が先般公表（朝日新聞，1968.1.4）されたが，それへの道はまだ遠いようである。

## § 大学にもめごとはつきもの

東北大学の青葉山移転に関して起きた紛争の一つの大きな原因として「将来の教育・研究条件を決める重要問題に，各学部

教授会の意向を集約する努力が怠られていた」（朝日ジャーナル，1965・10・31）と指摘されている。

戦前と違って学部，研究所がふえ，一学部でも工学部ともなれば教授は100人を越す。教授会の運営も従来通りではまかないきれなくなっている。マンモス化すればするだけ紛争の危険性は増大する。学内での計画推進にはこの点に一番腐心した。

今回のような大事業を円滑に実行するためには全部局の協力が必要である。しかしいろんな事情で理想的にはゆかないので，移転を決定した部局と総長，事務局長とで移転問題連絡会議を設け，絶えず情報交換をし協議しあった。そこでの重要な事項については全部局の委員によって構成されている長期計画委員会にはかった上で，評議員会，部局長会議の承認をとりつけ，全学に絶えずニュースを流し理解を深めてもらうように努力をした。移転を決定した部局では，長期計画委員が中軸になって準備作業を進めた。ここではマンモス学部である工学部の進め方について略述する。

工学部では従来から，有志教授が会合して大学全般の諸問題について懇談していたが，情勢分析の結果，強力に移転計画を推進する時期に来たことを認め，学部長に進言して教授会にはかり，39年11月に移転計画委員会が発足した。理想から現実までの具体案をつくるために，議事の円滑化を考慮して委員は中堅教授5人にしぼられた。委員は年末年始もなしで会合を続け，しばしば夜半まで討論が続いた。

まず工学部全員の協力を得るためには，学部全員の総意を反映した基本的方針を確立しておかねばならない。もしあいまいなままで出発すれば，現実的な利害関係が具体化するにつれて百家争鳴の状態となり，多くの紛争と混乱を生じるおそれがある。したがって，強力拙速を避け，委員会独走の印象を与えることのないよう自戒することに委員の意見が一致した。

次に，大学関係の内外の資料をもとに大学問題の分析，討論を行ない，一応の問題を整理した上で総長と懇談，つづいて大学の基本的な問題について造けいの深い9人の教授の意見を求め，これに立脚して教授全員にアンケートを配布した。回答された意見を整理し起案する間に職員組合，工学部学生自治会の意見をも徴して「吹田地区統合整備に対処する工学部移転方案の骨組み」と題した報告書を提出，教授会の承認を受け，教授全員，さらに総長はじめ移転各部局に配布した。

その内容は，1：大学の現状分析，2：統合整備の理念，3：移転計画の骨組み（敷地・編成・共同施設・教室建物・生活環境・その他），4：実施組織，5：即刻着手すべき事項，の各項にわたる。その一端を示すと，

＜統合整備の理念＞，第一方針：「近い将来，全学集結の実現を期し，その希望を持続し推進する」

第二方針：「大学院を持つ，総合大学における工学部として計画する」

第三方針：「総合大学としての実をあげるため関連部局，学科間における協力ならびに共同の組織と施設を考慮する」

第四方針：「生活的環境整備を重視する」

あたり前のことを羅列したようであるが，いろんな事情を考慮して意味深いものである。しかし，ここでの詳述はさける。この内，特に第3方針によって文部省基準で割当てられた講座面積――これは先生方の最大関心事であるが――の一部を共同施設に供出してもらうことが一応スムースに実現した。

＜計画推進のための実施組織＞，各学科の利益代表の立場の人で構成された委員会が，いきなり実施原案を作成すると，いきおい各学科の主張をつきまぜた奇妙なものになるおそれがある。この欠点をなくし，しかも，各学科の利益代表が自分の意見を充分主張できる場を設定することがたいせつである。そのためには，各学科選出でなく，直接教授会または工学部長に対してのみ責任を負う委員によって構成された原案作成委員会が大筋を律する原案を作成し，学部長や評議員を経験された数名の教授と原案作成委員会（実際の名称は建設委員会）委員長，助教授会代表で構成された移転委員会が公益委員的立場で調整した上で，各学科ならびに各共同施設小委員会選出代表（主査と称した）との合同委員会で審議決定し，教授会に報告承認をとる方法を提案した。議題によって，既設の各種委員会と連絡をとりながら，しばしば合同会議を開いて，多くの意見を出してもらい，充分審議して不満の潜在化を極力避ける形をとろうとした。

繁雑な手間と多くの時間を費やしたが，明示した方針と公益委員的な調整によって大過なく進んでいる。その裏にはさすがに良識の存在が認められる。

ただ第四方針の生活環境を良くしようという点では，国家予算だけではなはだ不充分であり，まづ働く場所だけという我国の伝統はあらたまっていない。学生の寮や下宿の手配も遅れがちであり，職員の住宅や交通条件の改善もまだ問題として残っている。すでに先生方の多くはニュータウン内に住宅を求められているが，雇傭人のうちには退職せざるを得ないものが少くないようである。今後，地域社会との関係とともに，格別の努力が要請されている。

× × ×

吹田では，すでに微生物病研究所，同附属病院と産業科学研究所が移転を完了し，工学部の約3分の1がこの夏までに移転する予定である。第一期移転としてはこのあと工学部の残り，本部，蛋白質研究所が予定されている。工事は万国博終了後まで続き，第二期移転が可能になれば，まだ10年近く続くかもしれない。

紙数がつきたので，設計上の諸問題については，またの機会に譲らせていただく。

（あだちたかし：大阪大学工学部教授・大阪大学長期計画委員長，建設委員長）

# 私学の教育と施設計画における問題 —追手門学院大学の場合—

天　野　利　武

## 1. 私学教育の特色と施設計画

国立の学校や，都道府県立の学校や，市町村立の学校等においては，それぞれ国や地方公共団体の教育方針に基いて教育を行なわなければならない。公教育においては，学校ごとにかってな教育方針を立ててそれぞれに特色のある教育を行なうことは許されないのである。これに反して，私学教育の特色は，学校ごとに独自の教育方針を持ち，それぞれ色合の異る教育を行なうところにある。

もとより私学といえども，すべて教育関係の諸法規の規制に従わなければならないわけではあるが，ミッションスクールと仏教関係の学校との間には，おのづからはっきりした教育方針の相異が見られるはずである。今日マンモス化してほとんど本来の特色を失ってしまった著名な私立大学でも，その創設の当初においては，それぞれにはっきりした建学の精神と呼ばれるものがあって，独自の特色を持つ教育が行なわれ，入学志願者もその特色ある学風を慕って，その門に集ったはずである。

私学教育の特色は，まさに各学校ごとに異る教育方針ないし学風のはっきりした独自性にあるといわなければならない。もしそうであるならば，私学教育における施設計画は，それぞれの学校の特色をできるだけ効果的に表現することにまず重点を置くべきであろう。

しかしながら，今日の私学における施設計画は，教育上の立場よりもむしろ経営上の立場から考えられる傾向が強い。したがって学風の特色を発揮するということよりも，できるだけ多くの学生を惹きつけることに重きを置くようになって来ている。そしてこの点では，多くの私立の学校が共通の問題を抱えているのである。次にその中の主なものを挙げてみよう。

## 2. 私学の施設計画における共通の問題

### （イ）私学の施設計画における学生生徒優先

私学経営の立場から考えると，前記のごとく，つねにより多数の良質の志願者を惹きつけておくことが必要である。したがって施設計画を立てる場合にもこのことを第一に念頭に置かざるを得ない。また大多数の私学においては，建設の財源の大部分を究極において父兄の醵出金に求めなければならぬ関係上，直接学生生徒の利用する諸施設に重点を置かざるを得ない。すなわち経営上の立場からは，現実の姿においては，学生生徒優先ということが大多数の私学の施設計画における諸問題に共通する一大原則になっているのである。

### （ロ）校地の選定における諸問題

私学にくらべて学費が比較にならぬほど安い国公立の学校，特に国立大学の場合ならば，校地をどこに設定しょうと，志願者の確保という点からは，大した問題ではあるまい。仮に東大を筑波山麓に移したとしても，入試応募者の激減を心配する必要はない。しかし私学の場合は，そうはいかない。

新たに学校を設置する場合にしても，また校地が狭くなるとかその他の理由で郊外に移転する場合にしても，校地の選定ということは，私学においては，種々の角度からの考慮を要する重大な問題である。

まず第一に考えなければならないのは，学生生徒の通学の便ということである。他の条件が同じならば通学の便利な学校を選ぶことになるのは当然である。しかし郊外における道路やバスの急速な発達およびスクール・バスの使用ということを考えると，今日不便な場所が数年後には極めて便利な場所になるということもあるので，交通に関する将来への見通しをつけて校地を選定することが必要であろう。

第二に考えなければならないのは，人口動態である。東京や大阪等の大都市では，郊外の住民が増加し，都心部の住民が減少しつつある。私立の中学校や高等学校を新設または移転する場合には，当然将来ベッドタウンとして大いに発展する可能性のある郊外に校地を選定すべきであろう。

第三に考えなければならないのは，いわゆる公害の存在する場所，または将来公害の発生する恐れのある場所を避けることである。

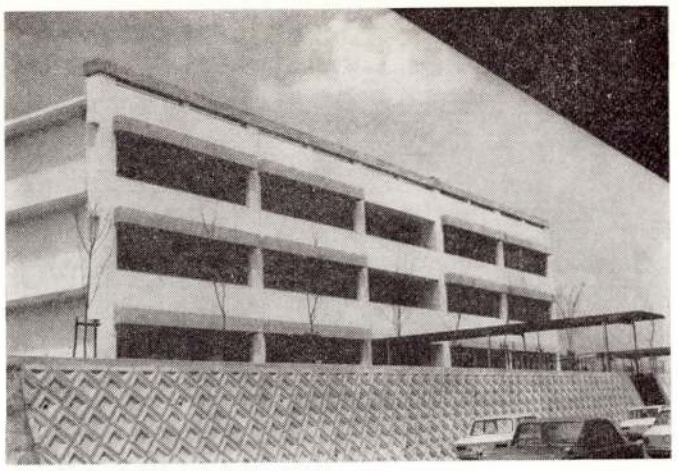
第四に，私立大学の場合には，国公立の大学から著名な教授を非常勤講師として招くことが多いが，それらの講師の所属大学との地理的関係が講師確保の一つの条件となることも忘れてはならない。

第五に，性格の似た私立の学校が近接して設置されることは，相互に不利であることは言うまでもない。

第六に，低湿の地よりも小高い丘の上などの方が教育環境として望ましく，また建物が引立って見えるので宣伝的効果も期待できる。



追手門学院大学教室棟１号館



２　号　館

### （ハ）建設の順序の問題

国公立の学校の場合には，特に国立大学等の場合には，教室・実験室および教官研究室・管理部門の事務室等が優先的に取扱われるが，私立学校特に私立大学の場合には，食堂・体育館・学生のクラブ室等の学生のための諸施設が優先的に取扱われる傾向がある。したがって新設大学などの場合でも，大学設置基準にもとづいて建設を進めるわけではあるが，その建設の順序は，普通教室・実験室・演習室等学生の授業に必要な施設はいうまでもなく，食堂・体育館・学生のクラブ室など・学生のための諸施設の整備が教授等の個人研究室の整備等よりも先行しがちである。したがって私立の学校においては，事務室の整備等は，一番あと廻しになるのが普通である。

### （ニ）内部施設の特色

私学の内部施設は，学生や父兄の関心を惹き易いような施設の充実に重点を置くところに一つの特色がある。例えば大学の場合について言えば，Ｌ.Ｌ.（ランゲッジ・ラボラトリー）の設置・コンピューターの設置等に力を入れる。Ｌ.Ｌ.装置や冷暖房設備などでは，私立の大学の方が国立大学よりもすぐれている場合が少くない。

もう一つの特色として，いわゆるマンモス化した私立大学の場合，多数教育に必要な視聴覚補助施設が重要視されていることを挙げなければならない。

### （ホ）建築物の魅力の問題

私学は本来そのすぐれた教員組織，強力な教育力，指導力，および特色ある学風などによって学生生徒ならびにその父兄の関心を集めるべきであって，建物の壮大美麗をもってその力を誇示すべきものではない。しかしながら，他の条件がほぼ同様であるならば，建築物に魅力のある学校に惹かれるのは人情の自然である。私学が建物の偉容を競い，施設の豪華を競うのも無理のないことである。惜しむらくは，主として財政的理由によるのであろうか，少数の宗教関係の学校を除いては，同一キャンパス内の諸建築物の総合的美的効果をあげることに十分の考慮が払われていない。

## 3.　追手門学院の場合

以上私学の教育と施設計画における問題を一般的に取扱ってみたのであるが，私としてもこのような問題について考えてみるのは，はじめてのことであるから，思い違いや見落した問題など多々あることと思う。一番たしかなのは，自分の学校のことであるから，最後に私が院長でもあり，兼ねて学長でもある追手門学院の小・中・高・大学（経済学部・文学部）の施設計画に関して一言しておきたい。

追手門学院は，御承知の向きもあると思うが，明治21年に大阪偕行社附属小学校として創設され，大阪の名門校であると言われている。戦後学校法人追手門学院として再出発し，六三制の進展に伴い中学校・高等学校を併設し，一昨年大学を設置して本年創立80周年を迎えようとしているからである。

追手門学院の本来の校地は，大阪城の西北に濠と道路を隔てて接する旧偕行社の敷地を中心とする約6000坪の地域である。

ここに小・中・高等学校が同居していたのであるから，教育上無理を生ずるのは当然のことである。私が昭和39年に阪大を辞して学院長に就任してからの施設上の大きい課題が二つあった。一つは高校の移転，もう一つは大学の新設である。この二つを創立80周年を迎える昭和43年までに成しとげるということは，決して容易なことではなかった。

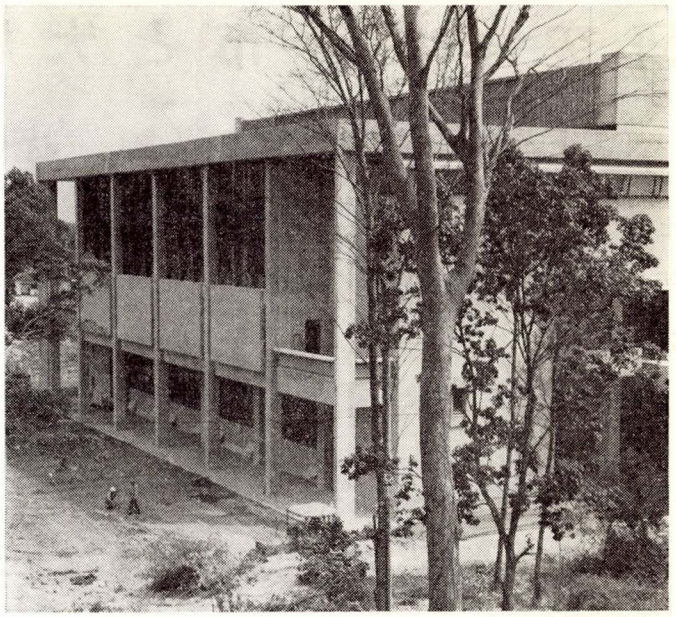
幸いにも茨木市安威の将軍山丘陵に学園建設の適地を見出したので，ここに大学を新設し，高校を移転することになった。大学の校舎の第一期工事は，時間的制限があったので，設計も工事もすべて大成建設に依頼したが，その際私が注文をつけたことが二つある。その一つは，凹凸のある丘陵の自然と将来建築される諸々の建物の総合配置とをマッチさせるように整地ならびに施設計画を立ててもらいたいということであった。もう一つは，教室を主とする中廊下の建物の場合，廊下を思い切って広くすることであった。このことは建築費の点と実用という観点からはまことに無駄なことであるが，気宇の壮大な指導者を育成したいという私の念願を実現するためには，北摂の平野を眼下に展望できる校舎の位置づけとともに，心理的には極め

て大切なことであると考えている。

このような私の考え方は，第二期工事以後の設計監督を引受けてもらった日建設計工務の方でもよく呑み込んでもらって，今日見られるような諸建築物とその配置とが実現されたわけである。

茨木市安威の校地は，五万坪弱であるが，ここに第１期工事として，昭和40年度に大成建設により建設したのは，大学の教室棟と食堂である。この教室棟の中に教授などの研究室や学長室・学部長室・事務局長室その他の管理部門も普通教室を改造して当分の間同居することになった。第２期工事としては41年度に，大学の教室棟第２号館と高校の校舎とを大成建設により建設し，第２号館には図書館・L.L.，教養課程の心理学実験室などを設けた。次に第三期工事として，42年度に佐伯建設により体育館兼講堂と寄宿舎とを建て，前者は本年４月後者は７月に完成の予定である。第４期工事としては，普通教室および専門課程の心理学実験室の増築，研究棟の新築を予定しているが，第二期工事以後は，すべて日建設計工務にその設計を依頼している。建設の仕事でなお残されているのは，正規の独立した図書館の建物，管理棟，総合運動場の整備等である。造園については，大学や高校のＰＴＡが力を入れているので急速に整備されつつある。

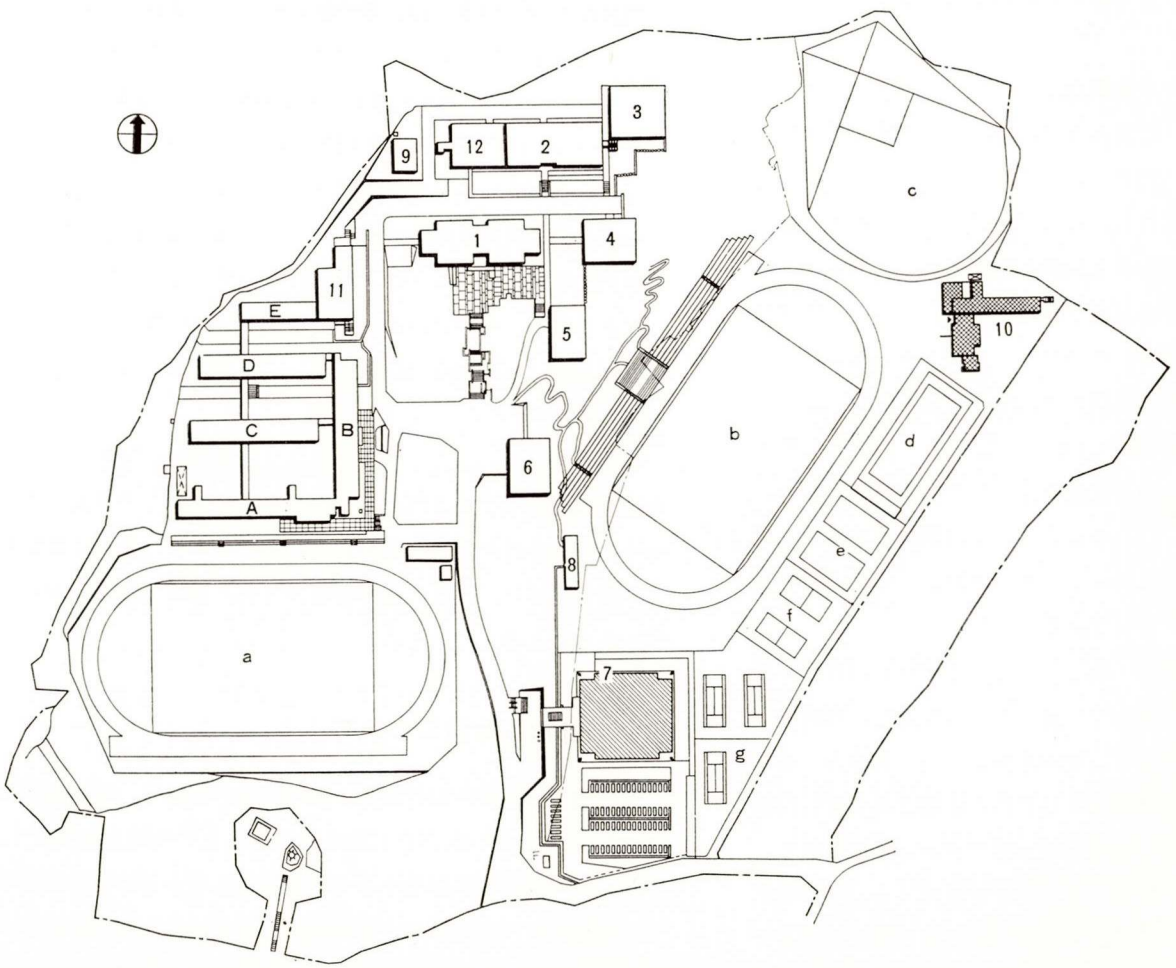
追手門学院の茨木の学舎の校地の設定，諸建築物の配置・外観・内部施設などすべて，前述した私見を裏づけるようなものであると考えていただいて差支えない。



講堂兼体育館

ただ私として最後に申しておきたいことが一つある。それは，私学の特色を発揮し，真に私学として私学の価値を発揮させるものは，その建物にあるのではなくて，その教育精神の独自性にあるのだということである。

（あまのとしたけ：追手門学院院長・追手門学院大学学長・文博・大阪大学名誉教授）




配置図

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 大学 | 一般教室棟 |
| 2 | 〃 | 教室棟 |
| 3 | 〃 | 専門教室棟 |
| 4 | 〃 | 研究室棟 |
| 5 | 〃 | 図書館 |
| 6 | 〃 | 管理棟 |
| 7 | 〃 | 講堂兼体育館 |
| 8 | 〃 | 部室 |
| 9 | 〃 | ボイラー棟 |
| 10 | 〃 | 学生寮 |
| 11 | 〃 | 食堂 |
| 12 | 〃 | 教室棟 |
| A | 高等学校 | CR棟 |
| B | 〃 | 管理棟 |
| C | 〃 | 理科棟 |
| D | 〃 | 特別教室棟 |
| E | 〃 | 食堂棟 |
| F | | ポンプ及受電室 |
| a | 300mトラック | |
| b | 400mトラック | |
| c | 野球場 | |
| d | 50mプール | |
| e | バスケットコート | |
| f | バレーコート | |
| g | テニスコート | |

# 研究学園都市と大学

土　肥　博　至
若　林　時　郎
土　田　　旭

## 1. 新都市建設の目的について

研究学園都市建設の発想は，人口集中の著しい首都東京からの人口分散を目的とし，そのために首都になくても機能が果せる機関として，国立研究機関および大学に白羽の矢が立てられたものである。そして，これら機関の移転を契機に，研究教育環境を整備し，研究教育の刷新向上を計ることが，目的に追加された。

しかし，約5,000億の資金を必要とし，学生・研究者・その家族合せて約10万人の人間を，住みついた土地から新都市へ移住させる，ということは，ちょっと考えても，非常識に近い困難なことである。特に具体的に，移転に伴う諸問題を検討しはじめると，実に気の遠くなるような難問の山にぶつかるのである。

65年にわれわれが研究学園都市のマスタープランのスタディーをスタートして以来，このような困難の多い事業を遂行するには，上述した程度の目的では到底これを正当化することは不可能である，と考えて来たし，このプロジェクトを実現に結びつけるには，より説得力のある理論と明瞭なヴィジョンが打ち立てられねばならない，と主張し続けてきた。しかし，残念なことには，現在に到るまで，このプロジェクトを企画した政府からも，移転の当事者である研究者，学生の側からも，こうした論理とヴィジョンは明らかにされておらず，新聞紙上などで，学者・評論家が散発的に意見を提出している程度である。

そこでやむなく，われわれが独自に，この新都市の建設の意義と目的を設定し，それに続くプラニングのよってたつ所を明らかにせざるを得なかったのである。

1）大都市圏再編成計画の一環としての研究学園都市建設であるべきこと。大都市の機能は今後いよいよ多角化，複雑化してゆくことは明らかであり，知的産業はその一角を占めるだけでなく，教育，研究機能こそこれからの都市の主導的役割を果すであろうことが予想されるからである。その意味で，都市再編成事業の第一弾として，イデオポリスとしての研究学園都市を建設することは，今後の大都市の問題に対する一つの冒険的ではあるが，実りないアプローチであろうと考えられる。

2）国家的事業としての大学教育のあり方を探るものとして，大学建設を行なうこと。洋の東西を問わず，現在の大学は大きな曲り角にさしかかっており，旧来の殻の中におさまりきらずに，血みどろの苦斗を続けている。この転機を乗り越えるには，国家的努力の中で，新らしい大学の方向を探ることが不可欠であり，筑波学園都市の大学も，単なる既成大学の移転などではなく，現在するさまざまな制度的，伝統的，空間的，施設的制約から解放されるこの機会に，あらゆる新しい解決を探る貴重な試みと考えられるべきである。

3）科学研究センターとしての新都市にふさわしく，基礎から開発に到る巾広い研究を可能にするため，総合的な国立研究機関の整備と科学者の誘致を新都市建設の支柱とすること。世界的なすう勢として，科学研究に投ぜられる投資は急激に増大し，明日の社会への最も有効な投資と見做されるに至り，その中で，国立研究機関の役割は増大する一方である。わが国が，予想される厳しい国際競争に生き残るためには，従来の諸外国の研究成果に依存した研究政策を改め，学術研究の全面的発展を計ることがどうしても必要となりつつある。筑波新都市が，そのための良好な環境と自由な機会を与え得るとすれば，この程度の投資は決して高いものとはならないのである。

われわれには，少くとも以上の3つの大目標が関係者および国民の間に広く了解され，確認されない限り，この事業全体の価値に疑問を持たざるを得ないし，それよりも，多分この事業は不成功に終り，たとえ建物は建っても，都市の成立は不可能であろう，と考えている。

## 2. 新都市の計画について

筑波研究学園都市の計画は，63年9月に閣議で，筑波地区の立地が決定して以来，現在に到るまで連続して検討されており，今後も，相当長期間継続するものと思われる。というのは，こういうスケールの大きい，長期間にわたる開発事業の計画は，或る時期，或る計画案を作成するということとはおよそ様相を

異にし，計画案を作るのは新らしい問題の在りかを探るためであり，実現への方策を見出すことであって，決して完成図を描くことではないからである。

といっても，やはり，計画の遂行上，期を画するいくつかのポイントがあることも事実であろう。その第１は，64年各移転機関の候補と立地を大略決めたものであり，第２は66年夏，都市のマスタープランの骨子と機関の土地面積を決定したものである。以下，65年から66年にかけて，都市計画学会においてわれわれのチームが行なったマスタープラン・スタディを中心に新都市計画の概要を述べる。

新都市の位置は，東京の北々東約70㎞の農村地帯である。そのすぐ北には関東平野につきだした標高約800m筑波山があり，東北方約８㎞には人口８万人の土浦市と霞ガ浦がある。土浦と東京とは鉄道で70分，道路で120分の距離である。道路については10年計画の新都市完成までには，常盤自動車高速道路が建設される。これは首都高速道路網に結ばれて東京のどことも新都市は約１時間で連絡することができることになる。（Fig-1参照）敷地の状況は，標高20～30mの洪積台地でほとんど起伏はなく，松の平地林に覆われた部分と平坦な畑地とが相半ばしている。

都市の区域は必ずしも明瞭ではないが，当面開発を行なう区域は，土地取得の容易さから，極めて不整形な上，広範囲（南北18㎞，東西５㎞）に散在している。地区の面積は約3,000ha，その50%が教育研究機関用地，10%が計画住宅地，20%が民有地，20%が道路，公園等の公共用地である。

ここに設置を予定される高等教育・研究機関は，国立総合大学１校，単科大学および私立大学数校，国立研究機関約40，民間研究所等であり，研究機関は理工学系，生物科学系，農林学系，建設工学系の自然科学のほとんどの分野にまたがっている。

都市の人口は，昼間16万人，夜間14万人，うち学生３万人，研究者2.5万人，その家族４万人，関連サービス人口4.5万人である。

都市構造に関する基本的考え方は次のようである。

1）この都市での活動は，大きく教育研究活動と都市生活の２つに分けて考えることができる。前者の focus となるのは

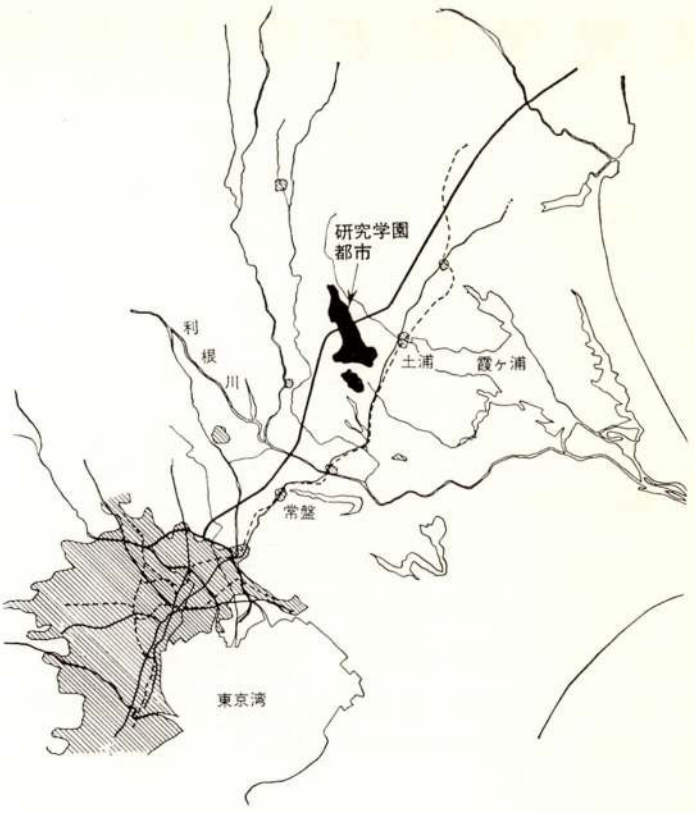



Fig - 1

国立の総合大学と共同利用研究施設（研究者クラブ，会議場 computer center，data center等）であり，後者は，行政・文化・購買・レクリエーション等の施設をもったいわゆる city center である。都市の骨格として，これらを直交する２軸の上に配置する。この軸は，この都市のもつ特殊な性格をシンボリックに示したものでなければならない。

2）この区域全域を都市化区域と考えるのは，その空間的拡がりと，限られた人口からみて，ナンセンスであり，これを一定範囲に押え，都市的空間を形成させる。

3）単に居住区域と各大学・研究所キャンパスを分離して配置することは，複合的都市区域を形成しにくい。そのため，国立大学と理・工系研究所群を居住区域に隣接させ，一体的発展をはかることを考える。

4）区域のほぼ中央に位置する中心地区には，行政，文化，購買，業務施設を入れるほか，各研究所が共同で利用する施設（例えば，電子計算センター，データセンター，会議場，研究者クラブなど）や人文・社会系の研究所も配置し，生活と教育・研究活動の真のコアーとなるように考える。

5）中心地区の周辺の住居地域は都心部としての空間のたたずまいを与え，したがって，あるていど高密度（300人/ha）とする。

6）住宅地としてはこのほか，独立住宅地区と低密度集合住宅地を混合させた，郊外住宅地域を計画している。

このマスタープランは，1967年各省庁，大学，各研究所に提示され，各大学，研究所はそれにもとずいて，各自の計画を

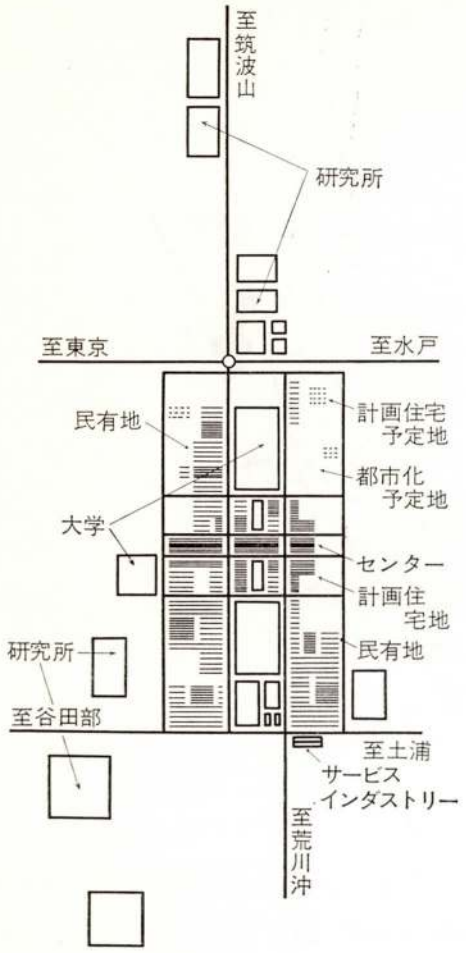



Fig - 2

すすめることになった。また住宅公団はこのマスタープランにもとずき，法定都市計画の原案と都市基盤建設のための事業計画を立案中である。

1968年春からは研究所のうち，無機材研と防災センターの2つが現地で研究所建設を始める予定であるが，大学を含めて研究所の建設がもっともさかんになるのは，1970年に入ってからであろう。

以上の考え方にもとづく，都市の構成を表現したのがFig—2である。

次に，この新都市に計画されている国立総合大学について，簡単に述べる。

この大学は，学生数約10,000人，教職員約5,000人，キャンパス・サイト約200ha，約10学部を有する本格的総合大学である。

## 3. 新都市の総合大学について

研究学園都市に立地を予定されているいくつかの大学の中で，中心的役割を果すであろうと期待されるのは，都市北辺に位置する国立総合大学である。

この大学は，現在都内にある総合大学を中核として，これを学部の増設・規模の拡大等によって充実強化し，わが国有数の総合大学を建設することが意図されている。

この大学の計画については，これから数年間の時間と多方面の専門的知恵を集めて進められてゆくべきものであり，またその歩みを始めたところであるので，ここでは説明を差控えたい。

ただ，この大学のキャンパス・プランの作業をわれわれのチームが始めてから，大学の計画上の極めて特色的な点であると考えてきたいくつかの問題と，大学の建設計画という大がかりな計画を進めてゆくための，考えねばならない手順，プラニング・プロセスについてふれておこう。

1）都市との関係

最初に，都市と大学との切っても切れない深い関係について注目せざるを得ない。現代の大都市圏との関係は別にしても，大学はその発生以来，つねに都市に立地し，またその都市を育ててきた。都市と大学とは，パリ大学におけるように，その初期においては，すさまじい斗いも展開したが，全体としては，極めて友好的関係にあったと言ってもよいであろう。特に，19世紀以降の近代大学の歴史は，両者がお互を必要とし，都市は大学の存在によってその文化的令名を競い，大学は都市を通じて，その成果と影響を全世界に響かせたのである。

筑波研究学園都市が，その名の通り，未来に生きるイデオポリスたり得るには，他の何よりも増して，水準の高い大学を必要とすることは疑問の余地がないし，その大学が，単なる一大学としてとどまるのでなく，曲り角にある現代の大学の苦悩を乗り越えながら，将来の大学の姿を描き出すことによって，都市そのものの価値と名声を限りなく高めるであろうと想像されるのである。

更に，具体的には，都市における大学の空間的位置によって，大学と都市とはいずれも，相当大きくその考え方を変えて計画しなければならないと考えられる。

Fig—3，ⓐは都市と離れた大学で，最近の郊外移転大学の大部分はこのケースに当る。この場合，大学の活動を充分可能にするためには，大学の中に，都市的スペースと施設を相当準備することを覚悟しなければならない。西ドイツの有名な新設校ボフムはこのタイプで，大学が人口2.5万人の街を作る計画である。

ⓑは，都市の主要部分を占めるキャンパスを持つ大学で，都市と大学とは，お互いの空間と施設と機能とを共有することが

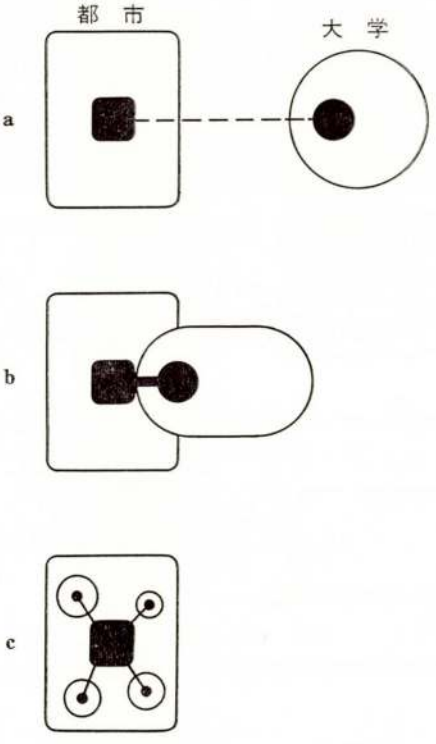



Fig - 3

できる。東大の本郷，カリフォルニヤのバークレー，イギリスのオックスフォードなどはこのタイプである。

ⓒは，いわゆるシティ・ユニバーシティで，都市の都心部に近い所に分散して，大学施設を有し，特定のキャンパスは持たない。パリ大学，ロンドン大学，ニューヨーク大学等この例は欧米には多いが，カレッジを中心とした旧いタイプの大学は別として，複雑で大規模化した現代の大学機能を果すには，やはり広大なワン・キャンパスをどうしても必要としている。

筑波では，前述した通り，このⓑタイプを採用しているのであり，この都市における総合大学の持つ重要性を，空間的にも表現しているのである。

また，都市のセンターと，大学のアカデミック・コアーとは，約1㎞離れて対峙し，研究学園都市のフォーカスを形づくっている。この2つのコアーは緑のオープンスペースと文化的研究的施設の軸で結ばれている。この軸を通じて，市民は自由に大学のキャンパスを利用し，大学の行事や活動に参加し，学生は街に飲食や買物やレクリェーションや集会に出かける。市民は大学の成人教育に出席し，大学の講議や実験はI.T.V.を通じて市民の家庭に入り，学生と市民のスポーツ試合や演劇サークルが育つであろう。

2）学生寮の生活

筑波では，大学は学生に対して，原則として全員に学生寮を準備せざるを得ない。しかし実際は通学の可能性と個人の選択によって，¼程度の学生はキャンパスの外に住むと考えられている。

問題は，通常少数派であるドミ学生が圧倒的多数を占めるに至ることであり，逆に通学生が完全に少数派になるわけである。

前の問題は，大学の計画に基本的な影響を与える。通常の大学では，登校している，1日わずか5～6時間についてだけ，大学は責任を持てば，ともかくそれですんでいたのに対し，24時間，学生の全生活について何らかの考慮を払わなければならなくなるのである。そして，従来キャンパスの端の方に，大学の中心的活動とは無縁の如く押しこめられていたドミが，キャンパスの中で充分適当な地位と位置とを要求するようになる。寮は単なるドミではなくなり，それ自体教育のスペースとしての意味を大きく持って来るのである。こうして，寮が，学生の大学キャンパスにおける多面的活動の実質的根拠地になるが，そうなると，少数派の通学生の問題がクローズアップされる。彼等は，現在のほとんどすべての大学の学生と同じく，大学における活動のベースを失うからである。そこで，彼等の根拠地を学内に見出してゆかねばならないが，それは，あらゆる点から考えて，寮に設けることが最適と思われる。したがって寮は，ティーチング・スペースの一部と，寮生の居寝室と通学生の居室（スタディ・ルーム）とから成るカレッジを構成することになろう。そして，ここから，教室との関係が更に考慮されてゆく必要が生じる。

こうして極めて多数の学生が，大学キャンパスで生活することになれば，大学の与える授業や学習だけでは，彼等のエネルギーは消費されつくすことなく，極めて多方面にわたるスポーツ・芸術・文化・技術の自主的活動が展開され，市民の参加と相まって，非常に文化的水準の高い社会を形成する可能性が大きい。と同時に，講議やゼミナールも，単に固定的な形でなく，夜間講義や，自宅ゼミなどの自由で多彩な方法を準備せねばなるまい。

3）アカデミック・プランの問題

欧米の諸大学は，必ずアカデミック・プランを作成し，これ

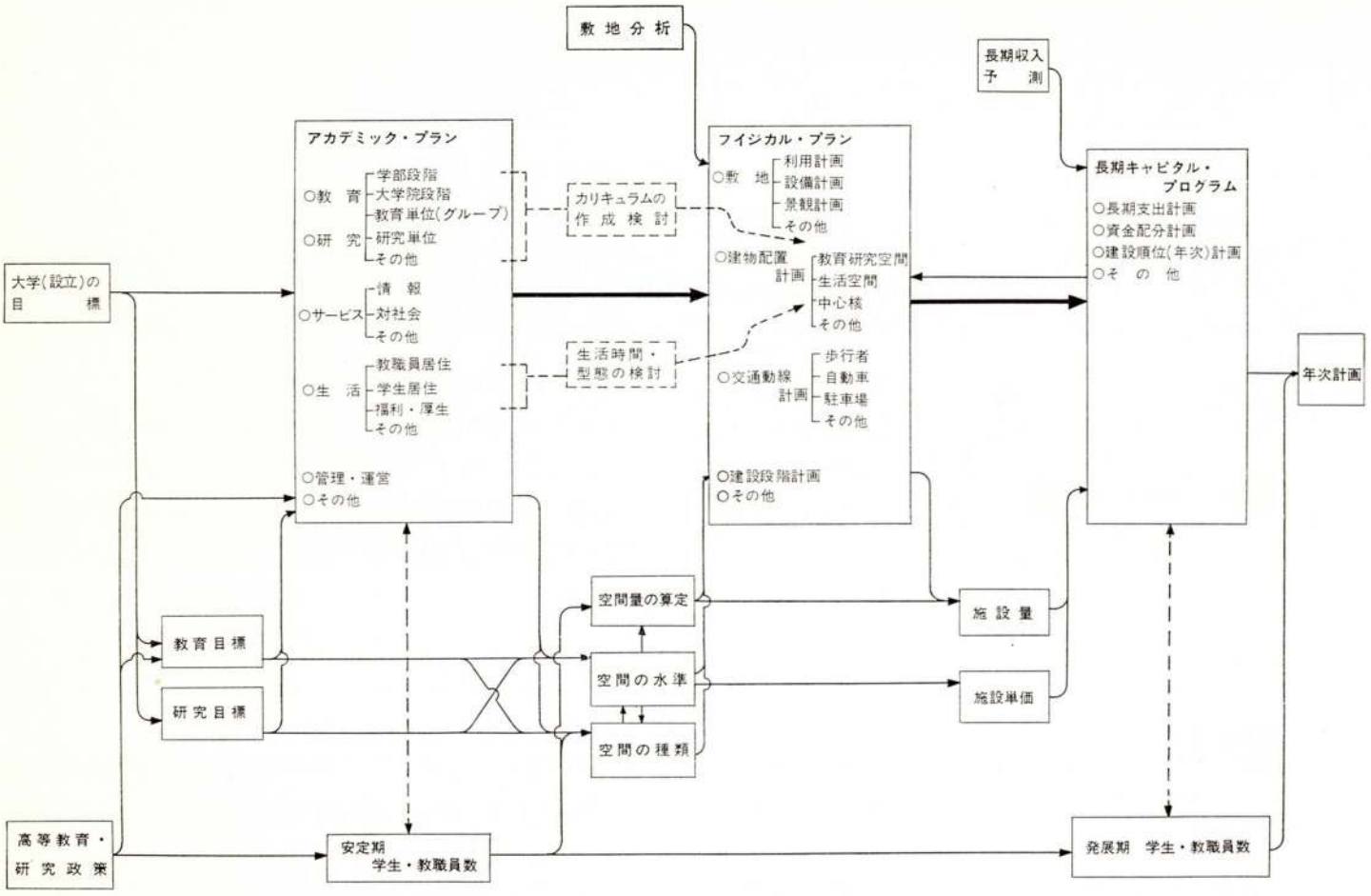



**Fig - 4　大学キャンパス計画のプラニング・プロセス——フィジカル・プラン周辺の基本的計画要素——**

を定期的に改訂している。大学のスペースや施設の建設を計画する時には，これを計画の目標として作業を始めるのである。

アカデミック・プランといわれるものは，国や大学によって，その力点の置き方や表現の方法は異っているが，大学設立の精神から始まり，現代大学の使命の3本柱といわれる研究・教育・社会奉仕に対するその大学の基本的考え方，さらに個々の研究・教育のためのシステムとその運営に対する方針を含み，大学の将来の変化に対する見透しと対策を述べているものである。

これに対し，わが国の大学，特に国・公立大学の場合には，これに相当する基本的プランを有しているものは全くないといってもよい。それは，わが国の大学が，最初は西欧の大学の形をまねるのに精一ぱいであり，その後は時の政府の国力増強政策に追随させられる運命をたどったためであって，大学の自治が充分根を下ろすには，あまりに日が浅いためであろう。

しかし，今日大学の自治の原則だけは高く掲げられ，また曲り角にきた大学の諸問題を解明してゆくためには，どうしても各大学は，充分個性のあるアカデミック・プランを持ち，その指針にもとずいて，大学活動のあらゆる面に気を配ってゆく必要が生じているものと思わざるを得ない。さもなければ，今の危機を乗り越えられないだけでなく，あらゆる大学は平均化し，大学の機能と役割は低下し，自治そのものが危険にさらされることになるであろう。

アカデミック・プランは当の大学が，大学の全能力をあげて作り出し，高く掲げて守り育ててゆくべきものである。キャンパスの計画やフィジカル・プランは，これをいかに空間や施設において生かしてゆくか，という計画なのであって，アカデミック・プランの存在しない所に，立派なキャンパス計画が有り得る筈がないのである。

4）大学計画のプラニング・プロセス

Fig—4は，この計画を始めて以来，除々に明らかになってきたと思われる，大学計画のキャンパス・プラン段階でのプラニング・プロセス，特にアカデミック・プランとフィジカル・ディベロップメント・プランの関係をまとめたものである。

（研究学園都市地区設計研究会）

# 大学生活（寮・学生会館・部室について）

吉川忠常

大学生活とは，一体どんなものだろうか？

一口にいえば，実社会へ出て，一人前の人間として，立派に活躍し，かつ指導的な役割を果せるような人間を形成する場だと，私は思う。一方，人が成長して行く過程においても，大学生のころが，最も重要な時期でもある。

大学生活を大きく分けると，正課（授業）と課外活動の二つに分けられる。これらを，人間交流の立場から見ると，教養課程においては，正課（授業）は，一人の講師が，約50名（多いときには200名）の学生を相手に講義をする訳で，講師と学生の交流は十分には望めない。また，専門課程でのゼミナールについても，学生数は半減するとしても，年間の授業日数から考えれば，学生が自己を発表する機会は数える程しかない。一方課外活動についていえば，そのほとんどが，人間交流の場である。そして，その人間交流は，大半が大学の施設を通して行なわれている。ここでは，正課で使われる教室，実験室等については，ふれないで，課外活動の施設のうち，学生寮，学生会館サークル部室の三つをとりあげてみよう。

## 学生寮

これは，学生にとっては，生活の場であり，憩いの場であり勉強の場である。健康的な生活，文化的な生活は，憲法にもうたわれているように，人間にとって必要なものである。ところが，現状を見ると，（これは単なる一例にすぎないが）雨がふれば雨漏りがしたり，ねずみの数の方が学生の数よりも多い所があるらしい。学生に良い環境の中で生活させてやりたいものだ。

学生寮を歴史的にみると，昔の旧制高校（現在でいえば，教養課程に当る）では全寮制であった。そこでは，先輩が後輩をあらゆる面で鍛えたのである。無茶な鍛え方もあっただろうがその中で，芯のある人間が作られていったように思われる。鍛えられる後輩は，いずれは先輩として後輩を指導する立場にたつ。このように，教えられる立場と，教える立場を経て，自分自身が鍛えられていったのである。

学問研究と真理追求という目的は，全寮生にとって同じ目的である。その同じ次元の上に立って，個々の人間が，自分の役割（単に学問上だけではない）を考え，自分自身を見つめて，その役割を十分発揮する。そうすることによって，寮全体が一つのものとして動いていく。そこに初めて，大学としてのカラーができたし，その大学を出た人間の特色でもあった。しかもなお自分を見詰め，自分の役割を常に考えるところから，個性的な人間ができていった。

では，現在の寮生活は，どうであろうか？

ある面では民主的である。だが反面，人間を鍛えるということでは，弱いように思われる。すなわち，戦後の民主主義教育の定着による良い面と，合理主義的要素の悪い面である利己主義がはびこり，コミュニケーションのない単細胞化しているともいえよう。その結果，寮というものが単なる経済援助という要素が強くなっている。細分化された現在の社会へ巣立って行く学生には，現在的な人間の鍛え方が必要ではないだろうか？社会へ出れば，しっかりと自分自身をつかんでいないと迷うときが出てくる。だからこそ，自分で自分をしっかりとつかめる人間を作る意味で，寮生活を一つの人間形成の場として，見ることができるのではないだろうか。

では，実際に寮を使っている学生は，寮に何を望んでいるのだろうか？　まず第一には，やはり安心して生活できることだろう。それには，静かな環境で十分勉強ができ，寮の内部にはディスカッションが十分できる場所を求めている。同じ寮生と討論する中で，自己を鍛えていくのである。一方，大学側としては，寮生活の中で，創造性に富んだ人間，芯のある人間が形成されていくことを望んでいる。残念ながら，現在，全寮制を取っている大学は数少ない。そこで一つの方法だが，（あくまで私見であるが）入学と同時に全員寮に入れ，高校時代，あるいは浪人時代の，一方的な知識の吸収だけであった生活を精算する時期を持ってみるのもいいと思う。この期間は，教養過程の間の１～２年とし，それが過ぎれば，１年に３～６カ月を，今度は後輩を指導する立場で再び寮に入れる。

このようにして，団体生活の中で自分を見詰め，自分の個性を確立し，自分の方法論を身につけることは，専門課程でそれを十分生かし，また，実社会でも十分発揮できるように思う。以上のような観点にたって寮をみると，学生寮として最も理想的な設備は，どんなものであるだろうか。まず，建物の場所は通学にあまり不便でなく，建物の構造としては，部屋は個室ではなく有効に使う意味で，6+4.5畳に３人が共同生活し，適当な運動ができるような場所（例えば卓球場のようなもの）と，憩いの場と討論の場を兼ねた談話室などは，いままで述べてきた点からみて，必要不可欠の要素であると考えられる。もっと

も，これには生活環境として，食堂，浴室，水洗便所，暖房設備等が考慮されねばならないのは，いうまでもない。

## 学　生　会　館

そこは，学生相互の交流の場であるし，学生と教職員との交流の場である。文化サークルの練習場であり，発表の場であり学生たちの討論の場でもある。クラブ活動の練習の中で，自分を伸ばそうとする努力がみられる。常に，今よりも少しでも良くなるように自分自身を鍛えている。そして，チーム・ワークを乱さないことが強く要求される。自分の最高のものを常に出し，チーム・ワークを乱さないことは，そのクラブとしても常に最高のものを発揮するのである。この練習においても，先輩に教えられ，後輩に教えていく過程があり，その中で少しずつ人間が大きくなっていくのである。一定の練習ができれば，それを発表する機会を持つ。これはクラブとして，あるいはクラブの一員としての自己主張であり，自分の最高のものを出そうとする。見る側にとっては，楽しむときでもあり，勇気ずけられるときもある。このときには，批判や賞賛が入り乱れ，クラブ対クラブ，クラブ対個人というような交流がなされる。これをくり返す中で，一つの組織の中の一員として，外部との接し方の態度も育成されていくし，組織としての方向も練られていくのである。会館の喫茶や食堂では，お茶を飲みながら，うどんを食べながら，政治，愛情，学問等の諸々のテーマについての討論がなされている。そこには，自己主張があり，批判があり，方法論が論じられている。

その中で，自己の確立，方法論の確立がなされ，自分たちの問題を自分たちの手で解決していこうとする方向が生まれてくる。これは，取りも直さず，自分たちで自分たちを作り上げているのである。以上のような交流が学生会館で行なわれている訳だが，物理的な位置や広さについて理想的なものはどんなものだろうか？　まず，大学の数々の建物の中心に近い所が場所として適当であり，各部屋については，用途によって利用場所を変えられるように，種類の違った部屋と，喫茶や食堂についても，十分な広さが必要である。会館を利用する学生たちが，一人でも多くの人間と接して，その中で自分を見詰め，自分を伸ばしていくのに十分な配慮が必要である。

## 部　　室

ここは，一つのサークルが発展して行くのを支えている場所である。連絡場所であり，更衣室（特に運動部の場合）であり練習に対する心がまえを論じる場であり，反省の場でもある。連絡場所については，掲示板一つあれば良い訳であるし，更衣室についても，適当な更衣専門の部屋があれば，何も部室を使う必要はない。だが，練習を何のためにするのか？　あるいはどんな方法で練習するのか？　を，一つのサークルとして考えていく上では，部室の果している役割は大きい。学生会館が，種々の人間の交流の場であるのに対し，部室は，一つのサークルの部員の交流の場である。サークルの目的を達成しようとする意味においては，部員間の基盤は同じである。

ここから，より密接な人間関係が生じる。一面では競争心を燃やし，他の面では，お互に援助し合う。それが強い結びつきを生み，自己と他人の相互関係を通して，各々が少しずつ人間としての巾ができてくる。また，サークルに必要な道具やスポーツ用品を自分たちで管理するところから，管理面での訓練もしらずしらずのうちに行なわれている。そして，サークルを分解してみると，代表者，マネージャー，会計という風に分業がなされている。しかし，役割を受け持った者に任せきりではなしに，サークルが，より良い方向に進むように，お互いがお互いを支え合っている。これは，小さいながらも一つの組織をどうするのか，また，自分の果すべき役割はどんなものかを自ずと考えさせられているのである。学生は，更衣室としても論議の場としても，十分果せられる広さの部屋を望んでいるであろう。現在の部室のあり方は，一サークル，一部室を原則としているので，サークルの殻の中へ閉じ籠もってしまう危険性も少しはある。

そこで一つの方法であるが，4～5の部室を一つにして，広いスペースを分担して使うことも考えられる。空間を広く使えるので無駄が少なくてすむだろうし，使い方によれば練習場ともなる。他のサークルとの共有という意味では，より多くの人間と接することができるし，サークルがお互いに影響し合い，より高度なものを作り上げていく可能性も考えられる。サークルの殻の中へ閉じ籠もってしまう危険性も薄らぐのではないだろうか。

以上，述べたように，学生寮，学生会館，部室を通して，学生は人間形成を行なっている訳である。その意味からいえば，大学の課外活動のための施設は，重要な役割を果している。ところが現実の施設を見れば，まだまだ十分なものではない。大学の教育体制として，学生の人間形成を支える施設を十分考える必要があると思う。ただし，学生が自分で自分を作り上げるのは，学生自身の姿勢が最も大切なことであり，施設は常に，第2次的なものであることを忘れてはならない。十分とはいえないまでも，学生会館等の施設があるにもかかわらず，暇を持てあまして，麻雀やパチンコで時間を浪費している学生の数が年々増えていることは，残念なことである。

「施設に魅力がない」といわれるかもしれないが，先程も述べたように，人間形成は学生自身の姿勢から始まる訳で，施設が不十分なためではない。もちろん，これを補佐するため，大学が十分なる努力を欠くことはできないが，あえて学生諸君にも一考をうながすものである。

（よしかわただつね：大阪産業大学学生部就職課長）

# 教育計画から建築計画へ
## —小・中・高等学校施設の計画原理の追究—

鍛治拓美・小柴徹也・相川三郎

### 1. まえがき

世に「仏作って魂入れず」という諺がある。外形を先につくって肝心要(かなめ)の中味がないことをいう。仏さんはともかく，建築の場合，建物を先につくって後にその中味を考えるというのでは，まったく建築にはならない。ところが，学校施設に得てしてそのような現象がみられるからふしぎである。

戦後の新教育運動は，燎原(りょうげん)の火の如く津々浦々に波及したが，その新教育の内容や方法が学校施設の変革をよぎなくするほどの運動にはならなかった。教育学者も現場の教師も東奔西走して新しい時代の酒づくりに専念したが，その酒を盛るにふさわしい革袋を誰も作ろうとはしなかった。「学校の建物は与えられるものであって，自分ではどうにもならないもの」といったあきらめの習性が彼らの身にしみついていたのかも知れない。施設に対するこのようなあきらめの習性が，実は新教育の展開を阻む重大な条件の一つとなったことを新教育批判の四面楚歌の中で何人の教師が真に自覚し得たであろうか。

新教育を推進した教育者たちは，施設について決して無関心であったわけではない。たとえ，彼らは関心をもっていたとしても，施設に対する具体的な要求や願いを建築家に伝える手段を知らなかったのである。というよりも，教育者の願いを建築的に翻訳して建築家に彼らの意志を伝える者がいなかったというほうが正しいだろう。だから，戦後の学校施設の改革は，教育者の態度に業を煮やした建築学者が自ら教育の現場にとびこみ，新しい教育活動の姿にふれて，学校施設の革新に積極的に努力した結果であるといえるだろう。それだけに，教育者ではおよそ見当もつかない新しい着想や作品が建築学者によって提出された。しかし，それらの作品は単に建築学者のひとりよがりにすぎないとして教育学者がその作品の理論的な根拠の不十分さを非難している面がないでもない。ここにいう理論的な根拠とは，単に教育制度，教育行財政，教育内容などの教育学理論上の根拠をいうのであって，建築学上の意味のものではない。なぜなら教育学の領域では学校施設に関する研究は皆無に等しいし，それを専門とする学者もいない現状だから，教育学者が学校施設についての確固たる理論と信念をもって建築学者の作品を批判できる筈はないのである。このような状況だから，学校施設研究といえば，建築学領域の研究者の独せん場となっている。

建築学の領域での最近の学校施設研究は，教育という機能を分析して，その機能に適した施設を創造しようとすることに努力が向けられている。それ故，学校施設の研究に専念する研究者たちは，教育活動に建築的な配慮を加えて「教育と建築」の架橋工事を試みようとして努力する人たちであり，「教育を建築に」あるいは「建築を教育に」翻訳しようとして努力する人たちでもある。われわれもまた，この人たちと同じような立場で努力を重ねながら，新しい学校施設計画の方法を探求しようとしている。

今回，この稿でとりあげた事項は，日ごろ，われわれが取扱っている幼稚園から高校までの施設問題のうち，各段階ごとに教育を建築に翻訳する際の必須要件になると思われる重要事項の一部である。これらの重要事項が果して本当に教育計画から建築計画への翻訳の原理になるかどうかは，今後の実証的な検証の結果にまつとして，ここではその前提となる仮説の立場でそれらをのべてみようと思う。そこで記述の順序としては，まず，2～5までの仮説を説明したのち，それらを6において特殊教育施設の計画に適用し，つづく7は，項を改めて，計画過程における思考の形式を，最後に8において設計体制の組織化の必要性をのべていこう。

教育を建築に翻訳するときの仮説原理として説明した以上の文脈の中で，学校施設計画における基本的な思考の形式を看取していただければ幸いである。

### 2. 児童館的発想による幼稚園と保育所の連けい……（就学前施設）

新住宅都市（ニュータウン）は，素人からすれば，あらゆる点でもっとも合理的に計画されていると考えられるにちがいない。それなのに建設後，入居者たちが最初に出あう問題は，「ここには幼稚園があっても保育所がない」という冷たい現実につき当たらされることである。計画の段階では幼稚園ととも

に保育所も確かに考慮されているのに，実施の段階で保育所が実現され難いのはどうしてだろう。その間の事情はともあれ，新住宅都市においては，多くの入居者たちが保育所の設置を要求して大挙して当局に陳情するという事実が現実におこっているのである。

義務化されていない就学前施設の設置は，設置者にとっては財政上，必ずしも優先すべき事業ではない。しかも，幼稚園と保育所の行政管轄のちがいが，ますます保育所の設置を不利に追いやる。今日の就学前施設の問題は，幼稚園を義務化することによって解決しようとする方向もあるが，より根本的な解決策は，幼稚園に保育所的な性格を備えるか，あるいは，保育所に幼稚園的な性格を付与するか，それとも，幼稚園か保育所かといった相対的な立場をすてて，画期的な第3の立場に立つ施設を創造するかである。もしもこの第3の立場に立つ就学前施設が考えられるとすれば，その実現の可能性は，法的にも，財政的にも確固たる裏づけがあるかどうかにかかわっている。

いま，第3の立場に立った解決策の一例として，児童福祉法に規定されている児童館* を設置し，その中に保育部，幼児部小学部などを設ける考え方を提案したい。

保育部は，児童館保育所として認可申請をし，要保育児（0～5才）の保育を行なう。このうち，4，5才児は午前中は幼稚園に通い，午後は児童館幼児部であずかることにする。小学部は，要保育児童をあずかって「カギッ子」問題の解決をはかることはもちろん，一般児童の利用も奨励する。

* 児童館とは，児童福祉法第40条に定められている児童厚生施設であって，児童遊園とともに，児童に健全な遊びを与えて，その健康を増進し，または情操をゆたかにすることを目的とする施設である。これを設置することにより，次のような問題の解決が期待されている。

① 保育所のない地域において，あるいは，保育所があっても要保育児童以外の幼児が多数いて，適切な指導なしに放置されているような場合は，児童館の設置により児童の健全な育成をはかることができる。

② 保育所のないところ，要保育児童の少ないところ，要保育児童がいても経済的あるいは地理的条件などの原因で早急に保育所が設置されにくいところでは，児童館の設置によって，幼児，児童の福祉をはかることができる。

③ 下校後両親の不在等の小学校1～3年位の児童の保護については，保育所でも行なえるわけであるが，定員の問題や技術上の困難点のため，実際には行なえない。児童館を設置して，児童の保護を行なえば，非行防止，健全育成をはかることができる。

④ 地域における児童健全育成活動の重要な組織である子ども会，母親クラブ，親の会等の地域組織，ボランティア組織等の育成と指導を行ない，これらの組織活動の拠点とすることができる。

また，児童館の設置，運営についていえば，2名以上の専任の児童厚生員をおき，建物は，48坪以上（国庫補助1/3），設置，経営は市町村が行なう。その運営は，地域社会との連けいを密にして行なうため，社会福祉協議会，児童福祉協議会，児童委員，教育関係者，子ども会，母親クラブ等の地域組織，婦人会，青年団，公民館等関係団体の代表者および学識経験者等を委員とする運営協議会を設けることが望ましい。（以上は大阪府民生部婦人児童課「児童館の設置について」による）

## 3. 幼低校の意義と教育的評価……

### ……（幼稚園と小学校）

新住宅都市「千里」の教育施設計画は，小学校の高低学年分離（後述），および幼低校（小学校低学年と幼稚園の併設）という基本方式で出発した。だが，後者の幼低校の計画は，現行の教育制度，学校管理，教育問題，地域外の学校との格差等の問題が未解決のまま，その実施については時期尚早だとして実現不可能に終わってしまった。

幼低校の考え方は，英国の幼児学校（Infant school）の構想に似るところがあるにしても，それは，わが国の伝統的な小学校教育制度の盲点を指摘したばかりでなく，教育行政，学校経営，学校施設等の分野に新しい方向を建築家が暗示したものとして高く評価されてよい。だが，教育学者は千里におけるこの幼低校の試みを見聞して，「これは建築学者が教育学者に対する挑戦である」（佐藤三郎〝学校体系の改革をめざすニュータウンの学校づくり〟「総合教育技術」18巻8号38.10）とか，「挑戦どころか，教育学者を素通りした解答をつきつけている」（佐藤三郎〝現代日本における教育構造〟「別冊現代教育科学」№7，1965.9）とのべている。建築学者の提案に対する教育学者の考えを知るため，もう少し，上の論文から要約して教育学者のいい分を紹介してみよう。

『小学校における学年区分や分割は，その理論的根拠が十分でなければならぬ。まして学校体系にかかわるような重要な教育的改革は，多年の経過を経て後，慎重に評価すべきである。重要なことは，幼低校という革命的な考え方が，多くの教育学者が知らないまま，またその考え方に対して挑戦の暇もなく学校が建てられたという事実である。計画の理論的欠陥をもつ千里ニュータウンの学校計画の基本構想は，幼低校の失敗によって事実上崩壊したが，建築的には実現した最初の幼低校の建物の遺物が今は公立幼稚園として名誉ある孤立を保っている。このように千里の学校づくりは，その当初において敗北したが，学校体系改革の構想について一つの仮説が立てられた記念碑としての意義はある。ただ，この仮説は実験的に十分な検証を経なければならないのだ。教育の実験が決して安易でないことを建築学者や事業主担の行政当局は身にしみて感じたであろうか。彼らは，教育学者に大たんな挑戦をしかける前に，教育のことは教育の専門学者に慎重な実験計画を用意させてみる必要を十分認識したであろうか。たとえ，建築学者が自らのビジョンに立って革命的な理想を提案したとしても，それが教育学的に確実な理論と方法をもったものとして立証され，一般の市民の世論が形成されるのでなければ，教育行政の当事者としても自信をもって前進する手がかりがないであろう。最後に，今後の問題としては，このような失敗が繰返されないように，事業者側の企画体制において，教育学，社会学，心理学，地理学などの専門学者が参加した総合的な研究者編成による研究と企画がなされる

べきである』としてきびしい批判を行なっている。

建築学者が幼低校を提案した動機は，教育学者がいうようなそんな仰々しいものではなく，むしろ，現行の小学校の矛盾を建築的な立場で克服しようとする善意な意図から出発したものであったのではなかろうか。その意味で，幼低校こそ，世紀の歴史的実験として，教育と建築の両分野の学者が注視する中で試みられるべきであった。

## 4. 高低分離方式の検証……（小学校）

小学校の高低分離の問題は，専科教員制（高学年は全教科担任制を建前とする低学年と性質を異にした学年区分として考えねばならないとする意見）とからませて，学校体系（たとえば4—4—4制）の改革論としてようやく教育学者の間に論議され始めている。しかし，その論議が学年区分とか，高低分離とかいった具体的な次元でかわされ，短期間で理に合った結論を得ることは，事の重大性にかんがみてきわめて困難であろう。なぜなら，問題の性質は，教育制度改革に結びつく性格のものであるため，教育学者にとっては，建築学者が考えるほど単純なものとしてはうけとっていないからである。したがって，この結論は，いま建築家が設計図をひこうとするときに，すぐに間に合うものではない。ところが，教育学者のこのような思惑とは別に建築家はすでに高低分離を堂々とやってのけた。われわれは，この思惑の焦点に立つ高低分離方式の現実を冷静に眺め，客観的に評価してみる必要がある。

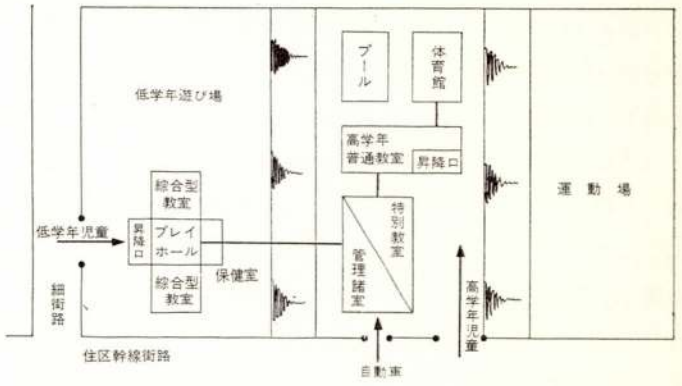
千里丘陵住宅地区小・中学校設計基準によれば，高低分離の程度を建築面から規定する要素は四つあり，最も分離程度の強い場合から，最も弱い場合まで16段階の程度が考えられている（**第1図**）。千里の高低分離方式の程度は，他の諸地域の例と

**第1図　高低分離の程度**

| 規定要素＼程度 | 最弱 | | | → | 最強 |
|---|---|---|---|---|---|
| ①高学年運動場を低学年が常時 | 使用できる | 使用しない | | 使用しない | 使用しない |
| ②体育館，特別教室を低学年が常時 | 使用できる | 使用できる | …… | 使用しない | 使用しない |
| ③校内が高学年，低学年 | 共用 | 共用 | | 専用 | 専用 |
| ④低学年棟に管理諸室の支室が | ない | ない | | ない | ある |

比較するとやや強い。その理由は，千里の高低分離方式が低学年を高学年の敷地からまったく分離させる徹底した分離形態，すなわち分校方式の退化した形から出発しているためである。たとえば吹田市立高野台小学校では，低学年棟の敷地が原設計での分校用地であったため，校門は低・高両学年にそれぞれ独立して設けられている。体育館や特別教室は高学年の専用施設と考えられて高学年棟の近くに配置されているのに対し，低学年教室は普通教室を特別教室化した総合型教室とし，中央部にプレイホールを用意している。また大きい運動場は高学年用とし，低学年には専用の遊び場を準備するといった徹底した高低分離が実施されている（**第2図**）。

**第2図　高野台小学校　群棟配置基本計画概念図**




建築的に構成したこのような高低分離方式が，教育的にはどのような効果があったか。かりに効果があるとしても，どの程度の分離方式においてどのような効果があったのか。残念ながら，まだ客観的な資料はない。教育と建築の研究者が，分離方式の学校現場でこのような問題を共同研究として実験的に検証してみることが必要である。建築家はつくりっぱなしではいけないし，教育者は貰いっぱなしではいけないのだ。両者がもつ問題意識を相互に交流させねばならない。それが，教育計画を建築計画に翻訳する際の重要な架け橋となる。

## 5. 核施設の原理……（中学校・高等学校）

世界的に有名なアメリカの教育学者ジョン・デューイ（J. Dewey）はその著「学校と社会」（The School and Society）の中で，学校の建物に具体化したい観念を図式的に表現した概念図を用いて，彼が理想とする学校を次のように描いている。

**第3図　理想の学校（1階）**




**第4図　理想の学校（2階）**




**第3図**の中央の図書室は，知的な資料を集成して周囲の各室の仕事に意味と価値を与える。四隅が実践的な活動を代表するとすれば，中央部はその実践的な諸活動のための理論を代表するものである。ここに学習活動における理論と実践の有機的な関連がある。生徒はこの関連の中で自分の経験の意味を覚り，さらに新たな経験へと発展させる（つまり学習する）ことができるのである。

**第4図**はこの理想の学校の2階を示す。階下の調理や作業室

で生じる物理や化学上の問題は，この2階の実験室にもちこまれる。中央の博物室には，各種の科学的な標本や図表，歴史的資料が置かれてあり，生徒はここを訪れ，自分の知識や技能を科学的あるいは歴史的な条件や関係と結びつけてみることによってより確実なものとすることができるのである。さらに，この理想の学校においては，種々の作業活動が図書室および博物室という蒸留器を通して再び行動となったものを造形芸術（美術室）や聴覚芸術（音楽室）の活動と考えるのである。

以上にのべたデューイの理想の学校は，いわば図書室と博物室を教育の核として関連諸室を配置した学校だといえる。学校での生徒のすべての学習経験がこの核を通して理論化され，その理論が作業活動を通して実践化されていくのである。われわれが提案する核施設とは，本質的にはこのようなものをいうが，その核は単に教室の学習場面に限らず，校内活動全般の中から考えるべきである。例えば，中学校の核施設についてのべてみよう。中学校における教育が生徒の能力や適性を発見し，それを基にして将来の進路について指導することにあるとすれば，生徒の能力，適性の観察こそ中学校教育の核でなければならない。したがって，能力・適性の観察の場が中学校の核施設になるわけである。具体的にいえば，生徒の能力や適性を発見するのに理科実験や工作技術活動を通じてみようとすれば，実験室や工作室が重要な核施設となるわけである。

あるいはまた，校内での基本的な生活訓練の場として，食堂やロッカールームやクラブ活動室を設置し，食べたり，話したり，休んだり，着替えたり，はき替えたり，クラブ活動を行なったりする個人的あるいは集団的訓練に指導の力点をおくとするならば，これらの食堂やロッカールームやクラブ室が中学校における核施設となるのである。

次に，農業高校の核施設について述べてみよう。農業近代化の波が農業教育に押しよせて，昨日の牛馬による耕作を今日は耕運機が果すとしても，昨日の田畑による栽培を今日は施設園芸が果すとしても，農場の中のわら屋根の下で晴耕雨読し，農夫の如く耕し，哲人の如く思索する生活を師弟の間でもしもつことができるとしたら，そのわら屋根の家をつくろうではないか。これこそ，われわれが追究するところの核施設にほかならない。

このように核施設は，生徒の校内生活の中心であり，教育および学習活動のセンターでもある。それはあたかも円に一つの中心があり，楕円に二つの焦点があって，円上のすべての点がこの中心に収れんされるように，核施設は生徒の動線が集中しては分散する校内のコミュニケーションセンターなのである。

## 6. 特殊教育施設の計画原理

特殊教育とは，身体，精神の異常な児童に対する教育をいい，その教育機関としては，盲，聾，養護などの独立した学校と，普通の学校に付設される特殊学級とがある。これらのうち，ここではあまり知られていない養護学校の施設について，その計画の原理となるものをのべてみようとおもう。

養護学校には，精神薄弱，肢体不自由，病弱虚弱の各教育を行なう学校があり，これらの学校はいずれも児童，生徒の体質や身心の発達状態あるいは障害程度に応じて適当な保護と訓練を加え，その成長，発展を助けることを目的とするものである。

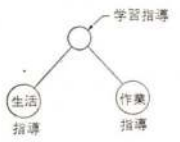
### (1) 精神薄弱養護学校の施設計画

精神薄弱養護学校は，先天的または後天的な原因によって知能的な欠陥を生じ，正常な児童と同様に社会生活を営むだけの能力をもたない者をあつめて教育する学校である。

いま，この学校の施設計画に前章までに扱ってきた各仮説を適用しながら，施設計画の原理を説明してみよう。まず，学校の中味である教育計画を検討し，次にそれを建築的に翻訳する作業から計画は始まる。

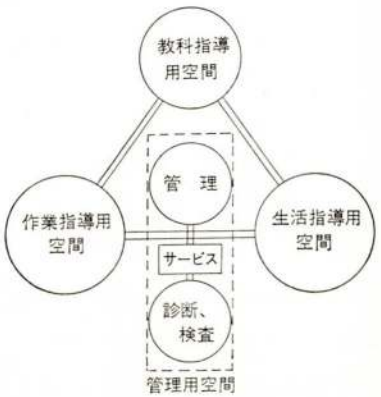
学習指導要領（文部省，養護学校学習指導要領，精神薄弱児編）によって指導内容をみると，指導目標がつぎの3目標からなっていることがわかる。①身辺生活の確立と処理，②集団生活への参加と社会生活の理解，③経済生活および職業生活への適応　この3目標をさらに具体化した具体的目標から指導領域として生活指導，作業指導，教科指導の3領域が構成される。この3領域は精神薄弱養護学校の主要な教育活動であり，とくに生活指導と作業指導とは**第5図**のような楕円形の二つの焦点（核）をなす。これに対して学習指導は，知能の低い精神薄弱児に普通児の学習活動を要求するのは無理で，その知能の程度に応じ，生活指導（訓練）の中で，また作業指導（活動）を通じて，これら二つの指導を核として指導するのが望ましい。したがって，この学校の施設計画は，指導の3領域を実施する空間と，3領域相互の関係を密接に関連づける機能をもつ空間——これを管理用空間とよぶ——を設ける必要がある。

**第5図　核になる指導領域**




**第6図**は管理用空間を中心にして3領域の空間を相互に関連づけた機能関連図である。この学校の管理用空間は，普通学校における管理室の機能のほかに，子供の身心をたえず診断，検査する機能，食事や洗濯，入浴などのサービス機能を更に具備する必要がある。そこで，施設計画の立案は，これらの必要な構成要素をどのように配置すればよいかということになる。参考までに原則となる事項を次に指摘してみよう。

**第6図　空間相互の機能関連図**



① 幼稚部，小学部，中学部，高等部の教室配置はつぎのように組み合わせる。（幼低統合，高低分離）

幼稚部と低学年……教室は居間兼作業室とし，幼児向きの生活圏を構成する。

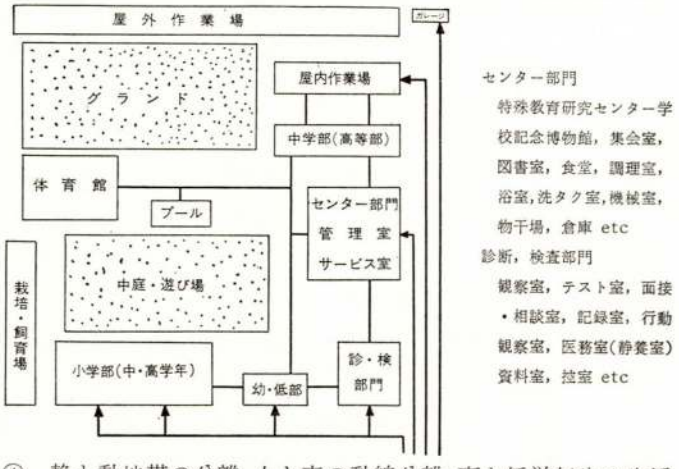
小学部の中高学年……教室兼作業室の形で室を構成する。

中学部と高等部……作業室と教室とを分離させて独立配置し，教室は居間とする。

② 学校生活の核になる施設として，作業指導室，生活指導室をあて，診断，検査室は補助的な機能を果す核施設とする。（核施設）

③ 精神的にも，身体的にも機能の劣っている者が多いので，管理室からの監視が十分に行届くような配置であること。

**第7図　精神薄弱養護学校各部門配置図**（大阪府立八尾養護学校の例）




④ 静と動地帯の分離，人と車の動線分離，高と低学年生の生活圏の分離　これらの原則にしたがって計画したプランの一例（大阪府立八尾養護学校）を示すと**第7図**のようである。

### (2) 肢体不自由養護学校の施設計画

肢体不自由養護学校は身体の機能障害のため，安全かつ有効に普通学校での教育をうけることのできない肢体不自由児をあつめて教育する学校である。この学校の教育課程は，教科，道徳，特別教育活動，学校行事の4頂点をもった4面体の中に位置づけられる教育活動のほかに児童，生徒の機能障害の程度によってさまざまに変化した教育活動(機能訓練)が営まれる。この機能訓練は，4面体の課程を包括する一種の媒介変数と考えられ，肢体不自由教育の大きな特徴である（**第8図**）。

**第8図　教育課程**



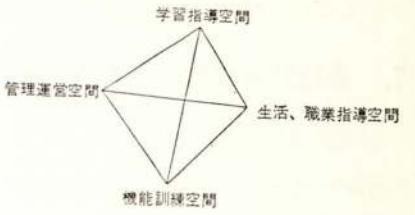

この教育課程を実践するための指導領域として，学習指導，職業指導，生活指導，機能訓練の四者があり，これらが互いに調和を保ちながら全体として教育機能を遂行する（**第9図**）。

**第9図　指導領城**




これらの指導は，それを行なう場所，つまり指導空間を具備することによって可能となり，それに管理機能をもった管理運営空間を加えると教育機関としての学校施設の全空間を構成する（**第10図**）。

**第10図　施設空間の構成**




次に，上記の空間構成から施設計画をたてる際の原則を示すと，以下の通りとなる。

① 児童生徒の心身の発育や機能の障害に留意して，指導内容にふさわしい設計計画を行ない，肢体不自由者の特質に適合した教育環境を設計する。

② 心身の発育，学習能力の発達および障害機能の回復の段階を追って，集団社会への適応がはかられて行くように計画する。

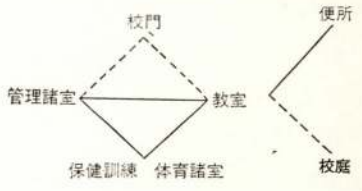
③ 校内の自動車通路を限定し，児童生徒は自動車と出合うことなく学校生活を過せるような設計とする。

④ 学校経営が能率よく行なわれ，教育効果の向上に貢献できるよう管理運営諸室は指導空間の重心的位置に配置する。

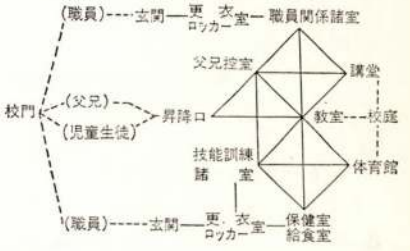
⑤ 教育課程の改訂や機能訓練方法の進歩，対象者の増減などに対応できるよう可変性，融通性を加味して計画する。

以上の原則をふまえて，学校を構成する各要素の相互関連を分析し（**第11図**），校内生活の中での児童，生徒，教職員等の動線を整理することによって，各室の相互関連を求めると，群棟配置の基本概念が成立する（**第12図**）。

**第11図　構成要素の相互関連**

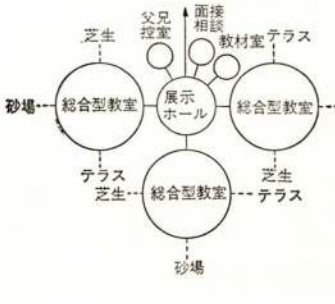



**第12図　各室の相互関連**

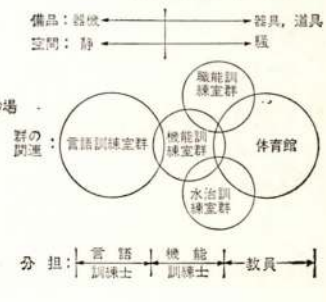



この基本概念に各室または各室群に対する考え方を適用する一方，各室群の相互関連の分析を加えて行くと，より明確な群棟配置のための基本計画ができる（**第13，14図**）。

**第13図　室の考え方**（小学部低学年用総合型教室の場合）




**第14図　室群の相互関連**
（各訓練室群の例）



(3) 病弱虚弱養護学校の施設計画については紙数の都合上省略して別の機会に譲る。

## 7. 施設計画立案の思考の方法

学校の設計とは，ひとくちにいって「教育空間をどのように建築的に構成するか。」ということであろう。教育空間を建築的に構成するには，教育空間がもつ機能——教育活動や学習活動——に即して行なわねばならないことはすでにのべた。ここでは学校施設の設計計画を立てる方法について一つの提案を試みてみたい。学校施設は教育と建築の両分野の統一の所産であるから，つぎのような教育的側面と建築的側面の両面のアプローチから，両者を総合した立場で行なうのがもっとも妥当である。

### (1) 教育的側面からのアプローチ

学校で行なう指導内容，方法とそのために必要な施設の基本的な性格，すなわち，必要な施設の要素と要素相互間の機能関連を明確にする。その方法としては，学習指導要領および既設校の教育計画の実例について検討を行なう。

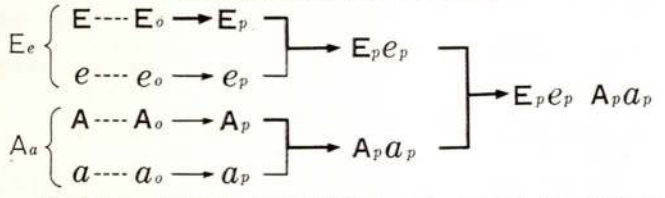
### (2) 建築的側面からのアプローチ

既設校の施設プランの形態を類別し，それより施設の構成要素および一般的なモデルを構成する。その方法は既設校の設計例の検討を主とし，事例調査として，特定の学校についてその使われ方を調べ，問題点とその学校が考える改善案について検討を行なう。

(3) 以上のような教育と建築の両面からのアプローチによって得た結果を総合し，望ましい学校施設設計例を作成する。

学校施設設計の方法は以上にのべたプロセスで進めていく。その原則的な思考の形式を系統化して示したのが**第15図**である。この形式は，原則的なものであって，資料収集の過程において，収集した資料の質や量のいかんによっては多少変形を要する場合もあるであろう。

**第15図　施設計画立案の思考の形式**




注）図において太字で示したものは主流的なプロセスを，細字で示したものは補助的なプロセスを示す。

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ee | 教育的側面からのアプローチ | Aa | 建築的側面からのアプローチ |
| E | 原則的な立場からの検討 | A | ブロックプランの実例に就ての検討 |
| e | 事例的な立場からの検討 | a | 事例調査による検討 |
| Eo | 学習指導要領にもられている指導内容の構造化 | Ao | 内外の学校設計例から，そのブロックプランの構造を検討する。 |
| Ep | それを展開するのに必要な建築的空間の構成要素を求める | Ap | その結果，学校として建築的に具備すべき基本的条件の一般化をはかる |
| eo | 既設校における教育計画の実例より教育目標内容，方法などのパターンを求める。 | ao | 特定の学校をケースにえらび，使われ方調査を実施して，施設使用上の問題点を明らかにする。 |
| ep | 各パターンが備えている施設の性格を求める。（教育計画のあらわれとみた施設がもつ性格） | ap | その問題点の改善を目的として使用者が作成した改善策 |
| EpeP | Eo→Ep，eo→epの過程をへて，学校の教育内容と範囲の一般的性格を求め，それを実施していくのに最小限必要な施設の性格を決定する。 | ApaP | Ao→Ap，ao→apの過程をへて，学校として望ましいブロックプランのモデルと，施設各部の性格を決定する。 |

(EpeP)(ApaP)：学校の教育計画のモデルとそれに相応した建築計画のモデルの完成，つまり学校施設設計計画案が成立する。

## 8. 計画立案の組織とその位置づけ

新しい学校の施設計画を行なう場合の計画立案組織について一つの提案を試みよう。まず，施設専門委員会（常設がよい）を組織し，この委員会があらゆる学校の施設計画を作成する。この委員会は専任の専門委員（教育，建築の各専門家）と計画対象の学校の種類，性格により，それに適した臨時委嘱委員とで構成する。委員会の仕事は，計画対象に関するいっさいの情報を収集し，討論し，計画案を作成する。なお専任の専門委員は，常時，学校施設に関する調査，研究を行ない，各種の学校施設設計に関する指針，規範といったものを作成する。また，教育現場からの要請に応じて施設問題の指導や相談にも応じる。

ところで，このような計画立案の組織は，公立学校の施設計画の場合なら，教育委員会に設置されるべきである。現行のように教育内容上のことなら指導担当課に，施設上の問題なら施設担当課に，実際の設計，施工業務については建築部の営繕担当課にといった役所の分業的な機構からは，すぐれたアイデアも生まれにくいし，生まれてもそれを実現する可能性もうすい。すぐれた着想を育て生かしていくためには，計画立案の過程で，専門委員会の頭脳を活用すべきである。だが，この専門委員会の業務が実際の行政機構の流れ，つまり企画（指導担当課）——基本設計，見積（施設担当課）——実施設計，施工監理（営繕担当課）から遊離してしまわないように，この中で有効に位置づけ，委員会がこのラインの中にあって，ラインの方向を指示する立場にいなくてはならない。そのためには，委員会をこのラインの流れのどこかに一つの節点として配置するか，それともラインの各節点の代表者を専門委員会の委員に任命して委員会の業務に参画させ，かつ，ラインの流れの連絡調整をはかるようにすれば理想的であろう。また民間設計事務所がアイデアを提供したり，それを実現したりする機会は，この専門委員会との合同討議に参加することによって達せられるのではなかろうか。

## 9. おわりに

教育計画を建築計画に翻訳するときの原理とは何であろうか。教育の場にふさわしい学校施設の設計を一回でも志した経験のある人なら，だれでもこの疑問につき当たったにちがいない。われわれも学校施設計画を行なうたびにそれを求めてきた。施設の使われ方調査を行なって，帰納的な立場から施設の一般的なモデルを求めたり，また，教育計画の原則論から演繹的な立場で設計案を考えたりしながら，学校施設設計の基本原理の発見に努めている。第7章でのべた計画立案の思考形式は，この原理追究の過程で試みた一つの方法であり，続く第8章の計画立案の組織とその位置づけも，計画遂行の段階で体験した苦しみをもとに案出した方法である。これらの方法が正しいか否かは，この方法によって目下建築中の数々の学校がやがて完成し，それを使用する教師たちが評価してくれるであろう。


（かじたくみ：大阪府教育委員会指導第一課指導主事
こしばてつや：大阪府企業局宅地開発部企画課技師
あいかわさぶろう：大阪府立東住吉工業高等学校設備工業科長）

# ユースサービス施設への展望

多胡　進・坂田勝広

## 1. 序：

青少年健全育成のためのサービス，すなわちユースサービスが，政府や地方自治体の援助によって改めて拡充整備されだしたのはここ数年来のことといってよい。

ユースサービスのための施設とは，家庭と学校の間にあって家庭や学校で得られない機会を青少年に与え，青少年自身が自分たちのものとして気軽に利用でき，そこで積極的に活動を行ない高く成長するために利用する施設である。青少年の活動は多様であり，施設も多様になっている。施設空間を強引に以下のように整理したとすれば，4）から5）までがユースサービスに現在関係している。とくに6）が青少年の日常生活と深くかかわり合う施設である。1）住宅，2）学校—小・中・高校等，3）商業サービス（民間営利施設）—スポーツ系・購買系・各種学校・その他複合娯楽施設等，4）公園緑地—児童遊園～国立公園等，5）社会教育ないしは文化施設—公民館・図書館等，6）青少年専用施設—青少年の家・児童文化会館・青少年センター・児童館・勤労青少年センター・野外活動センター・ユースセンター・民間任意団体による施設（Y.M.C.A 会館等）等，7）複合ないしは前記施設の中に包括的に含まれている施設—各種スポーツ施設・国民宿舎等が上げられる。

**表—1**は，青少年白書1967年版から施設の設置状況と延利用人数をとりだしまとめたものである。1965年国勢調査によれば，0～24才は，45,050,500人，そのうちユースサービスに関係する年令層8～24才は，32,105,400人である。ユースサービスが青少年の自主性を重んじ，より毎日の生活に結びつくものをめざしつつある今日，ユースサービス施設は微々たるものといわざるをえない。

さて，ユースサービス施設の需要についてみれば，戦前においては1）社会教育—青年教育，2）青年団・青年会，3）労働教育運動，4）Y.M.C.A.・ボーイスカウト等の民間任意団体からの要求があったが，最初のふたつは小学校や部落集会所を利用して，青少年に上からの押しつけプログラムによるのであるから，彼等にとって魅力のないものであったといわれる。また官僚中央集権支配・軍事体制強化の道具にもなったといわれる。あとのふたつは苦難の途を歩んでいた。そして戦後は再出発を行なった。その中で青年会・子ども会等は行事化・形式化・形骸化したといわれるが，最近は少年団等にみられる反省と新たな出発もみられる。一方で労音・職場サークル等々が起り，各種学校も隆盛である。また再出発をしたボーイスカウト，Y.M.C.A 等々や新たに出発した任意団体は最も自発的活動を行ない，ユースサービスの中に確固とした役割をはたしつつある。とくに組織の底辺の広さが要求される国際交流などにおいてはである。さらに盛り場・観光レクリエーション施設は，「余暇は自宅で」という傾向にかかわらず，若者たちでいっぱいである。ユースサービスの分野の要求はかってなかった量で大きくなりつつあり，内容の充実整備が求められている。公的サービスもこれにつれて転機にたたされているとみた方がよかろう。

つぎのような背景をもっているのだからである。青少年人口は，昭和37年には全人口の47.2%であったのが昭和41年には44.8%となり漸減しようとしている。しかし人口は大都市圏に集中し，とくに青少年は大都市をもつ東京・大阪・神奈川・愛知・兵庫・福岡・埼玉・静岡・北海道のわずかの府県に青少年人口の45.2%が集まっていることになった（1965年国調）。これに対して都市空間はますます高密化しつつある。ここに圧倒的なユースサービスの需要が生じていると思われ，ユースサービスの意識的・計画的提供が必要になったのである。一方農村部に対しても，国の長期的展望にたてば，別の意味でユースサービスが用意されることが望まれている。

そしてユースサービスは単なる都市現象としての非行少年の補導などの対処療法としての役目だけにあると考えておくわけにいかなくなったとみる人もある。

青少年の成長のすべてを単に学校と家庭にだけ負わしておくことに疑問が出てきた。青少年が社会の一員となり，将来に前の世代がつくったものを追い越すようになるには，学校や家庭で得られない機会や活動が彼らにとって欠かせないものだという見解も強いのである。

これらに対して先に示したわずかな施設も数年前からみれば大きく殖えているのだけれども，ユースサービスの実際的な体系は？　その方向は？　青少年が自由に自主的に使う施設とはどのようなものか？　となると，1966年に総理府に青少年局が設置され，それまで文部省・厚生省等でばらばらに実施されていたものを総合調整できるようにしようという段階である。

**表—1　全国施設量**

| | | 設置数 | 利用人数 |
|---|---|---|---|
| 国立青年の家 | | 4 | S41年　397,000人 |
| 公立青年の家 | | 114 | S40年　1,095,000人 |
| 児童文化センター | | 20 | S41年　622,000人 |
| スポーツ施設 | 学校プール | 7,066校/36,206校 | S40年× |
| | 公立体育施設 プール | 803 | 〃　× |
| | 公立体育施設 体育館 | 324 | 〃　× |
| | 公立体育施設 陸上競技 | 294 | 〃　× |
| | 公立体育施設 野球場 | 510 | 〃　× |
| | 公立体育施設 運動広場 | 224 | S41年× |
| | 野外活動施設 キャンプ場 | 574 | S41年× |
| 公民館 | 本館 | 8,605 | S42年× |
| 公民館 | 分館 | 10,823 | 〃　× |
| 公民館 | 部落公民館 | 42,000 | 〃　× |
| 図書館青少年専用部分もつもの | | 301館/773館 | S42年× |
| 博物館 | | 300 | S42年× |
| 児童館 | | 1,009 | S42年× |
| 国民宿舎 | | 202 | S41年× |
| 国民休暇村 | | 17 | S41年× |
| ユースホステル | | 513 | S42年× |
| 勤労青少年ホーム | | 51 | S41年上半期分 既設31設55万人 |

注：S40年は昭和40年を表わし，調査時点。

## 2. ユースサービスの体系と施設計画
### —事例を通して—：

米国のY.M.C.A，ボーイスカウト，少年団等，ソ連のピオニール，フランスのユースクラブ，ドイツのユースホステル運動，スウェーデンの遊び場と遊び生活リーダー制度，等々の青少年活動がある。各国において底辺の広い独自の機構が確立され，そこから国際交流に参加してくる現在，関係者も青少年自身も考え，試み，そして独自のユースサービスを確保することが必要なようである。少し視野を広げてユースサービスの進んだ場合を現在への過程とともに示すことは今後のイメージづくりの発端になってくれるであろう。

英国の場合を例にとろう。現代社会においては継続教育は必然的なものであり，それには「Preparation for work」と「Learning for Leisure」の2つの部分があり，後者の部分を受持つのがユースサービスであるとされている。どちらも青少年の成長にとっては欠かすことができないものであることが長い積重ねとその過程での改革によって認められるようになった。英国においても，この問題が出されるようになったのは産業革命以後である。この面の措置は第一次大戦後までは民間の任意団体—YMCA，YWCA，B.S.，G.S.，-Boys Brigades，等々（いづれも現在国際的になっている）にまかせられ，国家は職業教育に関心

を示し，団体に対して支持も，干渉もしなかった。

第一次大戦中，戦後の青少年犯罪の増加等が120の地方当局に少年団体委員会をつくらすことになったが，財政的困窮等の理由から，1930年代には36の当局しか少年団体委員会をもつにすぎない状況であった。しかしこの委員会はとにかく地方教育当局に移管されて，教育的な点から国家が青少年の社会的，レクリエーション的関心を発達させることになった。

第2次大戦中とその後は1943年文部省通達にみられるように「……14才から20才までの少年少女の社会的・身体的成長に関してはわが国では長い間無視されてきている。……政府は前の戦争中起ったような社会問題が，再び起るのを防ごうと決意するものである」として，国家が地方当局，民間任意団体と協力して青少年の問題に積極的に乗りだすことにした。この目標にそって「全国青少年委員会」を設立し，教育当局が積極的に役割の一部を受持つようになった。そして青少年審議会（戦後英国教育審議会が役割をうけもつ）ができ，1945年 The Purpose and Contents of the Youth Service, 1948年 Out of School といったユースサービスのあり方等に関する報告書がだされた。

法律的にも1944年教育法は，地方教育当局が，「義務教育年令以上の人が誰でも組織的活動，文化活動，訓練活動，レクリエーション活動を行ないたい場合に利用できるような余暇活動」を確保することを義務づけた。けれども戦後の切迫した事情が，ユースサービスに精力を注がすことができなかったといわれる。それも1958年11月にアルバマール（Lady Albemarle）を長とする委員会が「変化しつつある社会情勢等々の情勢にてらして英国のユースサービスがどう貢献し，今後何から手をつければ費用の点で最良の目標が達成できるか」といった意味の課題を受取り，1960年2月に1）ユースサービスを推進するための機構の整備，2）ユースサービスの活動内容と，そのための施設，3）リーダーの養成と待遇，4）財政援助の諸問題について構想を提出した。

それは，まず10ケ年計画を提唱し，最初の5ケ年で現状の不備を改め，次の5ケ年でユースサービスの体制の恒久化を図ろうとするものであり，構想の内容が具体的である点は注目しなければならない。その内容の要点をみると，①14〜20才のすべての若者に役立てられるものである。②国家の担当省，地方自治体の担当局，民間任意団体，ユースサービス開発諮問委員会の役割を決めた上ですべての活動面で自発性の原理を展開させることが重要であるとしている。

活動と施設については若い人々に Association と Training と Challenge の機会を与えなければならないとして，まずユースサービスの拡大に備えるために物惜しみしない将来の見通しをもった施設設置と建築計画が不可欠であることを述べている。①設備はもとより便利なセンターで，コーチをもち，②さらに既存スポーツクラブなどの参与を認めること，③中学校計画でユースサービスの要求を考慮すべきこと（別棟にクラブのための設備および備品をもつことなど），④宿泊設備の拡張を直ちに行うこと，⑤身体的レクリエーションの設備が室内，室外を問わず不足している事態の改善に着手することなどにわたって細かく勧告している。

青少年のためのユースサービス，青少年が行なうユースサービスの具体的活動についての答も出されているが，この疑問に対しては，実際の活動の協議機関である団体常置会議でも答を用意している。それは，「8〜21才の青少年層」を対象としての活動についての企てである。内容の詳細に関しては九州大学教育学部諸岡和房氏の名訳と補てんがあるのでユースサービスが用意すべき8項目だけを整理し引用させてもらうことにした。すなわち次の8つが提供できるように施設計画がなされているべきであるということになる。

1）青年たちの前にあるあらゆる冒険：カヌー乗り，帆走，飛行，滑走，兎狩，乗物旅行，登山，高原縦走，キャンプ，など自然が与える試練と危険に応じて独創力，忍耐力，勇気などを培う。人によっては奉仕事業，顕微鏡をのぞく，美術館に行くといった自然以外のものが挑戦するものとなる。

2）選ばれた領域：フットボール，クリケット，バスケットボール，弓，カヌー，体操，柔道，潜水，ダンス，モーターサイクル，玉突，ホステル，スキー等々の身体的レクリエーションは目標をもった不屈の努力それ自体の満足を与える。

3）すばらしい瞬間：若人たちの集まって演劇祭，音楽会，弁論大会等々を準備し，上演するまでの各自の持味を生した協力が大きなクライマックスを与える。

4）隠された宝：製服，大工，カヌー建造，製パン……耕作……賞をめざしての天文学や考古学，陶器，粘土細工，小鳥観察……切手集め，等々は身体的レクリエーションとは性質は異るけれども修練がいる。発見の期待を満足させる。

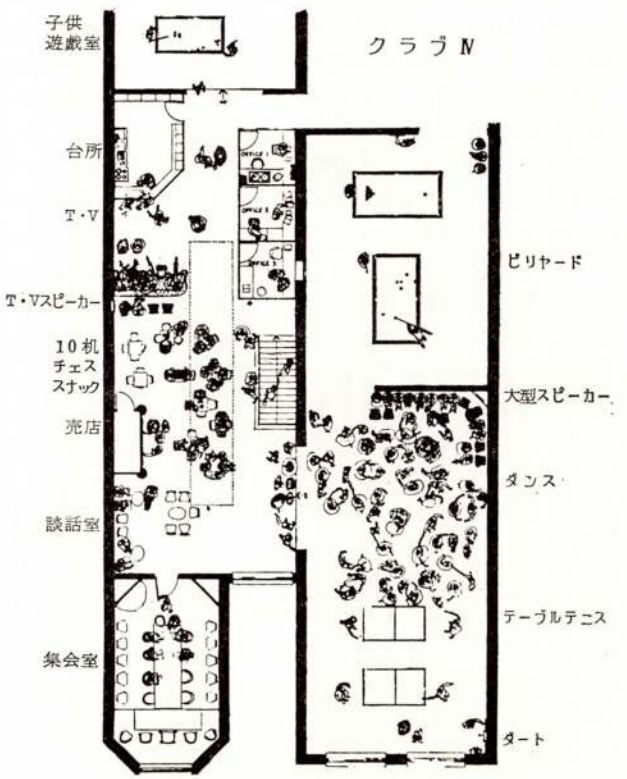
5）生きることは与えることである：種々の奉仕活動。自分のために，もしくは自分のグループのために「自分でする」ことは他の人々に手をさしのべ友情を育てる。

6）明日の世界：種々の奉仕活動，国際的集会，クラブでの外国研究コーナー，リーダー養成への参加は共同社会への所属感を生み明日の世界づくりに欠かせない。

7）大人の世界へ：市民として責任のある態度を発達させるようにもくろまれた話しあい，映画会など。社会的承認をえていると感じるような責任をとる機会をますこと。勤労青年に対する委員会や協議機構の経験，労組と経営等々の学習など。礼儀正しさ，思いやり，人生における価値，人間関係についての態度，理解等々についての宿泊コースなど。女子に対する家事技術の修得など。精神的な成長への心くばり，想像力を成長させること，強い精神をつくることなど。宗教的な信条を育てるなど。



図—1　第Iの型のクラブ



図—2　第Ⅳの型のクラブ

このような状況の中で青少年活動の任意団体は，任意団体によって，地方自治体によって提供された一般混合クラブ，男女別のクラブ，特別クラブ，ユースウィング，ユースセンター，コミュニティーセンター，レクリエーションセンターなどの施設を利用して日常の活動をするのである。これらの施設は，どのクラブにも属していない青少年が，平凡な日常生活の中で利用できるよう配慮されている。むしろどこのクラブや団体にも所属していない青少年がクラブを身近かに気軽に利用することの方が重要としている。

施設の範囲は広く，また混合クラブひとつをとっても多様であり広範である。クラブは多様であるけれども共通点があり，それはいくつかのタイプにわけて説明できるようであり，そこから前述の活動を助けるための空間や設備や道具とはどのようなものであるかを考えることはできるのである。クラブの中ではやはり混合クラブが最も多く，各都市で見られるようである。とっかかりとしてはこれを4つのタイプに分けその実例を通じての記述からながめるのがよかろう。

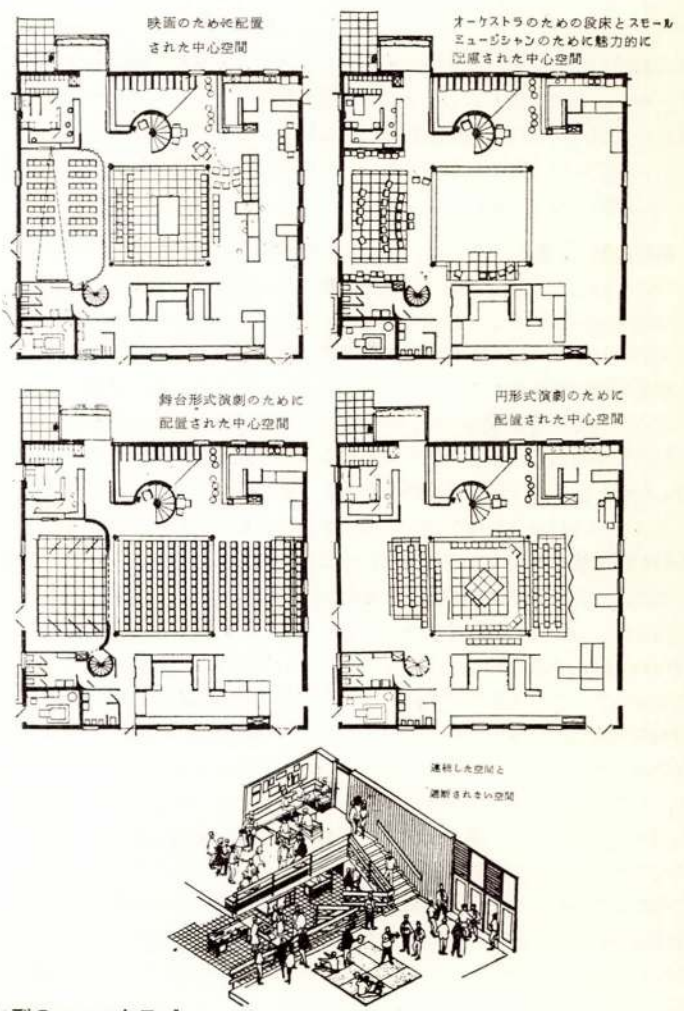
まず**最初の型**（**Club**Ⅰ，図—1）は施設としては非常に簡単であり，椅子，机，床の色がマークされたダンスのための場所，レコードプレーヤー，スナックバー，簡単に引出せる舞台装置をもつ程度で，交通頻繁な街路に直接面している。このクラブは会員制でなく，青少年がひんぱんに出入りし，「man to man」で彼らの言葉で問題を理解し討論することができる場所として成功しているという。ただ設備が小さく少ないので，訪問した青少年がしばらくするとクラブへ来るのが途だえ勝ちになり，他で過すことが起こるという。そこである地域では少し離れた場所に同目的のものを追加してつくったが，新旧とも成功しているという。つまりこの型は大人と青少年，青少年同志が簡単に話し合えるという Youth Club の本質的な役割を受け持つ最小の施設である。小さいことによって青少年の身近につくっていける利点をもっている施設型といえる。

**第Ⅱの型**は，第Ⅰの型と同じように制度化されてない会員によって使われる施設であり，一晩に数ペンス払えば誰でも使える。かつ，名前や住所も訪ねない。したがってどの団体やクラブにも所属していない青少年（特権をもっていない，ふらふらしている，反抗的であるといった傾向をもつ）を惹きつけるが，施設分布数が多いので地域青少年をも惹きつけることになり，強健なコミュニティーの精神を発展させて来たといわれる。

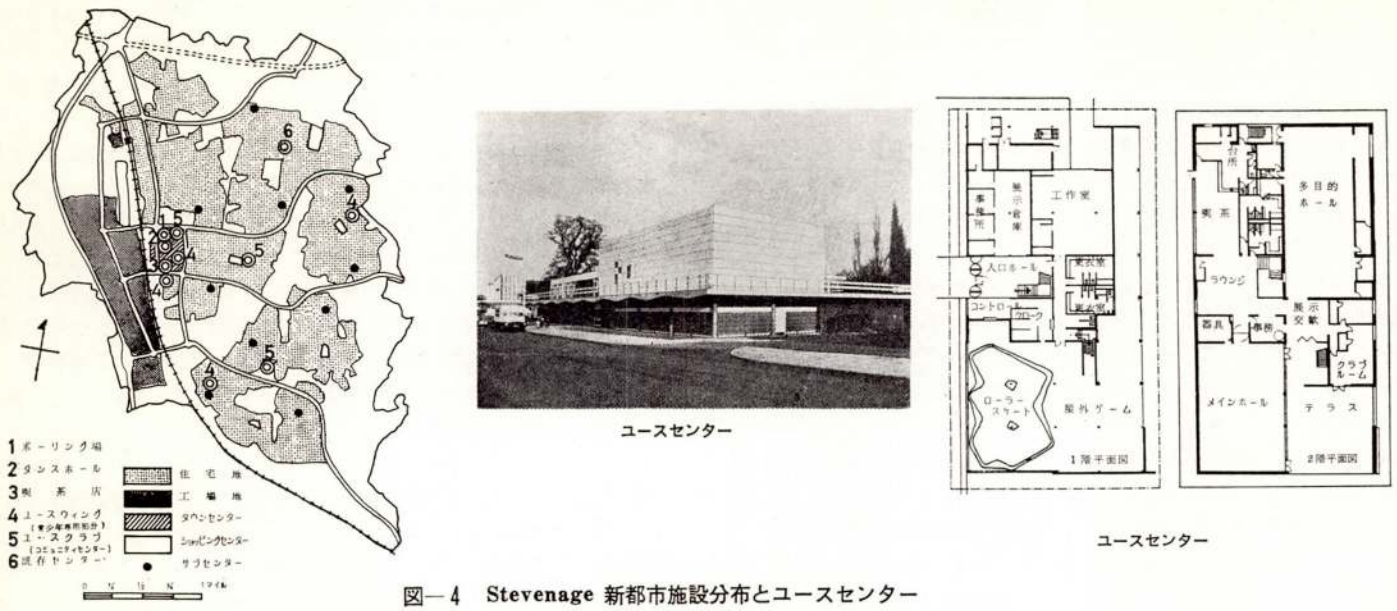
自由と楽しみの場所を設立しようという目的でつくられ，年数としても古い。正会員を持たないけれどもグループはステージショーを一緒に演じたり，敷地内の庭園化を行なったり，テニスコート，ローラスケートリンクなどをつくり楽しんだり，クリスマスの老人とのパーティーを催したり，ドイツと交換訪問を行なったりしているという。設備は多くなって屋内施設としては卓球・映画・ダンス・演劇なども行なうホール，静かな室，身体活動の室，喫茶室をもっているのが普通である。一晩当り150人程度の10代の青少年を集めている。成功の多くは地方当局の援助・リーダーと成人のオーガナイザーの能力に負っているといわれる。

**第Ⅲの型**は，混合クラブとして最も典型的でユースサービスの骨格を形成するものといわれる。今後の設置では増加させられる方向にあるクラブの型である。数百人内外の登録会員をもって，一晩当り100人程度の出席がある。年中無休で開かれている。したがって資格をもつ先生であるパートタイムリーダーをもち，数人の補助リーダーとヘルパーを持




図—3　新しい型のユースクラブ




図—4　Stevenage 新都市施設分布とユースセンター

っている。さらに上級会員によりリーダーシップの援助がつけ加わる（会員が14〜16才と17〜21才にわかれる）。このようなクラブは国の連盟にも加わっている。設備の主なものをあげれば，ダンス，映写などを行なう小クラブ室，コーヒーバー，静かな室（図書），体育館とシャワー室，女子居室，ゲームルーム，何種類かの工作室，リーダー室と応接室，委員会室，活動を組織する会員のための小事務室，クロークと化粧室，多くの収納スペースなどである。この他に会員たちで改造してキチネット・シャワーなどをもち，ベッドをもって週末や休暇に使う中古のコーチなどを持っていたりする。このような施設を使って，この種クラブは共通してよく見られる映画・ダンス・読書会・演劇・理髪・フットボール・柔道・写真・木工・ラジオや模型製作・カヌーづくり・自動車修理などが行なわれ，奉仕活動も行なわれる。しかも活動は強力なリーダーシップに負うところが多いが，いくつかの活動は会員自身によって完全に組織されている。

**第Ⅳの型**は，数は少ないけれども1,000人以上の会員をもって動いており，そのため自ずと広範で多様な活動と施設を提供するものである。合唱団・オーケストラ・演劇団・外国語会話・フォークダンス・フェンシング・フットボールの数チーム・理髪大会・料理・その他の技能などを加えて同時に維持していくことができるものである。例えば図—2に示すように毎晩150〜200人位いの会員が種々の活動が完全に調和の中で行なえしかも他の部分と密接につながるクラブ室をもつようなものとなる。なお，以上のような調査研究を通じて第Ⅲ，第Ⅳの型に属するユースクラブのこれからの像が研究，設計され，実施された。計画の考え方をわが国の施設の場合とくらべていただきたい。（図—3）

さて，この種施設が地域段階でどのように設置されているかを，既存都市よりどちらかといえば，施設が遅れるといわれる人口6万人程度のStevenage 新都市の場合で示してみよう（図—4）。近隣センターのコミュニティーセンターやタウンセンターに各種文化施設とボーリング場・コーヒーバーなどがあるにかかわらず，継続教育のカレッヂとその中のユースウィング，分散した中学校に付属する4カ所のユースウィング，コミュニティーセンターに附けられた3カ所のユースクラブ，2カ所のユースセンター（図—4右）が新都市内全体に分布している。したがってユースサービスの名前があるだけでなく，実際に生活と密着して配置されている。以上，英国を例にとってユースサービスの概要とその施設について述べその方向を示そうとした。たしかに歴史は古く活発である。けれどもアルバマール委員会以後活発になりだした青少年活動は，実は都市への青少年の集中，それにともなって生じる社会現象—青年の早熟，暴力，飲酒，性犯罪，住居問題，学校と社会の連携の必要性，余暇と自由なお金の増加，職業生活に関連して起こる生活上の問題—といったことが大きな原因といわれており，わが国の状況と同じような問題の基盤がそこにひそんでいることが認められる。

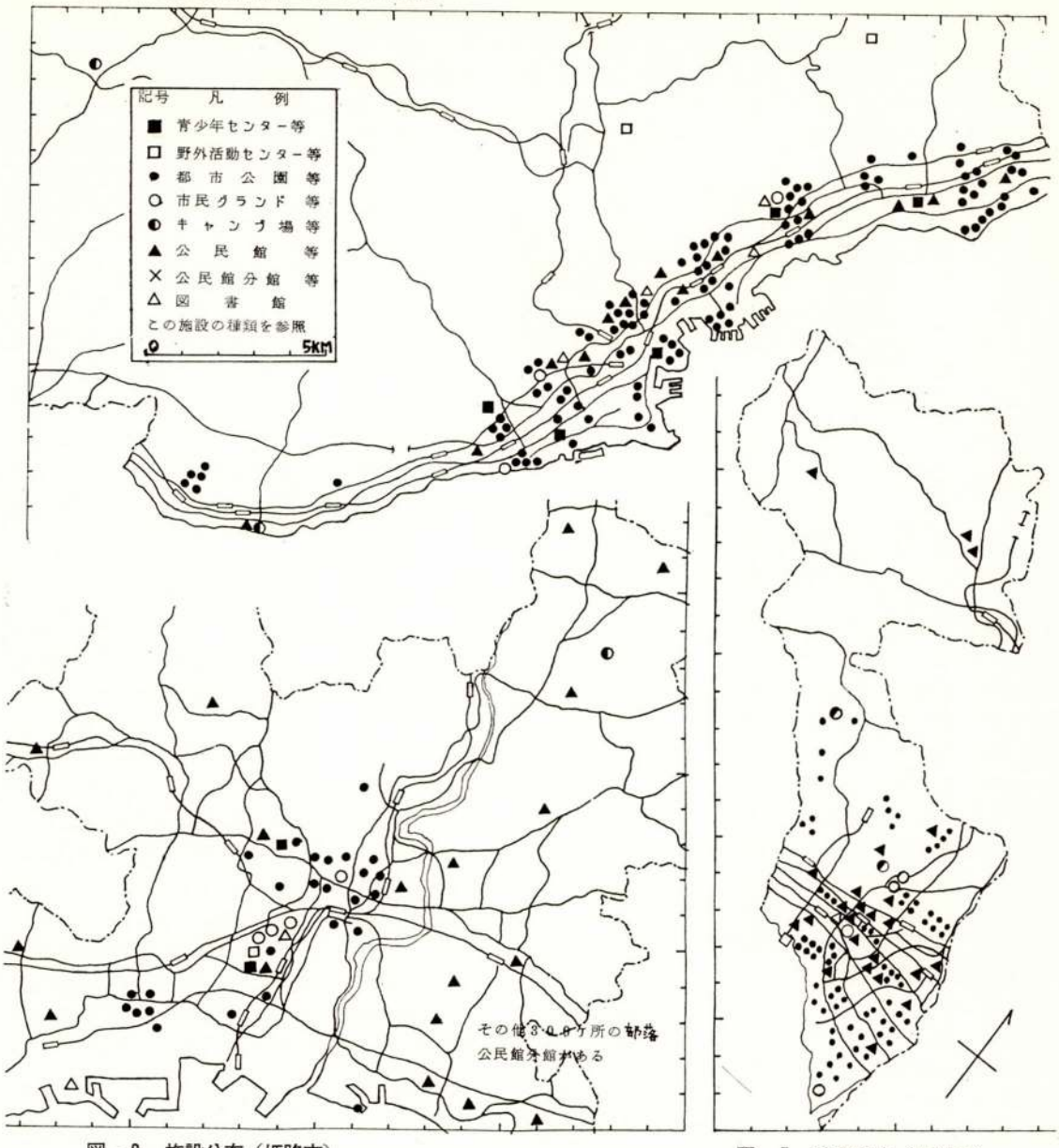
## 3.　都市における青少年関係施設とその分布

わが国の都市内においてユースサービス施設がいかに設置されているかをながめてみよう。最近，青少年センター，児童文化会館が神奈川県，東京都，岡山県，山梨県，といった県立段階でつくられ目立っている。しかしこれらは県のセンターであって，青少年側からみればどれくらいの役割をもっているかは疑わしい。私たちが見てまわった限りでは，リーダーなどの機構も整備されていない。室や設備が系統づけて設けられている例は少ない。利用においても，学校の学年単位での訪問が多いようである。個人で来るものはながめているだけのものが多い。もとより，このようなセンターの拡大整備も大事である。しかし，青少年側から見れば，彼らの使える施設の状況が，地域の中でどのような段階にあり，彼らの生活のどの程度を受持てるかの状況をながめておきたい。

筆者らは，兵庫県の94市町について施設現状調査を行なった。このうち規模や立地条件の異なる6市町について行政担当者・リーダーなどについて聞取り，訪問調査をさせてもらい，施設平面・設備・使われ方などについて調査した。これらの結果の一部を表わしたのが図5〜13である。

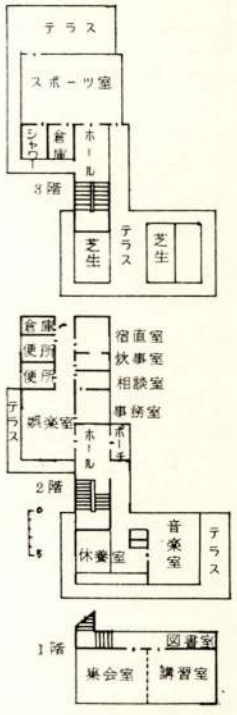
**神戸市の場合**：専用施設は他市にくらべ種類・量ともに多い。人口からみればそれでもわずかである。専用施設としては青少年センター1，児童館3，児童文化会館1，ユースセンター2である。青少年センター（図—11）と児童館（図—12）の違いは，前者が鍵っ子専用部分，相談部分，ピアノなどをもっている以外は基本的にかわらない。両者の利用者数は平均150人/日（最高300人弱）で，個人利用では小学生層が大半を占める（センター：6〜7割，館：幼児2割・小学7割）。グループ利用はジュニアーリーダー会・PTA・婦人会等々であり，センターはこれに趣味などの分だけ多くなる。主催事業は，前者が青年以上向を含み，後者は児童生徒向（人形劇など）になっている。誘致圏は小学校区以下とみられ，来館者数の平休日差は少ない。施設については，間取り，遊戯・集会に使われる多目的室の大きさ・設備が活動内容に合わないなどがある。とくに内部の備品は少なく，これから整えられよう。以上2種の施設に対して，児童文化会館・ユースセンターは全市対象のセンターとしての性格をもっていた。児童文化会館は，子供図書室（平均1日100人弱の来館）を併設している他はホールと小会議室をもつだけで，映画会57回/年（利用は徒歩圏内が大部分となる）・音楽会・読書会などの行事の他は貸ホールに使われている。自分で創った船を浮かす会などの子どもが自分で行ない作る活動はすべて館外で催されており，運営面のセンターの役割をはたしている（港を描く会参加3,500人など合計

図―5　施設分布（神戸市），67年現在

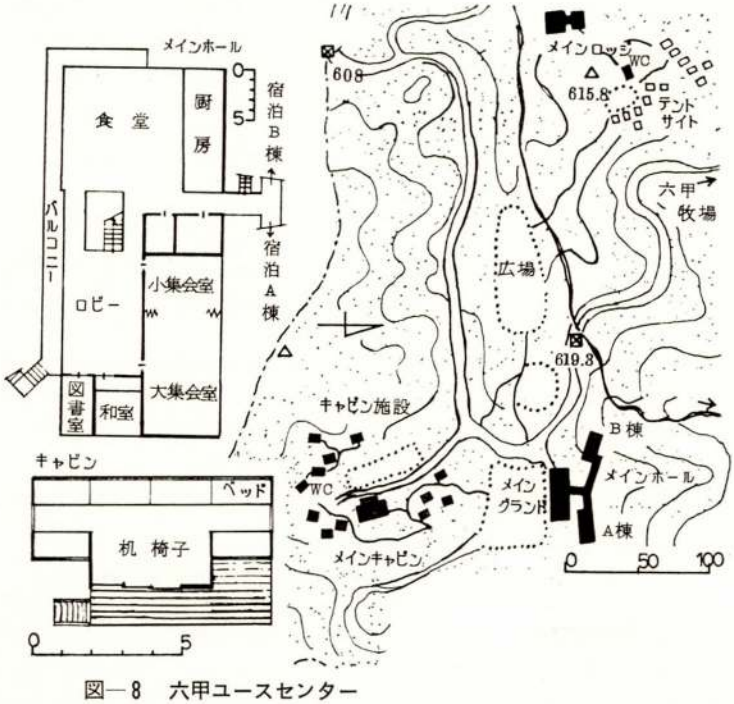



図―6　施設分布（姫路市）

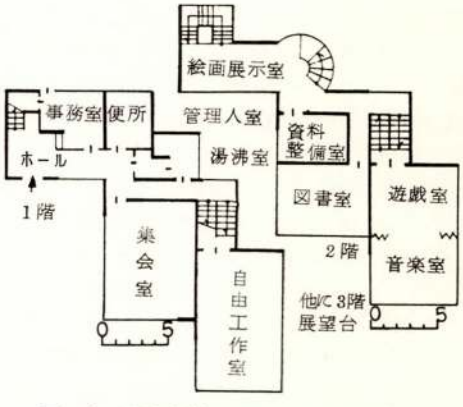
図―7　施設分布（西宮市）



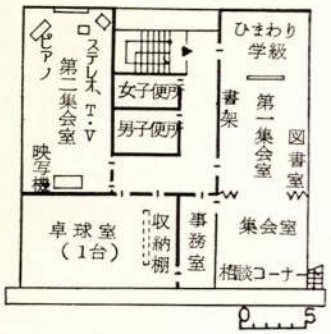

図―10　勤労青少年ホーム（姫路市）



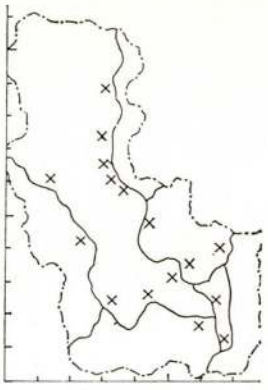

図―8　六甲ユースセンター

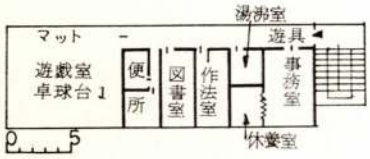



図―9　児童文化センター（姫路市）

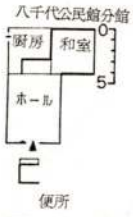



図—11　青少年センター（神戸）






図—12　児　童　館（神戸）




図—13　八千代町施設分布と公民館分館

7回/年）。担当者は神戸市の条件（都市形態・人口など）なら整備されたセンター施設が3カ所はあってよいだろうという。六甲ユースセンター（専任6・夏季奉仕17・8人，図—8）は，宿泊野外活動のための施設で，メイン・キャビン・テントの各群施設からなる1カ所（130人収容）と青年の家（広間・厨房・宿泊室60人）の1カ所からなり，各種屋外スポーツ（広場）・ハイキングコースなどの野外活動ができるようになっている。利用は目的をもってくるグループを受入れ，施設はコンサルタントと食事などのサービスを行なう。利用数は季節的に変動（最高月7,455人から最低1月の94人）がはげしいが，年間40年27,780人・41年25,445人である。7・8月は市内の小中学校利用だけでいっぱいになり，ことわる学校数の方が多いという。屋内体育施設の充実が季節変動をなくし，施設の魅力を増すという。他の利用は大学の合宿やリーダー研修・勤労青少年グループ・修学旅行など多彩である。

**姫路市の場合**：旧部落集会所・役場などを町公民館分館（広間・調理室）に変更したものが300カ所あるが，青少年施設としては児童文化センター・勤労青少年ホーム・青年の家（ユースホステル）だけである。いずれも市街地周辺の田園部に設けられている。児童文化センター（専任5，図—9）は6～18才を対象とし，1日平均30～50人が訪れる。その8割が小学生で，9割が徒歩圏内であるという。利用の中心は，学校・広報を通して知らす主催事業（音楽・作品展示・映画会・各種講座—工作など）であり，他の少しは近くの児童が講座のやり残しや夏の宿題完成などでやってくる。土・日・休暇中は多く，平日は少ない。全体としてはセンターが分館的になったとみられる。ここでも平面計画における欠点（工作室に収納・個人作業部分がとれない。画一的に室が分割されているだけ等々5点）が指摘された。勤労青少年ホーム（専任3，図—10）はスナックバーをもつ娯楽室（ロビー）・集会室等々からなる。夜9時まで開かれており，25才までの中小企業労働者を対象とするが，リーダーの問題や差別するとかえって来なくなることから弾力的にしているという。利用者の大部分は25才以下である。利用者の圏域は往復1時間以内が7割である（登録1,500人，利用者数平日5・60人，休日150人以上）。開館後2年半を経て活動は安定だし，写真クラブ・音楽バンドなど計17グループがリーダーを中心として自主的に動きだしている。しかしそれら活動内容からは，施設設計のまずさ（暗室がない，スポーツ室がせまい，演奏は1階で収納は3階等々）が目立つといわれた。以上2施設とも公民館よりもリーダーがいてくれることもあってよく使われているが，利用者側からみれば分館的性格が強い。施設内容と立地に関して配慮が足りなかったといえよう。

**西宮市の場合**：専用施設は教育キャンプ場・海の家位で，戦後に設置された公民館が市全域に分布している。青少年団体数が多いことや公民館の他活動の内容や市の住宅都市的性格からいって，公民館・学校の兼用だけではユースサービスにとって限界があろう。それらに付属でも専用スペースをとることなどが必要となろう。

筆者らはさらに**高砂市・加西市・八千代町**へと踏査を進めたが，いずれも公民館分館（集会室と簡単な調理室）と小学校にユースサービスは頼っている。子供会などはごく少数を除いて行事化しており，逆にボーイスカウトなどが活発であったりする。しかし3市とも中小企業に勤める勤労青少年をもっており，彼らが夜間などに姫路・明石・神戸にさそい合せて自動車で出かけることも多いという。

結局全体としてみれば，青少年専用施設は要求に対して少なすぎるとみられる。他目的施設に付属して専用部分がとられているかというとこれもほとんどない。それでは兼用が考えられるが，これに関しては，施設の機能からいって無理であろう。青少年活動からは施設内の設備ひとつをとっても独自の要求があるし，しかも自分たちの場所としての感覚があり，気軽に継続的に使用していくことが大事とみられるからである。この要求に対して公民館分館の現状は貧しすぎるし，小学校などでは管理上・空間のつくり方などで問題なのである。施設は分館的により日常生活の中で使われていることが多く，身近な施設の提供はユースサービスにとって効果が大きいといえよう。従来つくられつつあるセンター的なものは施設内容において，提供できる活動内容において，より高次なものとして魅力あるものとして計画されていかれるべきであろう。専用施設の平面計画については，そこで行なわれる青少年の生活要求に合っていないことが多いということは銘記されねばならないであろう。

## 4. ま と め

結局のところ，どの市においても政府や審議会でとなえられているようなユースサービスの目標を達成するだけでも，現在，施設の実施はよほど計画的に効率よく行なわれねばならないことがわかっていただけたと思う。さらに本論の前半からわかっていただけたように，ユースサービスの内容や青少年の要求が今後大きく変ろうとしていることが十分察知できる現在，施設計画においてより高度な技術が必要であるし，施設の地域計画についても体系的に考えていかれるべきである。そして各施設の設計はより思考密度の濃さが要求されているといえよう。これらの計画条件は各市・各地域で異なったものであり，それぞれにうまい解答がなされねばならない。

徐々にしか，施設の整備・リーダーの確保が進んでいない現在，以上のように考えた方がユースサービスや青少年の生活にとって効果は大きいといえよう。そこで筆者らは青少年の生活を追求しているのである。

（68・4・10）


**参考文献**

1. 英国における継続教育の展開（その1），駒田綿一・諸岡和房，九大教育学部紀要第7集 1960.
2. 同上（その2），諸岡和房，九大教育学部紀要第8集 1962.7.
3. 同上（その3），諸岡和房，九大教育学部紀要第9集 1963.9.
4. 都市の青少年対策，桑畑勇吉，都市問題研究 165号，1964.9.
5. The Youth Service in England and Wales, Ministry of Education, H.M.S.O.,1960.2.
6. Children in Britain, Central Office of Information Reference Pamphlet 34,H.M.SO.,1965.4.
7. Building Bulletin 20,Youth Service Buildings,Ministry of Education, 1961.9.
8. Building Bulletin 22, Youth Club, Ministry of Education, 1963.8.
9. Youth Centre, Ar. Journal, 1966.2.2.
10. 世界の教育9，世界の社会教育，平塚益徳他13名，共立出版KK，1959.12.
11. 青少年の余暇活動のための施設に関する世論調査，内閣総理大臣官房広報室，1966.4.
12. 青少年白書，1961～64・1966～67年版，青少年問題審議会及び総理府青少年局編
13. 青少年関係施設の地域分布と利用状況の概況，多胡進・坂田勝弘・荒木弘，建築学会近畿支部研究報告集，1968.5.



（たごすすむ：大阪市立大学工学部講師・工博，さかたかつひろ：同大学院生）

# 壁のない学校

渡　部　　和

## ——科学の発達と教育改革の必要——

今日の急激な科学の発達は，国家も社会も，個人の生活も，すべて変革させていく。特に国家の発達は，科学力の充実なしでは望むべくもない。科学の進歩は，当然教育界にも影響してくる。今までの教育量では，足りなくなってきた。国民により多くの知識を授けるようにせねばならなくなってきたのである。

1957年のソビエト連邦のスプートニク打ち上げは，アメリカにとっては大へんなショックであった。それまで国際社会における第1位の地位を誇っていたアメリカは，ソ連に科学の力で追い抜かれたことを認めざるを得なくなった。アメリカでは，それを教育の充実によって挑戦することにしたのである。

スプートニク打ち上げの翌年，1958年に，アメリカは「国家防衛教育法」を成立させた。この防衛教育法の審議に当った下院文教・労働委員会は，その報告書のなかで，この法案の目的を次のように述べている。

「アメリカは，多くの分野において，重大な挑戦を相次いで受けている。この挑戦——科学，工業，政治，軍事力，国際関係における——は，全体主義勢力からのものである。この挑戦は，わが国の青少年の才能を可能なかぎり十分伸ばすことを要求している。したがって，アメリカの教育は，現代において重大な責任を背負うものである。」

このような目的をもって，アメリカ合衆国連邦政府は，これまでにない莫大な経費を，国民の教育のために支出したのである。

現在，世界各国はどこの国でも教育改革に乗り出している。「教育爆発の時代」といわれている。それは，先進国であろうと，開発途上の国ぐにであろうと，いずれの国でも共通している。そして世界各国の教育改革は，科学の発達に伴ない教育量の膨大な増加に対処した学校制度，教育内容，そして教育方法の改善が，その基本となっている。つまり教育量の増大を義務教育年限を延長させることによって処理しようということと，もう一つは，能率的，合理的な教育方法で，教育内容を充実させようとすることの二つが考えられ，実行されているのである。

膨大な教育量を要求する科学の発達は，それ自身が教育の方法を変革させてきている。いままでの黒板とチョークによって教えていた授業は，テレビジョンによって教え，映画，スライドによって教え，遂には，科学の粋を集めた電子計算機によって指導するという段階まで到着してきているのである。特にアメリカにおいては，このような教材・教具の改革は目ざましいものがある。電子計算機による学習は，日本ではまだ香川大学付属中学校で初歩の実験が行なわれている程度であるが，アメリカでは連邦政府が本腰を入れて，その開発に乗り出している。そして，スタンフォード大学，イリノイ大学，ピッツバーグ大学などが，付近の小学校を実験校として，その研究に成果をあげている。最近のニュースによると，ニューヨークでも，正規の授業として電子計算機による国語・数学の授業を取り入れたと報道されている。

このような，教材・教具の変革とともに，指導方法も一昔前に比べると変らざるを得ない。能率的な教え方は，決して今までの授業のように，黒板の前に立った先生が，40人から50人の生徒に一勢に教えるという方法では満足されるものではない。もちろん，このような集団による学習も必要ではあるが，さらに学級編成をかえて，時には小グループによるディスカッションも必要であろうし，2～3人のグループでの学習も必要であろう。またひとりひとりが個別に学習する方法も有効であろう。さらに逆に，100人ぐらいの大集団によるティームティーチングの方法も発達してきている。

アメリカでは，このような学習方法は，すでに実験段階を終え，全米に広まりつつある。

## ——壁のない学校の登場——

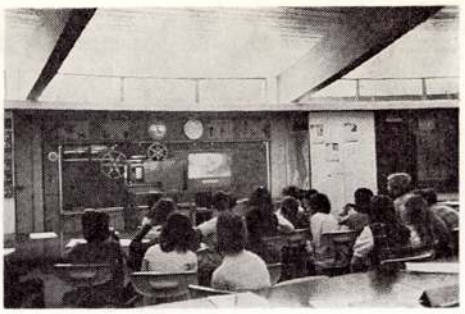
このような教育方法は，従来の教室のように，50人から40人



円型校舎を4つ集めて作られたエデンベール・スクール



図書室は各教室群の中央にある（エデンベール・スクール）



壁のない教室で映画による学習（エデンベール・スクール）

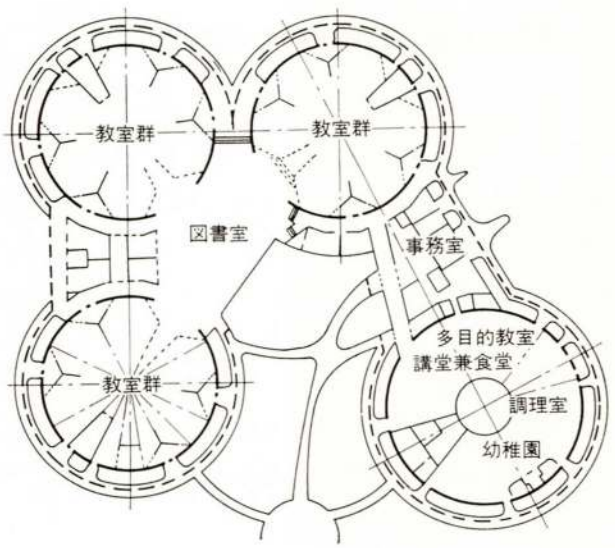
の四角な机と椅子があり，教壇と黒板，それにチョークという小道具では，不便きわまりないものになってきたのである。そこで，もっと弾力性のある学校建築が考えられてきて，登場したのが，アメリカの西部や中部に数多く見られる「壁のない学校」なのである。

カリフォルニア州，サンノゼにあるエデンベール小学校も，「壁のない学校」である。この学校は4つの円型の校舎が集まってできている。中心は図書室で，そのまわりに三つの教室群がある。図書室は，どの教室からも廊下を通らずにきて，勉強することができる。ひとりひとりの能力や個性に合った教育をするには，教科書ばかりではなく，いろいろな本を読んで勉強すべきだという考えに基づいているためである。図書室のまわりの円型校舎には，ひとつひとつの教室に仕切る壁は全くない。

一つを6つの教室にわけて使うこともできるし，いくつものクラスを一緒にして，ティームティーチングの方法をとることもできる。つまり，1月のうちに，必要に応じて，いろいろな大きさのグループに組かえができるというわけだ。

このような壁のない学校の場合，隣りのグループの騒音のため，うるさくて勉強ができないのではないかという心配がある。事実，日本の学校では，隣りのクラスが休憩時間に入れば廊下を走る音や，隣りの教室の呼び声などで，先生の話も聞きとれなくなる場合がほとんどである。しかし，このエデンベール・スクールでは，そんなことはない。もちろん教室の広さが広く，防音装置もきちんとしているのであるが，その秘密は床にじゅうたんを敷いてあるからだといえよう。アメリカでは，一般家庭でもじゅうたんをひいてあるのが普通であるから，学校にじゅうたんを敷くことは，何もぜいたくではない。カリフォルニア州では，小中学校の75%はじゅうたんがしかれてあるとのことだった。

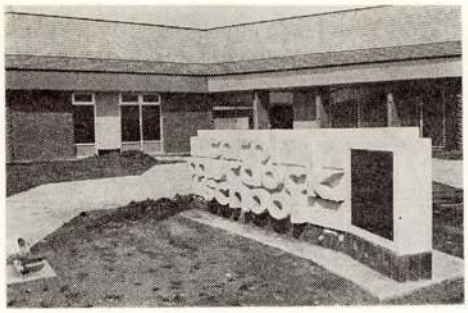
エデンベール・スクールでは，この他に冷暖房装置もついているという，至れりつくせりの設計であるが，これでも壁をなくしたため，建築費は普通の学校よりも，2～3%安くつくとのことである。




エデンベール小学校

同じカリフォルニア州にある，キャロル・マードック・スクールも壁のない学校である。この学校は，エデンベール・スクールの円型とはちがって，6角形を基調として作られている。形は6角形であるが，考え方は円型と全く同じで，1人から100人までのグループが自由に学習できるようになっている。ティーム・ティーチングや，学年の枠を取り払って教育する，いわゆる無学年制などの新しい教育方法をとり入れるために，建物そのものも新しい考え方で作られていくわけである。キャロル・マードック・スクールでは，1年から3年までを一緒にして，無学年制の学級を作り，生徒の年令にはとらわれないで能力に応じた指導をしている。また，4年から6年までは，ティーム・ティーチングで，82人のクラスを2人の先生が共同して担任している。能力のある子どもはどんどん伸ばし，おくれたものは追いつかせるために，必要に応じて，いろいろなグループを作って指導している。そのために，このような新しい型の校舎が必要なのである。ここの校長は，

「50人入れる教室の10ある学校を作ってくれ——などという学校の注文は，現在の教育者には許されない。学校は教育の場



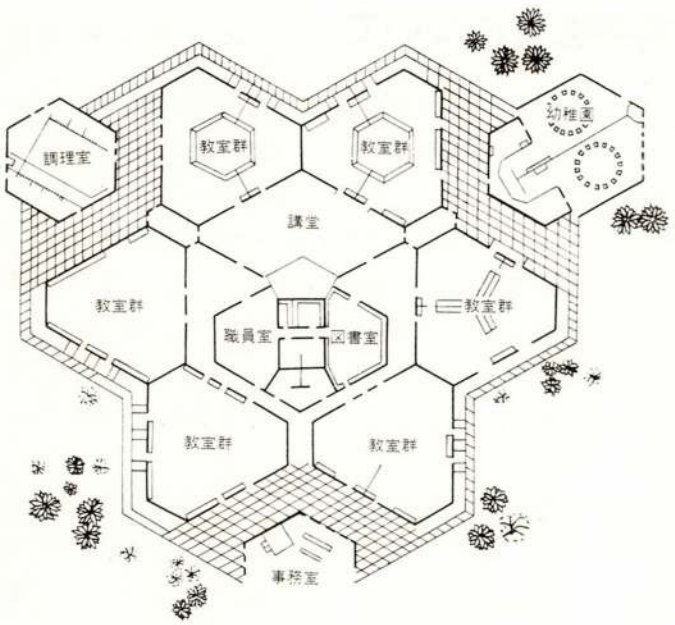
六角形を基調としたキャロル・マードック・スクール



キャロル・マードック・スクールの社会科の個別学習
（向う側の壁に日本の地図がはられている）



キャロル・マーデック・スクールは，台形の机を使用しているグループ学習をするのに便利だ。




キャロル・マードック小学校

である以上，教育目的に合ったものでなくてはならない」と語っていた。

キャロル・マードック・スクールの机や椅子も，よく工夫されている。非常に軽くできていて，どんな小さい子どもでもやすやすと運ぶことができる。また，机の形は台形である。台形は，縦列にならべて，先生の講義を聞くばかりではなく，まるく囲んでグループ学習をするのに便利である。（写真参照）一寸したアイデアが学習の効果をあげるのに大へん役立っていると思う。

## ――教育と建築の専門家の協力――

このような，壁のない新しい学校は，決して個々に建てられているのではない。アメリカでは，学校の建築や施設をよりよいものにするため，1958年，フォード財団の援助で，教育施設研究所が設立されて，この研究所が，教育改革の一翼をになっているのである。1958年といえば，先に述べたとおり，ソビエトがスプートニクを打ち上げた翌年であり，アメリカで，「国家教育防衛法」が成立した年なのである。科学教育の拡充が叫ばれたそのときに，よりよい学校建築をより安く，そしてより早く建てる研究を進めるために，この教育施設研究所が設立されたのである。研究所の本部は，ニューヨークのマディソン・アベニューにあるが，各地に支部が設けられている。カリフォルニア州パロアルトにあるスタンフォード大学教育学部には，その西部支部があって，研究をしている。音響学，冷暖房装置，色彩，電気系統，構造，それに建築の専門家が，教育学部に籍をおいて，教育の専門家と協同で研究を進めていることは，日本では未だ見ることができないことである。学校が教育の場である以上，教育の環境をどのようにするかは，教育者にとって大いに関心のあるところである。このような教育の要求を建築家の知恵によって実現するのが，この研究所だといえよう。

学校は民家とちがって，何校も一度に注文するということはあり得ない。したがって安く建てることは，なかなかできなかった。そのため学校建築はあまり進歩しなかったのが実情である。しかし教育施設研究所では，学校建築に必要な鉄骨や木材を規格化して，大量に注文することに成功した。この研究所の協力によって建てられている学校は，形は円型であろうと，6角形であろうと，そこに使われている材料は，同じ規格になっている。このように原材料を10校とか20校とか大量に発注することによって，コストを下げることができるのである。大量生産を可能にしたこと，そして壁をなくしたことによって，節約した費用は，冷暖房装置やじゅうたんに廻されているのである。

日本の場合，教育は教育者のみにまかせている傾向がある。教育者自身が，他の専門家を敬遠し，他の専門家も教育の場に関与することを嫌う傾向がある。このセクショナリズムが，どれだけ教育改革をおくらせているかわからない。人づくり，国づくりの基盤となる教育の重要性はいうまでもない。これからは，国民全体が協力して，次代をになう子どもたちの教育に力を集めねばなるまい。

（わたなべ　かず：NHK学校放送部副部長）

# 随想:教育と施設

## 観想の場

大倉三郎

現今の都市，特に都心部は，もはや教育の場を容れられなくなった。いやむしろ，排撃しつつあるといえよう。騒音・悪ガス・商業競争の不協和音ががなり立てる，錯雑と汚濁の中で，どうして人間教育ができようか。電車もバスも大勢の学生生徒で超満員の有様によく出逢う。いづれもヒッピー族よろしく，虚勢のおシャレはまだ苦笑ですまされても，凡そ不作法と喧騒には情けなくなることがある。公共社会を支える良識の根を彼らは修練されているのであろうか。青春の生態，その情熱の発散はよくわかるが，それだからこそ，彼らの成育に正しい民主社会の人間教育を加えてゆかねばならないと思われる。現時，悩める都会の環境では，それが逆行するばかりのようだ。

教育の場は，まず自然の静寂と悠久に包まれてありたい。市街地から遠くなるのもよい。通学者は都心を避けてゆきたい。次には人間の相互交流による人格的環境が大切。専門でも教養の課程でも，この繋がりがなければ教育は成り立たない。

施設としては，智の内容それ自身に注入して，自ら考える場が燻し出されるような環境を保ちたい。観想の場である。教育とは知識をうのみして，記憶の倉庫につめ込むことではない。頭と心をもって，自ら観想する体験を醸成し，咀しゃくして身につけることである。このような環境づくりは，建築の物理的機能一辺では至難だが，装設のあり方によって可能となるであろう。建築教室の一例をあげると，ドイツの某大学で見たのだが，広々した廊下の，その寂びた壁面に歴史的名建築の大きい写真や実測図が，大らかに展示され，一隅のニッチには古典の石膏像が控えている。二，三の学生がその前に，何かの考えにふけって，たむろしていた。デザインの想を練っているのであろうか。自ら観想をうながす雰囲気に満ちていた。

教育の場は，かくありたいものと思う。

## 大学教育について

上野伊三郎

戦後制定された新制大学の制度は旧制に比し専門学課の時間を短縮し，一般教養の時間を増大して人間としての視野を拡げさせたことは，旧制の欠点を補って意義あることと認められるが，そのために4年制大学の2年間は一般教養，残り2年間のみが専門学課に残されるに過ぎず，ヨーロッパの大学の4～5年を専門学課に費すのに較べて卒業生の実力に大きな開きを生ずる結果をきたしている。独墺では，一般教養は高等学校で十分な教育を施し，卒業試験は厳格で大学入学の資格試験でもある。

大学での学習は短期速成の場合には詰込み主義となるが，十分な時間を持つ場合には演習を多くして一歩一歩理解しつつ前進することができる。建築デザインにおいてはスケッチから建物や室内の家具配置から周囲の造園まで模型を作製する。

大学教授の待遇も厚く，退職後も給料の100％の年金を支給され，物価変動に応じてスライドされているから，老後の心配もない。日本では低給のため，大学教授がアルバイトに走り廻ったり，裏口入学で数千万円を稼いだというので，問題を起こしたりしているのとは大違いである。

戦前の日本の大学はもっとよかったと思うが，現制度に変った原因は外国の愚民政策のためとか，帝大と高師の学閥対立の結果とかいろいろ説もあるが，営利的私立大学の濫立と学歴偏重の国民感情が加わって，日本の大学の質を低下させているのは困ったことで，「大衆教育」としての「大学」の外にヨーロッパ水準の大学をつくることが急務と思われる。

## 融通のきく計画を

浅野　清

大学というところは，予算までお手盛りにできるような結構なところはまずあるまいが，予算範囲内では，かなり自治的な運営にまかされていて，個人の主張も，とくに自分の研究領域の範囲内ではよく通るので，話しあいがうまくいけば，建設に際しての設備計画も，各研究者の意志を無視して進められることは少ないと思われる。しかしその反面，よほどはっきりした，いいまとめ役がいて，各個の要求が調整され，建築的にまとめられないと，勝手な要求が羅列されて，共通の利益がおかされるような場合をしばしば見うける。

がんらい研究設備そのものが，理工科系ではとくに，いったんすえつけたら，半永久的にそれが使用できるようなことはまずなく，間もなく施設を更新していかなければならないことになるのが普通で，しかも，それがどのように変っていくか，誰にも予想がつかないというのが実情だと思われる。そうすれば，現在の実情にぴったり合ったものをつくっておいても，たちまち融通がきかなくなって，研究室はスラム化してしまう。はじめに将来を考えて，うんとゆとりをとって計画されるようであれば，それもある程度救われるであろうが，学校に対してそのような見通しをしてくれるところは稀で，どこでも予算を削ることを手柄のように考えている事務当局者がいて，そのような遠大な計画は無視されている。したがって，融通のきかない，神経質にいきとどいた，個性的な計画は，反って自縄自縛のもとで，大局を捉えた，将来の変更も楽にできる計画の方が，実情に則していくのではないかと，考えるのである。

## 体験的大学施設論

伊藤治彦

如何なるめぐりあわせか大学の建設を担当するようになって約3年，大学の施設を設計しようとすれば大学教育および研究体制，都市立地における大学の役割，ひいては財政基盤の問題……等，悩みは果てなしといったところです。そういうマクロな問題は一時目をつむるとして，学舎建設のみにしぼっても，一般の建築家が体験しないような問題点をかかえて青息吐息といった状態で，この誌上をかりてお智恵拝借とお願いしたい。

ある建築雑誌に大学建設における「建築家不在論」を書かれた先生がおられたが，小生はそれに「施主不在論」をつけ加えたい。施主も建築家も不在で大学のような成長と変化を伴う施設を建設できるかということですが，それだけ建設のプロセスが明らかにされ難い事情をかかえているところが多いと推察できる。

大学の建設がうまくいかない原因として，

(1) 設計者と教授側との間の設計システムが大学の自治機構とかみあわない。
(2) 設計者に大学の本質を理解する人が少なく逃避的になる。
(3) 教授側に施主としての意図をまとめる適切な人が得られない。

等が考えられる。特に大学運営の担い手でも研究責任者でもない建築家が教育研究方針に立脚した建設プラン作成にたずさわるのは筋違いであり，せいぜい無性格でできるだけ将来の変化に対応できる研究空間の工学的追求ができればそれで良しとせざるを得ない。建築家としての技術的判断力と研究者としての学術判断力に大学運営の理念をかねそなえたスーパーマンが期待され，「建築家および施主不在論」の飛びだすのもこの辺に原因があるようである。

小生の乏しい体験論をもってすれば，大学という教育と研究に限られたかのように見える社会も，案外，再開発を求められつつも苦悩している都市の実態と似た面をもっているという説を結びといたします。

# 随想:教育と施設

## 都市と工業高等学校

益　尾　辰　雄

今月号は，教育と施設の問題を取りあげることになっているが，内部の施設を考える前に，激変する都市の中にあって，学校は，どのような所に在るのが適当であるかという問題がある。

それには，学校・生徒の通学の便からと，その学校の設置目的から，それにふさわしい場所にあるかどうかという両方面から考えて見る必要がある。

結論からいって大学は，いわゆる教育環境のよい所に造るべきであり，義務教育である小・中学校は，住居に密着しているから，一定の住民のある所には必ず学校を造る必要がある。高等学校は，その中間に位し，その性格によっていろいろな形態のものができて然るべきである。

今工業高等学校だけに絞って考えて見ると，その設置場所には次の三要素が必要であると思う。

1. 学校として当然教育環境がよい所であること。
2. 生徒の通学区域が普通高等学校に比べると，かなり広い区域に亘っているから，通学の便のよい所であること。
3. 工業の実社会からの常に適当な刺激を与えられる必要があるから，それにふさわしい所であること。

その内どこに重点をおくかによっていろいろな学校ができてくると思うし，逆に，今ある場所によっておのづからその学校の性格に宿命的なものが出てくると思う。

結果において都市の中の下町風の所に造られている場合が多いが，そのために，次のような問題がおきている。

1. 交通事故対策と校内の駐車場の問題（自転車，オートバイを含む）
2. 周囲からの騒音による学校の機能の麻痺の問題。
3. 地盤沈下の影響による校内の諸施設の障害。
4. 校地の狭隘からくるいろいろな問題——いこいの場所不足第二運動場や第二校舎の取り方など。

## 高校教育の多様化

乾　　亮　三

私に与えられた課題は特に「多様化問題など」ということである。この問題については積極的な反対意見などがあっても，現実には遂次進行しているのが事実である。

ところで，最近大阪府立の工高に新設された珍らしい学科名に電気工事科・被服産業科（紳士服製作技術者の養成）・機械製図科・機械工作科などがあり，さらに衛生看護高校・食品産業高校という学校もある。また他府県では普通高校に理数科が設けられるということもあって，一般には今までになかった思いもよらない学科を次々に設置していくのが多様化であるかのように思われているようであるが，事実は左様に簡単なものではないようである。

かつて「期待される人間像」が発表されると，いろいろな意見が紙上をにぎわし，「期待されざる人間像」という皮肉った言葉も現われたことはすでにご承知のとおりであるが，実はこれが，昭和41年10月に中央教育審議会から文部大臣に答申した「後期中等教育の拡充整備について」の別記（付録）であり，この答申の本文中に「……教育内容の多様化を図る」とあることに端を発するのが多様化問題のようである。当時この答申を報じた文部広報の第一面には四段抜きで「すべての青少年に教育の機会を」と打出しているのは，その内容を簡明に表現しているようであり，高等学校と各種の職業訓練機関や各種学校との連繋・短期高校の実現なども近い将来の課題である。

工高建築教育の多様化問題については，中江斉氏（静岡県立清水工高校長）提案の学科名を列挙すると次のようになる。ただし同氏の提案に関する賛否両論は当然のことながら存在するし，これ以外の意見のあることも事実である。

建築科・建築設計科・建築施工科・建築構造科（構造設計科）・建築技術科・建築設備科・建築製図科。短期高校としては，建築工作科・建築施工科。その他建設機械科・空気調和科。

## ニュータウンの小学校のこと

富安秀雄

ニュータウンに作られる住宅は，主に中層アパートで，そこに住まうのは，家賃や広さの関係から，年令の若い夫婦である場合が多い。それまでの狭い所から，どうやらまともな暮しになって，人々は早速子供をつくりだす。それが一斉に行なわれるので，数年後には，小学校の生徒が急増する。このことは，わが国でも戦後アパート団地が建設され始めると経験され，また理論的にも考えられていた。しかし一体どの位増えると見るのか，いろいろの要素が関係していて，統計的には数字を求めることはできても，個々の場合について，必要な精度でそれを予測することは，案外困難である。小団地の場合には，小学生数の中で団地のそれが占める割合も少ないので，やりくりがつくときもあるが，大団地の中の小学校では，100％が影響を受けるので，小学生数の経年変化推定は重要な問題になる。千里ニュータウンでも，6～7年前に作られた住区の小学校で，今年の新入生が急増し，今まで1学年2～4級であったのに，新一年生は，どこも6～7級になること，しかし増築が間に合うので今年は問題なく全員を収容できること，こうした問題について，市大に研究してもらうことになった等のことが，新聞に報道された。

これは，確かに研究が必要であるが，一方こうした急増の反面，急激の現象も当然考えられるので，今の小学校のような，本格的建て方についても研究が必要であろう。これについて想い出すのは，ニュータウン建設の経験の深いイギリスで，プレファブの教室を準備して，こうした増減の調整をしていること，またスエーデンでは，人口が定常状態になる十数年間を仮建築の校舎（といっても別に粗末ではなく，容易に改造，撤去のできる構造のもの）で過し，その後本建築にする例があったことで，こういう面での対策の研究も，人口構造の変化の研究と同様に重要であり，また，ニュータウンの建設速度や，ニュータウン内の住戸の建て方等の研究も行なわれねばならない。

## 義務教育施設は公共施設である

大久保昌一

公的施策による宅開事業の規模は年々増大しているが，反面「地価上昇」と宅開関連の生活基盤への先行投資の必要による「地方財政の圧迫」が，事業進捗を頑強に阻んでいる。予算内での土地取得ということで宅開地区はますます遠隔の地へ移り，結果として，生活基盤への投資比率が大きくなり，反面遠くへ行くほど地元公共団体の財政規模は弱体化するというちぐはぐな事情に遭遇する。人口圧をうけた地方団体は，ほっておけばスプロールでめちゃくちゃになり，計画開発を受容れれば財政圧迫に首を絞められ，踏んだり蹴ったりである。それもこれも大都市のせいだと，うらみ言を並べ立てても，当の大都市は知らぬ顔の半兵衛をきめこむか，罪を国土構造におっかぶせて国が責任をとるべきだと主張し，国は国で施策の混乱の中で低迷を続ける。英国の都市拡張方式（Expanded Town 方式）にみるごとく，人口移出団体（Exporting Authority）と人口受入団体（Receiving Authority）が手に手をとってという具合には，なかなかゆきそうにない。「地価抑制」や「土地制度の改革」はおいそれと期待できないが,「地方財政の圧迫」の方は何か打つ手がありそうである。公共事業の全額立替施行，償還期限の延長，利子補給，地方財政規模と必要先行投資額に比例した補助金の給付等々……。

さて，ここで，地元負担の中で最大項目である教育施設用地について，そのものずばりの只方式を提案しよう。いま人口6,200人の住区2つのセットを単位とするクラスターを考えると，その人口は12,400人で，人口密度を100～200人/haとすると，その面積は124～62haとなり，必要となる小・中学校用地は,児童生徒発生率を人口当り13%，6.5%とし，1クラス45人とすれば18クラスの小学校2校,中学校1校でそれぞれ3.6ha，2.4ha（文部省規準の約80%）合計6haとなる。これの地区面積に対する比率はほぼ5～10%である。これは公園緑地の計画数値の範囲であり,事業主体で負担に耐えない面積ではないし，負担ができないのは，むしろ教育施設が公共施設でないという理由による。義務教育施設を公益施設などといわずに，公共施設にすればよいのである（これは恒久的改変）。また単位に満たない小開発は1人当り5㎡の用地費相当金額の醵出を事業主体に義務づけることとする（これは一時的手段）。

# 経済的なプレストレストコンクリート建築

松　井　克　俊

わが国でプレストレストコンクリート技術が建築に応用されてから久しいが，当初，その方面の技術者が予期したほどに普及発展していない。*1筆者は従来から少しでも安いＰＣ建築を実現しようと考えいくつかの試みを行なってきた。そのなかで成功したと考えられるものにＰＣ合成梁がある。

## 1.　ＰＣ合成梁の設計

ＰＣ梁を用いるのは主として長スパンである。建築でも安心して用い得る梁間は，場合によって異るが，12m程度までである。これ以上の長スパンになると，コンクリートの乾燥収縮，クリープなどを考えるとＳＲＣ造としなければならない。たとえば数多くあるケースとして金融機関の支店を考えてみると，営業室は多くの場合大スパンになるが，階数は数階程度であり，１階だけの場合も多い。ＳＲＣにするために本来ＳＲＣの必要のない柱，桁行梁まで，鉄骨建方その他の必要性からＳＲＣ化しなければならない。梁も柱もＳＲＣ化すると鉄骨のコンクリート被りが相当大きく，部材断面がかなり大きくなる。したがって建設費も高くついている。簡単にいうとＲＣの工費に鉄骨の入った分だけ高くなるといえる。しかもＳＲＣにしても，コンクリートのクラックは完全に防止することは困難である。まして純鉄骨造にすると耐火被覆の費用も必要で，ＳＲＣよりむしろ高くなる。したがって筆者のＰＣ合成梁を用いた場合より高いものにつく。

一般にラーメン内の梁では中央下端，端部上端に引張応力が生じる。大スパンになると，それぞれの応力も大きくなる。普通の建物では，構造体自重による応力が一番大きい。したがって図１のように自重による応力だけを取り出して，これを単純梁として支持し，その後仕上荷重，積載荷重，地震荷重を一体化されたラーメン構造として作用させるのがＰＣ合成梁にとって経済的な方法である。

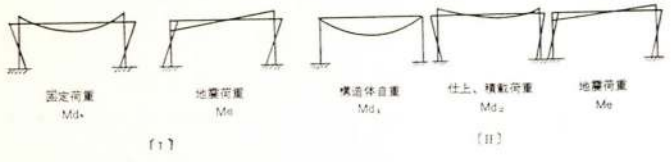



図１　ＰＣ合成梁の荷重の支え方（曲げモーメント）

図１の〔Ⅰ〕は普通のＲＣのラーメンの場合である。〔Ⅱ〕はＰＣ合成梁の場合である。プレカストＰＣ部材を用いて〔Ⅱ〕のようにすると，$Md_1$のうちプレストレス導入時に作用する自重は梁の自重だけであり，スラブなどの自重は$Md_2$の方に含まれてくる。したがってプレカストＰＣ梁は大きなものとなり，ＰＣ鋼材も多量に必要となり不経済となる。

スラブなどの自重が作用するときにはスラブ自身がプレカストＰＣ梁と一体となって自分自身を支持しようというのがＰＣ合成梁の基本的な考えである。ＰＣ合成梁はある方向――（この場合梁中央の正曲げモーメント）――のモーメントに対しては大きい抵抗力を示すが，反対方向のモーメントに対しては弱い。したがって固定荷重の大部分を単純梁で受けて残りの荷重と地震力による応力を一体化されたラーメンにて受ける。この方法だと，大きな地震力によるモーメントが梁端部に作用しても，長期荷重による応力が小さいので，ＲＣとしてもむしろ断面設計が容易である。またＲＣ造の柱にも長期荷重時の大きな曲げモーメントが作用せず（$Md_2$のみ生じる），ほとんど地震力のみで設計すれば良く，柱断面も小さくできる。

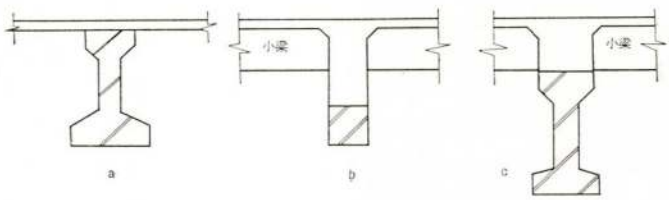



図２　ＰＣ合成梁の種類（斜線部はプレカストＰＣ部）

ＰＣ合成梁の種類は図２に示すごときものがある。ａは土木方面でよく使われている床版のみＲＣで梁はＰＣである。これは必ずしも経済的でない。利点としてはＰＣ梁を利用して床版用の型枠を支えると下からの支保工は要らない。しかし合成梁としての合成効率が悪く経済性からは不利である。それに反して，ｂとｃの型式はきわめて経済的である。特にｂが秀れて経済的である。ｂの適用スパンは12m～14m程度，ｃの場合は18m～20m程度である。ＰＣ鋼材はＰＣ鋼棒が好適であり，スパンが大きい場合にはＰＣ鋼線，ＰＣストランドも適している。

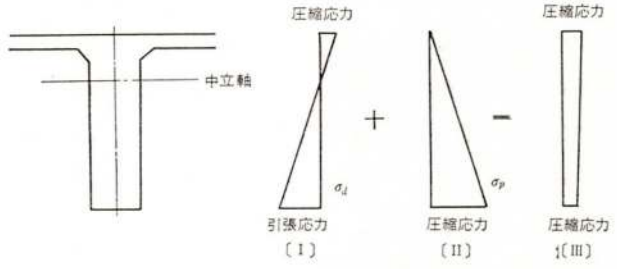



図３　ＰＣ梁の中央断面の応力

梁は図３に示すように〔Ⅰ〕に示す応力が荷重によって生じる。この応力を打消して〔Ⅲ〕の応力となるようなプレストレス$\sigma_p$を与えるのがＰＣの原理である。〔Ⅲ〕の応力は全断面圧縮応力であり，ＲＣの欠点であるひび割れの発生がない。しかし図３で，梁の上部には荷重によって初めから圧縮力が作用しているのにもかかわらず，プレストレスを与えることになり不経済である。必要なのは梁断面の下部のみである。そこで図４のように下縁部のみをプレカスト材としプレストレスを与えておき，その後に現場打コンクリートと一体化する。図４の斜線部がプレカストＰＣ部である。図２のａとｃは下縁に近づくほど大きくなるプレストレスを与えておく方が有利であるが，図２のｂは一様なプレストレスを与える方がむしろ施工が容易でかえって経済的である。この場合，筆者の経験ではプレカスト部に100kg/cm²程度のプレストレスを与えておけば十分のようである。

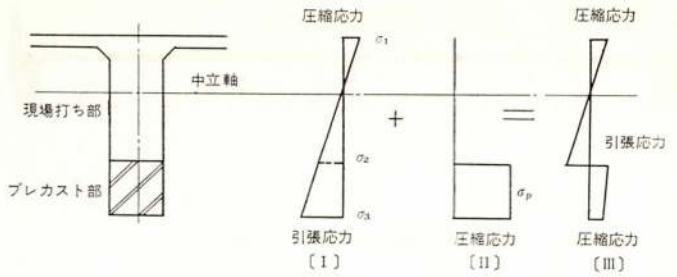



図4　PC合成梁の応力

RC部（現場打ち部）は特に高強度のコンクリートを必要とせず，コンクリートの強度，スランプ，鉄筋も通常のRCのもので十分である。この面からも経済的になり，施工も容易である。**図2**のcの場合プレカスト部の梁成を直交する小梁（RC）の成を合成梁の全成から差引いた残りとすると良い。**図2**のbの場合，**図4**の応力図から分るように，プレカストPC部のすぐ上のRC部に生じる引張応力の$\sigma_2$をあまり大きくしてはいけないが，コンクリートの許容引張応力度以下にする必要は無い。この$\sigma_2$の値が最大になるのは梁中央であり梁端部に近づくにつれて小さくなり，せん断力が最大のところで最小になる。したがって斜張力が問題になるところでは，全く普通のRCと同じ検討を加えれば足りる。

長期応力のうち仕上と積載荷重による応力はラーメンとして，構造体自重による応力は単純梁として抵抗させるために，次の手順で施工するものとして各段階で安全性を検討する。

a　プレカスト部のコンクリートを打ちプレストレスを与える。現場でも工場でも施工可能である。

b　プレカスト部を所定の場所に据付ける。

c　現場打ちコンクリート部の鉄筋を組み，型枠を組みコンクリートを打つ。このとき，梁端部と柱とは鉄筋のみ出しておき，コンクリートを打たずにおく。

d　コンクリートの硬化後支保工を撤去する。このときにはプレカスト部と現場打ち部は一体化し合成梁となって作用し，梁端に回転が生じる。

e　先程，縁を切っておいた，梁端と柱の間に後打ちコンクリートを打ちラーメンを完成させる。この状態で仕上，積載，地震荷重を受けるので，それらの応力に対してはRCラーメンとして検討する。

## 2.　PC合成梁の施工

PC梁にはプレカスト材を組み立てる組立工法と現場打ちの一体式工法の二つの方法がある。PC合成梁工法はちょうど両者の中間の工法である。プレカスト材も組立工法に比して断面が小さく，**図2**，bの場合は特に小さくてすみ，型枠も簡単である。プレストレス導入後所定の位置にセットする（**写真1，2**）。プレカスト部の重量は組立工法に比し，軽いので運搬，建方のために，特に重機を必要としない。**写真2**はスパン19.5mのプレカスト部を2本子で吊り上げている状態を示す。**図2**のbの場合，スパン14m程度でもプレカスト部の重量は3ton程度である。プレカスト部の長さが長い場合，2～3箇に分割して運搬と建方を行ない，所定の位置で，縦に並べてポストテンションにて緊張すれば応力導入と共に部材の一体化も同時に行なえる。このように梁を短く切断すれば，長尺用のトレーラーなどによる運搬の必要が無くなる。

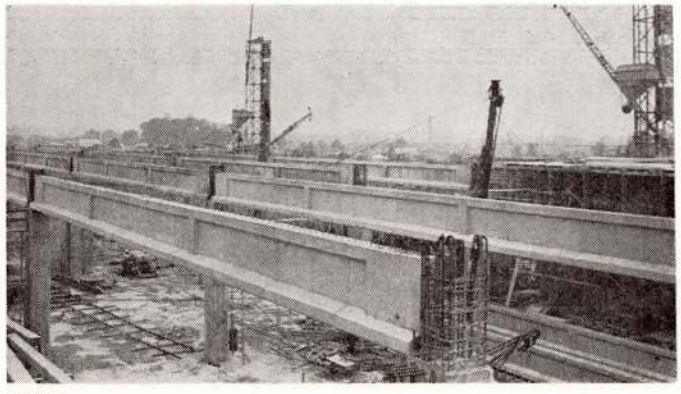


写真1



写真2

PC合成梁のプレカスト部と現場打ちRC部との接合面が果たして完全に一体となるかどうか，滑るのではないかといった疑問がある。実験の結果[*2,3]では全く心配無いといえる。プレカスト部上面に5mm位の凹凸を設け通常のRCの肋筋程度で十分一体になっている。

プレカスト部両端面と現場打ちRC部との一体化は弱く，せん断力に対して十分の補強をすべきである。筆者は写真1，2のように柱のブラケットに載せるのが一番良いと考えている。**図5**のaのように地震力が小さい場合には柱に少しのせる程度でも良い。地震力が大きい場合には**図6**のようにすべきである。

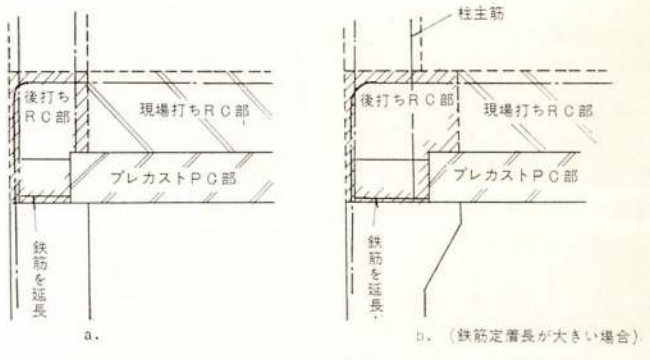



図5　PC合成梁の端部（地震力の小さい場合）

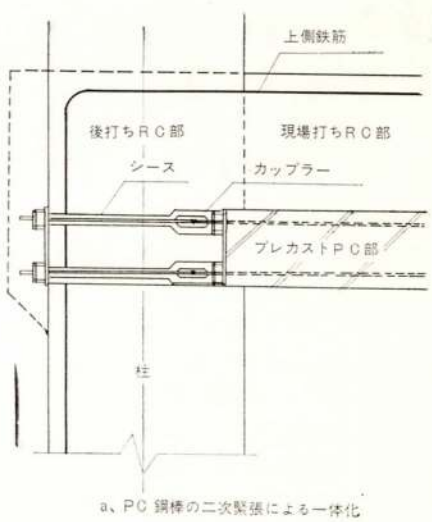



図6（a）　PC合成梁の端部（地震力が大きい場合）

**図6**，aの場合はPC鋼棒をカップラーにて延長して2次緊張にて柱にプレカスト部を圧着接合する。bの場合はプレカスト部と柱のブラケットにそれぞれ鉄板を埋め，それぞれの主筋（短期荷重時用の普通鉄筋）

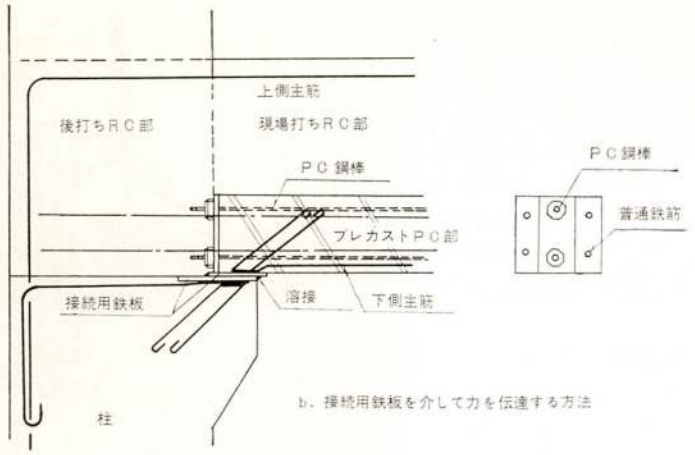



図6（b） PC合成梁の端部（地震力が大きい場合）

を鉄板に溶接しておき，梁を所定の位置にセットし，鉄板相互を溶接して一体化を計る。図6のような端部の施工は不利なので，建築計画時に耐震壁を適当に設けて，PC合成梁を含むラーメンに大きな地震力が作用しないようにすると経済的になる。

スパンが12m～14m程度であれば後打ちRC部残さずに一度に現場打

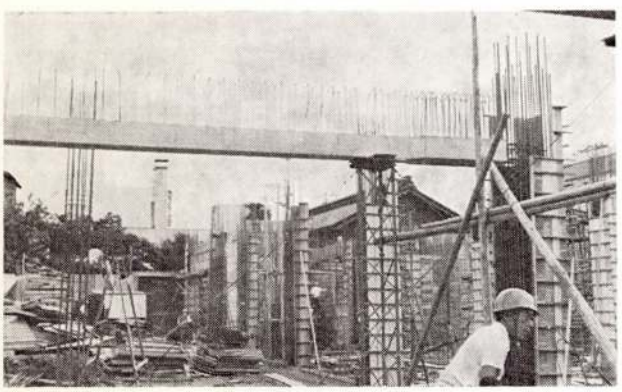


写真3 プレカスト部を一体に鋳込む場合

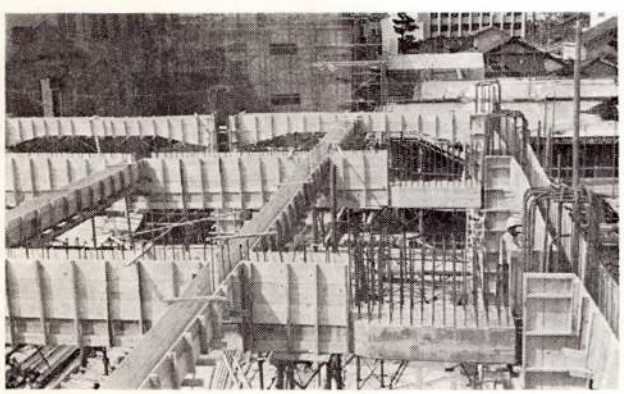


写真4 プレカスト部を一体に鋳込む場合

ちすることも可能であり，決して不経済でない。むしろ施工としては簡単になる。建物にテーパーがついていて，ラーメン毎にスパンが少しずつ変るような場合，同じプレカスト部材を用いて，スパンの変化分は後打ち部で逃げる方法もある。この場合にはプレカスト部が柱から少しはずれる場合もあるが，後打ち部を残さずに，プレカスト部をちょうど鋳込むかのように最初から一体化する方が良い。（写真3，4，図7）

この場合柱からプレカスト部までの部分がRCであり，せん断力に対して弱いプレカスト端面との接合部でもあるので，鉄筋による

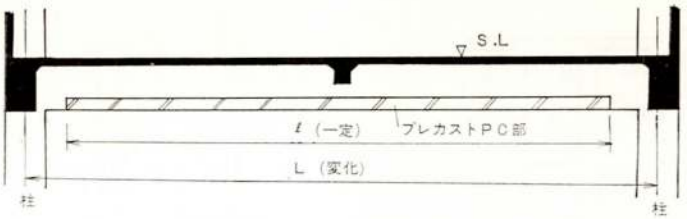



図7 鋳込み型PC合成梁を含むラーメン

十分なせん断補強が必要である。梁端での梁巾の拡大もこの点で効果がある（写真4）

この鋳込み型PC合成梁の場合でも図6，aのようにPC鋼棒をカップラーにて延長して柱の外面にて2次緊張し，現場打ち部にもプレストレスを入れるとラーメンとしても完全である。2次緊張による2次モーメントも僅かで問題にならない。

## 3. PC合成梁の経済性

ここで紹介したPC合成梁は従来土木方面で使われていた合成桁を経済性の点から，合成効果を高くするように改良してものである。そのために，従来のRC技術の延長で施工できる容易さを狙って設計した。結果からいうとスパン18m位までSRCより経済的である。

表1の結果からスパン12m～19.5mの範囲で㎡当り1,300円～3,100円のPC工費になっている。これには材工は勿論PC専業者の経費，PC工事用仮設費まで含まれている。今これをSRC造に置きかえてみると鉄筋は別にしてどの程度の鉄骨量になるか考えてみる。鉄骨の材工費の合計を概算のために簡単に考えて，ton当り12万円とすると11kg/㎡～26kg/㎡の鉄骨量となる。桁行梁と柱の鉄骨を考慮すると，PC合成梁と同じ梁成で，上の鋼材料で大梁を設計することは難しい。

また工期の点からみても，鉄骨加工期間と建方期間が場合によっては不経済になることがある。また綜合建設業者の側からすると，この程度のPCはきわめて簡単に施工でき，ジャッキなどの若干の機械があれば直営で施工でき，専門業者に発注するより経費の面でも一段と経済的になる。

さらに将来はプレカスト部の規格化を行なえば，スパン，ラーメン間隔，荷重，梁成を決めれば，規格タイプの中から適当なものを選び，直ちに現場に搬入することも可能であろう。

以上，筆者の経験した実積からこのPC合成梁工法の経済性を述べた。将来は全部材がプレカスト化されるだろうが，現状では，現場で型枠を組みコンクリートを打つ方が安い。この過渡期のPCの応用例の一つとして成功したものと考え紹介した。

※1 「PC建築発展のために」坂静雄 プレストレストコンクリート 昭和43年1月号
※2 「某倉庫に採用したPC構造について」高田十治，松井克俊，本郷智之 プレストレストコンクリート 昭和40年10月号
※3 「PC合成はりの実験的研究」富田幸次郎他4名 建築学会論文報告集 昭和42年度大会号

（まついかつとし：日建設計工務株式会社 名古屋事務所構造部）

表1 PC合成梁の経済性

| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 建物名 | 構造規模 | 延床面積 ㎡ | PC部床面積 ㎡ | PC梁スパン m | PC梁梁成 m | PC部面積当りPC量 ㎡／㎡ | PC部面積当りPC工費 円／㎡ | 竣工年 昭和 | 建設地 | 備考 図2 |
| 1 | S公社倉庫 | $RC^{-\frac{1}{2}}_{+2}$ | 19,217 | 5,800 | 19.5 | 1.4 | 0.045 | 3,080 | 40 | 静岡県 | c |
| 2 | M機械事務所 | RC+2 | 779 | 198 | 13.2 | 1.05 | 0.041 | 3,040 | 41 | 富山県 | b |
| 3 | T銀行T支店 | RC+3 | 2,598 | 1,160 | 12.0 | 0.9 | 0.023 | 1,800 | 41 | 愛知県 | b |
| 4 | I商事Hビル | $RC^{-\frac{2}{5}}_{+5}$ | 3,189 | 1,220 | 12.0 | 1.0 | 0.028 | 1,310 | 42 | 福井県 | b |
| 5 | T銀行N支店 | $RC^{-\frac{1}{2}}_{+2}$ | 1,446 | 461 | 12.8 | 1.0 | 0.022 | 1,780 | 42 | 愛知県 | b |
| 6 | H銀行T支店 | RC+2 | 723 | 450 | 14.0 | 1.0 | 0.035 | 2,750 | 42 | 北海道 | b |
| 7 | H銀行M支店 | $RC^{-\frac{1}{4}}_{+4}$ | 4,273 | 1,505 | 13.0 | 1.1 | 0.024 | 2,340 | 43 | 石川県 | b |

# 14
# 建設業界史話

## 大久保石見守(佐渡金銀山奉行)(その2)

宮　村　次　郎

家康も関ケ原の戦後は積極的に鉱山の乗取りを策し秀吉の政策を踏襲するとともに山令五十三ケ条の政令を出し関係者の保護育成を計ったので，わが鉱業界はここに初めて制度的にも技術的にも社会的重要産業部門として認められ華々しい脚光を浴びるに至ったのである。家康のこの政策の浪に乗った成功第一人者が，石見守である。東照官御実記附録巻十八に家康の人材登用のことが出ている。「或は卒伍より登用せられて方面の将帥を奉りしもあり，或は賤吏よりあげられて経国の良佐となりしものあり，夫より下の一官一職にありて功効を顕はせし類はあげてかぞうるに暇あらず，又其心術正しからざれども才幹ありて用立つべきものも捨てさせたまわず，大賀弥四郎，大久保石見守長安ごときも，はじめよりよしともおぼしめさねども，ただその租税財貨の事に練達して経済の用たつべしとの尊慮にて……云々」とある。云々のあとは後述することとし，鉱業振興のために鉱山に関する功労者には思い切った表彰を行なって奨励をしている。

石見国安原傳兵衛のごときは一例で，年々銀を二，三千貫上納したことを石見守の報告で知った家康は，伝兵衛に謁見を賜ったので彼は「一間四面の洲浜に銀性の石を蓬莱のかたちに積上げ車にて引てささぐ。ことに御感ありて参謁の諸大名にも見せしめらる。衆人奇珍なりとて称歎せざるなし」（御用殿上日記）とし特に備中の名を賜っている。前文のあとの方の諸侯に見せたところが家康のずるさである。

このように家康の取った鉱業政策は類似した職種であるわが業界に大きな影響を与えた事は申すまでもない。山令五十三ケ条（明治前日本鉱業技術発達史，106～110Pに全文がある）の内容をなお詳しく紹介すると，「山師金堀師を野武士と号すべし」とし，苗字帯刀，馬挟箱の使用を許して待扱としているところはよいが「人を殺し山内に駆込とも留置子細を改め」「筋が明白に候はば留置相働かせ」「一山は一国たる可し他の指揮に及ばず」と自治を許し，相手が小者では手の届かぬようにしている。勘ぐれば，まず鉱山に逃げ込めば，たいていの者は助かったろう。また時代物的で面白いのは「山師金堀師の内敵討たき者有之其内にて見当候はば遂吟味明白相顕候上山内を除き判紙の内に於て山師金堀師山共差添勝負可為致事，但加勢一人は差許可申最負を以て片落なる事堅く停止のこと。」ある。見つかったら最後である。この二三の例を少し前の業界の飯と場，今でも時々新聞種になる暴力団の飯場を考えると何か思い当る節があろう。中井大和守の謎の内に述べたが，ベリガンの与太者組織の制度化は，この「一国たる可し」の布令に便乗して強化され幕府の御都合主義を便にしたし，暴力団の保護にもなったのである。そして遂にまたそのために手を焼くに至る封建支配を体制の泣きどころである。

本論の**鉱山の労働組織**の話に戻そう。

「かなこ」の下で直接労働する者は，大工，穿子(雑役手伝)であり，この階層に属する者には，他に山留，樋引，水替などがあった。大工とは佐渡では坑夫のことで，普通の大工は番匠，家大工と呼ばれていた。

大工には業閑期に農漁村から「かけ穿大工」と呼ばれる季節労働者があり，穿子には人入の請負人があり，労働市場ができ，利害が又輻輳する。孤島である故に，暴力行為の組織の活用が仕易すかったことが佐渡になにか暗いこの種の話題の多かった理由であろう。幕府は元和五年人身売買の禁令を出しているが佐渡では広範な人身売買はあとを絶たなかった。

以上の採鉱関係の労働力の他，精鉱精錬関係のいわゆる買石業者の下部の労働者の数も莫大なものがあった。すなわち，石扣(バタキ)，磨挽板取，ねこ流し，石選，吹大工，鞴差し等である。大買石業者の中には，百余人をかかえていた者もあるし，同業者は，慶長の頃には，六百軒もあったとあるから，大畧の数は四，五千人位はあったろう。

慶長の頃のゴールドラッシュは世人の目をそばだてた。「此月諸国の金堀ども伊豆の金鉱をうがつべき由。京中に高札を立てられければ諸国より其事をのぞみはせ下るもの雲霞の如し（当代記）」この伊豆とは，比較にならぬ佐渡の殷盛は思うべしである。

しかし佐渡金山の盛衰は甚しかった。鉱山の埋蔵量の変化と坑内の深さが増し，湧水に悩ませられることが多くなったのが，主原因である。採算に合わぬことや坑内の排水の困難は，排水ポンプの未発達と共に，奴隷的存在たる江戸無宿者の水替人足としての佐渡の送り込みとなったのである。それは安永六年（1777）で，長安の死亡した百六十八年後のことで，時代劇の唐丸破りの話の種でもある。

話題も多いが唯一つ話したいことがある。

**端唄**　「秋の夜は長いものとは，まんまるな，月見ぬ人の心かも，更けて待てども来ぬ人の，おとづるものは鐘ばかり（数うる指も四つ五つ）わしゃ照らされているわいな。」これは江戸無宿者の大工，大定が歌沢の家元に書き送ったものと伝えられる。寝むられぬ夜を一人飯場を出て孤島の月を見て浮んだ歌だろう。大方女出入か何かで間違いを起して流人となった者であろうが，こんな粋な大工。新内や常盤津の師匠の所へ入りびたるような大工の話など，寄席の話にさえ出なくなった今日此頃だが，佐渡の島送りの人の中にこんな職人も居たのである。

職人の中で育った長谷川如是閑氏が，「若いときから職人の話をするとじきに泣き出すといって笑われたものだが」と書出している「職人かたぎ」（日本さまざま同氏）の中で，「職人は良く遊芸の師匠に通って何かしら稽古したものだが，その時には絆纏股引ではなく，きちんとした身装で師匠の前にかしこまって，端歌や清元などを習うのだった。踊を習うものも少くなかった。そういうことも，つまり職人生活の型を身につけるためで，それが職人気質を育てる一つの道でもある。」と書いている。恐らく大定も初めはこのような修業を積んだ勘の良い職人であったと思う。鐘の余韻のように，その後の彼が気になる話である。流人もまじめに働くと，平人になれたのである。

**山師の代表的人物味方但馬。**

以上のような人間関係の条件下で，優れた業績をあげた山師たちはいずれも相当な経営の才腕のある事業家であった。山師のかなりの部分の人が，戦国から大阪冬夏両陣等で浪人となった武士の出身であったことは頷けるものがある。

その代表的人物といえる者が味方但馬である。但馬は慶長十八年第二陣の山師として召抱えられた中の一人である。しかし実際はその以前慶長九年に，石見守に見出されて働いていた文献もある。「割間歩を始め数十カ所の間歩，間歩繁昌せしにより石見守言上せしにや味方但馬原淡路，西山丹波などいう山師共御目見得をも被仰付しという」（年代記慶長九年の条）（註，原淡路，西山円波の名は秀吉時代から顕われている）

また味方家由緒書にも，家康に謁し紋服の時服，茶碗，扇子を拝領し，家康がよき味方なりとして，その姓を味方に代えしめ，以来味方但馬家重と称せしめられたとある。

味方氏は武門の出で，織田信長に仕えた村井長門守の後裔で但馬の父村井善左衛門貞正は池田輝政に仕え，二千石の扶持を受けていたが，老

年に及んで播州三方に隠退し，三方と姓を改めた。

但馬は福島正則に仕え，関ケ原の戦功により，五百石を与えられた武勇の士でもあった。その後主家を去り，佐渡に渡り，五十七カ所の間歩を稼ぎ，多田銀山，南部銀山等にも業績を残している。彼は利のみを追う並の山師ではなかったらしく，農業治水に力を尽し，島内各地に田畠を開き，相坂町の如きは，彼が本土から招致した家大工の町であったと伝える如き，福利厚生のことにも心を配る行届いた人柄であった。

彼は江戸や京にも屋敷を持ち，寺院等への寄進など数多く伝えられている。実業家として大成をした人であった。元和九年六十一才で歿し，自ら寄進した京都の妙覚寺にねむっている。

但馬のような，建設業界にあっても成功したろうと思われる山師の人達が活躍して慶長の黄金時代が築かれたのである。彼等の多くが武士の出身者であることは業界史としても特に関心を深め研究を進めて見る価値があると思う。

徳川の藩幕政治が，彼等のその後の進路を閉じ，産業界の有力化には必ずブレーキがかかり，明治維新まで発展はお預けの形となったのである。そのことは後にまた触れることにして，石見守の話に戻ろう。

**石見守と名古屋城**

慶長十七年五月に家康が大工頭中井大和に与えた墨付「尾州那古野御城御作事奉行衆の事の中に大久保石見，小堀遠江，村上三右衛門……」以下六名計九人の奉行が命ぜられている。石見守が奉行に擢用されたのは，作事に要する黄金の調達を担当するためであったし，その故に有名な金の鯱ができたものとされている。大阪冬夏両陣を扣えての突貫工事に家康の総力を挙げての自力計量の試みでもある大事業であった。

しかし石見守はただそれのみの奉行とすると話が面白くない。何か他に目的があったのではないだろうか。資料が無いのが残念であるが，石見守の金堀の経験と熟練した金堀の配下を持っていたことが利用されたのではなかろうか。乱暴な推論ではあるが。

戦国時代末の金堀は北条，武田，徳川，織田，木下等の諸将にもぐら部隊として攻城戦に数多く引出されて，櫓崩しや井戸の底抜きなど，数々の功績を上げていることは，文献にも珍らしくない。その金堀部隊は天下統一後に攻城戦が無くなったこと，型の石垣の堅固になったことの理由で，参戦の話が急に無くなったとされている。

しかし難波戦記によると，名古屋城築城の直後「慶長十九年の大阪の役に生野鉱山の坑夫が動員せられ地下道の開さく」に従事せしめられていることが記されている。生野鉱山では既に坑道堀が採用されていた。石見，伊豆，佐渡の鉱山も石見守により，坑道堀が採用され，他の鉱山でも慶長年間の鉱山には坑道堀の普及が特に目につくとされている。（明治前日本鉱業技術発達史P・123）筆者にはこのことが気になるのである。（註，大阪城攻には甲州の金堀でなくては駄目だとする反対意見もあったという）

名古屋城のあとに当の家康軍にこのことがあったとすると，名古屋城の加藤清正初め諸候の石垣積に対する鉱山技術者坑道堀の名手達の攻城の側にたっての意見は意義無しとは言い切れないものを感ずるのである。火薬もすでにあったのである。

さてその他石見守は越後，信濃，美濃等各地の検地に回る等，縦横の活躍をしている。このような思い切った活動ができたのは，人使いのうまい家康が独特の慧眼に自信をもって使いこなしていたからで，その後の彼は家康の老獪さを身をもって実証するような途を歩いている。



**検地の図**　検地の結果を下のように記録する。まことに心細いやり方で問題が常にはらんでいたのも無理はない。
（新日本史図録　西岡虎之助氏より）

長安は各所の金銀山奉行の地位を利用し，また諸候の財政の基本となる領内の検地をなす立場を利用してその間に不当な巨利を貪ったようで，その豪奢な生活振りは人目を聳すものがあった。当代記には「佐渡国，石見国諸国金山年中に一度宛上下路次の行儀夥事や。召遣の上郎女房七八十人，其次合二百五十人同道の間泊々の宿何れも代官所なければ家々思様に作並たり……」等勝手な振舞いがあり，奉行所の中まで棟梁水田与左衛門に数寄屋を作らせ，女共の部屋まで作らせ，「代官所へ参り候時は家来の外美女二十人猿楽三十人供に召連」（慶長年録）という醜状であった。

彼は慶長十八年四月二十五日死歿している。（六十九才）「長安危篤にのぞみ，金棺を作り遺骸を納め甲州へ送り国中の緇徒を集め葬儀華麗に執行すべき旨遺言す。大御所聞しめし御けしきよからず。其遺言用ゆべからずと命ぜらる。」（慶長年録）。そして家康は石見守近年代官所の勘定を怠っていたとし，金銀七十万両を初め資産すべてを没収し，遺子等悉く誅されるに至った。前掲の「……大久保石見長安がごときもはじめよりよしともおぼしめさねども，ただその租税財貨の事に練達して経済の用にたつ可しと尊慮にて」任用ありしかども後々威福を弄し驕奢を極るに至りては忽に誅戮を加えられていささか姑息の念おはしまさざりしは是又英明果敢の御所為と申したてまつるべきにぞ。」と，家康を讃えている。（東照宮御実紀，附録巻十八）

そして家康の人材の登用に就いての識見や人使いの巧なことを細々と述べている。敬服に価するし，また命のある限り使って死すれば，たちまちこのことあり，その老獪不純な狡兎死して走狗烹らる式の功利主義に徹する彼の人使いに，抵抗を感ずる人も少くないであろう。中根千枝氏の指摘するように現在世界に類の少ないわが国独特のタテ社会の人間関係に強い影響を残した大人物の一人であるだけに，直接間接にわが業界におよぼした家康はもちろんだが，徳川幕府の御都合主義の主従の道徳観に就いてはタテの従属関係を集団作業の主軸とし，今後とも永く続くと見られるわが業界としては，戦後の思想の変転と急速な合理化，近代化に対処するため，慎重に研究して見る必要がある。

かつて業界の一部に世間の毀短の的になったものが少くなかったのは大昔のことではない。その拠ってくるところ，徳川時代の影響少しとしないと信ずるものである。

さて石見守の死歿と同時に，彼は最悪逆人に当る酷刑に処せられた。その原因については，謀叛説等浮説が世を賑したらしいが，多くは虚説のようである。要は近世封建制度の強化されるに従って，経済力の強大なものは武家政治の根本をなす「徒党は天下の御法度」に抵触する動力となる虞れが多分にあり，このような疑をかけられた大名や豪商達は，忌憚なく打倒されたのである。生き残りのかつては敵であった戦国大名達は申すまでもないし，堺の豪商納屋助左衛門はすでに秀吉の代に，延宝年代に長崎の末次平蔵が，宝永には淀屋辰五郎というように次々と取潰しに会っている。土建業に関係した全国的というべき豪商では，終始公共事業や文芸にも尽し幕政の手伝をしていた角倉家が残った位であろう。わかりやすくいえば藩幕政治下では，将軍や大名の御目に障らぬ程度を限界に活動を封じられていた商工業者であったので，気のきいた業者などできそうなはずもなかったのである。物騒な寄せ集めの人で集団作業をたてまえとする業界などは尚更である。

鉱山関係者で石見守長安と同様な運命を辿った人は少くない。ある程度成算の見通しがつくと何かと欠点を拾い出されて処罰されている。現在もわが国有数な亜鉛鉱山たる神岡鉱山を開発した茂住宗貞や陸中白根金山（現在の小真木）を発見した北十左衛門の如き同様主家の手で——惨殺されている。業界でも有名な材木商で請負工事も手掛けた紀国屋文左衛門もその種の男でおそらく何か幕吏とのスキャンダルに暗々の内に葬られたのであろう。　〔以下省略〕

次号は「ろくろ史話」を送ります。

# 日本建築協会 月間の動き

## □昭和43年3月分□

### 定時評議員会

28日　4時～5時20分　於会館集会室
出席者　谷口，星正副議長ほか20名
委任状　56名　計78名
理　事　東畑会長ほか5名
議事(1)評議員会議長および副議長互選の件
(2)定款一部改正の件
(3)名誉会長推挙の件
(4)名誉正会員推挙の件
(5)細則一部改正の件
(6)会長，副会長（2名）理事（13名）補選理事（2名）選任の件
(7)役員重任承認の件
(8)昭和43年度収支予算承認の件

なお評議員会開会前会館建設借入金の内50万円の償還抽せんを行なった（本年償還金額100万円の内50万円を日本建築学会へ償還）

**評議員懇談会（技術部門）**
15日　5時半～6時半　於会館集会室
出席者　星評議員ほか7名

評議員会副議長候補者並に会長，副会長（2名）技術部門選出5理事補選理事1名の候補者推せんに関して懇談

### 理事会

6日　3時半～5時20分　於会館集会室
出席者　東畑会長ほか5理事
井手京都支部長
議事(1)昭和43年度収支予算案承認の件
(2)細則一部改正の件
(3)事務局規程改正の件
(4)大阪府知事表彰候補者推せんの件
(5)創立51周年記念日の祝賀会開催の件
(6)役員，委員(含創立50周年記念事業委員)の慰労懇親会開催の件
(7)請負契約々款頒価値上げの件
(8)参与重任承認の件
(9)入退会者承認の件
(10)報告事項
(イ)事業報告
(ロ)会計報告

### 建築データシート編集委員会

**編集Bグループ打合会**
1日　6時～9時　於会館集会室
出席者　篠崎幹事ほか3委員
議事　原稿調整作業

**編集Dグループ打合会**
5日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　松村副委員長ほか3委員
議事(1)第5回（7月）発行シート，掲載会社の確保と方法について
(2)内装工事に関する原稿執筆項目と割付の体裁について
(3)原稿執筆打合会について

**編編Bグループ打合会**
5日　6時～9時　於会館3階会議室
出席者　篠崎幹事ほか3委員
議事　原稿調整作業

**編集Eグループ打合会**
6日　正午～2時　於会館集会室
出席者　宮武幹事ほか2委員
議事　原稿調整作業

**幹事会**
7日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　松村副委員ほか7名
議事(1)第1回シート発行に伴う問題について
(2)合本ファイルの頒布について
(3)依頼会社の確保について
(4)各編集グループの構成員について
(5)賛助会費（掲載料）について
(6)出版工程について
(7)そのほか

**原稿執筆打合会（金属工事，建具工事）**
12日　1時半～3時　於会館集会室
出席者　掲載会社奥村重兵衛商店ほか7社
委員会　木村博委員ほか2名
議事(1)掲載要綱，執筆要綱について
(2)執筆項目と内容について
(3)原稿〆切について

**編集Bグループ校正打合会**
13日　5時半～7時　於会館3階会議室
出席者　篠崎幹事ほか1名
議事　原稿校正作業

**編集Dグループ打合会**
14日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　松村副委員長ほか3名
議事(1)内装工事に関する原稿執筆項目とレイアウトについて
(2)そのほか

**デザイン分科会打合会**
14日　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　池田幹事ほか3名　データシートファイルメーカーより1名
議事(1)合体ファイルの製作について
(2)デザイン分科会の今後の作業について

**原稿執筆打合会（内装工事）**
16日　1時～4時　於会館集会室
出席者　青山委員ほか2名　掲載会社関係　八幡エコンスチールほか14社
議事(1)掲載要綱，執筆要綱について
(2)執筆項目と内容について
(3)原稿〆切について

**編集Eグループ打合会**
18日　1時～3時　於会館集会室
出席者　宮武幹事ほか1名
議事　原稿調整作業

**編集Bグループ校正打合会**
18日　6時～8時　於会館集会室
出席者　篠崎幹事ほか1名
議事　原稿校正作業

**編集Eグループ原稿検討会**
21日　10時～4時半　於会館3階会議室
出席者　宮武幹事ほか1名
議事　原稿調整作業

**委員会**
21日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　中原，松村正副委員長ほか7名
議事(1)各編集グループの出版工程について
(2)デザイン分科会
(3)総目次の項目について
(4)掲載会社の確保について
(5)各シート発行の作業内容について
(6)出版工程について
(7)そのほか

**編集Eグループ原稿検討会**
22日　10時～6時　於会館3階会議室
出席者　宮武幹事ほか1名
議事　原稿調整作業

### 住宅委員会

**住宅スライド小委員会**
5日　5時半～9時半　於会館3階会議室
出席者　奥山主査ほか6名
議事(1)スライド制作に関する件
(2)来年度小委員に関する件

**住宅資料蒐集小委員会**
7日　5時半～9時　於会館1階会議室
出席者　大橋主査ほか3名
議事　資料の整理方法

**委員会**
12日　5時半～9時半　於会館集会室
出席者　岡橋，黒谷，野々村正副委員長ほか13名
議事(1)住宅展に関する件
(2)住宅スライド作成の件
(3)住宅資料蒐集の件
(4)次年度委員に関する件

### 編集委員会

**都市交通施設特集幹事会**
7日　5時半～9時半　於会館3階会議室
出席者　竹本特別幹事ほか6名，桝谷幹事
議事　7月号「都市交通施設」特集企画（テーマと執筆者決定）

**委員会**
8日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　長谷川委員長ほか9名

議事(1)4月号=幼児施設特集経過報告
(2)5月号=教育施設特集経過報告
(3)6月号=医療施設特集経過報告
(4)7月号=都市交通施設特集企画（幹事会案をもとに）
(5)8月号=都市供給処理施設特集幹事会の件
(6)次期委員長，編集委員の件
(7)関西都市住宅会議の件
(8)編集助手退職の件
(9)広告企画の部署の件
(10)作品作風の件
(11)印刷所見積りの件

**常任幹事会**

8日　6時半～7時半　於会館集会室
出席者　長谷川委員長，河野幹事
議事　雑誌見積りについて

**都市交通施設特集第2回編集幹事会**

21日　5時半～9時　於会館3階会議室
出席者　竹本特別幹事ほか5名
議事　交通施設特集案の具体化企画(第2回目)

## 出版委員会

**委員会**

19日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　石崎委員長ほか9委員
議事(1)42年度の出版事業経過
(2)次年度委員会構成員と申送り事項

## 事業委員会

**各種説明会打合会**

9日　正午～2時　於会館集会室
出席者　説明者　桑原三郎氏ほか4名
委員会　近藤副委員長ほか1名
議事　「新しい合板型わく」説明会詳細打合せ

**委員会**

26日　5時半～7時20分　於会館集会室
出席者　政岡，矢野，山野正副委員長ほか7名
議事(1)5月～6月の事業企画について
(2)次年度委員会への申送り事項について
(3)次年度委員会委員について
(4)そのほか

## 教育委員会

**委員会**

14日　正午～2時　於会館集会室
出席者　橋本委員長ほか5委員
議事(1)地方都市での鉄骨構造設計講習会企画について
(2)現場実務講習会企画について
(3)次年度委員会の構成員について
(4)次年度委員会への申送り事項について
(5)そのほか

**現場実務講習会講師打合会**

27日　正午～2時　於会館集会室
出席者　講師8氏，辛木，小西教育副委員長ほか1委員
議事　講習会の企画全般について
（テキスト，講義日程，時間割，科目，講師そのほか）

## 建材委員会

**委員会**

22日　3時～7時　於会館集会室
出席者　堀内，香取正副委員長ほか8名
シポレックス，イトン・ヘーベル各メーカーより5名
議事　ALCの検討

## 法規委員会

**委員会**

27日　3時～5時　於会館集会室
出席者　佐野委員長ほか9名
議事(1)火災による死傷，事故防止に関する通達
(2)建築基準法改正問題そのほか
(3)次年度委員について

## 見学会

**大阪商工会議所ビル新築工事見学会**

設計　日建設計工務株式会社
施工　大阪商工会議所ビル新築工事共同企業体
株式会社　大林組
株式会社　銭高組
株式会社　竹中工務店
9日　1時半～3時
参加者　200名
（大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部共催）

**大阪厚生年金会館ビル新築工事見学会**

設計　株式会社　久米建築事務所
施工　株式会社　竹中工務店
28日　3時～4時半
参加者　140名
（大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部共催）

## 説明会

**実務に直結した建築工事別説明会**

「新しい型わく工法説明会」
27日　1時半～5時　於大阪科学技術センター
聴講者　135名
コンクリート型わく用合板の日本農林規格
（財）日本合板検査会大阪検査所所長　八木　慶三氏
コンクリート型わく用合板の特長
永大産業株式会社取締役研究所長　農博　小倉　武夫氏
合板型わく工法と締付金物
岡部株式会社研究室　高橋　昌氏
合板型わく工法
株式会社　鴻池組工事長　芝鷹　信彦氏

## 創立記念日の集い

**記念講演と祝賀パーティ**

30日　2時～4時　於大阪商工会議所新館
出席者　64名

名誉会長，名誉正会員，支部長および友好団体，日刊建設新聞の代表をお招きして創立記念日の集いを開催，毎日放送，時局解説委員富岡昭氏の「激動する世界と日本」について講演を伺った後パーティを開催した。なお，講演終了後とパーティ終了後2回に分け新館の見学を行なった

## 建築6団体会長昼食懇談会

29日　正午～2時　於大阪ガスビル8階
出席者　23名

## 会員名簿発行打合会

8日　5時半～8時半　於会館1階会議室
出席者　坂井氏ほか2名
議事　69年版会員名簿について

## 3月入会者〔敬称略〕

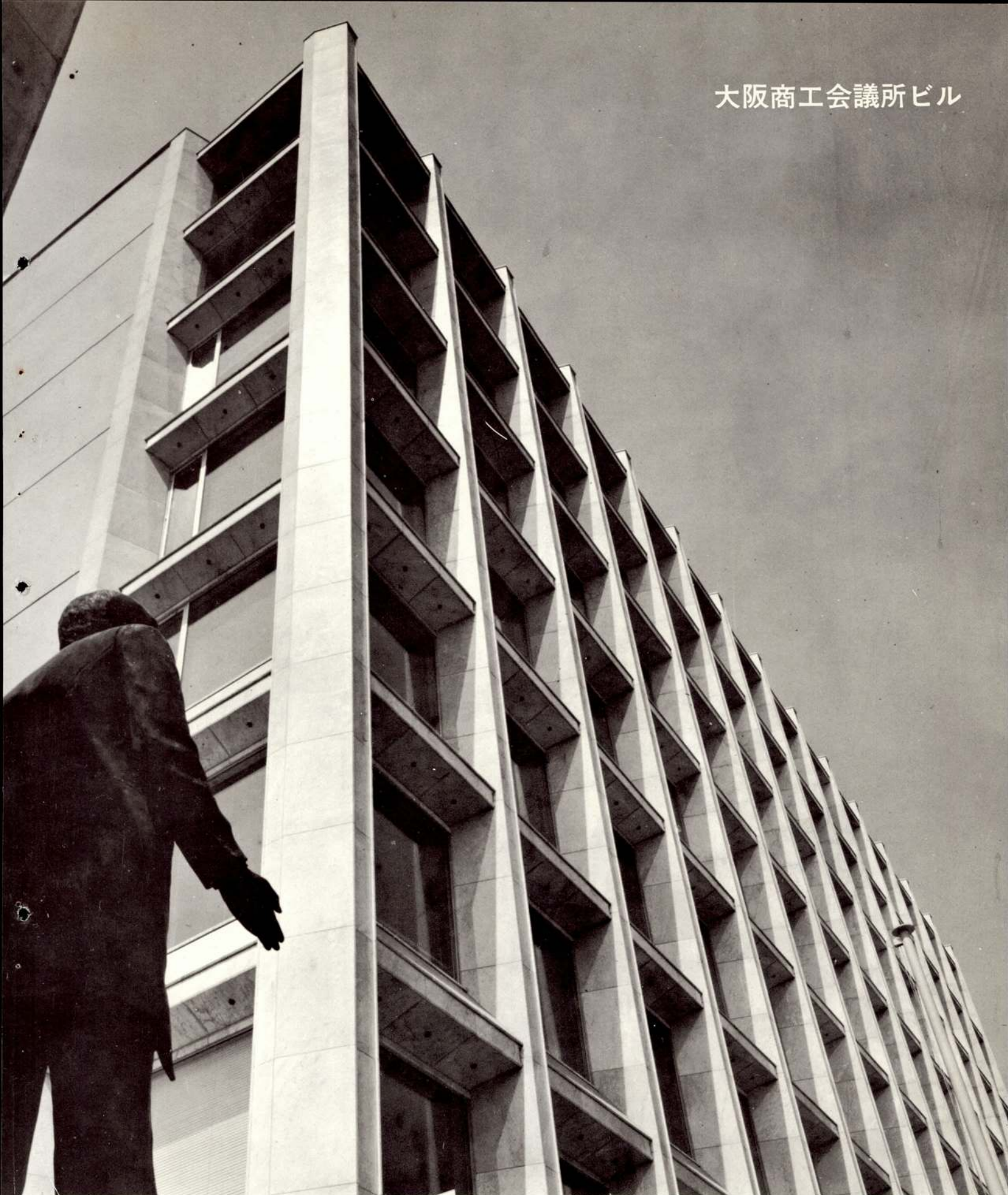
〔団体会員　4社〕

株式会社　伊藤組　　蛍光産業株式会社
有限会社　工芸社　　日本アコーディオンドア販売㈱

〔個人会員　156名〕

安保　薫　川本　洋三　谷口　和雄　間宮　靖
阿部　研一　菅田　優　谷尻　勇　牧　彰
青木　勝義　木村　弘和　土田　民治　槻　武
赤尾　整志　岸治　定雄　富岡　脩三　町口太喜男
芦立　拓　北村　昌威　豊田　保雄　松浦　良治
井上　茂男　絹田　博信　中井　彰　松村　進
池淵　康充　小泉　信一　中島　丈雄　松本　博美
石田　昭三　小林　敏則　中西　一　円子　忠義
石原　詮三　河野　徹郎　中村　修　三宅　恭範
糸居　良一　神山　隆　中村　勝俊　三輪　洋
今井浩一郎　是安　建男　中村　昭二　水谷　公一
入江　恂一　紺田　俊朗　中村　範弘　南　貫二郎
上田　正広　佐原　常義　永井　秀男　宮崎　武志
植田　益夫　斉藤　勝彦　新阜　次郎　村井　清志
内田喜代次　阪出　益男　西浦　毅　村口　政彦
内田　拓雄　坂井田泰圭　西田　清　村中多位剛
江頭　泰彦　酒井　蔚聿　西村　昇　杢谷　通夫
江口　正和　更屋　卓己　能口弥一郎　本持　一博
遠藤　慶昭　塩野　幸広　野崎　泉　森下与志雄
小川　正　品原　貞夫　野尻　正博　森塚　栄
小倉　弘　島田　幸彦　服部謙次郎　八尾　英司
大崎　寛義　島村　邦雄　服部　光善　柳　毅
大島　豊　首藤　信夫　林　隆啓　柳田　豊
大竹昭三郎　小津紀二六　張田貞次郎　山岡　裕久
大道　荘市　菅野　通伸　平川　玄治　山形　安治
大森　達男　杉谷　正美　平林　耕造　山口　孝一
太田　明　杉本　実　平本美津子　山崎　正憲
岡田　滋　杉山　嘉孝　広田　利彦　山下　健一
岡田　操　関谷喜代栄　布施　達郎　山城　憲夫
岡田　康範　園延　弘樹　福井　実　山田　誠二
岡田　善弘　田中　勝美　福富　昭夫　山本　明夫
岡部　三郎　田中　靖高　福原　道生　弓達　肇
岡本　博之　高木　保久　藤本　伸彦　横小路健一
奥田　恵男　竹内　義祐　藤本　博文　吉岡　忠実
金岡　正一　竹沢　克彦　古川　勝久　吉沢　正栄
金光　章　竹島　保　古田　重治　吉田　武
鎌田　一　詫摩　和夫　古野　昭郎　吉村　弘
亀岡　重孝　谷　淳之介　細井　善行　米本　明
河谷　繁樹　谷川　清　本田　勝実　渡辺　一男

〔准会員　1名〕〔氏名省略〕




建築共同企業体

株式会社 大林組　　株式会社 錢高組　　株式会社 竹中工務店

大阪商工会議所ビル

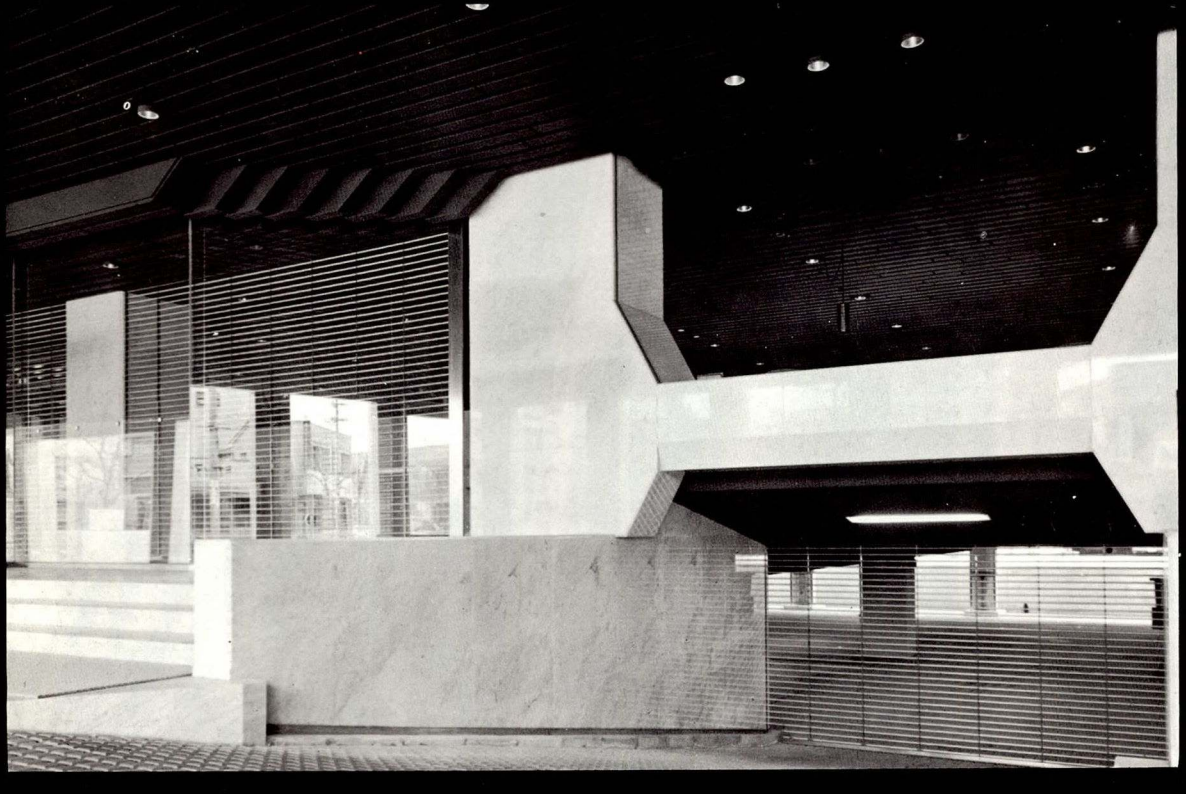


カーテンウォール
アルミサッシ・ドア
スチールサッシ・ドア

## 近畿工業株式会社

鈴木式リンクグリルシャッター

## 株式会社　鈴木シャタア商会



シャッター工事


**近畿工業株式会社**
大阪市北区梅ヶ枝町108　梅ヶ枝町ビル　TEL(363) 3371
東京支店　TEL(255)8271　名古屋支店　TEL(551)2522

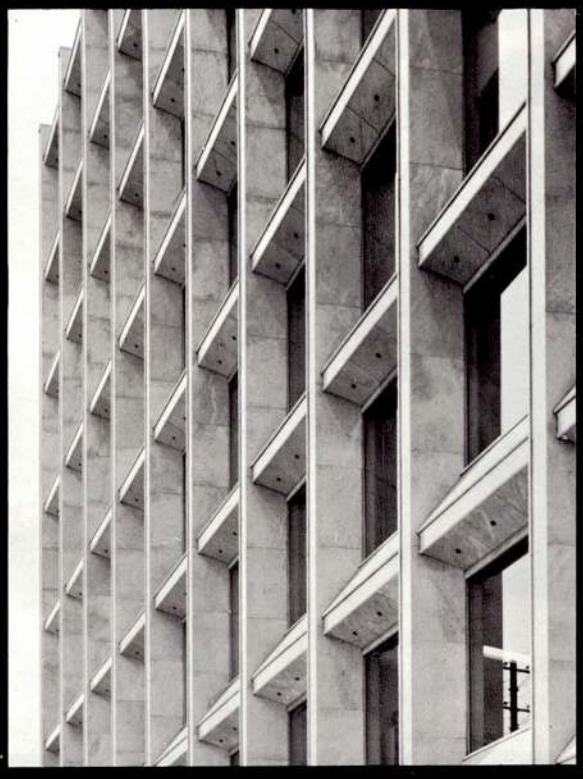
**株式会社　鈴木シャタア商会**
大阪市北区茶屋町33　TEL(371) 4151
北陸営業所　TEL 金沢 (21) 2287



家具・造作工事　**株式会社　大　丸　室内装工部**

特別会議室

特別応接室





家具・造作工事　**株式会社　高島屋　装飾部**

**ＪＩＳ認可工場：ＫＪ認定工場**

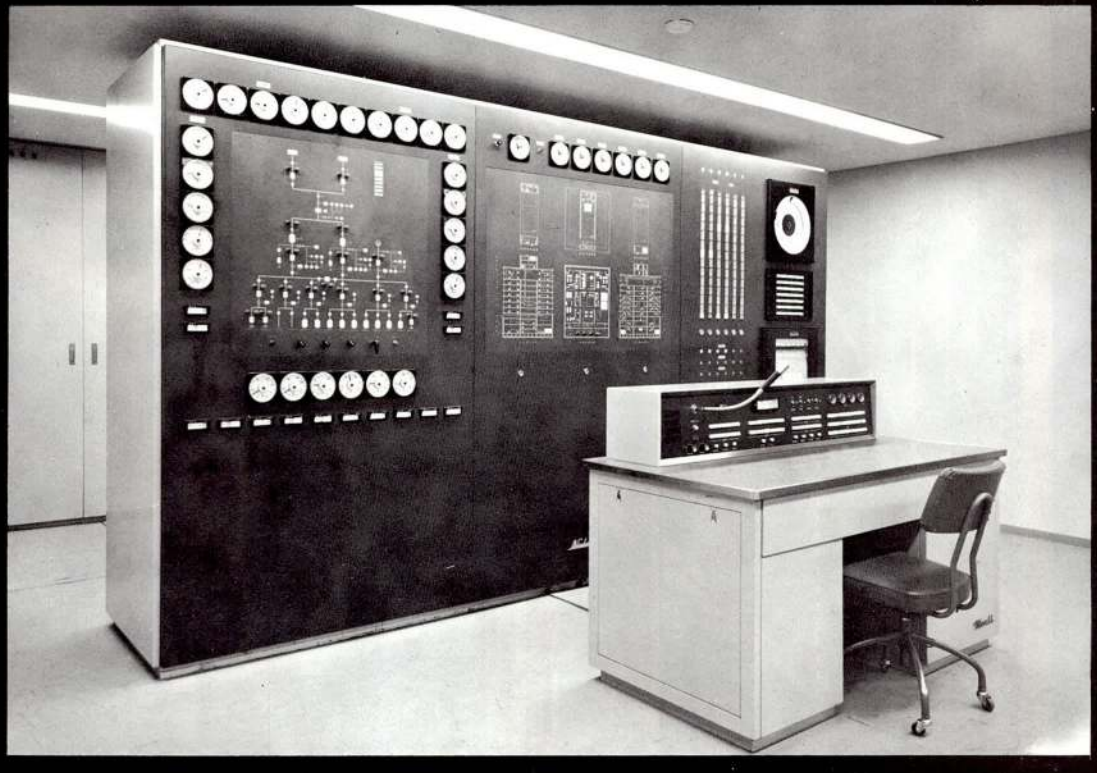
**日本アルミニウム工業株式会社**

株式会社 大丸　室内装工部
大阪市南区鰻谷伸之町38　ＴＥＬ（252）9641

日本アルミニウム工業株式会社
大阪市東淀川区西宮原町３－70　ＴＥＬ（394）1231
東京支店　ＴＥＬ（292）２２１１

株式会社 高島屋 装飾部
大阪市浪速区元町３－182（日生難波ビル）
ＴＥＬ（632）３１９１





大阪商工会議所ビル

電気設備共同企業体

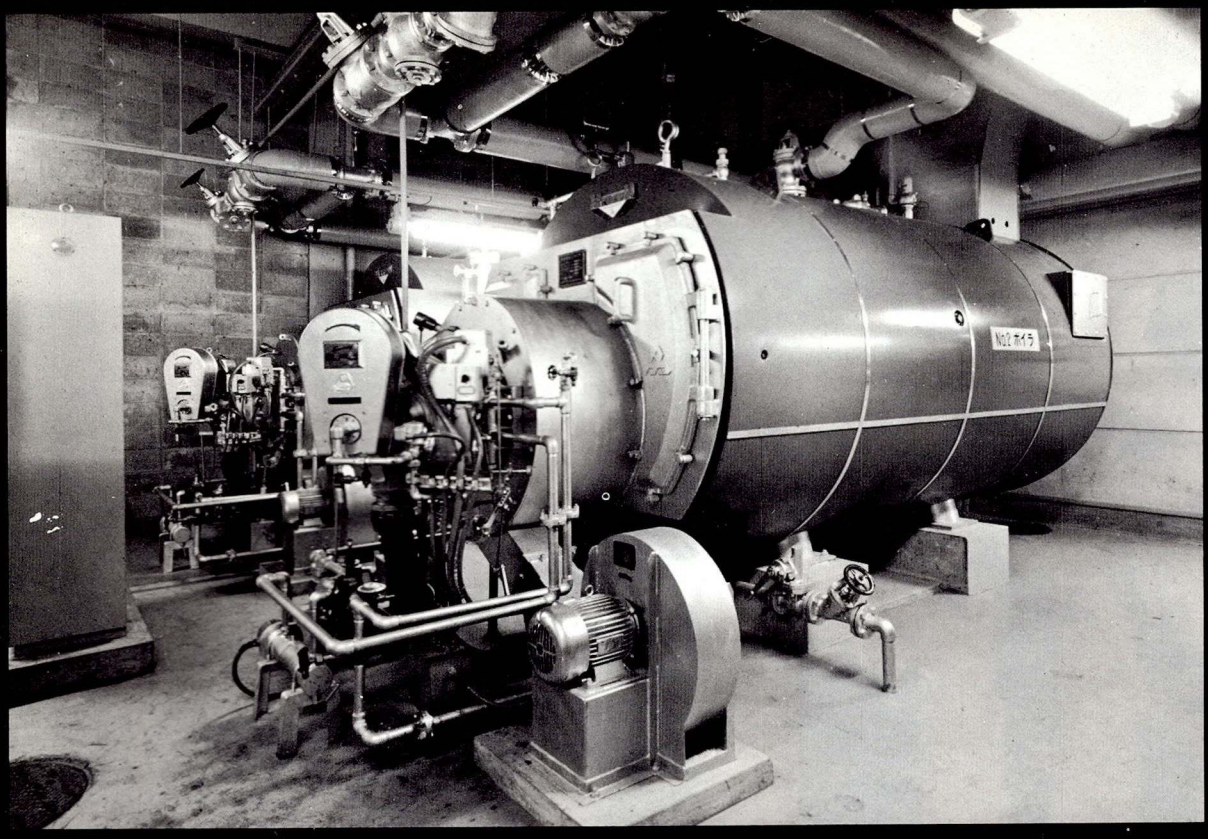
住友電気工業株式会社　　近畿工業株式会社　　近畿電氣工事株式會社




大阪商工会議所ビル

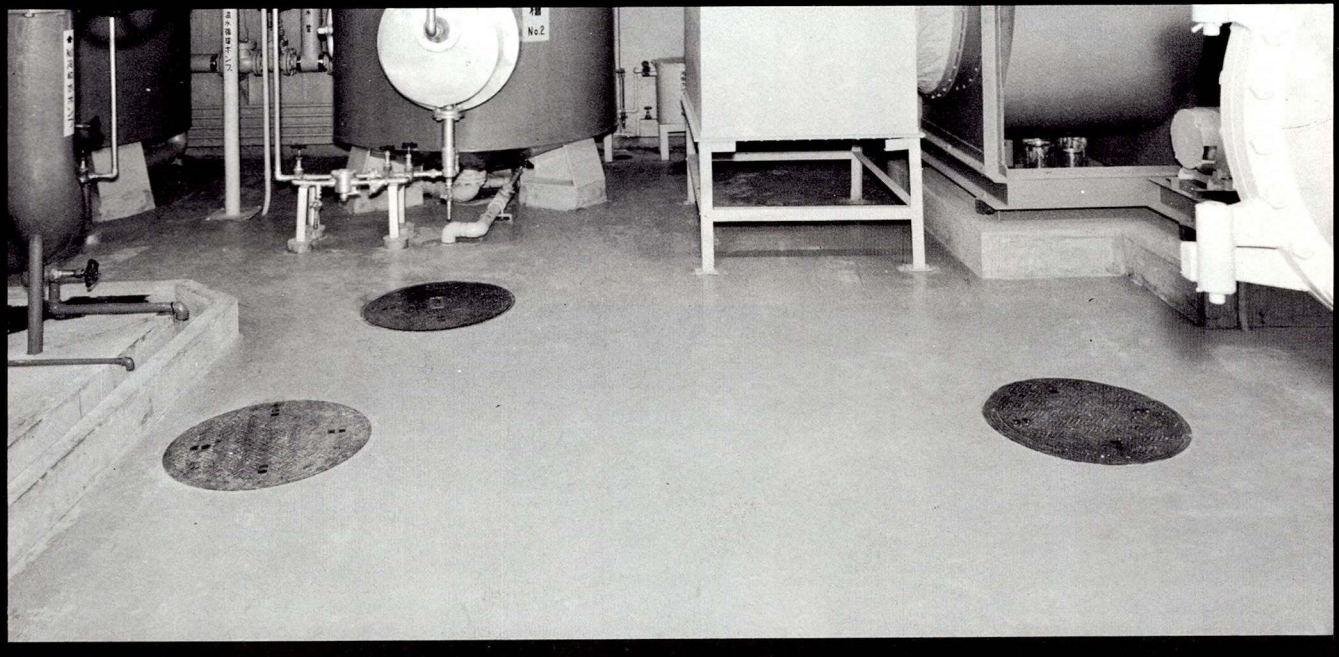
空調設備共同企業体

大阪電気暖房株式会社　日本熱学工業株式会社　須賀工業株式会社



ボイラー　　**田熊汽罐製造株式会社**

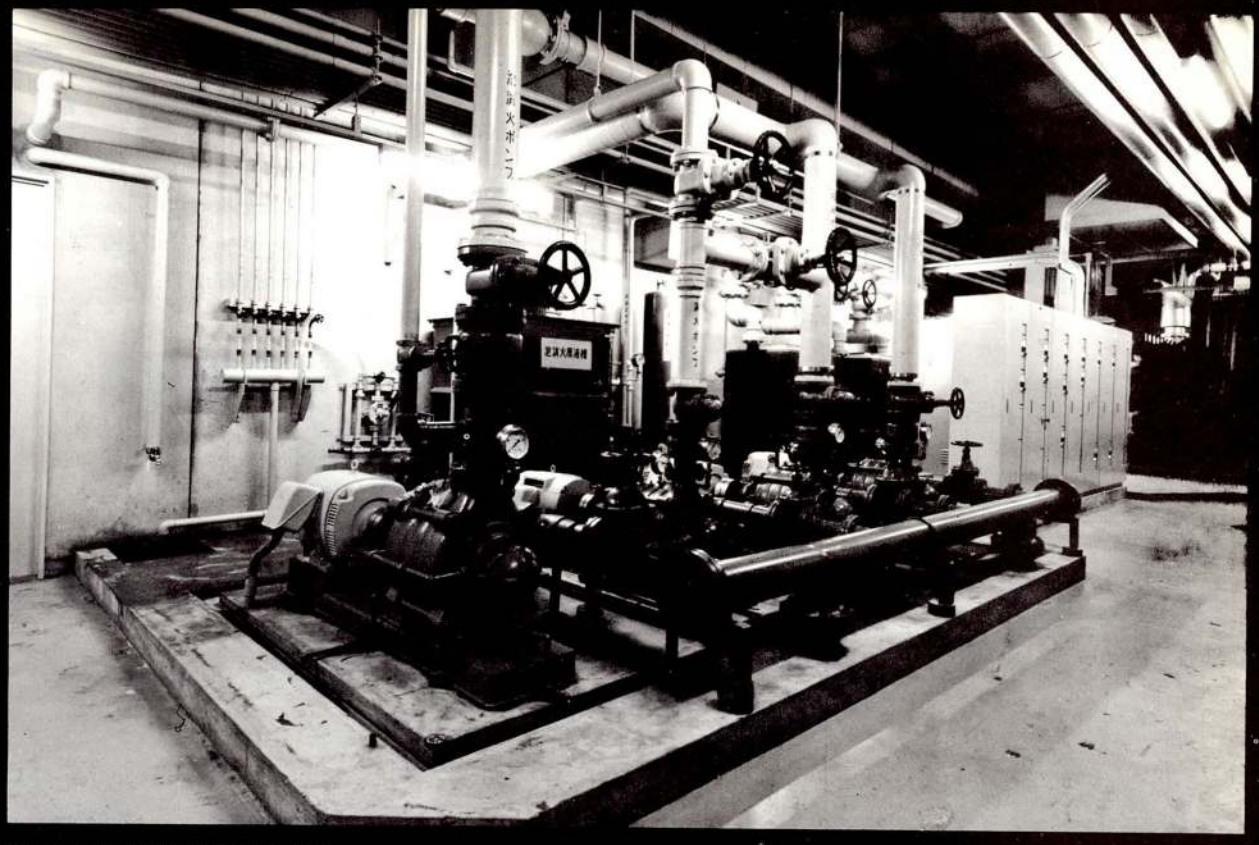
防水型マンホールカバー・ルーフドレン　　**福西鋳物株式会社**




**田熊汽罐製造株式会社**
大阪市北区堂島中１－16
ＴＥＬ　(362) 5161

**福西鋳物株式会社**
大阪市西区西道頓堀通６－８
ＴＥＬ　(531) 1993


大阪商工会議所ビル



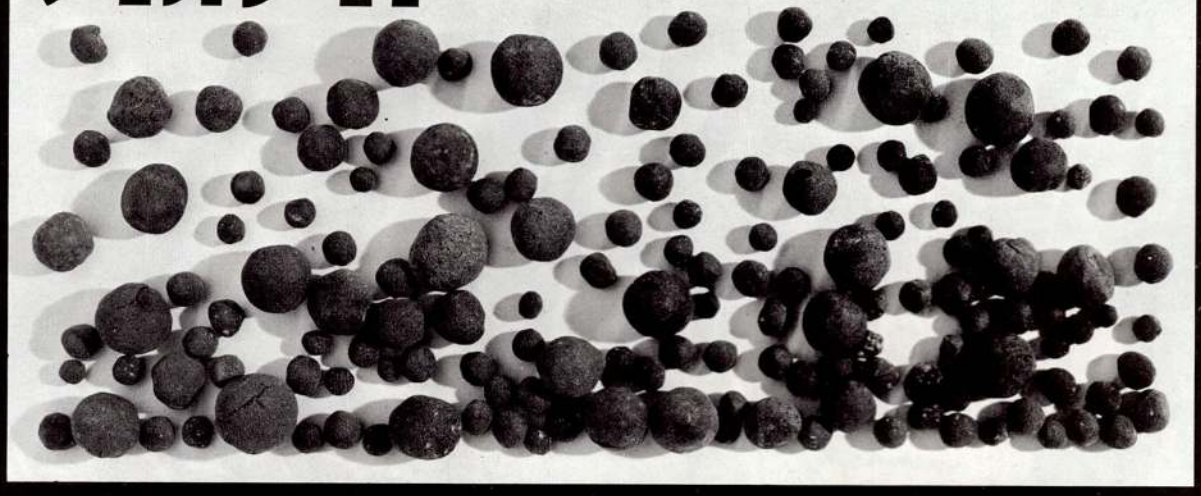
給排水衛生設備共同企業体

株式会社 西原衛生工業所大阪店　　株式会社 三晃商会　　山田工業株式会社

＊人工バラスの決定版

# ライオナイト

〈特徴〉軽い・高強度・均質・低吸水性
高安定性・良い粒度分布・高耐熱性



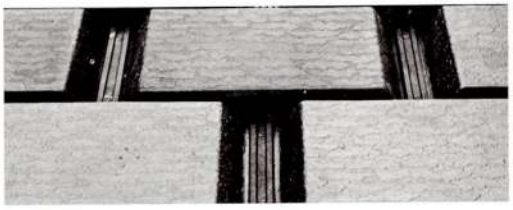
大阪セメント

大阪商工会議所ビル

大阪セメント株式会社
本社　大阪市北区堂島浜通1の57　TEL(361)-1231
支店　大阪・東京・名古屋
工場　伊吹・高知・大阪・横浜・市川・芝浦・堺・下津

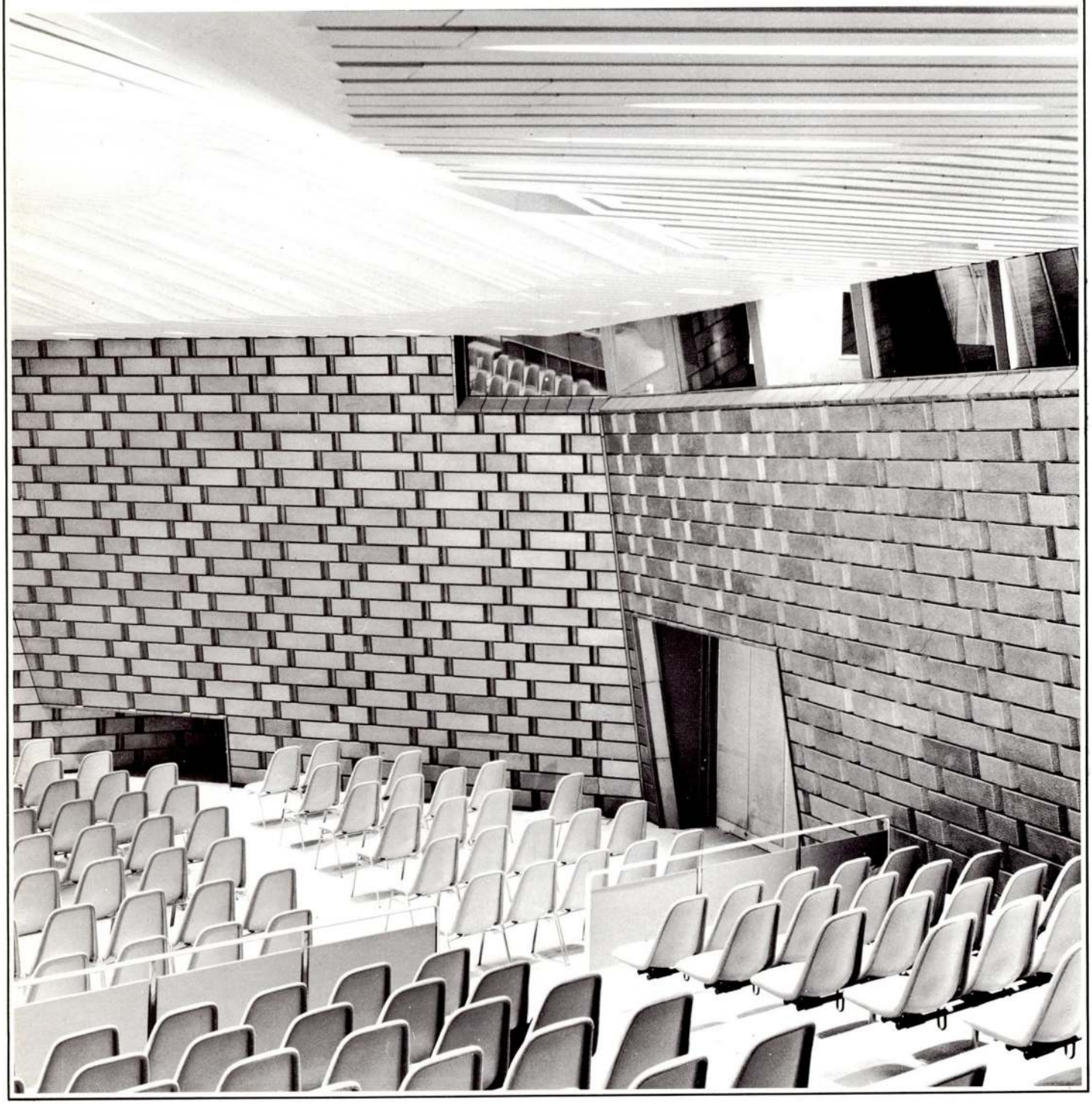
# ゴージャスな
# 空間をつくる内装材
# アルキャスト

大阪商工会議所新ビルの国際会議場に、アルキャストが内装材として誕生しました。鋳造によるあたたかいテクスチャーが壁面をうずめ、豪華な室内をつくりだしています。２ヶの標準ピースのたくみな組合せで構成されたアルキャスト内装材は、その造型と着色の自由さが注目され、今後の活躍が期待されています。



クボタ
国つくりから米つくりまで
㈱久保田鉄工

●お問い合わせは——
久保田鉄工鋳物営業部
大阪市浪速区船出町２
TEL　631＝1121





大阪商工会議所施工　ユニコン35

# たゆまぬ研究・磨かれた技術
# 信頼ある《日米製品》


**日米ブラインド工業株式会社**

本　　社／東京都中央区日本橋江戸橋３－７　ＴＥＬ　東京(272)2011代表
大阪営業所／大阪市天王寺区上本町９－95　関西ビニール会館
ＴＥＬ　大阪(772)0815－８
工　　場／本社工場（神奈川県中津工業団地）東京・広島
営　業　所／大阪・名古屋・広島・福岡・札幌・仙台
出　張　所／金沢・横浜・千葉・ハワイ・沖縄



建築設備業界のメーカーとして伝統技術に定評ある

【諸官庁・公社指定】

全溶接ボイラ、圧力容器製造認可工場

## 株式会社　釘安鐵工所

営業品目
- ●特許ステンレスウェーブ型水槽・熱交換器
- ●ストレージタンク・圧力容器・各種油槽・水槽
- ●各種ステンレス製品・温水ボイラ・各種ヘッダー

本社工場　八尾市久宝寺4－3－37　TEL(0729)(91)2345～9
大阪営業所　大阪市西区江戸堀1－128（江南ビル4階）
TEL (06) (443) 2051～5
太田工場　八尾市太田1－189　TEL (0729) (4) 5074

---

＝床貼壁貼工事全般＝

共同企業体

内装グループ

**朝日商事株式会社**
大阪市北区神山町77　TEL(361)0826・(341)4504

**典世商事株式会社**
大阪市西区靱3－47　TEL(448) 3091～5

**合名会社利倉幸商店**
大阪市南区長堀橋筋2－20　TEL(211) 0571～4

---

大理石工事　**関ヶ原石材株式会社**　（会長　矢橋五郎）
本社工場 岐阜県不破郡関ヶ原町　TEL .058404－104
大阪出張所 大阪市都島区都島本通6－41 TEL(922)7661

セラストン大理石工事　株式会社　**矢橋大理石大阪支店**
大阪市東区高麗橋2の9(野村ビル)　TEL 231－4257

タイル工事　株式会社　**平田タイル**
大阪市西区阿波座中通1の5　TEL 532－1234

塗装工事　**竹林塗装工業株式会社**
大阪市北区茶屋町78　TEL 341－6431

マーベロン工事　株式会社　**宮村商店**
大阪市西区京町堀2の76　TEL 443－3541

避難器具　**上田消防建設株式会社**
大阪市都島区野田町91～2　TEL 352－0811

照明器具　**大光電機株式会社**
大阪市東成区大成通1～103　TEL 972－4881

信用ある技術と伝統の

# アスファルト工事 専業大店

## 株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

# 室谷

## 内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル5階 502号室）
直通電話　大阪（364）2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話㉒2923）

設計監理

創 一級建築事務所
出田肇
姫路市北条口134　宮本ビル　電話0792(24)0730

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔（風光）スーパーライン特殊増幅装置付

スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



## 岩元工業株式会社

大阪市東成区東今里四丁目40番地
電話（981）0616～0618

暖冷房・換気・温湿度調整・衛生諸設備
設　計　・　施　工

## 暁建設工業株式会社

代表取締役　田中喜久雄
大阪出張所長　猪俣英雄

本　社　東京都中央区日本橋通３－１　電話(201) 0181(代)
出張所　大阪市北区樋ノ上町５　電話(363) 4108～９
名古屋市中村丸ノ内２－17－10　電話(231)3046・6007
福岡市東湊町３８　電話 (74) ６８６３
(75) ５４８２

---

創　業　暖冷房・換気・温湿度空気調和　設計
大正二年　病院諸設備・給排水衛生・水族館設備　施工

## 株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内２の２　丸ビル６７６号
電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通１の１　大同ビル６１６号
電話 443代　3361
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地　電話　61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄３の５番２９号　千代田ビル５１４号
電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町４８番地　電話 681(代)1781

---

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

## 株式会社 朝日工業社

本　店　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302)2271～9(代)
大阪支社　同　上
東京本社　東京都港区芝浜松町2－7　電話 (434) 6171(大代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・盛岡・横浜・神戸

---

冷暖房　6Sサッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

## 三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支店・出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松

---

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

## 大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳

本　店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話 (441) 8231 大代
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　北海道(札幌)・東北(仙台)・北陸(金沢)・中国(広島)
出張所　京都・神戸・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・津・豊田

---

空気調和・衛生設備
設計施工

## 株式会社 三晃商会

本　社　大阪市北区富田町16番地　電話(364) 代表7031
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292) 代表7751
広島市紙屋町１丁目２番22号　電話( 47) 代表4535
福岡市大名１丁目８番12号　電話( 76) 代表3795
出張所　名古屋・富山・金沢・福井・京都・松江

---

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

## 株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話京都561局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局　５８９２

---

## 須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441－5171
支　店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

---

営業種目●空気調和設備●給排水衛生設備●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

## 空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座西６－３㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島２－22㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦２－２－13㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・北陸・神戸・広島・松山・九州

---

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設　計　施　工

## 第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電　話　(351)　(代表)　２８０８
本　社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電　話　(811)　(代表)　６２９４
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

---

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設　計　並　施　工
(旧斎藤久孝事務所)

## 斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話　大阪 (443)　５０４１～５番
東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地(日本ビル)
電話　東京 (270)　７４１１番(代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町２番１６号　電話 金沢㉑2074
福井出張所　福井市御幸２の１　電話 福井㉔2436
高松出張所　高松市２番丁９　電話 高松㉑5195
岡山出張所　岡山市大供３８０の１　電話 岡山㉔5486

---

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

## 第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町３０　電話 (361) ５１７７(代)
(364) ０９７７(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内３－２(新東京ビル)
電　話　(211)　８５１１・８５６１(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町６０
電　話　(21)　４４９１
名古屋支店　名古屋市東区東門前町３－６
電　話　(971)　３６２１

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設 計 施 工

## 髙 砂 熱 学

大阪支店　大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪(312) 4 5 2 1 (代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

---

暖冷房・給排水・衛 生・消火設備
設 計 施 工

株式会社 **森野工務店**

本社　大阪市北区菅原町7 5　電話(361)㈹6571
支店　東京都新宿区新小川町3－32　電話(269)2833～4

---

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設 計・製 作・施 工

## 東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－2 5 (新大ビル)
電話 大阪(344) 1 5 1 2 (大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2 (三井第二別館)
支店東 京・名 古 屋　出張所 九 州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

---

冷 暖 房・温湿度調整・水 道
衛 生・環境衛生施設
設 計 施 工

## 山 田 工 業 株 式 会 社

本 社　大阪市西区京町堀1丁目6 2　電話(443) 代表8161～9
支 店　名古屋市中村区水主町1の1 2　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都北区上十条1丁目9番22号　電話(900) 5 1 4 1
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (34) 1778・4386
広島市袋町6番4号　電話 (47) 7575・7588

---

MODAIR
空気調和設備 設計施工
換気・除塵設備

## 東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本 社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支 店　名 古 屋・福 岡

---

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
フアン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設 計・製 作・施 工

## 理 研 鋼 機 株 式 会 社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－4 5 (興銀ビル別館)
電 大阪 代 (202) 7 7 4 5 番
本社・工場　東京都北区神谷3の1 0の8
電 東京 代 (901) 3 1 9 1 番
空調事業部　東京都港区西麻布4-15-23(第5興和ビル)
電 東京 代 (409) 0 1 5 1 番
支 店　名古屋・仙台　連絡所 福 岡

---

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設 計 並 施 工

## 日 本 管 工 業 株 式 会 社

代表取締役 市 川 繁 雄

本 社　京都市南区西九条豊田町2 0 番地の1
電話(681) 5 1 0 1～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) **3 5 0 1～3**
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～3
津営業所　津市栄町2－1 1 1　電話⑧3 6 1 0
鳥取営業所　鳥取市品治町鳥取農協会館内　電話 (22) 4477

---

General Electric (G. E) 社製
冷暖房機「ゾンナル」「ウェザートロン」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」(西独WEBSTO社技術提携)

西日本総販売元

## 岩佐物産株式会社

本 社　大阪市北区老松町3－56(西天満ビル)　電話 (364)2238(代表)
東 京　東京都中央区霊岸島1－1 0　電話 (551)1079・1617
名古屋　名古屋市南区大磯通2－7　電話 (821) 3 5 5 8
四 国　八 幡 浜 市 大 黒 町 3　電話 八幡浜 514・1 4

---

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4丁目11　**電話大阪(458)3531番**
出 張 所 ＝ 京 都 ・ 福 岡

---

Carrier

## 冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

## 日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3 6 6 1～5

---

給水 衛生 空気調和設備
設 計 施 工

## 平 山 工 業 株 式 会 社

取締役社長 平 山 京 平

大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話 大阪 (441) 代1994　(443) 代0331

---

エレベータ・リフト・カーリフト
設 計 ・ 製 作

## 日本エレベータ工業株式会社

代表取締役 長 尾 正 大

本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル)　(351) 4927代 4540
大阪営業所　(351) 4927代　サービス事業所　(328) 0364代
東京営業所　(822) 0995代　工 場　(328) 0363代

各種電気工事設計施工

**浅海電気株式会社**

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

**朝陽電気株式会社**

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)　1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)　1361
営業所　京都市中京区西ノ京東中合町43
TEL　代表　(811)　9296

電気工事設計施工

**工藤電気株式会社**

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九　電話・大阪(313)代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(553)0011代表
営業所　名古屋・神戸・岡山・倉敷・広島・北九州

電気設備工事設計施工

**東光電気工事株式会社**
**大阪支社**

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

**栗原工業株式会社**

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支　店　東京・名古屋・舞鶴・広島・九州・神戸

電気工事 中 設計・施工

**中本電気株式会社**

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所②2607・4259

電気工事設計施工

**株式会社　三興社**

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊫3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊫1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

**野里電気工業株式会社**

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

**三宝電機株式会社**

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

**富士電業株式会社**

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

**中央電気工業株式会社**

取締役社長　今村騰

本　社　大阪市北区梅ヶ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

**株式会社　ヤマト電気商会**

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

青写真とマイクロフイルム

株式会社 **内 外 写 真**

製図・トレース・複写写真

大阪市北区堂島北町16　TEL ㊸ 9055（代表）

奉仕感謝の店

**タイル工事施工**

特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
**SSS タイル 新発売**

（カタログ進呈）

㊐ 株式会社 **川岸窯業商店**

大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前

電話　大阪（532）０４６１～４番




トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
**三幸商會**

大阪市北区与力町一ノ一〇

電話　大阪(358)　４０３１

営業品目

- ● カネボウゴーレックス防水
- ●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
- ●樹脂砂壁エバーサンド吹付
- ●樹脂蛭石エバテックス吹付

**合同特許建材工業株式会社**

本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－54　電話(702)代7814～6

特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

耐酸ツボ各種

陶器、ガラス製品卸問屋

セトモノのデパート

源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。



株式会社 **吉田芳雄商店**

本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345

源八橋店 大阪市北区天満橋筋4—78 電話(358)1790・1838

株式会社 矢橋大理石商店

大阪支店

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階

電話　大阪　(231)　４２５７－８番

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物、船舶等造作工事

家具、建具、寄木、室内装飾工事　設計施工

内外装飾織物・窓掛、敷物、壁紙類一式

㊐ **二葉屋装備工業** 株式会社

取締役社長　若林繁吉

大阪市大淀区本庄川崎町２の６

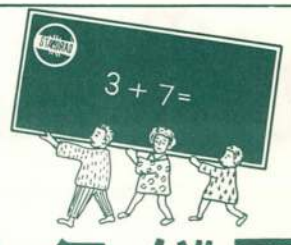
（創業大正７年）　電話・大阪(371) 3321～3・3630

㊐ 社寺数奇屋用瓦……大仏瓦

内外装用窯変美術タイル……大仏タイル

**(株) 大仏**

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 京都市東山区今熊野大仏池田町９の９ | 075（56）3555 3725 |
| 大阪営業所 | 大阪市北区空心町１丁目２８ | 06（351）0703 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市守山区大字小幡山脇27 | 0560（51）1321 |
| 東京営業所 | 東京都渋谷区上原１丁目29の４ | 03（467）1641 |
| 工場 | 京都清水・山城・瀬戸 | |




Standard Board&Slate

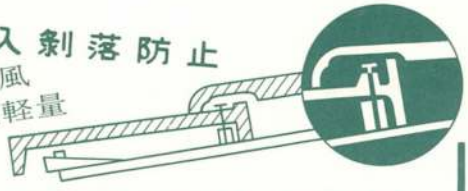
**フタバ黒板**

大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪(717)4561～2

雨水浸入剝落防止

耐震耐風

安定軽量



**ナニワ緩勾配瓦**

３寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社

大阪市浪速区元町一丁目参番電話(641)参叁弐

特許 **白蟻**

松平式白蟻殺滅予防所

所長　防除士　松平藤佐根

奈良市南城戸南方町２８　電話（22）4098

奈良市登大路二番町(博物館前)　電話（22）4098

本部　高知県宿毛市宿毛町２６３９

カーテンウォール
アルミニウム サッシ・ドア
ステンレス サッシ・ドア
新製品
規格サッシトッカ70
公共住宅型サッシトッカKJ
住宅用夢窓サッシ

●超高層時代をになって、カーテンウォールの果す役割はますます大きくなりました。カーテンウォール工法の開拓者である東京カーテンオール工業の、この分野における特異な技術は広く業界に認められていますが、アルミ、ステンレス、アルキャスト等を使用した美しい金属外装で都市に一層の美観をそえることも、またビルディングドレスメーカーとしての東カテの使命です。先般米国レイノルズインターナショナルInc、に対してアルキャストの技術を輸出しました。

東京カーテンオール工業
TKK
本社及工場 東京都荒川区西尾久4丁目12－12 電話(893)0111大代
大阪支店 大阪市南区順慶町通4－25（順慶町ビル） 電話(252)5891代

●法定不燃材の屋根長尺現地成型
ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です
●責任施工・型録送呈

特許●耐酸・耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル
●永久建材の超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル (SPM)
カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)
●新時代にマッチした各種のカラー製品があります

オリエンタルメタル製造株式会社
本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪(481)8085～9
大阪支店 尼崎市北新町4－41(古川ビル) 電話 大阪(481)8085～9
東京支店並工場 埼玉県蕨市東町2－20－4 電話 蕨(32)3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

カーテン
ブラインド
アコーディオンドア
クロス
ジュウタン
木工練付
内装



床貼
Pタイル
カラローン
リグノイド
ロンリューム
ビノリューム
リノリューム

特許 気光式通風器 製造
田辺工業株式会社
大阪市西区江戸堀2－79 TEL〈441〉7437～9

Taniyama
送風機
株式会社 谷山鐵工所



営業品目
●LAF形 リミットロード送風機
●VAF形 可変式軸流送風機
●SAF形 ストリームライン送風機
●CAF形（特許） 遠心式静音軸流送風機

本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話 大阪(931)代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
電話 東京(811)3435・3440

ニチレ®ナイロン **ユーロン®カーペット**

表はナイロン 100%の植毛ですから弾力性に富み耐久力に優れています。

施工用……**ユーロン®カーペット**の独特の品質を特別な裏ゴム加工を施して工事用に合理的な価格で作り上げました。

**デラックス**……スベリ止め加工、重量感のある豪華さ。

**スタンダード**……裏は板ゴムで特に工事向の価格。

大誠化工株式会社 本社 大阪市東区安土町1丁目23(新船場ビル) 電話 (06)261－5716(代表) **U-LON**

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

OKUYAMA·KAKOGYO WATER·PROOF OAM

**カッパー防水帯** コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 **デラタイト**

**奥山化工業株式會社**

東京都中央区銀座西8－3 電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所 大阪市都島区都島中通り5－4 電話 (921) 2497
名古屋出張所 名古屋市南区若草町33 電話 (811) 3660

腐らない そして 燃えない

法定不燃材 829号

**ケミカラーオーシマメタル**

新しい型の ひふくてっぱん

屋根材、壁材・谷樋棟包水切に

スタンダードメタルの**大島応用化学**

東大阪市新庄(782)4171代

特許 内外式 意匠登録

**電動ベンチレーター**

屋上強制換気装置製作のパイオニア

50年の豊富な経験と技術、研究により

1。最高の換気率
2。スマートな外観
3。雨仕舞の完全
4。価格の低廉
5。直傭工による施工の完璧
6。行届いたアフターサービス

近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m /m (モートル 3HP) 40基

**内外建材株式会社**

移転仮営業所 大阪市西区江戸堀北通2の3(新坂ビル) TEL(441)3983～4・4396
工 場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL(962)1149

内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許　鈴木シヤタア

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シヤタア・リンググリル®シヤタア・
ステンレスシヤタア・アルミニュームシヤタア・
40・ピーアップ®シヤタア・汎用シヤタア
その他特殊シヤタアの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地　電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所　金沢市長田町119番地　電話金沢(0762市外局番)21—2287

スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499)8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シヤッター

設計
製作
施工

小俣シヤッター工業株式会社大阪支店
大阪支店　大阪市北区若松町30　電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5

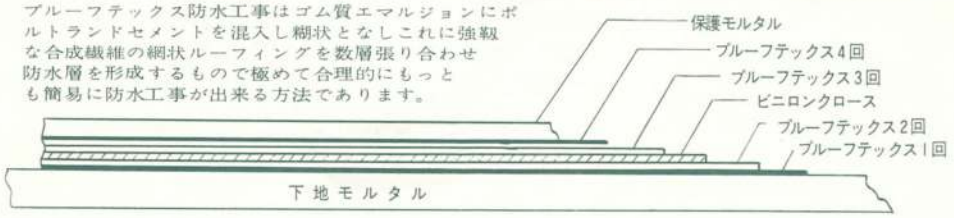
シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社工場　大阪市西淀川区佃町4—33　TEL(471)8331代表
支店　東京(771)1171・名古屋(331)6171・大阪(352)4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

KANDAN
●空気調和設備　●給排水衛生設備
●各種送排風機　設計施工
関西煖房工業株式会社
本　社　大阪市住吉区万代東六丁目三番地　電話 大阪（672）大代表1281
出張所　名古屋・広島・福岡　工場　堺・和泉・名古屋

プルーフテックス防水工事
プルーフテックス防水工事はゴム質エマルジョンにポルトランドセメントを混入し糊状となしこれに強靱な合成繊維の網状ルーフィングを数層張り合わせ防水層を形成するもので極めて合理的にもっとも簡易に防水工事が出来る方法であります。


《特　長》
1）防水性が優秀
2）接着力が強大
3）火気を要しない
4）耐摩耗性
5）物理的強度優秀
耐酸工事・防水工事専門店　耐酸化学工業株式会社
大阪市北区高垣町80番地
電話大阪(06)361・0178代

ジ・フェノール酸誘導樹脂塗料
トップフィニッシュ
床用塗料
ライトレックス
一液ポリウレタン樹脂塗料
〈呈カタログ〉
（製造元・総発売元）
大阪塗料工業株式会社
大阪市城東区古市大通3－24　TEL（931）3271～3
東京出張所　東京都墨田区文花3丁目21～17　TEL（611）1043

SSS
プラスター
ボード用プラスター

SSS混合プラスター（上塗用・白色）
SSSプラスターC（セメントモルタル下地用）
SSSプラスターP（ペイント下地用・金鏝仕上）
SSSプラスターSP（発泡軽量コンクリート下地用）
建築用　美術工芸用　各種焼石膏

サンエス石膏株式会社

| | | |
|---|---|---|
| 本　　社 | 姫路市神屋町4丁目77 | TEL 0792（22）3837～9 |
| 東京営業所 | 東京都新宿区東大久保町1の331 | TEL 03（351）6962 |
| 中部営業所 | 瀬戸市苗場町 113 | TEL 0561（82）9185 |
| 大阪営業所 | 大阪市西区江戸堀1丁目24 | TEL 06（441）0094・5375 |
| 姫路営業所 | 姫路市神屋町4丁目77 | TEL 0792（22）3837～9 |
| 福岡営業所 | 福岡市七隈 282の3 | TEL 092（82）9419 |

SK

全国的に大好評の…
新興の繊維壁材！

◉お部屋のムードは壁材の美しい調和で……

建設省建築研究所試験合格品

（一種繊維壁材）
・チェリーコート　・ママウオール　・ほたるかべ　・麝香
・いすゞかべ　・パビロン　・ふくよかべ　・清流　・金蘭
・カセロンウオール　・パーマエース　・ありあけ　・錦上壁K
（三種繊維壁材）
・スーパーウォール　・瑞雲　・ニコニコ　・蛍光壁　・龍鳳
・センカウオール
（二種繊維壁材）
・明光壁　・日本壁　・金龍
・あけぼの　・錦上壁　・昭和壁　・すずらん
（特殊壁）
・新興壁　・大阪壁　・新日本壁　・桃山　・大和壁

（防火繊維壁材としてご使用の節は上記商品にシンケン防火剤を混入のこと）

●シンケン防火剤　●防錆剤エバコン　●耐湿剤オートン　●化学糊スーパーシンケン糊　（全国有名建材店に有）

株式会社　新興建材工業所
大阪市西区四ツ橋　TEL（538）2951代（541）5757代
営業所　東京・大阪・明石・広島・福岡

# 簡易で生均質なコンクリート

## 関西生コンクリート協会

大阪市北区兎我野町67番地の1（梅田グリーンビル6階）
電　話（312）3267（直）　（312）8831（交）

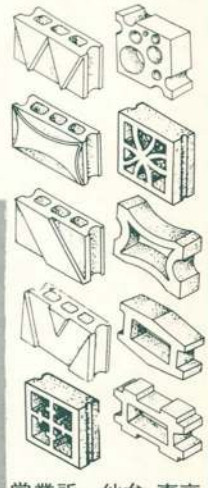
| | | |
|---|---|---|
| 麻生コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話(441) 0234～7番 |
| | 工　場 | 堺(泉北一区)・高石・高砂 |
| 大阪アサノコンクリート株式会社 | 営業所 | 電話 (361) 3351(代) |
| | 工　場 | 津守・淀川・鮎崎・城東(河内) |
| 大阪宇部コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話 (361) 1361(代) |
| | 工　場 | 大阪(新福崎町)・吹田・桜島・姫路 |
| 大阪生コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話(361) 1231番(代) |
| | 工　場 | 佃・千島・向日町・神戸・和歌山・大東・姫路・堺 |
| 関西小野田レミコン株式会社 | 営業所 | 電話 (341) 8331(代) |
| | 工　場 | 尻無川・京都・神戸・茨木 |
| 関西菱光コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話 (313) 0431(代) |
| | 工　場 | 尼崎・大阪(北福崎東)城東(門真)阪南(松原) |
| 近畿生コン株式会社 | 営業所 | 電話 京都 (58) 5111～2 |
| | 工　場 | 京都(山科) |
| 堺宇部コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電　話　堺 (41) 0461～3 |
| | 工　場 | 堺 |
| 堺小野田レミコン株式会社 | 営業所 | 電話　堺 (38) 5405～6番 |
| | 工　場 | 堺 |
| 西脇生コン株式会社 | 営業所 | 電話(203) 2321番(代) |
| | 工　場 | 堺・西宮・大東・茨木・神足・春日出・大津・姫路・北港 |
| 塩山船渠株式会社 | 営業所 | 電話 (341) 8331番 |
| | 工　場 | 難波島 |
| ツルガ生コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 電話(361) 6235～7番 |
| | 工　場 | 大阪(春日出)・宝塚 |
| 徳山生コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話(202) 0531番(代) |
| | 工　場 | 大阪(南海岸通)・大東・神戸 |
| 枚方生コンクリート株式会社 | 営業所 | 寝屋川　(31)　4421 |
| | 工　場 | 枚方 |
| 藤井コンクリート工業株式会社 | 営業所 | 八尾　(2) 3385～7 |
| | 工　場 | 八尾 |
| 豊国生コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話(312) 3637～9番 |
| | 工　場 | 尼崎・大阪(守口)・高槻 |
| 八幡高炉コンクリート株式会社 | 営業所 | 電話 堺 (3) 2323～5 |
| | 工　場 | 第一・第二(堺)・千里 |

# デザインブロック®
# スクリーンブロック
# キュービックブロック®

**全国各地区各市の生産実施工場を紹介させて頂きます。**

また、全国有力ブロックメーカーあるいは東北、東海、北陸、近畿、中国四国、九州の各コンクリートブロック工業組合へ直接お問い合せくださっても結構です。





営業所―仙台・東京
京都・福知山・大阪
米子・熊本

ニッパツ 日発実業株式会社　京都市中京区西洞院通四条上ル・ウオジビル
電話　京都（075）231―3487・211―7996・211―7948

# 建築と社会

第49集
業種別

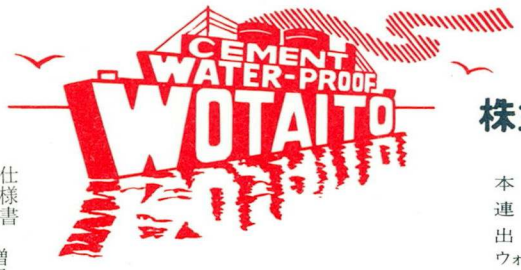
# 広告目次

昭和43年5月号


基礎 kk武智工務所 ……表3
鉄骨鉄筋 住友金属工業kk ……表2
コンクリート 関西生コンクリート協会 ……103
コンクリートブロック シポレックス販売kk ……22
日発実業kk ……103
防水 奥山化工業kk ……99
kk久保商店 ……93
合同特許建材工業kk ……97
シェル石油kk ……3
耐酸化学工業kk ……101
東西日本アスファルト事業協同組合 ……5
日新工業kk ……8
日本アスファルト防水工業協同組合 ……9
kk日本セメント防水剤製造所 ……表3
三星産業kk ……6
kk油脂化工社 ……表3
石 kk矢橋大理石商店 ……97
タイル衛陶 kk川岸窯業商店 ……97
kk吉田芳雄商店 ……97
屋根葺壁張 朝日石綿工業kk ……表4
オリエンタルメタル製造kk …98
大島応用化学kk ……99
大同鋼板kk ……表4
kk大仏 ……97
ナニワ瓦kk ……97
金属 岩元工業kk ……93
kk三幸商会 ……97
田辺工業kk ……98
内外建材kk ……99
左官 サンエス石膏kk ……102
kk新興建材工業所 ……102
建具 小俣シャッター工業kk ……100
kk鈴木シヤタア商会 ……100
ダイケンサッシkk ……2
東京カーテンウォール工業kk ……98
東洋シャッターkk ……100
kk日本シャッター製作所 ……12
kk三高製作所 ……100
建具金物 永和工業kk ……10
kkゴール ……26
日恵機材kk ……7
日本ドアーチェック製造kk …15
塗装 大阪光和建材kk ……16
大阪塗料工業kk ……101
関西ペイントkk ……28
山本窯業化工kk ……11
内装壁・天井 kk奥村重兵衛商店 ……18
室谷商事kk ……93
内装床 田島応用化工kk ……4
大誠化工kk ……99
東洋リノリュームkk ……1
家具装飾 二葉屋装備工業kk ……97
保全 ミヅシマ工業kk ……20
設備機器 岩佐物産kk ……95
関西暖房工業kk ……101
kk谷山鉄工所 ……98
松下電器産業kk ……24
エレベーター 日本エレベータ工業kk ……95
空調・衛生設備 暁建設工業kk ……94
kk朝日工業社 ……94
kk大阪城口研究所 ……94
大阪電気暖房kk ……94
kk建材社 ……94
斎久工業kk ……94
kk斎藤省三商店 ……94
三機工業kk ……94
kk三晃商会 ……94
須賀工業kk ……94
第一企業kk ……94
第一工業kk ……94
高砂熱学工業kk ……95
東洋キャリア工業kk ……95
東洋熱工業kk ……95
日本管工業kk ……95
日本冷熱工産kk ……95
kk西原衛生工業所 ……95
平山工業kk ……95
kk森野工務店 ……95
山田工業kk ……95
理研鋼機kk ……95
電気設備 浅海電気kk ……96
工藤電気kk ……96
栗原工業kk ……96
kk三興社 ……96
三宝電機kk ……96
中央電気工業kk ……96
朝陽電気kk ……96
東光電気工事kk ……96
中本電気kk ……96
野里電気工業kk ……96
富士電業kk ……96
kkヤマト電気商会 ……96
雑 創一級建築士事務所……93
kk内外写真 ……97
フタバ黒板……97
松平式白蟻殺滅予防所……97

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

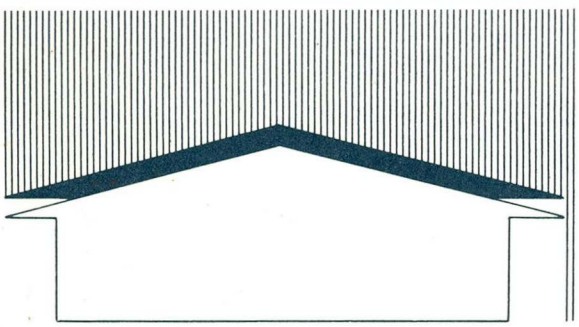



# ウォータイトB号

株式会社 日本セメント防水剤製造所

仕様書型録贈呈

本　　社　大阪市東区船越町２－３１（船越ビル）　電話（941）2626・2628
連　絡　所　宝塚市高台上の池　電話　宝塚（36）2153
出　張　所　電話　東京(431)8648・名古屋(321)1331・仙台㉓0721・札幌㊲1111
ウォータイト式防水工事代行店　電話　大三工業 高松(2)0016　安藤工事 福岡（28）５２０７　豊永建材 広島（61）６３７１



モルタル・コンクリート用

# マノール

●防水工事責任施工

製品

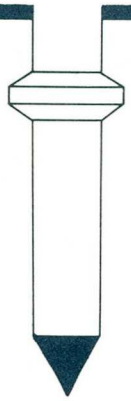
●セメント混和剤のトップ……

防水剤
急結剤
A　号
接着剤
剥離剤

ご一報次第カタログ進呈します

株式会社 油脂化工社

本　　社　東京都品川区大井１－１５　電話（774）4111(代表)
大阪営業所　大阪市東成区西今里２－48　電話（971）4765・0063



●基礎施工の悪條件を克服する

# 武智式 日信三角杭

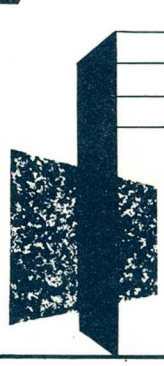
特　　許●第２３３７４４号
特　　許●第２５０１０８号
実用新案●第２５－１０９４２号
実用新案●第３７－３６１０６号

株式会社 武智工務所

本　　社　大阪市東区高麗橋２－２０（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233(代)・7501(代)
名古屋営業所　名古屋市中村区船入町１－12(服部ビル)
TEL 名古屋（582）３０３６(代)
大阪工場　大阪市住吉区北加賀屋町５－２７
TEL 大阪（672）３２２３・３２２４
名古屋工場　愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（７）１１９１・１１９２

日本建鉄の

# PS型レディメードサッシ



# アルミサッシドア

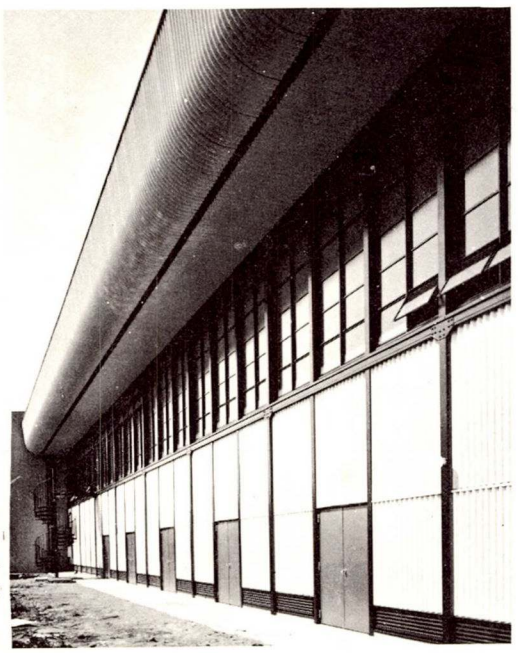
日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町２～８　TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店　大阪市北区梅田町４７(新阪神ビル)　TEL大阪（361)6758（代）

建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第49輯第5号
■昭和43年5月25日発行（毎月1回25日発行）・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

屋根●外壁●内壁●天井に

建設省認定 朝日の不燃建材を



工場・倉庫・住宅に

法定不燃材
朝日波形スレート
朝日フレキシブルボード
朝日大平板
朝日ステンドスレート
朝日ネットインスレート

ビル・工場に

朝日耐火パネル
朝日防火パネル
朝日グラスインパネル
朝日フェザーパネル
朝日コルゲートインパネル
吹付石綿
朝日プロベスト

ASK
朝日石綿工業株式会社

大阪支店／大阪市北区神山町4 3 電話(312)8521(代表)
本　社／東京都中央区銀座 7−3 電話(573)5111(大代)
営業所／東京・横浜・静岡・名古屋・富山・大津・姫路
岡山・広島・門司・福岡・長崎・延岡・高松
新居浜・札幌
工　場／横浜・山梨・大阪・水島・玉島・門司

屋根材の決定版
防露・断熱・防音カラー鉄板
ダンネット®

●《ダンネット》は着色亜鉛鉄板《カラーグリップ》と難燃性《ポリウレタンフオーム》の複合建材です



特長
1. 防露性　屋内の温度変化が小さく、ルーフィングなど不要室内に露滴落下の心配がありません。
2. 断熱性　太陽の直射や屋外寒気などを防ぎ、熱貫流抵抗は20㎜厚の木毛セメント板に等しい。
3. 吸音遮音性　雨音の発生が少なく、室内・室外の騒音を吸収。静かな環境をつくります。
4. 加工性　長尺ロール成形、波付加工及び現場施工は従来の亜鉛鉄板と同様に簡単です。
5. 経済性　施工が容易、工程が簡単、その上軽量であるため工事費がグーンと節減できます。
6. 防火性　特殊難燃処理が施されたウレタンフォームは自己消火性を有し防火上安全です。
7. 防水性　ウレタンフォームがコーキング材の働きをして防水性を高め、雨漏りの心配無用です。

■標準寸法及び色彩

| 種類 | 長尺・平板・波板 |
|---|---|
| 厚さ | カラーグリップ<br>0.27㎜（#31）〜0.60㎜（#24）<br>ポリウレタンフオーム　5㎜ |
| 寸法 | 幅 914㎜（3尺）<br>長さ50㎜まで　m |
| 色彩 | カラーグリップの色　標準色8色<br>ポリウレタンフオームの色　灰色・黄色 |

大同鋼板
DAIDO
本　社　大阪市東区高麗橋2−41　TEL (203)0751
営業所　東京都千代田区丸の内3−10　TEL (212)0501

■カタログ・見本帳ご希望の方は《建築と社会》とご記入の上ご請求下さい

■ご入会のお申込みは・社団法人　日本建築協会　大阪市東区北浜3-37　電話大阪(231)9648・9649・9640　振替口座大阪39975番

定価 300円（送料共）